

鐵道諸統計

二輛とし、東和歌山で客車一輛を増結し、下りの場合は省有機關車で牽引し上り阪和線で切り放すのである

輕金屬流線型超高速列車 昭和八年秋より諸外國の實施に刺激され、國有鐵道でも漸く注目し來つた輕金屬流線型列車は、昭和九年その研究の第一指を築き、在外研究でドイツ、フランス、アメリカ、イギリス等に留學中の技師をして調査報告せしむるとともに、先づわが國においては東京大阪間の實施を目標とする以前に上野日光間、東京熱海間にその利用可能性を認め、あらゆる資料蒐集、報告等を綜合研究期に入つた

鐵道諸統計

Table with 2 columns: 國有鐵道諸數 (昭和九年六月十五日現在) and 局名. Rows include 東京, 大阪, 名古屋, etc.

一九四

國有鐵道自動車輛數

(昭和九年五月末日現在) 旅客車一六六輛、貨物車六五輛、合計一八一輛

國有鐵道一等驛

(貨は貨物専用驛)

【東海道本線】東京、新橋、汐留(貨)、品川、横濱、高島(貨)、東横濱(貨)、沼津、静岡、濱松、名古屋、岐阜、米原、京都、梅小路(貨)、大阪、三宮、神戸、【山陽本線】兵庫、姫路、岡山、廣島、下關、【北陸本線】金澤、【中央本線】新宿、【關西本線】湊町、奈良、【東北本線】秋葉原、上野、田端、大宮、宇都宮、郡山、福島、仙台、青森、【常磐線】隅田川(貨)、水戸、【信越本線】長野、直江津、【總武本線】兩河、【鹿島本線】門司、戸畑、博多、鹿兒島、【長崎本線】長崎、【筑豊本線】若松、直方、【函館本線】函館、札幌、岩見澤、旭川、【手宮線】手宮、【室蘭本線】室蘭

國有鐵道主要乘車人員

(昭和七年度一日平均) 新宿七一、九五一人、東京六三、八七五人、上野三〇、四四九人、大阪三〇、二八〇人、京都一七、六二二人、櫻木町一五、九七七人、名古屋九、五六八八人、三宮八、九四二人、神戸七、四八七人

一九四

國有鐵道營業成績

(昭和七年度) 年度末資本總額三、五六三、四二一、五一一四、營業收入四二五、九五四、〇七三、營業費二六七、九八六、二四三、利益一五七、九六七、八三〇、收入に對する支出の割合〇・六二九、資本に對する利益の割合年度首〇・〇四六、年度末〇・〇四四、従業員數(雇託ヲ含ム)一九九、二二六人

國有鐵道機關車輛數

(昭和九年三月末日現在)

【蒸氣機關車】タンク機關車二、八九五輛、テンダー機關車一、〇一八輛、【電氣機關車】一四一輛、【ディーゼル機關車】一〇輛、合計四、〇六四輛

國有鐵道客貨車輛數

(昭和九年三月末日現在)

宮廷用客車三輛、營業用客車九、〇四七輛、省用客車一八四輛、電車一、三七五輛、客車合計一〇、六二九輛、有蓋貨車三五、六一七輛、タンク貨車二〇八輛、無蓋貨車二九、一八〇輛、準貨車七九輛、貨車合計六五、八〇四輛

國有鐵道汽船數

(昭和九年三月末日現在)

連絡船：旅客船一三隻、貨物船二隻、客貨物船四隻、客貨車船四隻、貨車渡船八隻、曳船二隻、小蒸氣船三隻、合計六四隻

航空界の進歩

福知新次

一九〇三年十二月十四日、ウィルバー、オルビルのライト兄弟が米國ノースカロリナのキッター・ホークで初めて飛行機を飛ばしてから、その年中——といつても僅か半月しかながつたのだが——に血の汗を流して作つた當時の素晴らしい飛行記録といふのが

飛行距離 二二〇呎  
飛行時間 五九秒  
で、速度や高度などは計るのが面倒な位低い、遅いものであつた。かくして一九〇八年になつて、ウィルバー・ライトの作つた高度と速度との記録は次の如くである。

高度 一一〇呎  
速度 四四・(時)

以上の四つの飛行機初期時代の記録に對して、現在の最高飛行記録を調べて見ると

航空界の進歩

飛行距離 九、一〇四呎(七七〇〇)

佛人コドス、ロツシー兩氏搭乗、使用飛行機ブレリオ・ザバター一〇(イスパノ六五〇馬力)ニューヨークより波斯のラヤクまで無着陸——一九三三年  
飛行時間 八四時間三二分  
米人リース、ボツシー兩氏搭乗、使用飛行機ベランカ(ベツカード重油四五〇馬力)ジャクソンビルにて一回飛行す——一九三一年  
高度 一四、三五〇呎

伊人レナド・ドナチ氏操縦、使用飛行機カプロニ複葉、ローマにて——一九三四年  
速度 六八二(時)

伊人フランシスコ・アゼルロ氏操縦、使用飛行機MC七二(フイットAS六)デセンツァノにて——一九三三年

これ等八つの數字を比較對照して見ると、飛行機といふものが、この三十年ばかりの間に——もつともその間には世界大戦といふ大

きな力が、無理やりに飛行機の性能を引つ張り上げてくれたが——いかに目ざましい進歩をしたかを窺ふことが出来る。更に數字的一例を挙げれば、前記初期時代のライトの飛行機は、搭乗者辛うじて二人、發動機力は僅に一六馬力に過ぎなかつたのが、現在ドルニエ・ドツタスの如き大飛行機はよく百六十九人を乗せて飛行し、發動機(十二個裝備)の總馬力六、〇〇〇馬力に達する。

航空機の發達には、運用上の技術的進歩、工作上の技術的進歩及びこれに伴ふ地上設備の進歩が併進して行かねば、眞の向上進歩を見る譯には行かぬ。

世界大戦當時、歐洲における空中戦において、大戦の初期から中期にかけては、未だ性能の低かつた飛行機を以て果敢なる戦闘行為を實施せねばならぬ實情に迫られたため、飛行機操縦上の技術は異常の進歩を現示し、戦術上の必須

から考案され、研究され、實現された高等飛行の各種及び最も眞剣なる夜間飛行、荒天飛行の實際的演練並に應用は多くこの間に醸成され實績を擧げた。大戦の中頃からその終末期にかけては、主として遠距離爆撃の戰略的見地から飛行機工作上的の技術は急速に進展し大戦終結直後に英國のドイツカース・ヴィミ機が世界最初の太平洋橋断に成功した如きは、大戦中における飛行機工作の技術的進歩を如實に語る例證といひ得よう。

世界大戦終結して、忽ち軍用機の余剰となり、その余剰は民間航空に振り向けられ、歐洲においては旅客飛行、米國においては郵便飛行の開設となり、大戦中に顧る暇のなかつた地上設備——飛行場の完備、無電による實地連絡並に天候通報、夜間飛行の安全裝備等——は飛行機の運用の必要上着々研究實施を見るに至り、世界航空網は漸次擴大されて今日の情勢に

達したのである。

世界最速飛行に失敗して俄に轉向し、ハバロフスクより突如東京に飛來して千辛万苦遂に世界最初の飛行機による無着陸太平洋横断飛行に成功したバングボーン、ハインドンのペランカ機の如き、ニューヨークよりラヤクまで一万。近くの直線飛行に世界記録を作つたコドス、ロウシーのブレリオ機の如き、夫妻相携へて世界周遊飛行を完成したリンドバーグのロツクヒード機の如き、無飛行機を夫妻交々操縦して大西洋を横断したモリソン夫妻のブスモス機の如き、バルボ航空相引率の下にイタリより米國シカゴへの往復編隊飛行に世界の眼を奪つたサボイヤ飛行機の如き、時速七〇〇を出したと傳へらるゝアゼルロのMC機の如き、二度の世界最速に成功したポストのロツクヒード機等々——これ等はいづれも現代飛行機の運用上並に工作上の頂點を

擲んでこれを發揮した航空界の傑作であり、同時に現代飛行機の性能の最高メーターである。

米のライト、カーチス。佛のブレリオ、フアルマン。英のコーデイ、ブラジルのサンジュモンなど、これ等飛行道の大先覺者の飛行機は現代からこれを顧ると僅に三十年前の物體とは思へず、遠き神代の飛行機物種を聞くかの感があるほど飛行は進歩發達した。しかし一九〇三年に六二〇しか飛び得なかつた飛行機と、一九三三年に一〇、〇〇〇近くを一気に翺破したコドス、ロウシーのブレリオ機と、その飛行原理においては全く同一である。現在の進歩は正に驚嘆すべきものではあるが、その間に革新的工作は一もこれを見ることが出来ない。近き將來の飛行は成層圏飛行の完成であらう。そしてローカル空中路は比較的低空へ、そしてエキスプレス空中路は高層飛行への立體的航空姿勢が見

られるようになるのであらう。

現在までの飛行機の進歩過程は高層飛行への基礎的工作と考へた、そして革新的の工作技術がもたらすべき高層飛行への道程の終局が近きにあらんと切望する。

世界を一周し、現に歐洲——南米間の旅客輸送を實施してゐる飛行機の進歩も飛行機と殆どその道程をひとしくしてゐるが、速力の劣る點と、高層飛行の困難なる點において、今後の進展は飛行機に比し疑問が多いであらう。

### 世界の飛行界

日 本

二女流飛行士 昭和八年十月十九日、千葉縣船橋第一航空學校の長山きよ子、梅田芳江の兩嬢は優等の成績で二等飛行士となつた

定期夜間郵便飛行 日本航空輸送會社の東京大阪間定期航空(郵便物だけ)は同社所屬飛行士卅余氏の就航拒否運動にもかゝらず着々準備を進め、豫定通り八月十一日決行のはずだったが同日は天候悪く翌二日午後六時大阪側は豊島飛行士、東京側は同六時十九分島居飛行士によつて開始、それ以後無事夜間定期飛行第一日を終つた

鶴原飛行士墜死 九月一日廿一日、鶴原一等飛行士鶴原の日本航空輸送會社夜間郵便飛行は午後六時東京羽田飛行場出発、同八時四十五分大阪木津川飛行場に着陸せんとしたが煙霧のため着陸地を見失ひ得ず海中に墜落、機體は翌二月一日木津川尻平林埋立地四方沖合約一町の海底から引揚げられたが、鶴原氏の死體は三月後の四月廿九日木津川尻で溺死體となつて発見された

帝國飛行協會發算 帝國飛行協會では九月十六日理事會を開き、九年度事業概算を前年度より六万三千円増加の十七万五千四百円と決定した

日本航空學會創立 わが航空界の權威、有力者を網羅して航空文化および國防に貢獻せんとする日本航空學

の精銳大毎廿二機ロツクヒード・オムラア型、ワスプ四百五十馬力によつて決行された日本一周日歸り三千キロの大飛行は本社大飛行士操縦、布庭機關士、平田社會部員同乗、九年八月十五日午前四時四十五分大阪城東練兵場を離陸し東海道を東へ、途中蘆ヶ浦でガソリンを補給、それより奥羽を一

周、北陸、山陰を経て午後三時廿七分太刀洗着、同三時五十九分發、時間の都合で鹿兒島廻りを断念、別府上空に出で松山へのコースをとり高松、姫路を経て午後六時十四分大阪城東練兵場に着陸した、飛行時間十二時間〇五分航程三千五百キロの大飛行で未だかつてわが航空界に試みられなかつた日本一周日歸り大飛行の輝かしい新記録を樹立した

近畿大防空演習 わが國産業の心臓部京阪神を中心とし二府六縣下にわたる近畿大防空演習は第四、第九、第十、第十六各防衛司令部を主體として九月廿六日から同廿九日まで四日間行はれた、演習の目的は京阪神三都およびその附近要地の防衛に關し防衛部隊の訓練と關係官公署、諸團體および一般官民の防空に關する施設、訓練の向上をはかるにあつたが演習の中心地大阪市では十五區防護團および分團をあはせて一千、工場防護團だけで九百を數へ飛行演習の回數二千回、神戸市では八區防護團、四十四分團、工場防護團二百五十、世界的港都だけに水上防護團が特に力を入るなど從來の「演習だから」といふ例外例を一切認めず徹底した實戰本位の演習だつた

本社の日本一周日歸り飛行 わが國航空界の劃期的大壯舉として本社

の精銳大毎廿二機ロツクヒード・オムラア型、ワスプ四百五十馬力によつて決行された日本一周日歸り三千キロの大飛行は本社大飛行士操縦、布庭機關士、平田社會部員同乗、九年八月十五日午前四時四十五分大阪城東練兵場を離陸し東海道を東へ、途中蘆ヶ浦でガソリンを補給、それより奥羽を一

周、北陸、山陰を経て午後三時廿七分太刀洗着、同三時五十九分發、時間の都合で鹿兒島廻りを断念、別府上空に出で松山へのコースをとり高松、姫路を経て午後六時十四分大阪城東練兵場に着陸した、飛行時間十二時間〇五分航程三千五百キロの大飛行で未だかつてわが航空界に試みられなかつた日本一周日歸り大飛行の輝かしい新記録を樹立した

近畿大防空演習 わが國産業の心臓部京阪神を中心とし二府六縣下にわたる近畿大防空演習は第四、第九、第十、第十六各防衛司令部を主體として九月廿六日から同廿九日まで四日間行はれた、演習の目的は京阪神三都およびその附近要地の防衛に關し防衛部隊の訓練と關係官公署、諸團體および一般官民の防空に關する施設、訓練の向上をはかるにあつたが演習の中心地大阪市では十五區防護團および分團をあはせて一千、工場防護團だけで九百を數へ飛行演習の回數二千回、神戸市では八區防護團、四十四分團、工場防護團二百五十、世界的港都だけに水上防護團が特に力を入るなど從來の「演習だから」といふ例外例を一切認めず徹底した實戰本位の演習だつた

本社の日本一周日歸り飛行 わが國航空界の劃期的大壯舉として本社

の精銳大毎廿二機ロツクヒード・オムラア型、ワスプ四百五十馬力によつて決行された日本一周日歸り三千キロの大飛行は本社大飛行士操縦、布庭機關士、平田社會部員同乗、九年八月十五日午前四時四十五分大阪城東練兵場を離陸し東海道を東へ、途中蘆ヶ浦でガソリンを補給、それより奥羽を一

周、北陸、山陰を経て午後三時廿七分太刀洗着、同三時五十九分發、時間の都合で鹿兒島廻りを断念、別府上空に出で松山へのコースをとり高松、姫路を経て午後六時十四分大阪城東練兵場に着陸した、飛行時間十二時間〇五分航程三千五百キロの大飛行で未だかつてわが航空界に試みられなかつた日本一周日歸り大飛行の輝かしい新記録を樹立した

近畿大防空演習 わが國産業の心臓部京阪神を中心とし二府六縣下にわたる近畿大防空演習は第四、第九、第十、第十六各防衛司令部を主體として九月廿六日から同廿九日まで四日間行はれた、演習の目的は京阪神三都およびその附近要地の防衛に關し防衛部隊の訓練と關係官公署、諸團體および一般官民の防空に關する施設、訓練の向上をはかるにあつたが演習の中心地大阪市では十五區防護團および分團をあはせて一千、工場防護團だけで九百を數へ飛行演習の回數二千回、神戸市では八區防護團、四十四分團、工場防護團二百五十、世界的港都だけに水上防護團が特に力を入るなど從來の「演習だから」といふ例外例を一切認めず徹底した實戰本位の演習だつた

本社の日本一周日歸り飛行 わが國航空界の劃期的大壯舉として本社

の精銳大毎廿二機ロツクヒード・オムラア型、ワスプ四百五十馬力によつて決行された日本一周日歸り三千キロの大飛行は本社大飛行士操縦、布庭機關士、平田社會部員同乗、九年八月十五日午前四時四十五分大阪城東練兵場を離陸し東海道を東へ、途中蘆ヶ浦でガソリンを補給、それより奥羽を一

周、北陸、山陰を経て午後三時廿七分太刀洗着、同三時五十九分發、時間の都合で鹿兒島廻りを断念、別府上空に出で松山へのコースをとり高松、姫路を経て午後六時十四分大阪城東練兵場に着陸した、飛行時間十二時間〇五分航程三千五百キロの大飛行で未だかつてわが航空界に試みられなかつた日本一周日歸り大飛行の輝かしい新記録を樹立した

近畿大防空演習 わが國産業の心臓部京阪神を中心とし二府六縣下にわたる近畿大防空演習は第四、第九、第十、第十六各防衛司令部を主體として九月廿六日から同廿九日まで四日間行はれた、演習の目的は京阪神三都およびその附近要地の防衛に關し防衛部隊の訓練と關係官公署、諸團體および一般官民の防空に關する施設、訓練の向上をはかるにあつたが演習の中心地大阪市では十五區防護團および分團をあはせて一千、工場防護團だけで九百を數へ飛行演習の回數二千回、神戸市では八區防護團、四十四分團、工場防護團二百五十、世界的港都だけに水上防護團が特に力を入るなど從來の「演習だから」といふ例外例を一切認めず徹底した實戰本位の演習だつた

本社の日本一周日歸り飛行 わが國航空界の劃期的大壯舉として本社

の精銳大毎廿二機ロツクヒード・オムラア型、ワスプ四百五十馬力によつて決行された日本一周日歸り三千キロの大飛行は本社大飛行士操縦、布庭機關士、平田社會部員同乗、九年八月十五日午前四時四十五分大阪城東練兵場を離陸し東海道を東へ、途中蘆ヶ浦でガソリンを補給、それより奥羽を一

周、北陸、山陰を経て午後三時廿七分太刀洗着、同三時五十九分發、時間の都合で鹿兒島廻りを断念、別府上空に出で松山へのコースをとり高松、姫路を経て午後六時十四分大阪城東練兵場に着陸した、飛行時間十二時間〇五分航程三千五百キロの大飛行で未だかつてわが航空界に試みられなかつた日本一周日歸り大飛行の輝かしい新記録を樹立した

便物だけ)は同社所屬飛行士卅余氏の就航拒否運動にもかゝらず着々準備を進め、豫定通り八月十一日決行のはずだったが同日は天候悪く翌二日午後六時大阪側は豊島飛行士、東京側は同六時十九分島居飛行士によつて開始、それ以後無事夜間定期飛行第一日を終つた

鶴原飛行士墜死 九月一日廿一日、鶴原一等飛行士鶴原の日本航空輸送會社夜間郵便飛行は午後六時東京羽田飛行場出発、同八時四十五分大阪木津川飛行場に着陸せんとしたが煙霧のため着陸地を見失ひ得ず海中に墜落、機體は翌二月一日木津川尻平林埋立地四方沖合約一町の海底から引揚げられたが、鶴原氏の死體は三月後の四月廿九日木津川尻で溺死體となつて発見された

帝國飛行協會發算 帝國飛行協會では九月十六日理事會を開き、九年度事業概算を前年度より六万三千円増加の十七万五千四百円と決定した

日本航空學會創立 わが航空界の權威、有力者を網羅して航空文化および國防に貢獻せんとする日本航空學

の精銳大毎廿二機ロツクヒード・オムラア型、ワスプ四百五十馬力によつて決行された日本一周日歸り三千キロの大飛行は本社大飛行士操縦、布庭機關士、平田社會部員同乗、九年八月十五日午前四時四十五分大阪城東練兵場を離陸し東海道を東へ、途中蘆ヶ浦でガソリンを補給、それより奥羽を一

周、北陸、山陰を経て午後三時廿七分太刀洗着、同三時五十九分發、時間の都合で鹿兒島廻りを断念、別府上空に出で松山へのコースをとり高松、姫路を経て午後六時十四分大阪城東練兵場に着陸した、飛行時間十二時間〇五分航程三千五百キロの大飛行で未だかつてわが航空界に試みられなかつた日本一周日歸り大飛行の輝かしい新記録を樹立した

近畿大防空演習 わが國産業の心臓部京阪神を中心とし二府六縣下にわたる近畿大防空演習は第四、第九、第十、第十六各防衛司令部を主體として九月廿六日から同廿九日まで四日間行はれた、演習の目的は京阪神三都およびその附近要地の防衛に關し防衛部隊の訓練と關係官公署、諸團體および一般官民の防空に關する施設、訓練の向上をはかるにあつたが演習の中心地大阪市では十五區防護團および分團をあはせて一千、工場防護團だけで九百を數へ飛行演習の回數二千回、神戸市では八區防護團、四十四分團、工場防護團二百五十、世界的港都だけに水上防護團が特に力を入るなど從來の「演習だから」といふ例外例を一切認めず徹底した實戰本位の演習だつた

本社の日本一周日歸り飛行 わが國航空界の劃期的大壯舉として本社

の精銳大毎廿二機ロツクヒード・オムラア型、ワスプ四百五十馬力によつて決行された日本一周日歸り三千キロの大飛行は本社大飛行士操縦、布庭機關士、平田社會部員同乗、九年八月十五日午前四時四十五分大阪城東練兵場を離陸し東海道を東へ、途中蘆ヶ浦でガソリンを補給、それより奥羽を一

周、北陸、山陰を経て午後三時廿七分太刀洗着、同三時五十九分發、時間の都合で鹿兒島廻りを断念、別府上空に出で松山へのコースをとり高松、姫路を経て午後六時十四分大阪城東練兵場に着陸した、飛行時間十二時間〇五分航程三千五百キロの大飛行で未だかつてわが航空界に試みられなかつた日本一周日歸り大飛行の輝かしい新記録を樹立した

近畿大防空演習 わが國産業の心臓部京阪神を中心とし二府六縣下にわたる近畿大防空演習は第四、第九、第十、第十六各防衛司令部を主體として九月廿六日から同廿九日まで四日間行はれた、演習の目的は京阪神三都およびその附近要地の防衛に關し防衛部隊の訓練と關係官公署、諸團體および一般官民の防空に關する施設、訓練の向上をはかるにあつたが演習の中心地大阪市では十五區防護團および分團をあはせて一千、工場防護團だけで九百を數へ飛行演習の回數二千回、神戸市では八區防護團、四十四分團、工場防護團二百五十、世界的港都だけに水上防護團が特に力を入るなど從來の「演習だから」といふ例外例を一切認めず徹底した實戰本位の演習だつた

會の發會式が九年三月廿一日東京神田學士會館で舉行され、會長に東大教授橋田成年博士が當選した

亞細亞飛行學校女子部 東京西崎の亞細亞飛行學校にある交流飛行家は女流航空界の世界的レツエルを日ざし、女子飛行部を新設、九年六月十四日開部式を挙げたが、同部教官は馬淵てふ子、松平きく子兩二等飛行士である

大阪防空飛行場完成 國粹大衆黨笹川總親と故藤本忠兵衛兩氏の首唱になる大阪府中河内郡唐津村の大坂防空飛行場はいよいよ完成、九年六月竣工式が行はれた

無着陸上昇飛行裝置 和歌山市外紀三井寺村西博久氏は昭和六年來苦心研究の結果、遂に「無着陸上昇飛行裝置」セツト・ブレインを發明、九年七月十三日東京浦田における同氏研究所上棟式後後機の第一回公開試験を行つたが非常な好成绩を得た

入江、西田兩氏殉職 九年七月廿日本社飛行士入江格治氏は本社一三式を操縦、機關士西田要三氏と同乗して羽田飛行場で試験飛行中墜落、入江氏は即死、西田氏も間もなく死亡した

なほ同乗してゐた三中学生中二名は即死および死亡、他は重傷を負つた、本社は右殉職した兩氏遺族に對し各一万円づつを贈つた

内台連絡準備飛行 台北、太刀洗内台連絡準備飛行は九年七月廿五日早朝、日本航空輸送會社新鋭機フォツカー3M機J-B E O G スズメ號(機長正操機士大森傳男氏以下四氏搭乗)によつて決行、全航程一、五七二キロを十時間卅五分で見事期成、復航は同廿日早朝台北發、十二時間五十二分で同日午後六時無事太刀洗に歸還した

木津川飛行場移轉問題 國際飛行場として幾多の缺陷をもつ木津川飛行場は東京、大阪間夜間定期郵便飛行開始前から問題となつてゐたが、九月一日西陸一氏が郵便機試験飛行中煙突にひつかつて墜落重傷するにおよび俄然交星會および航空聯盟の奮起となつて同飛行場移轉運動は白熱化した、さらに同月廿一日夜鶴原一等飛行士が木津川飛行場で煙霧のため着陸出来ず海中に墜落したため一時は夜間飛行中止説まで飛出したが、結局木津川飛行場の設備改善および急速に同飛行場移轉に努力することに決定して事件

は先づ落着した、その後同飛行場移轉先に關し大阪側は大和川尻、神戸側は阪神鳴尾を主張して譲らなかつたが九年八月十日遂に床次總相の裁断によつて大和川尻(基本飛行場)と決定、別に近郊に準備飛行場(未選定だが唐津が有力)を設置することに決定した

近畿大防空演習 わが國産業の心臓部京阪神を中心とし二府六縣下にわたる近畿大防空演習は第四、第九、第十、第十六各防衛司令部を主體として九月廿六日から同廿九日まで四日間行はれた、演習の目的は京阪神三都およびその附近要地の防衛に關し防衛部隊の訓練と關係官公署、諸團體および一般官民の防空に關する施設、訓練の向上をはかるにあつたが演習の中心地大阪市では十五區防護團および分團をあはせて一千、工場防護團だけで九百を數へ飛行演習の回數二千回、神戸市では八區防護團、四十四分團、工場防護團二百五十、世界的港都だけに水上防護團が特に力を入るなど從來の「演習だから」といふ例外例を一切認めず徹底した實戰本位の演習だつた

本社の日本一周日歸り飛行 わが國航空界の劃期的大壯舉として本社

海 外

バード少將南極探検 バード少將は旗船ルバート號に飛行機三台、オートジャイロを積載、一九三三年九月廿五日ポストン發、リッセル・アメリカに向つて第二次南極探検の途に上つた

英濠閩新記録 三三年十月四日早

世界長距離飛行表

朝英艦を出発したキングスフオードスミス氏は英海軍七日四時間四十分といふ驚異的新記録をもつて十一日ウイングム(南洋)に無事到着した

ロケットの發明者爆死 ロケット飛行機の發明で有名なドイツ人ライオンホルト・チリンド氏は三三年十月十一日、オスナブリュック近郊の實驗所で自作のロケット裝填中、ロケットが爆発惨死した

セツル少佐の上昇記録 三三年十一月廿日朝、米國オハイオ州アクロンから上昇して成層圏飛行を行ったセツル少佐の氣球は、廿一日午前十時テラウエア河口アロウエーに降下した、上昇記録は五万八千フィートである

世界一旅客機墜落 十六の客室と六十四の乗台、翼の中央部には百人を收容するサロンと食堂を有し、兩翼の展望室にはダンスホールもあるといふので露國が世界一を誇る旅客機「K7號」は、三三年十一月廿一日ハルコフ(ウクライナ)附近で試験飛行中墜落搭乗者十四名惨死した

滯空新記録 米國女流飛行家ヘンリツチおよびマリサイリ兩嬢は、空中給油滯空記録を目ざして三三年十二月

全兵隊の不利な条件下にある海軍機が墜落、ハワイ間二、〇九八マイルを僅か廿五時間中破したことは空界空前の新記録といはれてゐる

パリ、榮港間無着陸失敗 佛國飛行家モリス・ロワシーおよびポール・コドス兩氏はパリ、榮港間無着陸飛行を企て、三四年五月廿七日早朝パリを出発したが、廿八日朝大西洋を横断したのみでニューヨークに不時着した

英漢間競翔 ロンドン、メルボルン間大圏コースによる一、二九七マイルの長距離飛行、一万五千ポンド懸賞競争はいよゝ三四年秋行はれることになつたが、同年七月九日まで申込んだ参加飛行家國別は左表の通りでその中にはモリスン夫妻、キングスフオードスミス、ポスト、ゲツテイ、パングボーン等の世界的名飛行家がある

ケブナ少佐の上昇 成層圏上層新記録を目ざして、三四年七月廿八日

世界長距離飛行表

廿日以来マイアミ上空を飛行中であつたが、廿日午前十時降下、九日廿一時間五十分の女子滯空飛行新記録を樹立した

世界長距離飛行年次記録

Table with columns: 年, 月, 日, 操縦者, 航空路, 飛行距離. Contains various flight records from 1933 and 1934.

エツケナー外四十一名 ヴァン・リイヤ・ブラツク 東義作 ロンバルヂー 吉原清治 コスト及ベロント キンズ中佐 ヴィクター・ブルース夫人

メンスユ及ビュルタン ポスト及ゲツテイ アイミー・ジョンソン嬢 パングボーン及ハーランドン チチエスター リンドバグ大佐同夫人

マリーズイルツ嬢 プレームル大尉 バルボ外九五(二五機の内二三機成功) ポスト リンドバグ大佐同夫人

早朝、米國サウス・ダコタ州ブラツク・ヒルズから飛出したケブナ少佐、ア

民間飛行學校

同練習所其他

亞細亞航空學校、亞細亞航空機關學校
(校長飯沼金太郎)東京市杉並區宿町
二二三

各國民間飛行機數

Table with columns for country (e.g., 英國, 佛蘭西, 日本), aircraft count, and year. Includes a note about the survey date (昭和八年十月調).

本邦民間飛行機並乘員數

Table with columns for aircraft type (飛行機, 水上機, 航空機), number of aircraft, and number of pilots. Includes a note about the survey date (昭和八年十一月現在).

通信事業の發達

九年度から特別會計となつた通信事業は、今十ヶ年計畫の第一年(昭和九年度)を踏み出したばかり、躍進の第二年を迎へようとしてゐる、いふところの十ヶ年計畫とは

一、郵便事業

(一)郵便機關の増置擴張(維持費年額一千三百萬圓)無集配三等局設置一六〇〇局▲無集配二等局設置二〇〇局▲郵便取扱所設置一六〇〇局▲集配事務開始五〇〇局▲集配二等局設置二五局▲等級改定二四五局【請願施設】無集配三等局設置八〇〇局▲郵便取扱所設置二〇〇所▲取扱所昇格五〇〇局▲集配事務開始五〇〇局

二、電信事業

(一)電信施設の擴張改良(臨時費一千万圓、維持費年額百五十萬圓)▲電信事業開始一五〇〇局▲電信回線増設二〇七三三里▲無線電信施設三四局▲通信方式變更五四座▲局内裝

三、電話事業

(一)電話施設の擴張改良(臨時費三億三千四百萬圓、維持費年額二千八百萬圓)▲電話加入者増設四〇〇〇〇〇名▲交換方式變更▲市外線新増設六〇〇〇〇里▲通話事務開始二八〇〇〇局▲交換業務開始二三三〇〇局▲公衆電話設置四〇〇〇〇個

四、無線電送

無線電送寫真 昭和九年五月廿四日内台間のテスト成功によつていよいよ實用化されんとしてゐる、使用機はNE式電送寫真機で、昭和十年四月には營業開始の運びとなる豫定

通信事業の發達・ラヂオの革新

ラヂオの革新

事業開始後十周年を迎へた日本放送協會は定款の改正を機とし、本部側多年の宿案たる根本的組織の改革を行ひ、本部、支部の區別を廢し、各地方の理事會を解消し、全國の統制を期して中央集權的な組織となし、なほ放送内容に一新紀元を劃するため、新たに「放送

ラジオの革新

編成會」を新設し、主として全國中繼番組の編成に當らしめることとし、同時に昭和十年度より聴取料金を引下げ現在の七十五銭を五十銭とすることならびに國際放送の擴大、大電力局の新設を聲明した、果してこれで所期の成果を挙げ得るや否やは今後に俟たねばならぬ

それはとにかく、九年度はDG濱松、AG長崎二局の開局を見、聴取者數も百七十三万九千台を示して順調の前進を續けてゐる

國際放送は日獨交換放送をはじめマニラにおける極東選手權競技會場の中継および滿洲、京城、台灣等の定期連絡放送によつて威力を發揮した、また東京、大阪、名古屋の第二放送の教養放送は同年度に入つていよいよその本来の目的を達せんとし、一方慰安放送は放送文藝の募集、詩の朗誦、社會見學、浪曲の内容改善、創作落語、交響長唄樂、ラヂオオペラの新作等放送新種目の開拓に努めたこと

は、懸賞ドラマ作品の内容とその演出が初めて一般の支持を得たのと同時に過去十年間の收穫といふことが出来る、なほ大衆演藝が吉本興行部との提携によつてこの種のものの空疎であつた惱みから解放されたことは聴取者にとつても尠からぬ喜びであらう

主なる記録

八年九月 CG旭川放送局開局(四日)▲大毎主催西日本サイクルレース選手權大會(九、十日甲子園より)▲放送文藝當選發表の夕(浪花節、減法編八)木村重友、物語「公園裏に日の暮るゝころ」石野馬城、ドラマ「八百大安」友田恭助外(十七日)▲AG長崎放送局開局(二十日)▲彼岸會法要(二十日)各宗本山より▲久瀨宮、同妃兩殿下BK上本町放送所(台誌)二十四日

十月 冷泉流觀月歌會披露式(三日)▲中秋名月の夕(石山、銀座、函館大沼公園、宮城野原、姥捨山田毎、七尾城址、太宰府の各地より中継(四日)▲世界日報學校デパート兒童禮拜(十五日大阪南教會)▲大毎主催全國中等

二〇二

者「觀世左近、梅若万三郎、舞台劇」重盛陳言「中村歌右衛門、根本幸四郎外(二十九、三十、三十一日)▲奉祝國際放送(米、二十八、二十九、三十一日)▲除夜の鐘(三十一日京東山)

學校相模大會(二十一日堺大會場)▲陸軍特別大演習(二十四日福井市附近演習場)▲觀兵式御模倣(二十六日福井市演習場)▲名流演藝大會(長瀬、鶴の榮、芳村伊四郎外、常磐津、良寛と子守)常磐津松尾太夫外、長瀬、錦かつき、吉住小三郎外(二十六日東京歌舞伎座より)▲受刑者教化の爲のラヂオ聴取を許可(二十五日附)

十一月 日獨交換放送(十五日)▲マルコニー侯歡迎會(十七日東京會館)▲マルコニー侯夫妻奈良鹿寄賞(二十二日移動放送車初使用)▲BK管内聴取者五十万を越ゆ(二十八日)十二月 假名手本忠臣蔵を舞台劇美太夫二元放送等にて五日より十四日まで連夜放送、演出岡鬼太郎▲レビュ「花詩集」寶塚少女歌劇月組(十九日)▲放送文藝ドラマ、風景、新小唄懸賞募集發表(二十日)▲皇太子殿下御降臨ニユース(二十三日午前六・五八)▲皇太子殿下御誕生奉祝記念週刊——講演「赤子の歡喜」伯爵二荒芳徳、奉祝歌「皇太子殿下御誕生」局諸蓮山田耕隆曲、長瀬、吉住小三郎外、清元「山姥」清元延壽太夫外、奉祝陸海軍々樂隊合同大演奏會(日本青年館)諸曲「登

世界電話現勢(一九三三、一、一現在)

國名	官營	民營	計	世界人口百對電話數
合衆國	17,444,000	17,444,000	34,888,000	3.5
カナダ	1,057,000	1,057,000	2,114,000	1.2
メキシコ	6,577,000	6,577,000	13,154,000	0.3
アルゼンチン	3,833,000	3,833,000	7,666,000	0.2
ブラジル	700,000	700,000	1,400,000	0.05
チリ	44,000	44,000	88,000	0.01
オーストリア	2,944,000	2,944,000	5,888,000	0.3
ベルギー	2,944,000	2,944,000	5,888,000	0.3
デンマーク	2,944,000	2,944,000	5,888,000	0.3
フランス	1,512,000	1,512,000	3,024,000	0.1
ドイツ	2,944,000	2,944,000	5,888,000	0.3
英國及諸島	2,944,000	2,944,000	5,888,000	0.3
イタリア	2,944,000	2,944,000	5,888,000	0.3
印度	3,100,000	3,100,000	6,200,000	0.1
中華	3,100,000	3,100,000	6,200,000	0.1
日本	2,944,000	2,944,000	5,888,000	0.3
オーストラリア	4,000,000	4,000,000	8,000,000	0.1
南領東印度	4,000,000	4,000,000	8,000,000	0.1
ニュージーランド	1,512,000	1,512,000	3,024,000	0.1
フィリピン群島	2,944,000	2,944,000	5,888,000	0.3
世界總計	2,944,000	2,944,000	5,888,000	0.3

(備考) \*印は一九三二年六月三〇日、◎印は一九三三年三月三十一日現在、△印は西比利亞及其他の諸邦を含む蘇聯露西亞、○印は其の約五〇%は北米合衆國に屬する約三五〇万台の自動ダイヤル式電話機を含む

世界電話現勢

式開通記念放送(三日)▲作曲家別現代歌謡曲集(四日より毎日)▲紀元節奉祝對米交換放送(十一日)▲東都劇場新編長十四日より五回)▲全滿洲學生對同志社ラヂオ試合(十五日花園ラヂオ場より)▲社會見學(二十一日造幣局より)▲落語の夕(二十八日)三月 聖典講義「法句經」友松田師(一日より)▲滿洲國帝政奉祝記念放送(十一日)▲この花節「假名手本忠臣蔵」(十五日堀江演藝場より)▲函館大火によりVK局二晝夜放送不能に陥る(二十一日)▲連続ドラマ「富岡先生」井上正夫外(二十一日より)▲詩の朗誦「三木露風詩集」萩野綾子(二十七日)▲大毎主催第十一回全國選抜中等學校野球大會試合(二十八日より甲子園球場より)▲交響長唄樂、作曲山田耕隆(二十八日)四月 あしべ踊「近松花暦」(三日大阪歌舞伎座より)▲花の週間(三日より)▲書道講座(九日より)▲趣味講座「弘法大師の奇蹟」菊池寛(十一日)▲東をとり「のぼる太陽」(十一日新橋演舞場より)▲郷土舞踊と民謡(十二日)▲滿洲國熱河兒童代表歡迎會(十五日)▲皇后陛下行啓御前演奏會(二十

一日東京音楽學校より)▲靖國神社臨時大祭招魂式(二十五日現場より)▲挨拶「函館大火につき全國の皆様へ」函館市小學校兒童代表(三十日)五月 BK募集新入の夕(二日)▲新人洋樂コンサート(六日)▲浪花節「千代の盆」(七日北陽演藝場より)▲懸賞ドラマ「懸賞」友田恭助外(十一日)▲極東選手權競技大會(二十二日よりマニラ中継)▲三局合同少年少女の夕(二十二日)▲講演「日本放送協會組織變更について」岩原會長(十六日)▲國際講演の夕(山川彌夫、内ヶ崎作三郎、阿部房次郎(十八日)▲車折神社御船遊(二十日嵐山より)六月 極東選手權大會出場選手歸朝歡迎及び解散式(平洋丸船中及び神戸商工會議所より)▲新講義「東郷元帥と令夫人」伊藤振遊▲小島晴登賞(四日より五回信州戸隠山より)▲ドラマ「戦艦三笠」市川左團次外、講演「歴史上より見たる東郷元帥」徳富猪一郎(四日)▲東郷元帥國葬狀況(五日海軍省正門前及び日比谷公園より)▲座談會「大敵を語る」關一外(六日)▲東西寄席めぐり(七日東京上野鈴本席より、十日大阪南地花月より)

世界最大汽船・主要船舶所有者表

Table listing ship names, companies, and details. Includes '世界最大汽船表' and '主要船舶所有者表 (昭和七年)'.

主要船舶所有者表 (昭和七年)

Main table of ship owners with columns for ship name, company, and location. Includes entries like 'ホメリック', 'コロンプス', 'モウレタニア'.

新聞紙一覽

(東京市大阪府以外は主要なるものを掲ぐ、昭和九年八月調査)

Table listing newspapers, their publishers, and locations. Includes '東京日日新聞', '大阪毎日新聞', '朝日新聞'.

新聞紙一覽

新聞紙一覽

Table listing various newspapers such as 和歌山新報, 德島日日新聞, 香川新聞, etc., with columns for publication frequency (e.g., 朝夕), publisher names, and addresses.

二〇六

Table listing newspaper publishers and their addresses, including names like 高木常四郎, 仲道政治, 兒玉實良, etc., and their respective locations.

新聞紙一覽

Table listing various newspapers such as 和歌山新報, 德島日日新聞, 香川新聞, etc., with columns for publication frequency (e.g., 朝夕), publisher names, and addresses.

二〇七

Table listing newspaper publishers and their addresses, including names like 高木常四郎, 仲道政治, 兒玉實良, etc., and their respective locations.

主要通信社・廣告代理店

Table listing various newspapers and their agents. Columns include newspaper names (e.g., 大邸日報, 北鮮日報), agents (e.g., 河谷 静夫, 三上 新), and addresses (e.g., 大邸府東雲町二九七).

主要通信社、廣告代理店

Table listing communication companies and advertising agencies. Columns include company names (e.g., 瓜哇日報, 日布時事), agents (e.g., 齋藤 正男, 相賀安太郎), and addresses (e.g., 瓜哇, 日布).

社會防衛の進歩

松尾 信行

社會防衛の第一線に立つわが内地の警察官は六万四千を超過してゐる、そのうち六大都市を衛るものは東京一万三千、大阪六千、愛知二千六百、神奈川二千九百、兵庫三千四百、京都二千二百、警察官一人の受持は全國平均都市五百七十人、郡部一千六百人の割合である、警察官の總數においては、大正十四年五万八千、同十五年五万九千、昭和二年六万、同三年六万二千、同四、五、六年六万三千、同七年六万四千で、わが國十年間の人口増加率と比較して警察官の増加率は較べものならぬ程微々たるもので一警察官の責任負擔は年々ともに加重されてゐる。然るに犯罪檢舉状況についてみると

Table showing crime statistics. Columns: Year (大正十五年, 昭和二年), Category (殺人, 強盗, 窃盗), and Count (七十二万, 六十二万, etc.).

社會防衛の進歩

三年 八十萬 七十三萬
四年 九十萬 八十六萬
五年 百二十萬 百一十四萬
六年 百三十萬 百廿五萬
七年 百三十萬 百廿五萬
といふ状態で檢舉數は増加し、その檢舉率においては世界第一位を誇る優秀さである、その間の加重される警察官の負擔は物質的設備によつて補はれてゐる譯で、自動車、オートバイ、サイドカー合計千二百台、警察専用電話延長十五万、ラヂオ自動車五台(警視廳)大阪ではラヂオ設備準備中で、犯罪の科學的搜查機關たる鑑識課が東京、大阪、福岡の三ヶ所、大阪府の鑑識課の如きは指紋カード六十二万、手口カード廿八万、犯人寫眞六万、商標六万を揃へ、完備した化學研究室と四十余名の係官を有し、大阪を中心に京都、兵庫、香川、徳島兩縣の指紋手口を取扱ひ、昭和九年度地方長官會議で大坂府知事が持出した警察プロック論の見本をなしてゐる程で斷然犯罪防衛の進歩を誇つてゐる、從つて次に來る進歩は科學的鑑識設備の完備、犯罪科學研究所の設立と近代犯罪の増加、移動性、残忍性、手段の巧妙多様化、スピード化に備へるための地方刑事課の聯合即ち刑事警察プロックの方面にある。昭和九年五月警保局の抱く改善案をみると
一、内務省警保局内に刑事課を新設してその中央統制機關とする
一、現在各府縣の刑事課長は警視廳、神奈川、大阪、兵庫、福岡を除きいづれも警部であるのを全部警視とし内務省の統制下において人事の刷新円滑を期す
一、刑事課長たる警視には主として特別任用をもつて警部中の練達堪能の士を拔擢する
一、大阪、神戸、京都、名古屋、横濱などの大都市では東京の警視廳のごとく獨立的の統制機關を設く
一、制度の完備とともに警察電話、鑑識設備その他の充實をはかり、また警察官の人員増加を漸次實現せしめて勤務制度の改善をはかる

などがあげられてゐる
警察力と姉妹關係をなす有力な社會防衛力は防火力である
わが内地の防火力は現在六大都市の特設消防隊一六、九八〇人、ガソリンポンプ二五〇台、水管車四〇〇台、蒸氣ポンプ一〇台、報知機二、〇〇〇、その他の公設消防組一、〇九四組一、九九〇、〇三〇人、ポンプ六四、二八三台であり、最近の火災の状況を統計上からみると

Table showing fire statistics. Columns: Year (昭和三年, 四年, 五年, 六年, 七年), Category (出火度), and Count (二六三, 二七三, etc.).



を對象とした非常消防規定が作られるに至つた、しかも昭和九年春

火災警察は重大な國家の問題となり、耐火都市の建設まで論ぜられるに至つた、その第一案として防

火壁、耐火構造、防火地區を規定した市街地建築物法(大正八年制定)の六大都市以外への適用による防備と一定の道路の兩側のみの防火地區の擴大が論議され、都市建築協會などが生れて都市防火の研究に従事してゐる

非常事態に際しヘルム一つで警察署消防署に急報出来る非常報知機の設備をはじめようになり、九年四月廿五日からは本社ほか大阪市

社交、同業團體

華族會館(館長 徳川家達)東京市麹町區三年町一

内廿五會社銀行が共同で赤尾式非常火災併用報知機を設置した

斯ビル内

同野村三郎、同西川武敏、同菅野、同吉原政巳、同阪元兼一の十一名に對し

思想犯轉向時代

光行 香

わが國思想犯罪史上「エポック」を劃した第二次共産黨の頭目中央委員長佐野學、中央委員鍋山貞親の兩名が獄中環境の變化を來し昭和八年六月九日十項目に亘る思想轉向聲明書を、續いて同月十三日「共同被告に告ぐる書」を發表して

た、司法省行刑局の調査によれば昭和九年三月末日までに思想關係受刑者六三二名のうち、その數四八六名といふ多數に上り、その殆んど總てが轉向したといつて差支へない、これら轉向者の轉向動機は直接には肉親愛その他の家庭關係から、または獄中佛教に歸依したとか、自分の性格健康等の身上關係から運動に到底没入するとの出來ないを自覺したとか、河上博士の如く拘禁生活に堪へられずして轉向したとか等の諸動機を擧げると出来る、司法省行刑局の昭和九年三月末日までの統計によると(未決拘留者含まず)

て轉向したものが断然多いが、これらは總て直接に働かかけた動機を取上げたまでであつて、各個人についてみる時これらの諸動機が複合錯雜してをり、一々明白にこれを截別することは出來ないのである、然し乍らこれら殆んど總ての轉向者に共通な動機として見出すことの出來ない事實はその背後に滿洲事變以來の國民精神の勃興、強力政治の要求といつた時代思潮の流れが、意識的にせよ無意識的にせよ彼等に働かかけてゐたといふと、要するに昭和七年から九年にかけて左翼運動は一つの大きな轉換期に遭遇し、外觀上は全く消滅し去つたものといひうる

主なる犯罪

五・一五事件判決

【陸軍側】 八年九月十九日第一師團軍法會議法廷で陸軍側被告元士官候補生後藤映範、同中島忠秋、同藤原市之助、同八木春雄、同石關榮、同金清豊

主なる犯罪

五年神武會長大川馬明△同八年天行會長山崎三△同十年柴山熱浪本間憲一郎

救國玉挺身隊事件

八年十一月十三日埼玉縣警察部では熊谷市で同隊首謀者吉田豊隆ほか十五名を逮捕、同時に監視、東京憲兵隊においても関係者多数を召喚、埼玉縣特高課、浦和地方検事局、警視廳特高部、東京憲兵隊で連絡をとり取調べ中のところ自來五ヶ月、一味七名にかゝる元老、政黨總裁等の重臣暗殺計畫明白となり、九年三月廿一日同裁判所豫審終結と同時に記事差止め解除を見に

第二次東京市會選獄判決

瓦斯報復契約問題をはじめ市會議長選舉、市營東部墓地買収、市長選舉等をめぐつて繰りひろげられた第二次東京市會選獄事件は八年六月廿六日以來東京地方裁判所で審理中のところ九年四月十一日判決言渡しがあつた、そのうち主なるもの左の如し

懲役六月(執行猶豫三年)元東京瓦斯常務代議士鈴木寅彦▲無罪元貴族院議員貞田龜造▲懲役十月追徴金一七〇〇〇元東京市第一助役白上佑吉▲懲役一年二月追徴金六五〇〇〇円前市

主なる犯罪

議大神田軍治▲懲役三月(執行猶豫三年)元市保健局長石橋政治▲懲役三月(執行猶豫三年)元市第三助役十時幹▲同四月追徴金一五〇〇〇円前市議代議士高橋義次▲同四月追徴金五〇〇〇円國枝檢次郎

長崎縣大學位獄事件

長崎地方裁判所では八年十二月十二日長崎縣大教授勝矢信司博士を引致、起訴前の強制處分に附したのを手始めとして同大學産婦人科副手富井虎吉、佐世保市開業醫品川三郎、熊本縣植木町開業醫寺尾敏行、鹿兒島市開業醫柴下靜雄、廣島縣東城町開業醫増原由一、徳島市開業醫山本千住の諸博士を續々召喚起訴したが、事件は同大學における學位授與に絡み多年にわたつて行はれた贈賄賄瀆に關するもので、同裁判所ではその後各被告につき詳細取調べ審理の結果、九年七月廿七日被告七博士に對しそれ／＼次のやうに判決を言渡した

懲役八月(執行猶豫二年)追徴金一三〇〇〇元岡勝矢信司▲罰金五十円富井虎吉▲同八十円品川三郎、山本千住▲同百円増原由一、寺尾敏行▲無罪柴下靜雄

大藏省疑獄事件

台灣銀行所有の帝國人控額系株ならびに神戸製鋼所株の肩替り問題はかねて疑獄の中心となり、第六十五議會でも細紀問題に絡んで論議されたが、台銀重役と審判會方面との間に不正事實があるとして東京麹町區土手三番町の大日本國粹氏黨黨執行委員長蓮井權太郎氏ほか二名から台銀頭取島田茂、帝人社長高木復亨、同常務岡崎旭、同専務水田與、同取締役永野謙、同監査役河合良成、元社長佐藤法淵、元取締役内海壽太郎の諸氏を背任僑領商法違反の罪名で告發して來たので、東京地方検事局では慎重内偵の結果、九年四月五日には東京、大阪相呼應して台銀、帝人などの大々的宅宅捜索を行ひ會計帳簿株主名簿その他證據書類を提出させ調査研究の結果背任の事實を認め、こゝに高木帝人社長、岡崎同常務を手始めに審判會員たる永野帝人取締役、河合同監査役、島田台銀頭取、同理事柳田直吉、同整理課長越藤恒吉、山叶株式取引店取締役長崎英造、富國徵兵保險支配人小林中等の諸氏を背任罪として正式に起訴追窮、つひに大藏次官黒田英雄氏の收賄嫌疑を確むるに至り、五

赤色リンチ事件

八年十二月廿一日東京赤坂區台町田中工大助手方の共產黨秘密印刷所でリンチを受け、將に被害されんとした黨中央印刷局員大串雅美が辛くも毒手から脱出自首して出たことから、秋並正之助、逸見重雄らの中傷人物が黨内のインテリ、労働者の對立問題と當局の彈壓に疑心暗鬼を生じ非常手段として赤色リンチを行つてゐるとが暴露したので警視廳特高課では極秘裡に内偵中、九年一月十五日夜畿谷區轄ケ谷本町、目黒區下目黒町における黨員小畑達夫の殺害と、同大泉兼蔵ならびに同人のハウスキーパー熊澤光子の傷害監禁といふ懸案すべき事件が発覺、當局では俄然緊張しリンチ決行關係者は勿論黨再建運動の全體に檢察の大鐵槌を下したがたゞ、事件進行中宮本兼蔵のため難町警を襲撃せんとする赤色テロの陰謀も發覺したので同一月廿一日新聞紙掲載を禁止し全面的な檢察を斷行、同五月廿二日報道禁止を解除した、檢察開

長野縣教員赤化事件

始以來五月十日までの檢舉總數七三六(うち女三六)の多數にのぼつた同縣下における治罪法違反事件は八年二月四日一齊檢舉以來七ヶ月余にわたる、檢舉取調べを受けたもの總數六百余名におよび、黨員二七、共青メンバ一四三を數へ、送局されたもの二二六起訴收容されたもの七七に及んだ、事件は多數小學校教員(關係教員二〇八關係學校六五、送局者八一、起訴者二九)が全協一般使用人組合教育對策部長野支部及び新興教育同盟準備會長野支部を組織し、農村の不況に乗じて農民赤化及び純真無垢な小學兒童へのナチ・フロ教育によつて深刻に働きかけてゐたものであつたため全國未曾有の事件として議會の問題とまでなつたが長野地方裁判所では八年九月十五日取調べの一段落とともに報道の禁止を解除し、引續き審理中のところ九年七月廿三日關係教員廿名に對してはそれぞれ四年乃至一年の懲役刑を言渡した

第二次共產黨控訴判決

同黨轉向派佐野學以下五名にかゝる控訴審は非轉向派から分離して九年三月

主なる犯罪

廿一日以來東京控訴院で審理中のところ、同五月十一日佐野學、鍋山貞親、三田村四郎に對して各懲役十五年、高橋貞樹同九年、杉浦啓一同八年の判決言渡しがあつた、また非轉向派福本和夫に對する控訴判決は同五月廿五日懲役十年、市川ら四名に對しては同六月八日市川正一無期、國領伍一郎懲役十五年、徳田球一、志賀義雄各同十年の控訴判決の言渡しがあつた

國際密輸魔事件

大阪地方検事局では九年三月一日以來尼崎方面から美しいダンサーを續々召喚、京都東山會館ダンス場出資關係にからまる大會迫事件の中心人物尼崎ダンス・パレス出資者大竹新藏につき調査中、はしなくも同人がモルヒネ、拳銃等數百万円の密輸犯人として同檢事局で過去三年間嚴探中の本名淺井千之助といふ怪人物なることが判明したので、さらに追窮の結果同四月三日阪神沿線御影町でこれを逮捕取調べたところ、罪状すべて明白となつた、よつて十八日麻薬取締規則ならびに關稅法違反として起訴、大阪地方裁判所の豫審に附したが、同裁判所では審理の結果七月十七日懲役三月(未決四十日通算)

受刑者名別 (昭和九年五月末日現在)

Table with columns for crime types (e.g., 監獄, 刑務, 懲役), gender (男, 女), and counts. Includes a sub-table for '受刑者名別' with categories like 罰金, 監獄, 刑務, etc.

少年審判所其他

選舉法	三
新聞紙法及出版法	一
治安警察法	一
治安維持法	一
暴力行為等取締法	一
結核病取締法	一
銃砲火藥類取締規則	一
警察犯處罰令	一
警察官令及警察令	一
其他	一
計	一
總計	一

少年審判所

【官制】

第一條 東京市、大阪市および名古屋市中に少年審判所を設置す  
東京少年審判所は東京府および神奈川県を、大阪少年審判所は大阪府、京都府および兵庫県を、名古屋少年審判所は愛知県、三重県および岐阜県を管轄す

第二條 少年審判所には通じて左の職員を置く、少年審判官、専任、十人  
兼任少年保護司、専任、二十人、判任（内十人を兼任と爲すことを得）書記、専任、十人、判任

第三條 少年法第二十三條の規定に依り少年保護司を嘱託せられたる者は委任官の待遇と爲すことを得

附則

本令は大正十二年一月一日よりこれを施行す

【參照】

大正十一年四月十七日公布法律第四十二號少年法抄録  
第二十三條 少年保護司は少年審判官を補佐して審判の資料を供し觀察事務を掌る  
少年保護司は少年の保護又は教育に經驗を有する者其の他適當なる者に對し司法大臣之を嘱託することを得

少年審判所員數及定員

（昭和九年二月一日現在）

【簡數】少年審判所三【定員】少年審判官一〇少年保護司二〇書記一七職員一合計五八

少年審判所取扱事件

（昭和七年）

受理事件一男一三、四〇二、女一、一五四、終結事件一審判不開始男八、四七八、女六七〇、訓誨男三〇一、女二〇、書面警約一男八一、女一一、保護者に引渡一男二、〇八四、女二六八、保護團體等に委託一男一、〇三五、女六六、少年保護司の觀察一男九六九、女七六六矯正院送致一男七三、檢事に送致男一、他の審判所に送致一男一七、女一

合計男一三、〇三九、女一、一一二

矯正院

【官制】

第一條 矯正院には通じて左の職員を置く、院長教官、専任、二十三人、判任（内十一人を兼任と爲すことを得）警官、専任、三人、兼任書記、専任八人、判任  
前項職員の外補導を置く判任官の待遇とす

第二條 院長は委任官たる教官を以て之に充つ司法大臣の命を承け院務を掌理し所部の職員を監督す

第三條 院長事故あるときは上席の教官其の職務を代理す

第四條 教官は在院者の矯正を掌る

第五條 警官は在院者の衛生及診療を掌る

第六條 書記は上司の指揮を承け庶務に従事す

第七條 補導は教官又は警官の職務を助く其の定員は司法大臣之を定む

第八條 矯正院の位置及名稱は司法大臣之を定む

附則

本令は大正十二年一月一日より之を施行す

矯正院員數及定員

（九年一月一日現在）

少年院三、教官三三、書記八、補導三四、職員六、合計七四  
矯正院保護少年  
（昭和七年）  
受理人員一、一七二、出院九二七（内）  
退院七一、假退院六三、處分の取消受  
更七三〇、逃亡五四、轉院二、其他七  
刑務所

（昭和八年十月一日現在）

刑務所五二、支所一〇三、合計一五五  
（備考刑務所中には少年刑務所九箇を含む）【定員】典獄四三典獄補三四看守長四七九通譯四保健技師九三保健技師三七藥劑師一〇教諭師一三七教師三七作業技師一九作業技師四〇五看守六、五〇九職員六二七合計八、四三四

天恩優渥

畏きあたりでは國民に不慮の災禍あることに御救濟の思召から、又當時社會事業御獎勵に大御心を注がせらるゝところから昭和八年下半期から九年上半年にかけてもしばしば賜金の御沙汰を拜したことば國民の齊しく感激に堪へざるところである、即ち八年六月より七月初旬に亘り朝鮮京畿道以南に暴風雨あり、被害甚大なるを聞き召され、七月十五日御救濟の思召をもつて金三千円を下賜遊ばされ、また七月二十五日以来の全羅南北、慶尚南北の四道、八月三日以来の南鮮各地方及び江原、咸鏡南道の暴風被害に對しても九月二十八日金二万五千円を下賜あらせられた、更に同年十月二十六日屋島丸遭難者遺族御救濟の思召により金一封を下賜あらせられ、同十一月一日熊本縣三角港沖合における雲仙閣遊船第二幸運丸の慘事に對しても十二月金一封下賜あらせられた

天恩優渥

同九月支那東海方面に出漁中の漁船が遭難し多數の行方不明者を出したるに對しても十一月十四日御救濟の思召から金一封を下賜あらせられた、次で十月中旬の鹿兒島、愛媛、大分三縣下の暴風雨被害からざるを聞き召され、各縣下へ下賜金の御沙汰あり、九年一月八日京都驛の大慘事を聞き召され遭難者御救濟金として金一封を下賜あらせられ、同三月二十一日附館市大火の際には二十四日御救濟の思召をもつて御内帑金を下賜あらせられた

社會事業御獎勵

八年十一月十日國民精神作興詔書發後十周年記念にあたり、優良なる十七社會教化事業團體に對し、社會教育御獎勵の思召をもつて金二十万円下賜あり、同十一月十三日には米國桑港の日本人救世軍社會事業館改築の趣を聞き召され金一封下賜あらせられた、さらに十二月六日、年末に際し東京府下細民の窮狀を御檢査遊ばされ、これが救濟の資と

して金二万円を東京府知事に下賜遊ばされ、また同月二十二日には内地および植民地の生活窮迫者救濟に當る二十四優良私設社會事業團體に對し、事業御助成の有難き思召からそれ〴〵金一封下賜あらせられた、九年一月二十二日には貧困者救濟の思召から繼續下賜金として内務省に百二十万円、拓務省に十万円、學術振興の思召から文部省に三十万円をそれ〴〵賜はり、同二月十一日紀元の佳節に當つては、皇太子殿下御誕生の御喜びを頒たせらるゝ爲め詔書を發して恩赦を行はせたまひ、なほ同日全國優良社會事業團體に對し事業御獎勵の思召で金一封宛下賜あらせられ、同二十三日には全國兒童ならびに母性に對する教化及養護施設の補助として金七十五万円を下賜あり、四月二十九日天長節の佳節に際しては在外邦人の經營にかかる優良社會事業團體に對し、事業御補助の思召をもつて御内帑金一封を下賜、六月十八日には在

外邦人社會事業御獎勵の思召をもつてカナダ日本人會に金一封を下賜あらせられた

皇后陛下の御仁慈

皇后陛下には、八年十二月五日例年の如く赤十字社、恩賜濟生會、芝濟生會を初め地方病院、療養所に對し温服ならびに裁縫料を下賜あらせられ、また十二月中旬行はれた各公私團體の歳末無料診療事業助成として同月六日金一万円を下賜、なほ九年四月十二日附館大火の罹災老幼者に對し白綿ネルを下賜あらせられた

皇太后陛下の御下賜

皇太后陛下には難患者御救助の思召から全國療養所へ年々御手許金を下賜あらせられてゐるが、八年十二月十日、各地の私立、官立療養所にそれ〴〵下賜金の御沙汰あり、同月十六日陸軍救護の思召から陸海軍ならびに内務省管下に金一封を下賜あらせられた

有栖川宮厚生資金 高松宮

殿下には豊漁山村振興の畏き思召をもつて「有栖川宮記念厚生資金」を御設定、毎年社会事業團體に對し表彰、助成、奨励の三種に分つて御積立金の中から下賜あらせられてゐるが、昭和九年度においても下賜あらせられた

### 最近の社會施設

#### 結核豫防相談所擴充

八月七月十一日開會の健康衛生調査會特別委員會において、結核豫防施設の基礎をなすべき結核豫防相談所を擴充することに決定、向後十年間を期して六大都市にあつては凡そ一區に一相談所、その他の都市においては各市に一相談所を置き、市以外の地域には人口十萬に對して一相談所を配置することになつた

#### 職業紹介事業協會設立

職業紹介事業の有機的連絡を計るため、八月七月十四日の地方職業紹介事務局長會議の決議に基づき常設的な連絡機關として中央職業紹介事務局内に全國的組織として職業紹介事業協會が創立された

#### 牛乳營業取締規則

八月九月十日開かれた保健衛生調査會特別委員會の答申案に基づき制定された牛乳營業取締規則の要旨左の如し

牛乳營業の物的設備に對する取締上の主眼を採取營業より處理營業に移すこと、牛乳を品質に依り特別牛乳及び其他の牛乳に区分し、特別牛乳に關しては特に嚴格な取締を加へ、育兒其他の消費者の利便に資するに兒童虐待防止法 兒童虐待防止法は八月十一日より施行する旨公布同時に同法に依り禁止又は制限し得る業務及び行為の種類を左の通り指定された

(一)不具畸形を觀覽に供する行為 (二)乞食 (三)輕業、曲馬其他危險なる業務にして公衆の娛樂を目的とするもの (四)戸々に置き又道路に於て歌謡、遊藝其他の演技を行ふ業務 (六)藝妓、酌婦、女給其他酒間の斡旋を爲す業務

#### 私立癲癩養育所助成

内務省では九月三月十一日例の如く私立癲癩養育所助成のため、全國各癲癩養育所に對し補助金を交付し收容人員の増加設備の完成および警察の十全を計らしむるよう衛生局長より關係府縣知事に通達した

#### 社會事業關係法律

第六十五議

會を通過した社會事業關係法律左の如し

一、健康保險法改正(同法第十四條に依つて任意包括被保險者となり得る者の中、工場法及び鑛業法等の適用を受けざる工場及び各事業に使用せられる労働者をも強制被保險者とする)

一、廢兵院法改正(同法は傷兵軍人の貧困救済を主たる目的としてゐるがこれを改めて、廢兵院は戰傷又は公務に因り傷疾を受け、又は疾病に罹つた者の中、精神又は身體に著しい障礙があり特に收容保護を爲す必要ある者を入院せしむることとし、廢兵院をして不自由な境遇にある傷兵軍人に對する特別の施設たらしむることとなし、又廢兵院なる名稱を傷兵院と改稱す)

#### 傷兵軍人入所問題

傷兵軍人に對して下付されてゐる鐵道省發行のパスは從來重傷者のみ限られてゐたが陸海軍及び鐵道各當局間の協議の結果、九月四月一日より輕傷者にも無賃乗車證を二年間交付し、極輕傷な人人には五割引の乗車賃割引證が交付されることとなり、長い間の問題だつた

### 地方の諸施設

#### 結核癲癩養育所の設置

東京府では八年度において放送局納入金をもつて府立清瀬病院に隣接した一万五千坪の地を買収し、總經費八万一千五百圓で東京府結核癲癩養育所を設置、また廣島市では大正八年に設置命令を受けたま、十余年間放置してあつた廣島結核癲癩養育所を七年秋工事着手し八年九月一部完成した

#### 癲癩兒童保育所

全國に散在する一万四千名にあまる癲癩患者は統計上年々減少の傾向を示してゐるが極めて僅少で十年間に約二千名といふ嘆かましい現状なので、この業務からいいたいけな兒童を隔離すべく癲癩防協會では昭和八年度の事業として經費二万一千圓を以て草津國立癲癩養育所内に癲癩兒童保育所および小學校を建設

#### 今治市立救護院落成

同市出身馬越文太郎氏の寄附金で設置の今治救護院は八月九月中旬完成、開院した

#### 北海運送産場後援會

刑余者保護事業の遂行を期すべく木下三四彦、

該パス問題も解決した

#### 全國方面委員大會

全國三千の方面委員大會は全日本方面委員聯盟主催のもとに八月十九日より三日間、大阪府で開會、丹羽社會局長官、縣大府府知事、關大府市長等臨席の外主催者御より清浦會長、大久保、林兩副會長が出席した

#### 栃木縣職業紹介事業協會

栃木縣では八月十日栃木縣職業紹介事業協會を設立、會長に學務部長菊地角馬氏が就任した

#### 東京市各區に社會課

東京市では八月十一月全市卅五區役所に社會課を新設し、事務の放活と控制を計ることになつた

#### 三河島不良住宅地區改良

東京三河島町は細民四千居住してゐたが、八月十一月鐵筋コンクリートの三階建六棟のアパート完成、同五日落成披露式を行つた

#### 大阪弘濟會コロニー

貧しい者獨めるもの、樂土財團法人弘濟會コロニーは大阪府三島郡山田村に建設中であつたが、第一期工事完了し、九年三

### 民間の社會事業

#### 月十七日同會創立二十周年記念式に兼ねて山田事業所開所式を行つた

收容人員約千五百名の大規模なものである

#### 乳幼児愛護週間

九年五月二日から「強く正しく愛らしく」をモットーに第八回乳幼児愛護週間が全國的に行はれ、同五日を皇太子殿下初御節向奉祝日と定め、各府縣の社會事業團體、女學校、小學校、婦人會、母の會、女子青年團、工場等で乳幼児愛護思想普及の講演會が催された

#### 兒童擁護會の設立

八月五月東京市に兒童擁護會が設立され、十月六日愛知支部の發會式を名古屋市中で舉行十月二十二日には大阪府兒童擁護會が大阪府に設立され、兒童擁護會長櫻井重遠氏が出席した、なほ兒童擁護會は十月四日神田區須田町二丁目七番地社會事業會館内に居を移し、同時に收容所を開設した

### 民間の社會事業

#### 大里育成會

大里兵藏氏の美譽に基き貧困小學兒童に温い保護の手をさし伸べるため、時事新報社に本部を設けて創立された財團法人大里兒童育成會では第一段の事業として大東京市内

#### の飲食兒童救済に乗り出すことになり

八月十月十六日より先づ荒川區内二十一校千三百人の飲食兒童に對し温い食事をもちつて飢に泣く可憐な兒童の食糧を賑はした、なほ同會では給食配給網を順次に擴張してゐる

#### 愛國恤兵會の事業

全國民から附られた滿洲派遣軍慰問金を基金として陸軍省内に新設された財團法人愛國恤兵會は八月二十一日から事業を開始した、陸軍省人事局では第一期事業の計畫を練つてゐたが折しも歳末にあたる所から今度の事業で負傷した貧しい全國の傷兵軍人のために無利息で三ヶ月分の生活費を貸與し、この支拂は將來戦傷兵が増加恩給又は傷病賜金を受けた際に恤兵會へ返還すればよいととした、なほ陸軍省局の斡旋により戦傷兵の子弟で優秀なるものに對し學費を支給して勉學させる外、國有鐵道無料の特典を與へ、東京見物其他の要件で上京する傷兵のため百名を收容し得る寮舎を世田谷區和田堀へ新築した

#### 私設社會事業家大會

東京日日新聞社社會事業部をはじめ全日本私設社會事業家第二回大會は九年一月廿日午前九時から明治神宮外苑日本青年館

で開催、現下の社會事業に關する緊急問題促進運動について協議した

#### 軍事後援團體の雜誌發行

報効會、義濟會、帝國軍人後援會、帝國恤兵會、國防婦人會、帝國婦人會など六軍事後援團體、共同經營のもとに滿洲事變犠牲者の慰安と思想指導を兼ねて雜誌を發行することになり、男子向の題名は「大義」、女子向は「日本婦人」の二種とし、九年三月一日創刊號四万部を印刷し、全國の傷兵軍人や戦死者遺族の家庭へ發送した

#### 三井報恩會の設立

三井家が資産三千万圓を提供し、公益事業の進歩に寄與する目的で計畫中の財團法人三井報恩會は九年四月四日設立認可を得たので、評議員を正式決定すると同時に第一回評議員會を招集し理事及び監事を選任した

#### 大阪毎日社會事業部

八年十一月従来の「大阪毎日新聞慈善團」の名稱を改めた大阪社會事業部では八月六月以降一ヶ年間に大阪および名古屋等に於いて巡回病院を開くこと百廿五回、救療人員四万五千五百人を算へた外、九年四月四日から五日間、滿洲農地を巡回して無料診療、投薬および種痘

社會事業團體

を行ひ、救療人員約一万人、投薬數十万余の多きに達した、また貧困妊婦に對する無料助産取扱は約六百件に上つた、なほ皇太子殿下御誕生記念のため九年六月、東大阪府御野に大毎母子善隣館を新築、母子診察、同健康相談、コドモセツルメント、婦人セツルメント、保育學園等を開設したが、この外三千人の赤ちゃんの健康診査會をはじめ巡回兒童健康相談、展覽會、コドモキヤンプ、吃音矯正講習その他兒童および母性保護事業に力を注ぐところがあつた

東京日日社會事業團

東日社會事業團は八年八月十五日より卅一日にかけて東京市内各河川支流の繁船地等を巡回訪問し水上生活者の診察、健康相談を行つた、又同年十月十日から荒川區南千住橋保館内に診察所を開設總數二千三百八十三名の患者を診察した

社會事業團體

中央社會事業協會(會長清浦奎吾)東京市麹町區大手町一ノ七、全日本私設社會事業聯盟(理事長丸山鶴吉)東京市麹町區内山下町二ノ一、市政會館五階、近畿私設社會事業聯合會(理事長未定)大阪毎日新聞社會事業部、東日本私設

社會事業聯盟(委員長宇山繁)東京市下谷區山伏町四東京私設社會事業聯盟内、西日本私設社會事業聯盟(理事長佐々木新俊)長崎市銅座町三二、東京府社會事業協會(理事長長谷川昌康)東京市丸ノ内三ノ一、東京私設社會事業聯盟(理事長橋本勝太郎)東京市下谷區山伏町四、大阪社會事業聯盟(理事長長谷川忍)大阪府東區大塚町三、大阪社會事業協會(會長柴田善三郎)大阪市中之島朝日ビル、日本社會事業學會(常務理事小澤一)東京市丸ノ内東京府社會事業協會内、弘濟會(會長上山善治)大阪市中之島大阪府役所内、衛生會(會長德川家達)東京市芝區赤羽町一、同濟會(會長後藤文夫)東京市麹町區内幸町三ノ三、慶福會(會長清浦奎吾)東京市麹町區大手町一ノ七、福田會(理事長山田英夫)東京市澁谷區宮代町一、東京慈善會(會長德川家達)東京市芝區愛宕町二ノ一〇五、原田積善會(理事久田益太郎)東京市麻布區市兵衛町二ノ八九、服部報公會(理事長櫻井錠二)東京市本所區太平町四ノ二、森村豊明會(會長森村市左衛門)東京市日本橋區通一ノ七、安田修徳會(常務理事赤司龍一郎)東京市麹町區大手町

一ノ六、佛教廣濟會(會長今井鐵城)東京市本郷區本郷六ノ六、築地本願寺社會部(代表後藤環樹)東京市京橋區築地三ノ一、日本生命濟生會(理事長長弘世助太郎)大阪府西區立賣堀南通四ノ三、大阪毎日新聞社會事業部(理事長長島村信太郎)大阪府北區堂島上二、東京日日新聞社會事業團(理事長高石眞五郎)東京市麹町區有樂町一ノ一、朝日新聞社會事業團(理事長上野精一)大阪府北區中之島三、帝國公道會(幹事松本幸)東京市芝區白金三光町二七六、大阪府公道會(會長野忍)大阪府東區大塚町三、義濟會(會長大島健一)東京市牛込區原町三ノ八、愛清館(館長エー・アール)東京市東區龜戸町二ノ四七、敬福會(理事長松下吉衛)東京市本郷區林町二ノ七八、大阪聖約翰學園(園長古田誠一郎)大阪府天王寺區細工谷、裕風會(常務理事福原誠三郎)東京市杉並區上高井戸三ノ八四八、啓成社(專務理事今宿次雄)東京市豊島區島崎六ノ一二七五、泉橋慈濟病院(院長島崎順次郎)東京市神田區和泉町一、自立會(會長大谷登瀛)東京市小石川區大塚坂下町七四、養育會(理事長藤田逸男)東京市本所區太平町三ノ一

九、和光教團(理事萩野順孝)京府觀水洞一〇二、日蓮宗慈濟會(常務理事本良英龍)東京市荒川區日暮里町六、三四八、淨土宗労働共濟會(會長本多淨藏)東京市深川區平野町一、光徳寺善隣館(館長佐伯祐正)大阪府東區中津濱通一ノ七二、輔成會(會長鈴木喜三郎)東京市麹町區三番町七ノ一二、東京控訴院管内司法保護事業研究會(會長光行次郎)東京市麹町區三番町輔成會内、大阪府聯合保護會(會長杉野喜祐)堺市田出井町大阪府刑務所内、大阪控訴院管内司法保護事業研究會(會長吉益俊次)堺市田出井町大阪府刑務所内、全日本方面委員聯盟(會長清浦奎吾)東京市麹町區大手町一ノ七、大阪府方面委員後援會(理事長野忍)大阪府東區大塚町内、東京保護會(理事長原風昭)東京市神田區須田町二ノ七、博愛社(理事小橋勝野)大阪府東區川區元今里北通二、聖ヒルガ搖光ホーム(代表シスタースベリア)東京市芝區白金三光町三五八、四寶島セツルメント(理事長賀川豊彦)大阪府此花區四貫島大通三ノ七、淀川善隣館(館長エス・エフ・モラン)大阪府東區淀川區本庄中通一ノ三三、東京帝國大學セツルメント(代表末弘殿太郎)東京市本郷區廣

川橋四ノ七六、廣江善隣館(館長三上孝基)東京市深川區廣江町九一、石井記念愛染園(常務理事宮田繁吉)大阪府天王寺區北日東町一、大阪自強會(理事長杉本又三郎)大阪市西區西今船町五、大阪労働共濟館(館長八瀨徳三郎)大阪市港區泉屋敷二ノ一八、大阪婦人ホーム(理事長林歌子)大阪府北區中之島六、東京婦人ホーム(代表小崎千代)東京市淀橋區百人町三五六、少年保護婦人協會(會長本野久子)東京市麻布區斧町一四一、大日本職業指導協會(理事長栗屋謙)東京市麹町區文部省内東京育成園(理事北川波津東)京市世田谷區上馬町一ノ七五四、東京親善館(理事長田川大吉郎)東京市牛込區市谷谷町二、大塚養老院(院長岩田辰次郎)大阪府住吉區旭町三ノ二四、日本少年保護協會(會長長嶋積重)東京市神田區須田町二ノ七二、養育園(園長野口尚香)東京市四谷區元町六六、日本少年指導會(會長橋本龍太郎)東京市杉並區和田町八七二、帝國陸軍聯合會(會長谷田志生)東京市本郷區菊坂町七〇、慶兵院(院長原田武)東京市豊島區里鴨六ノ一二七、帝國水難救濟會(會長松平頼志)東京市深川區佐賀町一ノ一

學校卒業生就職狀況

Table with columns for graduation year (昭和八年), school type (大學, 專門學校, 女子專門學校), and employment status (就職決定數, 自營, 上級學校入學, 未就職). It includes a section for '卒業生の就職先調査' with various industry categories like 銀行, 信託會社, 保險會社, etc.

Table titled '各國民間飛行機操縱士數' (Number of Civil Aircraft Pilots by Nationality) for the month of October 1919. It lists nationalities such as 英國, 佛蘭西, 美國, etc., along with the number of pilots and a summary of the total.

# 労働界の傾向

わが國の労働運動戦線は昭和七年に起つた混亂状態を清算して左右兩陣營の對立となつた、即ち八年中に日本海員組合、日本労働同盟、全國労働組合同盟、官業労働同盟、日本港灣従業員組合、日本労働組合總聯合、日本労働總聯盟、海員協會、日本製鐵従業員組合、東電従業員組合、東京瓦斯産業労働組合の十一組合がいはゆる労働組合主義を確立して日本労働組合同盟を結成したのに對し同組合同盟を右翼の結成なりとしてこれを排撃し來つた日本労働組合總評議會、全勞統一全國會議、東京交通労働組合、東京市従業員組合、全國労働組合自由聯合會等が左翼組合の戰線統一を行ひ同年五月關東労働組合會議を結成、前記日本労働組合同盟に對立することとなつた、このほか國家社會主義の下に日本労働同盟、選友同志會

が生れ、さらに内部的に日本主義的主張をなすものによつて日本産業軍、日本選信従業員組合が創立され、また日本労働組合會議を脱退した日本造船労働總聯盟は日本主義労働運動の旗幟を掲げて九組合を糾合し、八年六月日本産業労働クラブを結成した、かくの如く労働運動陣營は劇然として區別されたとはいへ、昭和七年から八年にかけての戦線混亂時代の影響と新生組合の動搖により労働組合の組織数は依然として沈滞の余儀なきに至らしめた

労働組合數 即ち内務省社會局の調査によれば昭和八年末労働者總數五、一二六、七一九人(内女一、五三三、八二〇人)に對し組合員數は三八四、六一三人(内女二一、五二三人)で總労働者數に對する組織比率は七・五%に過ぎず、七年末より〇・三%の減少である、種別的にこれを分類すれば

種別	昭和八年末	昭和七年末
總數	三八四、六一三	三九一、九七三
組合員數	三八四、六一三	三九一、九七三
組合員數に對する比率	七・五%	七・四%
運輸交通	五、二七九	五、二七九
機械器具	三、〇七三	三、〇七三
化學	一、九八七	一、九八七
染織	一、九八七	一、九八七
飲食	一、九八七	一、九八七
雜工業	一、九八七	一、九八七
瓦斯電氣	一、九八七	一、九八七
運輸交通	一、九八七	一、九八七
通信	一、九八七	一、九八七
土木建築	一、九八七	一、九八七
その他	一、九八七	一、九八七

二二〇

いて後退し、化學、飲食物、運輸交通、土木建築など財界の影響を受けて比較的動搖の激しかった方面において進出を見てゐることが判る

争議件數 而して對資本家の争議戦線はどうであつたかといふに近時著しく賃銀増加の要求が増加し、總件數の約三三%を占め、その反面賃銀減額反對、解雇反對、退職手當の確立や増額、解雇反對、休業反對等の如き消極的諸要求が減少してゐる、左に要求事項別争議件數を示せば

要求事項別	争議件數	前年との比較
賃銀増額	五七	増一五
賃銀減額反對	三	減一五
賃銀算定支給方法變更又は反對	三	増二
労働時間短縮	三	増六
公休日の設定	四	増一
作業方法規則の變更又は反對	六	増四
組合の自由又は確認	六	増四
労働委員會議設置又は組織權限變更	一	〇
工場設備その他福利増進の施設	一	〇

種別	昭和八年末	昭和七年末
總數	三八四、六一三	三九一、九七三
組合員數	三八四、六一三	三九一、九七三
組合員數に對する比率	七・五%	七・四%
運輸交通	五、二七九	五、二七九
機械器具	三、〇七三	三、〇七三
化學	一、九八七	一、九八七
染織	一、九八七	一、九八七
飲食	一、九八七	一、九八七
雜工業	一、九八七	一、九八七
瓦斯電氣	一、九八七	一、九八七
運輸交通	一、九八七	一、九八七
通信	一、九八七	一、九八七
土木建築	一、九八七	一、九八七
その他	一、九八七	一、九八七

因せる東京市電従業員(参加者一、五九〇人)及び時間短縮に端を發した横濱ドック(参加者三、一八六人)三月賃銀増額要求による東京モスリン株式會社(参加者一、一五〇人)八月和歌山紡績株式會社本庄工場及び紀ノ川工場(参加者二、二九五)十一月遊覧船の旭ペンベルグ船務株式會社大津工場(参加者四、〇四五人)の争議等

人側から土地を回收してこれを賣拂はんとし、小作人側は生活權の剝奪なりとしてこれに反對するところ争議が誘發されてゐる、八年中の小作争議件數約二千五百件中の千五百件はかかる事情から勃發したもので漸次増加の傾向にあり、なほ八年中の争議總件數二千五百件は七年中の件數に比べて八百七十六件の増加となり、内務省で小作争議統計を開始して以來の高記録といはれる大正十五年の二千廿九件、昭和六年の二千二百卅一件に比較してもそれ〴〵四百七十一件、二百六十九件を増してゐる

業主▲牧場管理人、職員▲牧夫、畜産労働者▲畜産手助  
 製菓業▲製菓業主▲製菓製造業主▲製菓技術者、職員▲製菓労働者▲製菓手助  
 林業に從事する者▲森林業主▲林産物業主▲林業管理人、職員▲森林労働者▲炭焼夫▲伐木夫▲其の他の林産物業に從事する労働者  
 【水産業】  
 漁業に從事する者▲漁業主▲漁業技術者、職員▲漁業労働者▲漁業手助  
 採炭に從事する者▲炭礦業主▲採炭技術者、職員▲採炭夫▲後山▲運炭夫(坑内)▲支柱夫▲其の他の坑内採炭労働者▲選炭夫▲其の他の坑外採炭労働者  
 採鐵に從事する者▲鑛山業主▲鑛山技術者、職員▲坑内労働者▲坑外労働者  
 石油鑛業に從事する者▲石油鑛業主▲油田技術者、職員▲鑛井夫、汲油夫▲其の他の油田労働者  
 土石採取に從事する者▲土石採取業主▲石切出夫▲土砂採取夫▲其の他の土石採取に從事する者  
 【工業】  
 窯業、土石加工に從事する者▲窯業主▲土石加工業主▲窯業、土石加工技

府縣別による労働争議の状況は東京、横濱、大阪、神戸地方のみで件數、参加人員共に全體の五〇%以上を占めてゐる、これらのうち東京府は前年に比し發生件數が減少してゐるに反し、その参加人員は増加してをり、神奈川県は兩者とも増加し、京都、大阪、神戸はいづれも下降してゐる、發生件數の順位は東京府の二五六件、大阪府の一八二件、兵庫縣の一三二件、神奈川県の一三二件の順で大都市を中心とした地方が多いことは例年通りで新潟、島根の二縣には全然發生してゐない、

小作争議一般  
 在來の小作争議は農民組合が主導的立場をとつて争議を起すのが定石であつたが、それが漸次減少し昭和四年の卅四万人に比し九万人減少して昭和八年末には卅五万人に後退し、最近特に地主側が争議を誘發し小作人側がその渦中に卷込まれるといふ珍現象を呈してゐる、地主側に見れば現下の窮迫せる農村經濟からして小作料の徴收は思ふに任せず、自然小作

職業分類 (内閣統計局)  
 昭和五年の國勢調査の際用ひた職業分類は、大分類十、中分類四十一、小分類三百七十六より成る  
 【農 業】  
 農業に從事する者▲農耕業主▲農業管理人、職員▲作男、作女▲其の他の農業労働者▲農業手助▲造園師、植木職▲其の他の農耕に從事する者▲畜産に從事する者▲養畜業主▲搾乳

職業分類 (内閣統計局)  
 昭和五年の國勢調査の際用ひた職業分類は、大分類十、中分類四十一、小分類三百七十六より成る  
 【農 業】  
 農業に從事する者▲農耕業主▲農業管理人、職員▲作男、作女▲其の他の農業労働者▲農業手助▲造園師、植木職▲其の他の農耕に從事する者▲畜産に從事する者▲養畜業主▲搾乳

職業分類

需者、職員、監督▲原料工▲成型工▲...

金器工業、機械器具製造、造船、運搬...

器、計測器、科學的機械器具製造工...

製織工業に從事する者—製糸業主▲...

製造工▲袋物製造工▲扇子、團扇製...

紙工業、印刷に從事する者—紙、紙...

飲食料品、嗜好品製造に從事する者...

土木建築に從事する者—土木建築技...

他の土木建築の工事に従事する勞務者

瓦新、電気、水道業に從事する者—...

商業的職業—物品販賣業主▲仲買人...

貨客業の番頭、客引▲料理人▲藝妓...

運輸に從事する者—鐵道、軌道業主...

官吏、公吏、雇員、神官、神職▲官...

兵▲海軍現役下士官、特務士官、准士...

法務に從事する者—辯護士、辨理士...

家事使用人—主人の世帯に在る家事...

夫▲日給(と單に申告したる者)▲其...

収入に依る者—恩給、年金等の收入...

職業別人口 (昭和五年國勢調査)

職業別人口

主要労働組合・職業紹介所一覽

Table with 2 columns: Industry/Category (e.g., 紙工業印刷, 皮革、骨、羽毛品類製造) and Amount/Value (e.g., 二九八、〇〇〇, 一、〇〇〇).

主要労働組合

Table listing labor unions with columns for Name (e.g., 日本労働組合同盟), Location (e.g., 東京市芝区三田四國町二), and Representative (e.g., 代 表 松岡 駒吉).

職業紹介所一覽

Table listing job introduction offices with columns for Name (e.g., 接客業, 運輸), Location (e.g., 北海道函館市立, 西川町二一五), and Amount/Value (e.g., 一、四〇〇,〇〇〇).

職業紹介所一覽

Main body of text on the left page, providing detailed information about labor unions and job introduction offices across various regions.



職業紹介所数

町七七【宮崎】宮崎市、市役所内△延岡市、市役所内△都城市、市役所内【鹿児島】鹿児島、山下町三七【沖縄】那覇市、市公會堂内【台湾】台北市、御成町△基隆市、基隆媽祖宮△台中市、市役所内△台南市、花園町△高雄市、湊町【朝鮮】京城府、黃金町△仁川府、栗木里△大邱府、東雲町△釜山府、寶永町△平壤府、府廳構内△新義州府、府廳構内【關東州】大連市、常盤町一七△大連海務協會海員紹介部、寺内通三【滿洲國】新京聖德會、新京觀町二ノ一△奉天労働救済會、彌生町一六

職業紹介所数

(昭和九年四月末日現在)  
一般職業紹介所 労働紹介所  
臨時(日傭)臨時合計  
東京 八二六  
大阪 九九三  
名古屋 三一五  
福岡 一五七  
青森 一三三  
長野 一七  
關山 一  
計 四六一

病院

(昭和七年末現在)

【公立病院】患者收容定員十人以上のもの二〇、同三十人以上のもの一四、同五十人以上のもの二一、同百人以上のもの三二、合計八七  
患者收容定員八、七二九、年末現在三、四三九、入院患者延數一、七一四、三〇五  
【私立病院】患者收容定員十人以上のもの一、七一七、同三十人以上のもの三六八、同五十人以上のもの一九二、同百人以上のもの七四、合計二、三五二  
患者收容定員六六、八三六、年末現在一九、二四九、入院患者延數七、四四六、四四〇  
【施療病院】總數三十六院、患者收容定員三、五六六、年末現在二、二八九、外に有料患者一〇、入院患者延數九三八、四九一、外に有料患者一〇一、六五六  
【精神病院】公私立精神病院總數百十院、患者收容定員一四、三六八、年末現在六、九〇〇、外に自費患者四、二九七、入院患者延數二、二九七、一〇〇、外に自費患者一、五二三、九一九

二二六

延數一、五一九、七八四、外に費用の全部又は一部を負担するもの二一、四一八

【結核病院】

公私立結核病院の總數は六十九院、患者收容定員五、六七七、年末現在一、七〇七、外に自費患者一、六八八、入院患者延數九二一、一八〇、外に自費患者五一二、九六九

【診療所】

公私立診療所の總數十五院、患者收容定員四、三三八、年末現在四、三五八、外に費用負担するもの四〇、入院患者延數二、二九七、一〇〇、外に自費患者六人、合計一七、一六四人

醫師数

(昭和七年末現在)

大學卒業一三、五六一人、官公私立(指定)醫學專門學校卒業二四、三六〇人、外國學校卒業(試験を含む)五八八人、試驗及第一、一五二人、奉職歴五七年、從來開業七七六人、限地開業一〇四人、合計五〇、〇六八人

藥劑師の数

大學卒業二四七人、官公私立(指定)藥學專門學校卒業九、五三三人、外國學校卒業(試験を含む)二五五人、試驗及第一(試驗を含む)一〇、六六五人、合計二〇、四七〇人  
指定の學校又は講習所卒業者三、七五一人、試驗及第一者四六、七四一人、從來開業者三、七二四人、限地開業者四三九人、總數五四、六五五人

資本金 五百萬圓  
保險契約高 四億貳千萬圓



第一火災海上保險株式會社

相談役 安田善五郎  
取締役社長 柳莊太郎

資本金 參千萬圓



昭和肥料株式會社

取締役會長 男爵 齋藤誠之助  
專務取締役 森高橋  
常務取締役 高橋

製品要目  
硫酸アムモニア 酸素瓦斯  
石灰窒素 窒素瓦斯  
カーバイド アルゴン瓦斯  
液化アムモニア

「毎日新聞」廣告

二二七

神宮一覽・官幣社一覽

Table listing various shrines (神宮) and their locations. Includes entries like 皇大神宮, 豐受大神宮, and 皇大神宮別宮. Columns include shrine name, location, and festival dates.

官幣社一覽

Table listing national shrines (官幣社) and their locations. Includes entries like 宇佐神宮, 伊弉諾神宮, and 伊弉册神宮. Columns include shrine name, location, and festival dates.

Table listing various shrines (神宮) and their locations. Includes entries like 平野神社, 稻荷神社, and 大和神社. Columns include shrine name, location, and festival dates.

Table listing various shrines (神宮) and their locations. Includes entries like 靈山神社, 熊野坐神社, and 熊野速玉神社. Columns include shrine name, location, and festival dates.

官幣社一覽

官國幣社一覽

Table listing various shrines (e.g., 英彦山神社, 巖島神社) with their locations and associated names. Includes sub-sections like '▲別格官幣社' and '▲官幣小社'.

Table listing various shrines (e.g., 常磐神社, 照國神社) with their locations and associated names. Includes sub-sections like '▲國幣大社' and '▲國幣中社'.

Table listing various shrines (e.g., 萬古別神社, 伊佐須美神社) with their locations and associated names. Includes sub-sections like '▲別格官幣社' and '▲官幣小社'.

Table listing various shrines (e.g., 生島足島神社, 伊和神社) with their locations and associated names. Includes sub-sections like '▲國幣大社' and '▲國幣中社'.

神道各派・佛教各派

忌宮神社 (仲哀天皇、神功皇后)
神功皇后 (仲哀天皇、神功皇后)
高瀬神社 (神功皇后)
津高神社 (建速須佐之男命)
箱根神社 (箱根)
箱根神社 (箱根)

三・五 山口縣豐浦郡長府町
三・五 大分縣大分郡八幡村
三・五 富山縣東礪波郡高瀬村
六・五 愛知縣海部郡津島町
八・一 神奈川縣足柄下郡元箱根

秩父神社 (八意思金命、知知夫)
伊豆山神社 (伊豆山)
伊豆山神社 (伊豆山)
吉備津神社 (吉備津)
吉備津神社 (吉備津)

三・三 埼玉縣秩父郡秩父町
四・五 靜岡縣田方郡熱海町
四・九 福井縣八東郡田代村
九・五 島根縣八束郡佐太村
二・三 關山縣津部郡一宮村
四・八 廣島縣廣品郡網引村

神道各派

神道 管長 神崎 一作
本局 東京市麻布區筈町三三
黒住教 管長 黒住 宗和
本局 關山縣御津郡今村
神道修成派 管長 新田 邦達
教務局 東京本郷區駒込四片町三
大社教 管長 千家 尊有
本院 島根縣松江市大社町
扶桑教 管長 矢野 健次
太教團 東京市澁谷區根原町一
大成教 管長 佐伯 有義
教務局 東京市小石川區根原町四
神道實行教 管長 柴田孫太郎
本局 東京牛込區東五軒町三八
神習教 管長 芳村 忠明
大教團 東京世田谷區新町二二二
御嶽教 管長 尾前 廣吉
大本局 東京市品川區西大崎二
神理教 管長 佐野伊豆彦
本院 關西縣金剛郡大字徳力
院 管長 坂田 實
本院 東京市下谷區西町五

佛教各派

金光教 管長 金致 宗邦
本部 關山縣淺口郡金光町大谷
天理教 管長 中山 正善
教團 奈良縣丹波市町三島七一
天台宗 座主 梅谷 孝永
宗務局 澁賀縣坂本村延慶寺
總本山 同上
天台宗門派 長吏 山科 是玉
宗務所 大津市別所 關城寺
總本山 同上
天台宗眞盛派 管長 山田 智善
教務所 澁賀縣澁賀郡坂本西教寺
總本山 同上
古義眞言宗 管長 高岡 隆心
宗務所 和歌山縣高野山金剛峰寺
總本山 同上
大本山 京都市御室 仁和寺
京都市嵯峨 大覺寺
眞言宗醍醐派 管長 岡田 戒玉
宗務所 京都市伏見區醍醐醍醐寺
總本山 同上
眞言宗東寺派 管長 松永 昇通

眞言宗普賢寺派 管長 蓮生 觀善
宗務所 香川縣善通寺町 善通寺
大本山 同上
眞言眞言宗智山派 管長 旭 純榮
宗務所 東京市芝區愛宕町一ノ八
總本山 京都市東區東瓦町智積院
新義眞言宗豐山派 管長 富田 繁純
宗務所 東京小石川區大塚阪下町
總本山 奈良縣和歌町 長谷寺
眞言律宗 管長 佐伯 栢龍
宗務所 奈良縣生駒郡伏見西大寺
總本山 同上
律宗 管長 北川 智雄
宗務所 奈良縣郡村 唐招提寺
總本山 同上
淨土宗 管長 野上 謙外
宗務所 奈良縣郡村 唐招提寺

淨土宗西山禪林寺派 管長 大西 玄光
宗務所 京都市永觀堂町禪林寺
總本山 同上
淨土宗西山光明寺派 管長 日下 俊隆
宗務所 京都市乙訓村粟生光明寺
總本山 同上
淨土宗西山深草派 管長 富永 廣法
宗務所 京都市新加坡區寶鏡寺
總本山 同上
大本山 愛知縣岩津町內福寺
臨濟宗天龍寺派 管長 關 精福
宗務所 京都市右京區嵯峨天龍寺
大本山 同上
臨濟宗相國寺派 管長 山崎 大耕
宗務所 京都市相國寺町相國寺

大本山 同上
臨濟宗建仁寺派 管長 竹田 讀川
宗務所 京都市東區大和路四條下九
大本山 同上
臨濟宗南禪寺派 管長 加藤 至道
宗務所 京都市南禪寺町南禪寺
大本山 同上
臨濟宗妙心寺派 管長 東海 東蓮
宗務所 京都市花園區妙心寺町妙心寺
大本山 同上
臨濟宗建長寺派 管長 菅原 時保
宗務所 神奈川縣鎌倉郡大船町山ノ内
大本山 同上
臨濟宗東福寺派 管長 東福寺
宗務所 京都市本町一五丁目
大本山 同上
臨濟宗大徳寺派 管長 太田 常正
宗務所 京都市野大徳寺町大徳寺
大本山 同上
臨濟宗円覺寺派 管長 円覺寺
宗務所 神奈川縣鎌倉郡大船町山ノ内
大本山 同上
臨濟宗永源寺派 管長 高木 歌円
宗務所 澁賀縣澁賀郡高野村
大本山 同上
臨濟宗方廣寺派 管長 足利 榮山
宗務所 靜岡縣引佐郡奥山方廣寺

大本山 同上
臨濟宗佛通寺派 管長 山崎 益州
宗務所 廣高縣豐田郡高阪佛通寺
大本山 同上
臨濟宗國泰寺派 管長 國泰寺
宗務所 富山縣水見郡太田國泰寺
大本山 同上
臨濟宗向嶽寺派 管長 勝部 敬學
宗務所 山梨縣山梨町向嶽寺
大本山 同上
曹洞宗 管長 藤原 憲昭
宗務所 東京市芝區新堀町三六
大本山 同上
黃檗宗 管長 關 義道
宗務所 京都市宇治郡宇治萬福寺
大本山 同上
眞宗本願寺派 管長 大谷 光照
執行所 京都市堀川通花屋町下九本願寺門前町 本願寺
眞宗大谷派 管長 大谷 光福
宗務所 京都市烏丸通七條上九常葉町 本願寺
眞宗高田派 管長 當野井 典敬
宗務所 三重縣一身町 專修寺
眞宗正寺派 管長 華園 眞傳
宗務所 京都市七條堀川上九興正寺
眞宗佛光寺派 管長 澁谷 隆教
宗務所 京都市高倉通佛光寺下九

眞宗本邊派 管長 木邊 孝慈
宗務所 澁賀縣野洲郡木部酒藏寺
眞宗出雲路派 管長 藤 光隆
宗務所 福井縣今立郡味真野村清水頭 聖攝寺
眞宗山元派 管長 藤原 善敬
宗務所 福井縣今立郡新江村江村横 眞誠寺
眞宗三門徒派 管長 二條 秀曉
宗務所 福井縣鯖江町 眞照寺
眞宗三門徒派 管長 平 半壽
宗務所 福井市豐町 眞照寺
眞宗 管長 神保 日慈
宗務所 東京市芝區本町一ノ一五
眞宗 管長 久遠 寺
宗務所 東京市池上町 本門寺
眞宗 管長 妙顯 寺
宗務所 京都市中區新町 妙顯寺
眞宗 管長 日開 寺
宗務所 京都市下區南區本町本開寺
眞宗 管長 阿部 日開
宗務所 靜岡縣富士郡上野大石寺
眞宗 管長 笹川 日堂
宗務所 東京市芝區原町二ノ三〇
眞宗 管長 日堂 寺
宗務所 京都市二條南入妙満寺

本門宗 管長 井上 日光
宗務所 靜岡縣富士郡北山本門寺
本山 靜岡縣富士郡北山本門寺
同 京都市法皇寺町 要法寺
同 靜岡縣田方郡中大見村 實成寺
同 富士郡上野村妙満寺
同 同 富士根村久遠寺
同 同 千葉縣安房郡保田妙本寺
同 同 靜岡縣富士郡芝宮本門寺
本門法華宗 管長 岡本 日盛
宗務所 東京本郷區淺草町七五
大本山 千葉縣長生郡茂原富山寺
同 京都市中區大宮東妙満寺
同 尼崎市中區開明町 本興寺
同 京都市中區御池南 本興寺
同 靜岡縣駿東郡金岡光長寺
法華宗 管長 岡田 日淳
宗務所 東京市豐島區西巢鴨四ノ五
本山 新堀區三條町 本成寺
本妙法華宗 管長 加藤 日淳
宗務所 京都市西陣區星町 本隆寺
總本山 同上
日蓮宗不受不施派 管長 釋 日壽
宗務所 關山縣金川町〇〇 妙覺寺
祖山 同上
日蓮宗不受不施講門派 管長 佐藤 日柱
宗務所 關山縣金川町 本覺寺
大本山 同上
時 管長 桑畑 靜善
宗務所 神奈川縣藤澤町清淨光寺

佛教各派





日、廿八日前往上人御命日法要▲特月 一月一、二、三日修正會▲一月九日より十六日まで御正忌報恩講▲三月十八日より廿四日まで春期彼岸會▲八月八日法要▲八月廿日、廿一日永代經法要▲九月十八日より廿四日まで秋期彼岸會【二】朝鮮の布教に意を用ひ内鮮人共に布教しつゝあり、本山靈誠寺出張所所在地及檀信徒數左の如し

興會、中祖會、派祖會三月十日▲立宗會四月二十八日▲瀛口法難會九月十二日▲宗祖御入滅會十月十三日 時宗 【一】札切の式一月十一日▲清念佛會八月十四日未明▲開山忌自九月廿一日至同廿四日▲別事念佛會自十一月十八日至同廿七日【二】昭和七年以來滿洲國新京および奉天に開教使を派遣せしめ新寺建立の準備工作に併せて教田開拓に努めつゝあり

【二】滿洲にて信徒約三百名、加奈陀、バシクレーパー、米國シヤトル、テラ、ロアンゼルス、サクラメント、ネブラスカ、布哇、桑港等に教役者十數名布教に従事す 日本福音教會 【一】福音教會日本年會▲信仰深望の修養會▲婦人傳道大會日 日本協同基督教會 【二】昭和九年より朝鮮人により朝鮮に傳道を開始す

救世軍 【二】樺太、台灣、南滿洲にそれ／＼小隊を設けて布教に従事しつゝあり、なほ大連には育兒および婦人ホームを設けて不幸なる兒童および婦人の救護に努力してゐる、別に朝鮮においては別のテリトリーの經營にて京城に本營を置き活動す▲米國太平洋 宗教界消息

# 學術の進歩

石原純

## 學術の研究奨励

近時我國の學術も世界に伍して漸く對等の域に進み、重要な研究の發表せられるもの尠からぬに至つたが、之と同時に益々研究設備並びに奨励機關の必要なる事が一般に認められるやうになつた。學術に關する限り、大小種々の問題の研究は何れもなされねばならぬが、特に國家に取つて重要な研究事項として八年九月内務省資源局で調査し公示せられたものは四十種目を數へる。之等は日本學術振興會に於ても研究補助事項として採用することとなつた。

の研究補助が行はれた。從來の奨励機關として存する文部省の自然科學奨励金、帝國學士院、啓明會、有栖川宮記念學術奨励金等も九年度に於て夫々諸方面の學者に給與された。優れた研究業績に對する表彰授賞も毎年帝國學士院其他によつて行はれてゐるが、九年度に於ては次の受賞者が帝國學士院で推薦せられた。

授農學博士武居三吉(テリス根の有効成分ロテノインの化學的構造に關する研究)、商工省工業試驗所技師澤口悟一(日本漆器に關する研究) 其他に於て財團法人服部報公會の報公賞は小幡重一(日本樂器に關する音響學的研究)、清水武雄(ウイルソン露筒の改造)兩博士、田村憲造博士外二名(新製ビタカソフアの發明)、水野辰五郎(優良夏秋蠶品種の育成)、中西金作(光電管を應用せる電氣的紡織装置の發明)の諸氏に、又日本化學會の櫻井賞は台北帝大教授加藤均三博士に授與せられた。

之等の研究奨励及び表彰と相俟つて研究所の新設せられたものも少なくない。九年度に閉所せられたもの並に計畫せられたものを擧げれば次の通りである。 淺間山地震觀測所 東京帝大地震研究所附屬として淺間山の中腹に建設 八年八月十五日開所式を行つた。 砂丘研究所 京都帝大農學部で鳥取市郊外に建設を計畫、着手した。 木曾生物研究所 京都帝大理學部附屬として淺間山の中腹に建設

學術の進歩

置の旨決定せられた。  
他に朝鮮平壤の樂浪博物館は昭和八年十月七日、財団法人齋藤報恩會の設立に係る仙台科學博物館は同十一月四日開館式を挙げた。尙ほ燃料國策協議會では關係各省の委員が審議の上、液體燃料工業の振興助成に努力することとなり又滿洲國に大陸科學研究院の創設が計畫せられる等、諸方面に新生活躍がなされつゝある。

國際的には万国學術研究會議を始め種々の國際學術會議に夫々の學者が派遣せられて、研究報告の交換其他が行はれてゐる。尙ほ鐵鋼研究で世界的に有名な東北帝大總長本多光太郎博士はドイツのゲッティンゲン大學から名譽博士の稱號を贈られ、地質學者として篤學の譽ある東北帝大教授矢部長克博士はロンドンの地質學會の外國會員に推薦された。

### 日食觀測

九年二月十四日の皆既日食は我

南洋委任統治領東カロン群島中のローソップ島及びトラツツ島で觀望せられるので、既に夙くから觀測隊派遣の計畫が行はれ、東京及び京都の天文台から夫々有力の學者が之に加はることになつたので、外國の學者の參加をも勧誘し之等の便宜の爲に特に海軍から軍艦春日を送つてその往復に當らしめることとなつた。依つて諸準備を整へた各觀測隊は之に搭乗、一月十三日横須賀拔錨、觀測地に向つた。外國學者としてはアメリカのジョンソン博士及びブロン博士が之に加はつた。日食當日の天候如何はこの觀測を支配するので、豫め危惧されたが、幸に晴天で、午前八時四十一分十三秒に太陽の右上から虧け始め、同十時五十分八秒皆既食となり、二分十八秒間で終つた。その間太陽、月、地球の位置測定、アインシュタイン効果の寫眞撮影、太陽大氣の分光學的研究、日食時に於ける地球磁氣の變化、及び無電への影響等が觀

測された。一行は三月三日横須賀に歸着したが、觀測の結果は尙ほ精細な調査を必要とするが、何れも大體に於て満足すべきものとして豫期されてゐる。本邦に於ける次回の皆既日食は昭和十一年六月十九日であつて、北海道の稚内、枝幸、網走、根室等で觀望せられる筈であり、天文學者は更にこの機會を待望してゐる。

### メートル法問題

我國では既に去る大正十年尺貫法を廢し、國際的メートル法による度量衡法を制定し、昭和九年七月から一般商工業者に於て之を用ひるべき事が發布されてゐたが、昭和八年七月以來閣部長景子爵等貴族院の有志間にメートル法強制施行反對の決議が行はれ、廣く諸方面にその運動を開始したので、之に對する賛否の論戰が遽かに烈しく交換された。特に商工業側ではメートル法施行の至當を弁じ、又民間に於て既に之を實地に採用

### 第一極年

國際的に協力して南北兩極地方

の氣象、地磁氣、極先現象等を觀測研究する事業は今から五十年前に行はれ、一年間を期して所謂第一極年と稱せられたが、その五十年記念に際し、第二極年を設ける議が起され、昭和七年八月に始まり同八年八月に終る一年間が之に當てられ、各國の協議により既に之が實行された。我國も之に参加して、富士山頂を始め各地に於て之に關聯せる諸觀測が夫々の學者により行はれた。今日では一般氣象學や航空事業のために特に之等の觀測結果から導き出される事實を必要とするので、それが國際的に認められて發表せられることは

非常な有力な研究資料となること疑ひない。

### 一般事項

學術の研究發表は多くは諸學會の機關雜誌又は大學其他所屬官廳團體の出版物に於てなされ、又毎年の學會大會等に於て討議が交換されてゐるが、時には社會的に新聞紙上に報道されることもある。例へば東北帝大の金屬材料研究所に於て本多光太郎博士及び増本量博士の共同研究に成る強磁力鋼即ち新K、S鋼の發明や、同所に於ける高橋清教授の輕合金第百番の發明、仙台放送局、日本放送協會

硯村技術研究所の東條民二氏、東北帝大宇田新太郎博士其他の超短波無線電信の實驗、東北帝大附屬大阪金屬材料研究所の藤井毅太郎氏のアルミニウム鍍金法、大阪工業試驗所の早野常雄博士のX線用増感紙、理化學研究所の石動弘氏の自動調節寫眞現像法、京都帝大化學研究所の近藤金助博士の榮養源の發明等甚だ多い。

尙ほ世界に於て無線電信の實用化に對する最重要の役割を果たした有名なイタリーのマルコニイ侯がアメリカ旅行の歸途我國に立寄られたこと(昭和八年十一月)は我々の記憶すべきことである。滯在僅に十日間で、單に觀光旅行に止まつたが、官民合同の大歡迎會が開かれ、尙ほ畏くも特に勳一等旭日大綬章が贈與せられた。又今から百五十年前に日本の動植物に就て數書を著したスウェーデンの植物學者チュンペリーの記念の爲め、東京科學博物館で有益な記念陳列會が催されたこと(昭和八年十一月)、東北帝大醫學部の泉治郎博士がワイルス氏病研究中に之に感染して、不幸にして其犠牲となられたこと(昭和八年十月二十日)も、茲に附記すべき事柄であらう。

### 學術研究受賞

【恩賜賞】東方文化學院東京研究所法制史部仁井田豊(著書唐合拾遺)▲東大理學部教授博井誠太郎(火成岩の成因に關する研究)

【帝國學士院賞】元八幡製鐵所技師理博田所芳秋(對火物に關する研究)▲北海道帝大教授博今裕(細胞の銀反應に對する研究)

### 學術の進歩

【大毎東日寄附東宮御成婚記念賞】海洋氣象台技師理博日高孝次(湖海の水益の振動および海流に關する海洋物理學的研究)▲京大農學部教授農博武居三吉(デリス根の有効成分ロネノールの化學的構造に關する研究)▲東京工業試驗所技師澤口悟一(日本漆器に關する研究)一九年五月十一日於上野學士院

### 研究補助獎勵金

【高松宮殿下獎學資金】東京帝大史料編纂業務囑託真野高慶(室町時代より江戸時代に至る皇室御經濟の研究、一千円)▲法政大學講師石川謙(心學思想の發達、一千円)▲小野均、豊田武雨氏(本邦中世商業史の研究特に座及び市場に就て、一千五百円)▲大正大學教授秋山謙藏(遣唐使廢止以後歐舶來

航前の外交貿易、一千二百円)一九年七月五日

【日本學術振興會補助金】東京中央氣象台長兼神戸海洋氣象台長岡田武松博士ほか三氏共同研究(宇宙線の研究)▲大阪商科大學長河田副郎博士ほか十二氏共同研究(米穀根本政策に關する理論および實際研究)▲帝國學士院會員池田菊苗博士ほか三氏共同研究(米穀利用法の研究)▲東大教授本位田詳男



ノーベル賞

二四二

博士(警察官制に関する調査)▲東大教授上床國夫博士(油田探査に弾性液應用の研究)▲東大教授田中芳雄博士(ゴムの耐油性に関する研究)▲日本女子大化学教授鈴木ひで子(糖質研究モネチノ揮発成分ペリレンの構造研究)【啓明會補助金】著述英秋元俊吉(名

將言行録の英譯、五千円)▲帝國學士院會員文相高橋順次郎、東大教授文相長井風聲、立教大學教授山本快胤共同研究(巴利語佛敎辭典の出版、四千五百円)▲山下義雄(滿洲におけるロシア出版、五百円)▲阪大教授醫學博士方十右衛門(子宮癌腫に関する研究報

告出版、二千五百円)▲染色技術官協會犬山清一ほか四名(染色物及びその用品類の用語統一の調査、三千円)▲東大工學部講師工博士村繁隆ほか一名(X線による定量分析の研究、三千七百円)一九年四月二十九日【文部省自然科學研究獎勵金】昭和八

年度分、一件に對し二百円乃至千円、受領者名を略す【文部省精神科學獎勵金】一件に對し二百円乃至千円、受領者名を略す【聖德太子奉讀會學術研究費】早大推薦田中重久(上宮聖德法王帝説教)一八

ノーベル賞

一八九六年に死去したダイナマイトの發明者である瑞典の化學者アルフレッド・ノーベルの遺志に依り遺産千八百万円より生ずる利子で毎年其中に於て文化の進歩に最も利益した者に賞賜することとなり、即ち右利子を五分分し、之を物理、化學、醫學の上に各最も有益な發見をしたもの、文學上の大著を出したものの、平和の促進に最も功益のあつたものに贈與する事に定めた、今日までの受賞者左の如くである

年	賞種	受賞者	国籍
一九〇一年	理學賞	ウエー・レントゲン	獨
一九〇二年	理學賞	ロベール・マント	獨
一九〇三年	理學賞	キエリク・ラウ	佛
一九〇四年	理學賞	ロート・レトリ	英
一九〇五年	理學賞	フイリツプ・レナルド	獨
一九〇六年	理學賞	ジェー・トムソン	英
一九〇七年	理學賞	アルバート・マイケルソン	米
一九〇八年	理學賞	ガブリエル・ヴェルマン	獨
一九〇九年	理學賞	グリエルモ・マルコーニ	伊
一九一〇年	理學賞	エフ・ブラウン	獨
一九一〇年	理學賞	ファン・デル・ワールス	獨
一九〇一年	化學賞	ファン・ホッフ	獨
一九〇二年	化學賞	エー・フイツシャー	獨
一九〇三年	化學賞	エス・アルレニウス	瑞
一九〇四年	化學賞	ラムゼー	英
一九〇五年	化學賞	フォン・ベール	獨
一九〇六年	化學賞	アンリ・モアサン	佛
一九〇七年	化學賞	エドワード・コッラン	獨
一九〇八年	化學賞	ラザーフ・オード	英
一九〇九年	化學賞	オストヴァルド	獨
一九一〇年	化學賞	オット・ウアラツハ	獨
一九〇一年	醫學賞	フォン・ベリリング	獨
一九〇二年	醫學賞	ロツクス	英
一九〇三年	醫學賞	エヌ・フィンゼン	丁
一九〇四年	醫學賞	パウロ・ロフ	露
一九〇五年	醫學賞	ロベルト・コッホ	獨
一九〇六年	醫學賞	ラモン・イカハル	西
一九〇七年	醫學賞	ラザ	佛
一九〇八年	醫學賞	イウィル・エールリヒ	獨
一九〇九年	醫學賞	テオドル・コツヘル	獨
一九一〇年	醫學賞	コツセル	獨
一九〇一年	文學賞	シユリー・ブルトナム	佛
一九〇二年	文學賞	モムゼン	獨
一九〇三年	文學賞	ビエルンソン	獨
一九〇四年	文學賞	エテエガレル	西
一九〇五年	文學賞	シンキウイッチ	波
一九〇六年	文學賞	カルデユツチ	伊
一九〇七年	文學賞	キプリング	英
一九〇八年	文學賞	ルドルフ・オイケン	獨
一九〇九年	文學賞	ラトゲル	獨
一九一〇年	文學賞	パウル・ハイゼ	獨
一九〇一年	平和賞	ヘンリ・デュボント	佛
一九〇二年	平和賞	フランシス・バシ	佛
一九〇三年	平和賞	エー・デュコンミン	獨
一九〇四年	平和賞	クレイマー	英
一九〇五年	平和賞	國際法協會	會
一九〇六年	平和賞	ズットネル男爵夫人	獨
一九〇七年	平和賞	セオドル・モリス	米
一九〇八年	平和賞	ルイ・ルノー	佛
一九〇九年	平和賞	ケー・アノルドソン	獨
一九一〇年	平和賞	エフ・バイエル	獨
一九一〇年	平和賞	パロン・ド・コンスタン	佛
一九一〇年	平和賞	ベルナール	佛

一九一〇年	ウイルヘルム・ロート	獨	マリ・キユリー	佛	グスタフ・ストランド	瑞	メーテルリンク	白	ティ・アツセル	獨
一九一〇年	グスターフ・ダーレン	獨	サバニヤール	佛	エー・カール	米	ハウプトマン	獨	アルフレッド・コッホ	獨
一九一〇年	オ・ネス	獨	ウエルネル	獨	シヤルル・リシエ	佛	タゴール	印	エリユー・ルート	米
一九一〇年	フオン・ラウエ	獨	セオドル・リチャーズ	米	エル・バラニー	獨	ロマン・ローラン	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	ブラツグ父子	英	ウイルシユタツテル	獨			ハイデンスタム	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	チャールス・パークラ	英	エフ・ハーメル	獨			ギエ・ラルツ	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	エム・ブランク	獨	エフ・アストン	英			ボントビダン	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	シユタル・ギヨーム	獨	エフ・ブレグ	獨			スビツテレル	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	シヤルル・ギヨーム	獨	エフ・アストン	英			クヌート・ハムズン	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	アルベルト・マイケルソン	獨	エフ・アストン	英			アナートル・フランス	佛	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	ニールス・ボーア	獨	エフ・アストン	英			ベナダエン	西	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	アル・ミルカン	獨	エフ・アストン	英			ウイリアム・イエット	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	ジーグバイン	獨	エフ・アストン	英			レイモント	波	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	ヘラ	獨	エフ・アストン	英			バーナード・シヨ	英	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	ジャン・ペラン	獨	エフ・アストン	英			シニョラ・デレツダ	伊	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	エー・コンプトン	獨	エフ・アストン	英			アンリ・ベルグソン	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	シー・ウイソ	獨	エフ・アストン	英			ウインドセツト夫人	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	オー・リチャードソン	獨	エフ・アストン	英			トーマスマン	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	デユーク・ド・ラウ	獨	エフ・アストン	英			シンクレア・レウイス	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	ラマ	獨	エフ・アストン	英			エー・カール・フェルト	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	ハイゼンベルグ	獨	エフ・アストン	英			エー・カール・フェルト	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	エル・ディラツク	獨	エフ・アストン	英			エー・カール・フェルト	獨	ラフオン・テニス	白
一九一〇年	エル・ディラツク	獨	エフ・アストン	英			エー・カール・フェルト	獨	ラフオン・テニス	白

# 思潮

長谷川如是閑

昭和八年より九年へかけての思潮の異彩は、何といつても「日本精神」の再検討の問題であつた。これはその方面の専門的問題であるのみならず、政治、經濟等の方面に於ても、自づから、「日本の」なるものが求められる傾向と協同してゐるのである。此年度に於ける思想傾向は、前数年間のそれのように、世界的不安に過度に敏感となつて、我國の特殊の事情を自覺することなく、歐米の極端な傾向に、左右とも引ずられて行くといふような態度から反省して、聊か我國の特殊の地位に目覺めたといふ形であつた。政治、經濟の方面で、歐米の極度に窮乏しつゝある國々の情勢を見て、そこに現はれた極端な傾向を學ばんとするやうな態度が、最近に至つて、我國の特殊の情勢の明かになるに従つて反省されたことは、一般思想

界をして、その形勢に應じた態度をとらしめる力となつたのである。然し此の形勢は、我國を世界に對立せしめることに變りはなかつた。たゞ世界的不安に捲き込まれた時代は、我國の「孤立」といふことは、諸外國のそれと同じく、經濟的封鎖主義に立脚せんとするものであつたが、今日の我國と諸外國との對立は窮厄の世界的形勢のうち、我國だけが比較的なほ壯年期の躍進時代をつゞけてゐるといふ事實に立脚したものである。

貿易關係で、外國の排他主義に對して、我國はある程度の自由競争主義を主張しつゝあるように、形勢は對立してゐるが、自信をもち得るものは我國の側である。従つて思想に於ても、歐米への追従の反省さるべき時代となつたのである。「日本精神」の復興は、前数年間の「不安」時代に於ける我國の「孤立」といふ漠然たる觀念に示唆されたものであつたに相違ない

が、最近の「日本精神」の復活は、さうした漠然たる不安の觀念に刺戟されたものではなく、反對に、國民的自信をとり戻した場合はそれであつた。だから數年前の「日本精神」と今日のそれとは、丁度、幕末の攘夷的「日本主義」と明治二十年後の國際的「日本主義」とに比較さるべきものである。前者も後者も、外形は似てゐるが、前者は一種の恐怖感に刺戟された優越感だつたが、後者は恐怖感から解放された優越感である。

最近に於ては、一般思潮は、漸次具體的の根柢を求めることとなり、各國とも産業、經濟の問題を中心として動いて行く傾向がある。我國でもジャーナリズムの對象としての思潮は、やはり最近經濟問題を中心とすることとなり、此年度に於ても、その方面は大に振つたが、それも亦前述の我國の特殊事情に目覺めて、歐米の極端な統制主義の受繼ぎよりは、我國特有の事情の説明に移りつゝ

あるのは、やはり自覺の取戻しの一證となるものである。なほ著しく目に立つことは、最近に至つて、思想界に於て、西洋の體系を移入するアカデミツクの人々の仕事が社會的の注意を惹かなくなつたことである。といつて純粹の思想界に、「日本的」なるものゝ注目すべき出現があつたわけではないが、とにかく外國思想の紹介は、甚だ「社會的」影響に乏しいものとなつた。従つて益々アカデミツクとなり、それ自體は、進歩したであらうが、以前のやうに、華々しく社會に訴へる力はなくなつた。それは然し、彼等の本國に於てもさうした傾向になつてゐることの反映であらう。

## 躍進の醫學

大阪帝大教 今村 荒男  
醫學博士

昭和九年四月一日より五日迄東京で第九回日本醫學會が開かれ、會員數は實に五、六九七名、分科

は卅二に分れ、演說總數は二、四二二であつた、日本醫學會の前身は明治廿三年と廿六年とに開かれたが、第一回日本醫學會は明治卅五年に開かれ千五百の會員があつた、その當時と比較すれば發表せられた演題の數及内容に於て今回の日本醫學會は格段の躍進を示し、近年に於ける日本醫學の躍進が各方面に及んで居ることを證して居る、その中最も注目せられた業績の二三を記して見よう。

明治卅五年には故高峰博士はアドレナリンに就て演說し、日本醫學の爲に大に氣勢をあげたのであるが、其後脚氣と關聯するビタミンB劑に就ては殊に多くの研究があつた、又ビタミンAに就ても鈴木教室の研究があつた、斯くもホルモンやホルモン類似のビタミン研究が進んで居る中に、果然大阪の古武瀧四郎博士はビタミンCに關する大研究を達成したのである。

### 躍進の醫學

に就て多年研究し、斯界に於ける重鎮であるが、西垣助手と共に兎の眼房水の化學成分の研究より出發してビタミンCと稱する糖誘導體を得たのである、其フェニールヒドロチンと結合して生ずる特殊のオザツオン即ち兩氏の所謂ビタミンCはピラツオロン誘導體に屬し、其の特性により容易にビタミンCと同一物である事が證せられた、古武、西垣兩氏が兎の眼房水より初め沃度酸還元反應により其の存在を決定し、後に上記オザツオンとして分離したのであるが、得られたるビタミンCは之と全く無關係にシエント・ゲオルギーが始め動物副腎より、次で野菜、橙汁等より得たるアスコルビン酸と同じものであつて、何れもビタミンCの特性を鑑識し得るのである、ビタミンCは廣く動物界に存し、壞血病、小兒に於けるパルロー氏病に對して豫防的及治療的效果のあるものであるが、その化學的研究に我國の

醫學者も大功績を挙げた事は愉快である。

藥理學方面に於て、東大の藥理學教室の田村憲造博士のカンフルの藥理に關する研究は近年に於ける大收穫である。

カンフルの心臟に對する作用は實驗藥理では不可解とせられたのである、カンフルが生體内で酸化物カンフェロールとなり、猶其先の產物に強心作用がある事を田村教授等は實驗し、カンフェロールが單一物質でないといふ藥理學上の根據より化學者と協力の要を認め、東大藥理學教室の朝日奈教授等と共に研究し、カンフルの生體内酸化物であるトランスバイ・オキソカンフェールが強心劑として有力なる事を知つた、尙カンフルの酸化物であるシスバイ・オキソカンフェール及パラオキソカンフェールは不安定なるトランスバイ・オキソカンフェールと共に存在することが必要である事が分り、尤もカンフルを與へ、其の尿よりビタミンカン

フェールを作り、今や廣く臨床上に用ひられてゐる。

細菌學は、故北里博士以來我國醫學に於て病理學と共に最も尖端的に進んで來た、志賀博士の赤痢菌の發見等があり、次でスピロヘータに就ては故野口博士は種々なる研究をなし、稻田博士等はウイルス病のスピロヘータ、二木博士等は鼠咬症のスピロヘータを發見した、引續き病原不明とせられた發疹チフス、ロツキヤ山熱、蜚蠊熱、恙虫病、滿洲熱等に就ての研究が盛んになつた、東大長興又郎博士等は正十三年に恙虫病原はリツゲチアと稱する細菌に類似の微生物ならんとし、引續き研究の結果此の説を確定せられたのである、之れに次で滿洲熱に就ても兒玉博士の研究があつた、長興博士等は恙虫病原リツゲチアを兎の眼房に於て最も多く見出した、此の方法を利用して阪大の谷口博士等は天然痘、水痘、單純性疱疹、帶狀疱疹等の病原體を明かにしたの

である、これ等の病原體は普通細菌の通過を許さない素焼の陶器を通過し得る位の極めて微小なもので、其の直径は0.5以下とされ居る、然るに現在の可視光線を利用する最優秀なる顕微鏡で見得る大きさのものは0.2以上とされて居る、此の間の大きさよりは尙小なる者が濾過性病原體であつて傳染病學者の最も興味を有するものである、谷口博士等の研究はパツシエン・リツブシユツツ又東大の三田村博士の研究と合致する點もあるが此の方面に於て多大の成果を収めたのである。

古武博士は兎の眼房水よりヴィタミンC研究の端緒を得、長興博士は恙虫病リツゲチアを矢張兎の眼房に於て宛も明確に證明し、此の方法を利用して谷口博士の濾過性病原體の研究が一段の進歩を來した、眼球は物を見るばかりでなく、物を發見せしむるに便するところが實に奇妙である、尙谷口博士等は種痘を牛より得ずして無菌的

に酸化する鶏卵より得る方法をウツドロップ・スチヴンソンとならび研究し、成功を収めた事も注目せられて居る。

病理學會に於ては日本に於て諸種の寄生虫の發見があつた、又癌に就ては故山博士はタール刺戟により兎の耳に癌を發生せしめた、かくして癌の生因を明かにし又今後實驗的治療研究に多大の價値を與へたのである、しかしタール中の如何なる物質が癌發生を來すかは分らなかつた、今回の日本醫學會に於ては東京香雲堂病院の佐々木隆興博士は吉田助手と共にオ・アミドアツトルオールなる化學的に既知なる物質を鼠に與へて肝臓に癌を發生せしめ得た事を報告し、癌研究に大光彩を放つたのである。

癌は益々多くなる傾向がある、米國、英國、ドイツ等に於て死因の中最も多數なるは心臓病であるが、癌は結核を凌駕して居る、日本に於ても癌は増加するが結核は

殆ど減少しないから昭和六年の統計に見ても結核は一二、二万、癌は四、三万で第九位になつて居る、歐米文明國に於て少い癌チフスは昭和六年に尙八千五百の死者を出して居る。

日本に於て急性及慢性傳染病に對する豫防醫學がより多く進歩すれば日本人の平均年齢も増加すべく、之に従ひ癌も多くならうが死亡の多い結核等に對して豫防醫學が發達すべきである、それで内務省に於ても結核、癩等に對して諸種の案をもつて居るが、その實行が危ぶまれて居るのは遺憾である、過去半百年に於て病理に關する研究が大に進んだ、従つて豫防及治療も進んだのであるが、病理學の進歩に比して治療學は遅れて居る、今後益々病理學も進むであらうが治療學も亦日本に於て大に進まねばならない、同時に豫防醫學も實際的により多く行はれねばならぬ、此際ロツクフェラー財團が數百萬を寄附し、東京に於て

公衆衛生學校が出来るようになつた事は今後日本に於て豫防醫學の研究及實際に大なる躍進を約束して居る。

博士數(昭和九年七月末)

學科	舊學位 令に依るもの	新學位 令に依るもの
醫學博士	八四四	六三三
理學博士	一八二	三三三
農學博士	一四	一五
文學博士	一七	九
法學博士	三三	九
醫學博士	六	二
經濟學博士	一	一
政治學博士	一	一
合計	二、〇七	七、三三

(なほこのうち昭和八年三月末までに死亡したる博士數は舊學位令に依るもの六百三十七人、新學位令に依るもの二百二十一人である)

注目新著

(昭和八年末—九年夏)

佛敎書の流行の機運に際會して、といふ。興隆の實相はともかくとして、讀書界がこの潮流に巧みに乗つたのは當然と思はれる。ラヂオ放送による佛敎講話の速記書がこれに魁けた。即ち友松氏著「法句經講義」や高神覺昇著「般若心經講義」(共に第一書房發行)がこの傾向を代表し、山邊善學著「佛敎の要義」(法藏館發行)も小冊ながら範疇を同じくする。これらは何れも耳からの評判をそのまゝ眼に移したかの如く大衆に迎へられた。佛敎は果して大衆のものとなつたか否かは別として夥しき佛敎書の氾濫が起つたことは特記すべきである。

弘法大師に因む書 弘法大師入

注目すべき新著

定一千百年遠慮厳修に方り弘法大師に因む書物が著しく多かつた。しかしその中で最も意義ある出版物の一つに金剛峯寺藏本の「金剛峯寺年中行事(非賣品)」がある。本書は金剛峯寺現行年中行事の諸儀則を編み、高野趣味横溢の粘葉裝草紙形五帖に収めたもの、かゝる書の世に問はるゝ時は往々法會の類聚せんとする時代に遭逢し、これによつて類勢を挽回しようとの試みによつてゐることが多い、今本書の編纂もこの趣に漏れず」と序せられてゐる點から見てこれは劃期的の勞作といへる。また一面佛敎興隆の盛衰を折柄かゝる内省的、良心的の著作が公にされたことも意義あることと思ふ。本書別冊として法會々々における故實者の用意として必要な「懷寶披瀝文」なる豆本を附してある。

「大辭典」(平凡社發行) 全廿四卷の刊行が始つた。日本の文化もこゝまで來た、さう思はせるだけの會心の全きすがたで、この大辭典が出た。近年百科全書盛行の

眞の意味での先蹤をなした「大百科事典」を見事作り上げたのと同じ強力スタッフの實力をそのままここに移し得て展しつくしたものだに、質、量ともに辭典として空前の力著といへる。最新の資料をふんだんに盛込んで、しかも「アキンドワウシノロダレ」の如きまで一つ剩さず、また現代語五万に抑揚符號を附したなど尋常ならぬ配慮を見る。別に「新修百科辭典」(三省堂發行)が單冊ながら完備した形で出でゐる。一方百科全書の極北を目ざす大著「國民百科大辭典」が富山房から出た。これは全十二卷の偉容を誇る習力と精力との大なる集積であり、現代文化の水準こゝにありと見て差支へない。かゝる企圖の成功的に遂行されゆくこと欣快に堪へぬ。さらにまた特異の勞作として陶器全集刊行會編纂の「陶器大辭典」(實業會發行)や太田亮著「姓氏家系大辭典」(姓氏家系大辭典刊行會發行)がそれぞれ第一巻から出はじ

めて、分科的なエンサイクロペディアを手にするの觀がある。

注目新著

「寶林傳の研究」—禮宗史研究の最重要文獻の一たる「寶林傳」十卷(中唐の朱陵沙門智炬集)は其傳本散佚して所在全く不明と諦められ、分科的なエンサイクロペディアを手にするの觀がある。

二四七

れてゐたが、著者はたまたま栗田青蓮院において同書巻六の寫本(慈覺大師の送進本よりの複製)を發見、これによつて資料傳研究の宿志を果し、こゝにその精緻なる研究結果を上梓したもので、禪宗史家の見逃がし得ぬ好著といへる。巻末に青蓮院所藏本の複製を添へてある(東方文化學院東京研究所發行)

伊勢專一郎著「自願愷之至荆浩、支那山水畫史」一六朝より五代に至るほとんど絶無といつてもいい遺跡と僅かな文献とによつて、かかる浩瀚の力著を出し参考書に乏しいこの方面の研究に資與した功は大きい、著者は支那山水畫史を研究すると多年、舊著にもこれに觸れたものが多いが、本書は著者自身にとつてもその研究に一時期を劃すべきアルバイトであらう。(東方文化學院京都研究所發行)

オスヴァルド・

城壁譯「西洋印刷文化史」(弘文社)

發行) ウェストン著、岡村精一譯「日本アルプス登山と探検」(梓書房發行)

日本アルプスは、ウェストンによつて世界に紹介され、また日本人にも紹介されたといへる。日本における近代アルピニズムは彼によつてその道を拓かれた。彼こそ日本山岳史上に輝く巨人である。日本アルプスの全領域を踏破しつづいたこのパイオニアの不朽の名著の全譯は何人にも歓迎されよう。

N・S・B・グラーズ著、菅菊太郎譯「世界農業史」(明文堂發行) 原著は農業史研究の世界的名著として我國の専門學徒にも廣く讀まれてゐるものである。

ブッサン著、岡本實登譯「佛敎倫理學」(大雄閣發行) 本書は歴史の進展の中において、佛敎の歩んで行つたところの道程を明かにしてゐるなかゝの良書である

メーソンの二著 日本精神研究

人J・W・T・メーソンの二新著

「神ながらの道」(一元八十錢、富山房)と「創造の日本」(一元廿錢、大東出版社)とが相前後して出た。著者の日本精神への深き理解と獨創的な卓見とを知るに足り、また著者自らにとつても生命の書といふべきもの。われらを誨へる外人の心の眼をこゝに見る。

また陶工リーチの來朝を機に出された式場隆三郎博士の「パーナード・リーチ」は菊版七百卅六ページ、圖版百枚を超える大著で、人および藝術家としてのリーチを知るに全き雄篇である。

このほか、七十年ぶりに世に出た稀覯本で明治維新史研究家渴望の「幕末秘史」(新聞書齋)(岩波書店發行)をはじめ花山信勝著「聖徳太子御製法華經義疏の研究」(東洋文庫發行) 木下桂風編「日本花押大觀」(秋豐閣發行) また職業紹介事業協會編するところの「日本職業大系」(朝鮮總督府編著の「朝鮮の姓」西村貞著、黃燦書像志)(創元社發行)、遠藤安太郎博士著「日

書籍の寸法

我國で用ゐる印刷用紙の大きさは、菊、四六の二種で新聞紙大(四頁分)をその全紙とし、之を三十二折即ち六十四頁に取つた普通書籍(本書大)を四六判(其寸法より)といひ菊判は全紙を十六折三十二頁取りにしたもので、十六葉に取る事から菊の稱が出たといふ、菊判は縦七寸横約五寸、四六判は縦六寸横四寸、これより大きなものを菊二倍、四六二倍、菊四倍、四六四倍等と稱し小さいものには菊半裁、四六半裁等がある、なほ横幅を截落した三六判(六寸×三寸)のものもあるが、此等は特殊の寸法であつて普通ではない

學問の發展

昭和九年三月一七月

經濟、政治、法律

日本農村經營の再組織(廣江源三郎、明文堂) ▲産業組合の本質と指導精神(古瀬傳藏) ▲反産運動の動向と批判(濱田道之助) ▲以上農政研究一三〇、三三 ▲首長論(宇賀田順三) ▲英國民事訴訟法概説(田中和夫) ▲法政研究四〇、三三 ▲カルテルの諸問題(伊藤入秋) ▲租税の最高原則(松野賢吾) ▲以上商業と經濟一四〇、二二 ▲關連新憲法の一般國旗と商國旗(松波仁一郎) ▲海上不可抗力の沿革的考察(住田正一) ▲以上上海法會誌十八號 ▲社會法と市民法(橋本東北大助教授、岩波書店) ▲物價變動と金銀問題(渡邊精吉郎、山口高商調査時報六ノ一) ▲所謂一九三五・六年の危機(本多熊太郎) ▲再燃せる中央亞細亞問題(澤川龜太郎) ▲綿業貿易統制論(小島精一) ▲以上東洋四月號 ▲社會學方法論の二傾向(岩崎卯一) ▲カルテル價格の變動に就いて(磯部喜一) ▲以上關西大學學報一一七號 ▲經濟組織より見たる中小小賣業の問題(八木澤善次、中央大學學報六ノ六) ▲近代貨幣理論の種々相(宮川貞一郎、雄風館書房) ▲遠東社會保險(協同會)警察の概念(渡邊宗太郎、法學論叢三〇ノ四) ▲刑會(月刊)との分類に就いて(寺尾珠郎) ▲

學問の發展

三田學會雜誌四月號 ▲所得と消費稅負擔との關係(大内兵衛) ▲都市と田舎に於ける人口の自然的増減(高田熊雄) ▲本邦貿易指數(柴田鐵次郎) ▲物價變動に現はるる波動の周期性(中川友長) ▲通貨基準評價に就いて(福本福三) ▲以上日本統計學會年報第三二年 ▲近き將來に於ける日本人口の豫測(上田貞次郎) ▲我國の國民所得(汐見三郎) ▲職業による犯罪率(岡崎文規) ▲物價の下落と労働者の家計(猪間廣一) ▲本邦重要商品價格季節變動の研究(森田慶三) ▲以上日本統計學會年報第三二年 ▲日本經濟法論(立法博、日本評論社) ▲日本經濟史概説(土屋香雄、岩波) ▲實験畑作新説(武田健七郎、明文堂) ▲通俗日本農業史(田代善吉、明文堂) ▲大輪朝類聚培法(遠藤農博、明文堂) ▲世界經濟地理(コムアカデミー經濟學研究所編、叢文閣) ▲英吉利社會經濟史(堀教授、章華社) ▲ブルジョアの國家改造案(猪俣津南雄) ▲文教關係の行政改革(關口泰) ▲米價統制問題(鶴川虎三) ▲以上改造五月號 ▲標準商店簿記(門脇逸司、森山書店) ▲チユーネン分配論の研究(山田雄三、森山書店) ▲企業財政の比率分析(野村・野瀬、森山書店) ▲日本資本主義社會の機構(平野義太郎、岩波書店) ▲小賣店問題に關する二三の考察(大阪商工會議所月報三三三號) ▲日本に於ける商業使用人の歴史的考察(井上貞藏) ▲主として産業上に於ける集團労働心理

の考察(青木庄左衛門) ▲以上經濟集志第二號 ▲原始社會に於ける土地共有制度(吉成鐵雄) ▲原價より見たる經營の經濟的特質(渡邊進) ▲以上南邦經濟一台北高商一第一號 ▲新經濟工作論(スチュードントエニス著、大木金次郎譯、森山書店) ▲農村問題辭典(小野武夫監修、非凡閣) ▲社會調査の方法及報告書要式(山内勝雄、東亞學藝協會) ▲努力なくして利子なしといふ理論(高田保馬) ▲戰時財政論(高木壽一、日本評論社) ▲プロック經濟論(内田武男、日本評論社) ▲ロバート・オウエ著、著作史續篇(五島茂、大阪商大經濟學研究所) ▲競争の論理と法理(田村總治) ▲法と經濟事情の考察(市川正藏) ▲滿洲調査月報五月號 ▲全體主義の經濟學(大野信三) ▲商學論叢一立天商學研究室一第十號 ▲西夏の興起と青白鹽問題(宮崎市定) ▲民團株式會社の設立(大本利一) ▲以上東亞經濟研究一山口高商一第二號 ▲經濟的空間(龜井孝治) ▲以上大阪商大經濟學研究年報第五號 ▲行政裁判所を地方に設くるの議(佐々木法博、日本法律新聞創刊號) ▲労働契約の研究(八木清信、政經書院) ▲米國の貨幣的景氣政策(平尾彌五郎) ▲自由通商六月號 ▲事業經營の新勢と會計學(有元史郎) ▲經濟集志一日大一第三號 ▲日本憲法學の生誕と發展(鈴木安藏、叢文閣) ▲日本經濟學史の一斷(住谷稅

治、大畑書店) ▲日本國家主義と經濟統制(作田莊一、青年教育普及會) ▲徳川時代の經濟と文化(菅野和太郎) ▲調查研究第三十輯一彦根高商一經濟實買の發展史的考察(原田博治) ▲調查研究第三十一輯一數字の見たる最近通商關係(福本義亮) ▲調查資料第四十四號一神戸商工會議所一破産法及び和議法研究(齋藤常三郎、弘文堂書房) ▲日本民事訴訟論第二卷(山田正三、弘文堂書房) ▲再訂刑事訴訟法講義(宮本英脩、弘文堂書房) ▲蠶絲業の綜合的統制の必要(本位田祥男) ▲財政經濟時報七月號 ▲新等族主義の憲法(高橋清三郎、國際評論七月號) ▲實庫スマトラの全貌(辻森三、立命館) ▲火災保險會計(葛城照三、泰文社) ▲ナチス民族理論の吟味(中野清一) ▲商學討究第九卷上冊 ▲貨幣の物質生活界に於ける地位を論ず(青木哲彌) ▲領事裁判制度の起源、展開及其の撤廢に就て(菊地駒次) ▲經濟法律叢書七月號 ▲中小工業標準原價計算法(福田誠一) ▲産業合理化第十三輯 ▲鮮米を見る(助川啓四郎) ▲三善信房・福井甚三・太田正孝教授七月號 ▲福澤先生の貧富論(高橋誠一郎) ▲三田評論七月號 ▲労働概念の吟味(森耕二郎) ▲日田金の研究(徳川時代商業資本發展の一例(遠藤正男) ▲以上經濟學研究一九六一第二號 ▲貨幣職能論(佐原貴臣) 研究論集一高岡高商一第一號 ▲手形法及小切手法(島本英夫、立命館出版部) ▲米穀統制論(八

大芳之助、日本評論社) ▲農林振興根  
本方策(白神正吉、憲文館)

科學、技術

芝生・芝庭(林博上原敬二、明文堂) ▲乳汗の化學及試驗法(里村田共著  
明文堂) ▲組合製糖(星井輝一、明文堂)  
▲ポルトランドセメントの水和作用に  
關する新研究(小柳勝藏、工業化學  
雜誌三七、三) ▲蠟油の飽和脂肪酸  
の成分に就て(上野・生田、工業化學  
雜誌三七、三) ▲清酒の色調に關する  
研究(寺本・小泉、醸造學雜誌二二、  
三) ▲スポーツ醫學の要領(眞下俊一、教  
養、京都醫事衛生誌四七九) ▲數種の  
液態「アムモニア」溶液の比重に就いて  
(岡田、東京工業試驗所報告二八、  
七) ▲趣味の生理學(林慶大教授、時潮  
社) ▲土壤肥質化學(川村九大教授、岩  
波書店) ▲音叉から出る音の強度分布  
に就いて(荒木源太郎) ▲高速光度特性  
實驗による衝動内力の研究(辻・西田)  
▲木材の「枯」に對する一實驗(眞島  
正市) ▲鋼の破壊機構(黒田正夫) ▲  
米穀粉特に米飯のコロイド化學的研究  
(北野登志雄) ▲以上理化學研究所報  
▲Kinematic Connections and  
Their Application to Physics  
(Toyomon Hosokawa) ▲On a  
Regularity in Topographical  
Features of North-East Japan  
(Torahiko Terada) ▲Contin-

ental Margin as Slip-Lines:  
Contour of Japanese Islands  
(Kagaoka and Shirai) ▲Undu-  
latory Deformation of the  
Earth's Crust along the Ja-  
panese Sea Coast of Honshu  
(Chuji Tsuboi) ▲On the Life-  
history of Monostroma (Hiro-  
shi Kunieda) ▲Transplanta-  
tion Experiments in Planaria  
gonocephala (Okada and Su-  
gino) ▲以上帝國學士院記事一〇、  
二 ▲台灣に自生する森林樹木の分類檢  
索表(鈴木・武田) ▲瀧水關係の相想樹  
種子の發芽生育並雜苗の形態に及ぼす  
影響に就て(青木・芝田・黃) ▲以上シ  
ルビア五、一 ▲滿洲騎兵論(日本及日  
本人二九三號) ▲牛結核免疫及び免疫  
療法に就いて(宮本雄三郎) ▲中央獸醫  
學雜誌四七、二 ▲純國産七五〇馬力デ  
イーゼル電氣機關車(山下鐵道技師)  
▲蓄電池機關車(大村三郎) ▲以上QHM  
二二、四 ▲硬質軌條に就て(鈴木・大  
和久、業務研究資料二二、六) ▲榮養  
力評價方式に關する批判的研究(八  
本高次) ▲女子工場労働者の結核と採  
用時の體格に就いて(丸岡荒太郎) ▲以  
上労働科學研究十一、二 ▲農村の工業  
化に關する諸問題(岡村光雄) ▲本邦農  
村電化に關する調査概要(農林農務局)  
▲以上農事電化八、三 ▲化學肥料(石

川一郎、日本評論社) ▲齒槽膿漏の實  
際(三好醫博) ▲口腔出血に際し止血材  
としての鳥肉應用に就て(三好甫) ▲  
以上臨牀齒科六、三 ▲經口免疫に就て  
(目黒醫博) ▲蛔虫症のレントゲン學的  
研究(藤野醫博) ▲炭坑に於ける脚氣の  
統計的觀察(藤崎道) ▲以上大阪衛生病  
院臨牀集報一七、二 ▲梨の輪紋病及び  
其病原菌特に完全時代に就て(野瀬直  
毅) ▲苹果及び和梨の果實發育調査成  
績(園田・淺田・鈴木) ▲以上朝鮮總督  
府農事試驗場報告七、二 ▲「黃帝明堂  
經」所載の經穴に就て(高橋大和) ▲鍼  
灸醫學の實驗的研究(駒井一雄) ▲以上  
生理學研究一一、三 ▲浮遊する金粒の  
大きさに就て(加賀谷技師) ▲雲谷金山鑛  
石選鑛製鍊試驗報告(加賀谷金之助) ▲  
大英嶺山鑛石選鑛製鍊試驗報告(金龍  
雲) ▲以上朝鮮總督府燃料選鑛研究所  
報告 ▲「ツベルクリン」及び結核性乾酪  
變性物質注射による二十日鼠の實驗  
的體格變性に就て(坂村・島崎) ▲蒸  
汽反復注射による家兔の體格變性變  
現に就て(橋本房治郎) ▲癌毒特異性抗  
原の研究(丸岡克太郎) ▲以上大阪醫學  
會雜誌第三號 ▲卒樹の根の性状と施肥  
法(須佐寅三郎) ▲陸稻改良栽培法に就  
て(青木明徳) ▲以上大日本農報二四〇  
號 ▲足尾銅山に於ける電氣收塵法(猪  
俣一郎) ▲燃料協會法一三八號 ▲和歌  
山縣瀬戸山及附近の海流(岡村金太  
郎) ▲シツ・キ横濱市内に産す(久内

清孝) ▲滿狀の水に依るアムモニアの  
吸收速度の研究(八田・上田・馬場) ▲  
耐寒乾電池の研究(龜山直人) ▲耐火物  
中のムライトに就て(吉岡・堀江・辛  
高) ▲蠟及蠟の除蝕と酸溶解抑制劑に  
就て(寺野・高橋) ▲瓦斯油の熱分解  
(大塚博) ▲大豆油に就て(山田貞吉)  
▲洗毛工程に於けるアルカリの影響に就  
て(祖父江・益山) ▲以上工業化學雜誌  
三七、四 ▲火落に關する研究(井上貞  
三) ▲鹿兒島縣大島地方特産の蘇鐵酸  
粉及び蘇鐵味(西田孝太郎) ▲紫外線  
下に於ける微生物の觀察(魏墨壽・佐  
培松) ▲以上醸造學雜誌二二、四 ▲前  
結核の病理診斷及刺激療法に及ぼす影  
響に就て(鈴木醫博) ▲赤血の實在に就  
て(保實編一郎) ▲以上日本鍼灸雜誌  
三六〇 ▲本邦に於ける耐久磁石の研究  
(本多理博) ▲含ニッケル鋼と炭素鋼と  
の比較(黒澤彌) ▲以上日本ニッケル時  
報二 ▲栗樹に於ける花芽分化と雄花の  
形成(松茂原樹) ▲Physiological  
studies on Soil Ciliates (Iwa-  
o Hino) ▲以上宮崎高等農林學校學  
術報告六號 ▲水銀整流器の現在および  
將來(荒川工博) ▲日本に於ける重力測  
定と其成果(松山理博) ▲地震風に就  
いて(野瀧理博) ▲地震及火山活動と地磁  
氣及地電氣變化との關係(中村理博) ▲  
大阪府周圍の活斷層二例(江原理博) ▲  
深い地震の發生位置と日本島弧の構造  
(伊藤徳之助) ▲古鏡(小松・山内) ▲威

光性色素の化學構造と感光性(櫻井理  
博) ▲蛋白質化學上性別の差異を生ず  
る原因に就て(田所理博) ▲Chole-  
sterin及SitosterinのX線的差異  
に就て(堀田・松永) ▲人造絹糸微細構  
造の研究(小原龜太郎) ▲細胞核分裂に  
及ぼす紫外線の影響に就て(高橋昇) ▲  
地形と林相並に之に立脚せる森林施業  
法の考察(寺崎林博) ▲小麦の條斑病に  
就いて(西門農博) ▲イタチの食道腫瘍  
を形成する有軟顎口蟲の研究(吉田理  
博) ▲以上日本學術協會報告九、一 ▲  
宇宙線の本質(科芳博) ▲科學四、四 ▲  
寫真乾板上の浴面電氣現象(金原壽郎)  
▲安全剃刀砥の試驗(黒田・山田) ▲以  
上理化學研究所報告一三、四 ▲日本産  
杉科植物の繭果鱗に於ける維管束の走  
向及びその分類學的價值に就いて(佐  
竹義輔) ▲植物學雜誌四八、五六七) ▲  
燃料及燃燒概説(大島教授、丸善) ▲吾  
が古代佛像の體質的諸相(北村・石崎、  
生理學研究一一、四) ▲果樹園經營の  
新傾向(菊地秋雄) ▲農村の工業化とは  
何か(仲原壽一) ▲以上農業と經濟刊  
物 ▲物理實驗法(中村理博、岩波) ▲麻  
刺利亞(小泉丹、鐵塔書院) ▲保護電  
器(加藤重一郎、オーム社) ▲農村の工  
業(大河内工博、鐵塔書院) ▲ニッケ  
ル合金鋼の最新用途(日本ニッケル  
情報誌) ▲浮現網電氣試驗、月島煮鹽誌  
製造法、牡蠣に於ける硫黃分布狀態、  
鱈魚人工餌料試驗(水産試驗調査資料  
第一號、水産試驗所) ▲日本流及び其

の隣接海區の海況(宇田技師) ▲日本  
海・黃海・オホーツク海の半年各月海  
況(宇田技師) ▲以上水産試驗場報告第  
五號) ▲機械製鍊概説(商工省工業品  
規格統一調査會) ▲最新林學叢書(造林  
學本多林博・造園學岡村林博・林産製  
造學三浦林博・森林利用學西垣林博・  
森林保護學安藤一、森林管理學八戶  
道雄) ▲以上政經書院) ▲丹那トンネル  
の諸(鐵道省熱海建設事務所編、工  
業雜誌社) ▲朝鮮の地下資源に就て(三  
浦悅郎、朝鮮二二七號) ▲日本の硝子  
製造の變遷(三津三郎) ▲硝子の焼付  
檢査(三津三郎) ▲以上科學と工業九、  
五 ▲日光及び其附近に産するネチノメ  
サウ類(須藤千春、植物研究雜誌十、  
四) ▲歐米に於けるメンゾール回收工  
業の現狀(渡邊扶) ▲天然ガスの利用と  
メンゾールの製造(加藤理博) ▲以上燃  
料協會報一三九號 ▲線路雜草に關する  
調査報告(笠井・井上、業務研究資料  
二二、九) ▲瀧淵地に於ける粘土質路盤  
の防護に就て(堀越技師、業務研究資  
料二二、八) ▲The Foundation  
of the Theory of Displace-  
ments (Akitugu Kawaguchi)  
▲On the physical Meaning  
of Periodic Structure in Far-  
th's Crust (Torahiko Terada)  
▲Continental Margin as Slip-  
Lines (Nagaoka, Shirai) ▲Fu-  
rther Studies on vitacamphor

(Tamura, Kihara, Ishidate)  
etc. ▲以上帝國學士院記事十、三 ▲タ  
イワンイヌカワジユの精油(藤田安一、  
台灣總督府中央研究所工業部報告一〇  
四號) ▲台灣全島天然ガス發生地同分  
析調査表(庄野・江・小林、總督府中  
央研究所工業部報告八號) ▲石炭の液  
化に就いて(磯野・常谷) ▲硝酸による  
鹽及び硝の受動的に關する研究(山本  
洋一) ▲以上理化學研究所報告十三、  
五 ▲絲狀菌に於ける硝酸還元作用に就  
て(山縣春次) ▲東北地方の水河礫、振  
水河礫(高橋純一) ▲以上科學五月號 ▲  
滿洲里及び海拉爾附近の栗色土層に就  
て(突永一) ▲三種の心土プラウの性  
能に就て(常松榮) ▲以上札幌農林學會  
報四月號、百十八號 ▲ブラジル産大風  
子油(Sapucatahaka油)の研究(刈米  
達夫・長谷川良子) ▲蔗糖及糖蜜を原  
料とする製造試驗成績(藤田忠仁、湯  
淺番一) ▲有機水銀化合物の合成並に  
其の殺菌力試驗(第一報)(田中權・秋  
葉朝一郎、林倉一、京田登) ▲石油の  
毒性並びにその結核との關係に就て  
(伊東幹登、一、倉英三郎、汪文瀾) ▲  
以上衛生試驗所報告第四十四號 ▲玄田  
産學原論(玄田農博、明文堂) ▲蔬菜栽  
培精義(米内山泰介、明文堂) ▲理の概  
論(邊見千郎) ▲以上中央獸醫學雜誌四  
七、四 ▲高質用臭化銀乳劑の生成に關  
する研究(第四報) ▲硝子配置と濃度曲  
線との關係(宮田道雄) ▲酸性白土の物  
理化學的性質(第十報) ▲粘土に於ける

珪石及長石の混合化と乾燥速度の關係  
(龜井三郎、岩井正昌) ▲以上工業化學  
雜誌四三、五號 ▲高果糖の構造と電氣學  
音(川口利雄、廣川風三) ▲業務研究資料  
一號道省一第十號 ▲日本産麥酒の色調  
に就て(寺本四郎) ▲醸造學雜誌第五號 ▲  
皮膚結核の二次的結核感染に對する免  
疫的效果に就て(宮田仁) ▲赤外線に  
因る眼工の眼障害並に白内障に就て  
(宮田計三) ▲以上大阪醫學會雜誌第五  
號 ▲台灣島山頂看天田土層の含水狀態  
に於ける抗張力(服部武彦・山崎總・  
末廣憲昌) ▲台灣總督府中央研究所工業  
部報告第一二五號 ▲工業分析の結果上  
り見たる台灣産石炭に就て(荒木孝興)  
▲同研究所工業部報告第九號 ▲金銀礦本  
(渡邊理博、日本評論社) ▲井水の水位  
に及ぼす潮汐の影響に就て(安藤壽之  
輔) ▲道路曲線部の片勾配に關する理  
論(久野重一郎) ▲以上九州帝國大學工  
學部報告第一號 ▲日本人の基礎新陳代謝  
に就ての論考(野崎義等) ▲人體筋肉の  
「クロナキシ」と疲勞其他との關係  
(奥山美佐雄) ▲労働科學研究第三號 ▲  
油脂の「アルコールシス」に關する研究  
(第一報) ▲ヤツデ・ホソヅキ・タケニ  
グサの種子油に就て(外山盛之・土屋  
知太郎) ▲以上東京工業試驗所報告第  
二十九回第二號 ▲家事新講(越智キヨ、  
星野書店) ▲高山植物と山草の培養(原  
秀雄・石田文三郎、三省堂) ▲養道の  
心理的研究(中邑義太、中文館書店) ▲  
蒸餾論(萩原清治、明文堂) ▲ラヂオと

計算(開東男、日本ラヂオ通信學校出版部)▲恙蟲病に關する研究(前)に其治療及び豫防に就て(長與又郎、宮川米次、三田村篤志郎、田宮猛雄)▲細菌學的・病理學的・流行學的並に治療學的的研究(太田正雄)▲高山氣候並に高山に於ける日光の醫學的研究(近藤正二)▲血管のレントゲン撮影法に關する研究(齋藤眞・柳澤秀吉・神川格)▲無源通信法の研究(鮫井恒太郎)▲醫學的研究(小樽重一)▲菊の授粉と受胎とに關する研究(丹羽鼎三)▲以上研究抄録(明部報公會)第一輯(最新純日本式試維機(日下部義太郎)▲朝鮮・台灣及樺太に於ける鐵業(商工省鐵山局)▲但馬丹後の「ニツケル」鐵に就いて(吉本千城)▲以上鐵業五月號▲高速アイゼル機關(仲谷新治)▲各種ストロプの衛生的比較知見に就て(石原房雄)▲以上燃料協會誌五月號▲縮緬仕上用輸出機附屬給温裝置に就て(中村進二郎)▲眞もあゝる顯出方法(三平文・中村進二郎)▲絹業試驗所報告第三號▲列車運轉を妨害する倍脚類(江崎悌三)▲植物及動物(二)五別刷▲日本産菌科植物の研究(一)(福山伯明)▲蠶豆誘病菌の生理學的的研究(平塚直秀)▲植物學雜誌五月號▲酸化銀の轉移及熱力學的數値に就て(木村應)▲理化學研究所彙報第六號▲函數概念の發達(清水辰次郎)▲數學第一號▲電氣工作物試驗法(藤波貞大、オーム社)▲爆音の異常傳播(竹内時男)▲金米麴の角の成生(竹

山説三)▲炭素環狀化合物生成の相對的難易の相對的安定度に就て(佐古眞一)▲日本學術協會報告第二號▲國產鋼矢板に就て(平松吉三)▲業務研究資料(鐵道省)第十四號▲特異酸性土壌に就て(一)大杉繁・青木茂一・森田修一)▲味噌の成分に就て(第四報)▲酸に就て(櫻井芳人)▲以上日本農藝化學雜誌第五冊▲火入から火冷までの清酒温度の變化に就て(山本宇三郎)▲醸造學雜誌第六號▲絹紡業の發達と最近の動勢(小岩隆道)▲海草の利用増進に就て(柳川鐵之助)▲以上工政一七〇號▲サル維維(ハロルド・エッチ・マン博士)▲南支那及南洋調査第二十七號▲兵器の製造に關する研究(第二報)▲中澤亮治・武田義人・末松勝利)▲台灣總督府中央研究所工業部報告等百十三號▲にひたか赤松の樹脂及精油に就いて(一)加藤均三・市川信敏・加藤亮)▲同第百十四號▲煙草を製成せしむるの法に就て(第一報)▲中澤亮治・武田義人・田田薫・菅三雄)▲同第百十五號▲風仔葉油の成分に就て(加藤均三・野副鐵男・畑忠太)▲同百二十一號▲石綿(杉山旭、工政會出版部)▲人造石油及代用液體燃料(喜多源進)▲國産原油と國産人絹パルプ問題(志方益三)▲榮養に關する通則(山藤全助)▲以上化學研究所彙報第四輯(京大)▲北アルプス(小笠原勇八・鈴木勇・小島六郎・渡邊公平・三省堂)▲原色朝顔圖譜(三宅誠一・今井喜孝・三省堂)▲原色海

瀛圖譜(岡田喜一、三省堂)▲類人猿の動物心理學的研究(日・I・C・コリー)▲科學知識七月號▲無花果屬の分類學的見解(佐多長春)▲畸形したに就て(日野巖)▲植物研究雜誌六月號▲金の有機化合物に就て(中上見)▲化學工業用磁器の進歩(高岡齊)▲科學と工業七月號▲山嶺中村慶三郎、岩波書店)▲北海道産貝類目錄(水産調査報告第一報)▲メートル法の歴史と現在の問題(田中館愛橘、岩波書店)▲鉄軌道の強度に就て(黒河内四郎)▲業務研究資料第十九號▲鐵道省▲齒切カッタの新選定法(和栗明)▲工學彙報一九六一第二號▲最新油壓造指南(櫻野農博、明文堂)▲農村經濟圖譜(栗原藤七郎、明文堂)▲酸化鐵の比較(佐藤俊一)▲酸化せるオーステン鋼の耐海水腐蝕性に就て(佐藤俊一)▲以上理化學研究所彙報第七號▲桑樹の耐寒性に關する調査(池田正五郎)▲滿洲に於ける煙草の栽培(太田瑞穂)▲家庭用果酒の製法(三浦密成)▲以上農學の滿洲六月號▲蓄電池車(大村三郎、オーム社)▲鹽素化ゴムに關する研究(大阪工業試驗所報告第五號)▲綿糸綿布の低温度に於るアルカリ加工に就て、冷水可溶性澱粉に就て(同第四號)▲魚油利用に關する研究(第一報)▲魚油の脱臭法に就て(同第三號)▲日本に於ける雷雨の統計的研究(岡田喜一)▲南洋調查報告(南洋支那及南洋調查第二十九號)▲糖蜜色酵母の生成する糸狀菌生長與物質の吸

著性に就て(眞貫一男)▲植物學雜誌七月號▲支那から来た櫻桃の二種(中井猛之進)▲信州伊那地方及び八島ヶ池の鼓藻類(藤澤六馬)▲あじさの畸形(久内清孝)▲木村雄四郎・長町田鶴子)▲以上植物研究雜誌七月號  
思想、文藝、宗教  
朝鮮に於ける宗教及享祀一覽(朝鮮總督府學務局社會課)▲神學者としてのパウロ(山谷省吾)▲以上哲學研究二一六號▲否定的リアリズムについて(山口浩)▲ナルプの解散について(鹿地亘)▲以上文學評論四月號▲自然主義は復活するか(一條迷洋)▲三田文學四月號▲立憲的獨裁の過渡的性質(關山政道)▲最近に於ける左翼及び右翼出版物の動向(佐伯節郎)▲ナチスの新教育精神(小山甫文)▲ソヴェト最近の文藝思想(岡澤秀虎)▲以上思想情報第一輯▲古事記研究史(次田眞幸)▲祝詞宣命研究史(白石光邦)▲神樂・備馬樂研究史の輪廓(志田延義)▲中世に於ける伊勢物語の研究(大津一)▲以上國語と國文學四月特別號▲テレーの古部(岡部次郎)▲抵抗に就いて(曾我部靜雄)▲前野良澤(林鶴一)▲以上文化一ノ四▲フイヒテ哲學の根本原理に關する一つの考察(木村素樹)▲哲學研究二二七號▲ユングの文藝觀(長谷川誠也)▲近代文學の心理と技巧(北村常夫)▲ドイツ文藝の精神分析觀(平塚義角譯)▲以上精神分析二ノ四▲白雲

觀志附東嶽稿志(小崎文博、東方文化學院東京研究所)▲福音書のアラム語的背景(高橋慶)▲カルン神學に於ける攝理の意義(魚木忠一)▲以上基督教研究一ノ三▲弘法大師傳(中村文博、現代附録)▲世界文化と日本文化(阿部次郎、岩波書店)▲法律哲學概論(田中法博、岩波書店)▲人間の學として(倫理學)▲岩波書店▲支那山水畫論理(西文博、岩波書店)▲東洋史並附圖(東方文化學院京都研究所)▲ヘーゲル哲學史(岡田隆平譯、鐵塔書院)▲靈感の靈異(山本精一郎、朝日書房)▲日本文化史圖録(木代修一、四海書房)▲孟子解説(北村佳逸、立命館出版部)▲ロゼッテイ生命の家研究(小花和武夫、泰文社)▲日本文學講座明治大正篇(改造社)▲近代時代の建築と其佛像(關野・竹崎、東方文化學院東京研究所)▲徳良の悲劇性(森本治吉)▲吉野文學と時代精神(平泉澄)▲藤中鈔の一異本白造紙について(橋本進吉)▲藤曲の謠ひ方に於ける入聲(ツ)に就いて(岩瀬茂太郎)▲以上國語と國文學五月號▲繪畫のモダニズム(荒城季夫)▲造形文化新段階(橋川毅一郎)▲以上みづる五月號▲石清水八幡宮史(史料第一三輯、社務所)▲神樂研究(四角井正慶、壬生書院)▲守武筆叢草に就いて(淺田義二郎)▲玉造物語(清水泰)▲以上立命館文學五月號▲其の後の法隆寺問題(喜田貞吉)▲魏收後史(岡崎文夫)▲以上文化第五號▲短歌の文化史的位

地(西村直次)▲アロレタリ短歌最近の動向(坪野哲久)▲現代日本と歌壇の動向(三井甲之)▲以上短歌研究六月號▲英文史料日記(土井幸知・大森安仁子共譯、三角社)▲神道名目類聚(佐伯有義訂、大岡山書局)▲雜草園(倉田白羊、竹村書房)▲北の人(金田一京助、梓書房)▲吉野朝文學の立脚點(齋藤清衛)▲神皇正統記の表現性(西尾實)▲以上國語と國文學六月號▲日本幼稚園史(倉橋徳三・新庄よしこ、東洋圖書株式會社)▲參河志上卷(渡邊政香、版刊行會)▲曹洞宗大系續(大久保道舟、佛敎社)▲ヘーゲルの哲學(鈴木龍司、右文書院)▲表現の問題(大内修二郎)▲英文學風采六月號▲生の悲劇性について(佐藤通次、文學研究第八輯)▲ブタン・ツォウ兩族の氏族組織と婚姻規定(馬淵東一)▲支那の技河に就いて(松本盛長)▲南洋土人の漂着に就いて(町田清長)▲以上南方土俗第一號▲捕物の話(三田村高魚、早稻田大學出版部)▲認識論としての弁證法(船山信一、政經書院)▲詩歌學通論(青山霞村、からす社)▲現代の社會問題(藤山教授、高陽書院)▲黄土の話(直良信夫)▲船附山の起因と岩船(島本一)▲以上トルメン六月號▲貝原益軒の社會經濟思想(野村兼太郎)▲三田學會雜誌六月號▲新女性道の建設(飯田實、創文社)▲大原幽學の事蹟(飯田傳一、東興社)▲宗學の由來及び其特殊性(武内義雄)▲王道政治思想(津田

左右吉)▲上代支那に於ける神話及び説話(出石誠考)▲以上岩波講座、東洋史湖第十一回▲孔子と比との起源考(三吉朋十)▲初轉法輪寺の壁畫(野生司香雪)▲以上協會會報第五十五號▲聖德太子(稻葉田成、法藏館)▲社會學要綱(松本潤一郎、時潮社)▲繪本(永井龍男、四季社)▲一目小僧その他(柳田國男、小山書店)▲社會學要義(難波紋吉、弘文堂書房)▲社會學論及學說(松本潤一郎)▲スクールレイニイ誌の使命(成田成壽)▲ギリシヤ神話に現はれた自然(野津文雄)▲以上風景七月號▲日本精神の内容(高橋順次郎)▲啓明會講演集第五十二回)▲日本佛敎繪畫史(内藤藤一郎、政經書院)▲人間觀(成瀬無極、政經書院)▲源氏物語の統一的(精神)村上精一)▲小林一茶論(伊藤信一)▲以上國語と國文學七月號▲藤田一能・歌舞伎・支那劇(朱牟田夏雄)▲支那研究三四號▲能樂論叢(坂元雪鳥、わんや書店)▲フランス寫實主義繪畫の研究(荒城季夫)▲みづる七月號▲日本教育の經營(埼玉縣師範附屬小學校、文泉堂書房)▲文藝と醫學(田中香澄、東學社)▲美的形式(赤松義廣)▲水鳥一オール七月號▲萬葉集に於ける初期歌學の形態(太田水穂)▲潮音七月號▲「音樂の合理化」の合理化(藤上俊夫)▲レコード産業發達史(山口龜之助)▲音

樂世界七月號▲日本民族理想(西村眞次、東京堂)▲萬葉集研究年報(萬葉三水會編、岩波書店)▲二十世紀の食糧(三宅雄二郎)▲非常時と倫理學(杉森孝次郎)▲丁西倫理會論演講集七月號▲サンボローフイデイズムとその他(平井政夫)▲幾とは何ぞや(本宮彌兵衛)▲基督教研究第四號▲普遍に就て(島津勳)▲人間の本质と人間學(竹下直之)▲哲學研究(京大)第二二一十號▲風土文化と懸遠(井上以智吉)▲生る信教に關するケルン論(長壽吉)▲法華念佛兩宗の展開と唯一宗源神(長沼俊海)▲三河一向一揆の研究(青木義憲)▲史淵一九九一第九輯▲切支丹の歸著(中村順三、新書堂)▲源氏物語書史(武笠正雄、平原社)▲社會宗教としての佛敎(淺野眞眞、大雄閣)▲音樂學概論(高野相澤共編、共益商社)▲高砂族の形態の記憶と種族的特色に就て(飯沼龍遠、力丸慈田、藤澤伸)▲首狩の原理(岡田謙)▲ヘーゲル精神現象學と客觀的精神(務右理作)▲以上哲學科研究年報▲台北帝大第一輯▲生活の古典としての民俗(折口信夫)▲江戸時代の刑罰奴女(波多野賢一)▲以上古典風俗八月號▲西瓜の東漸史(星忠太郎)▲わが國登山の史的的研究(新井誠夫)▲以上歴史公論八月號▲杉の花(佐野四郎、朝日書房)▲かさし抄(松尾捨次郎校註、大岡山書局)

新博士 (昭和九年一月) 177月末日

醫學博士 廣井 要(大) 久保 秀雄(大) 中條 元一(大) 安藤 憲司(大) 木下 哲(京府) 松野 敏吉(名) 佐藤 重己(東) 奥田 征太郎(東) 楠本 久義(東) 南 茂夫(東) 大岡 幸一(東) 蓮佐 良雄(東北) 笹田 衛(東北) 宗夫(京) 石原 象一(京) 野呂 進(京) 香野 壽郎(京) 平野 專(京) 山本清太郎(京) 神戶 信雄(京) 舟田秀太郎(金) 加藤 新(京) 須小 明(九) 田中 一弘(九) 安部 谷人(九) 堤 真雄(九) 三宅 重徳(九) 成松 清敏(九) 郭 根(京) 田中 敏行(京) 宇野 善一(京) 藤本 正規(京) 中川日出雄(北) 久野順一郎(北) 淺野 修(北) 小原武一郎(新) 船橋 勲(名) 芝崎 文雄(名) 上岡 和平(名) 橋本 義雄(名) 岡本 東彦(名) 宮守 貞治(名) 森本 卯(京) 中村 宇一(京) 松岡 秀夫(京) 渡邊 一九(大) 本多 重紀(大) 小島 伯信(大) 池田吉太郎(千) 大久保 信(千) 藤平 登三(千) 田原 利宗(京) 田村 明雄(京) 瀧野 増市(京) 高島 雅行(京) 豊福 豊(北) 飯室 進(北) 櫻庭 健一郎(東北)

三好 説二(東) 和氣 巖(東) 山崎 達男(東) 飯塚 實(東) 山崎 三郎(東) 高田 弘(京) 河合 郁三(府) 角田 正清(慶) 大塚 俊雄(京府) 家坂 正(京) 鈴木 立春(東北) 飯淵 友麿(東北) 東田 一夫(大) 牧野 三郎(大) 田代 保光(大) 山城角之助(大) 田中憲太郎(慶) 富田 貞治(京) 金 登(城) 調 來(城) 三宅 二一(城) 中島 信一(金) 田中 豊(金) 川崎 勇三(東) 中條 利平(東) 宮本 儀作(京府) 近藤 寅夫(新) 宮本 儀作(京府) 佐藤 秋義(新) 北岡 正見(東) 藤倉 一夫(東) 北岡 正見(東) 木村 次郎(東) 奥 源之助(京) 竹内 章俊(慶) 永井 良政(慶) 村瀬 涉(慶) 大曾根 次郎(慶) 岩原 寅彦(慶) 今北 力(大) 外村 三義(大) 榎尾 舜吉(大) 大宮 正一(千) 市原 正雄(千) 松井重次郎(千) 加納 知男(名) 藤田 勲三(名) 池内 芳香(名) 的場 克己(名) 櫻井 芳香(名) 久野 英一(北) 末永代四郎(大) 町田 静夫(慶) 中村 文雄(慶) 藤野 幸太郎(京府) 木戸 幾久男(新) 山本 三郎(京) 中野 武(京府) 河原 魁一郎(京)

藤 章(京) 天野 重安(京) 齋藤 健吉(東北) 佐藤 米次(名) 八木 新作(大) 小野 清(大) 山口 保年(名) 山崎 義郎(名) 竹内 重郎(名) 尾形 恒治(九) 山崎 憲二(九) 北川 範郎(九) 田代 規矩雄(九) 小東 重郎(大) 齋藤 恭節(大) 孟 憲(九) 加來 正武(九) 都田 恒夫(九) 筒井 龍雄(九) 淺羽 武一(京) 出射 一郎(京) 許 重之(東) 日野 重三郎(東) 庄司 重三(東) 松林 義正(東) 中村 四雄(東) 松田 義三(東) 三田 泰三(東) 松田 彰(東) 太田 敏三(東) 木村 圭一(東北) 小川 啓吾(大) 石山 隆(千) 岡田 啓吾(大) 山本 一男(名) 村田 文雄(千) 堀 榮一郎(名) 青山 有一(名) 長内 丑右衛門(北) 增村 隆也(北) 三浦 良雄(城) 矢崎 正方(京) 堀間 範(京) 鈴木 紀(京) 立澤 誠(京) 大橋 昌(京) 藤山 誠造(大) 八木 富一(京府) 藤本 那時(京府) 松本 素雄(京府) 藤澤 不二雄(千) 竹田 仁(大) 藤本 鐘(千) 加藤 靜子(千) 藤野 三郎(慶) 渡邊 由松(慶) 神野 三郎(慶) 森井 正路(京) 和佐 景(京) 藤 賢(京) 藤 添(京)

小山 菊麿(京) 小川 萬藏(京) 吉野 五郎(京) 的場 喜久雄(京) 藤森 速水(京) 加藤 清雄(滿) 宮田 重雄(慶) 毛 受治郎(八) 吉岡 榮一(慶) 池内 進(慶) 須田 文雄(慶) 武田 比企 能遠(東) 鈴木 卓爾(東) 岸 能(東) 青木 延春(東) 比企 能遠(東) 吉中 佳辰夫(東) 小林 軍二(東北) 關口 利一(東北) 金子 太郎(東北) 佐藤 源太郎(東北) 今野 清一(東北) 飯野 走馬(京) 前田 隆三郎(京) 飯尾 純三(京) 重見 速雄(京) 前田 洲(長) 三井 欣藏(長) 香川 景久(長) 村尾 健志(長) 小佐野 菊太郎(千) 鈴木 才次(千) 齋藤 行藏(千) 野口 憲三(千) 深澤 多佐雄(千) 神保 謙代(新) 青木 市太郎(北) 神保 謙代(新) 橫澤 巖(新) 牧 常彦(滿) 谷向 茂(大) 演 光治(大) 宮田 計三(大) 中山 幹(大) 河本 清(熊) 金澤 信太郎(熊) 岡田 芳文(九) 佐々木 啓米(九) 木村 成美(九) 神島 辰雄(北) 小川 玄一(北) 川又 選太郎(北) 山代 美雄(新) 芳賀 由男(新) 藤井 隆(大) 宮川 九平(大) 西 才藏(京) 宮川 九平(大) 大北 要(京) 乘國 了(京) 藤 源(京) 藤 英一(東北)

新博士

神崎 敬治(東北) 谷口 正弘(北) 大山 嘉次郎(北) 水上 秀雄(北) 小林 辰雄(北) 難波 彌彦(京) 藤野 敬二(京) 桂 直義(京) 水崎 雄介(東) 川田 達彦(新) 大塚 宏(東) 松岡 直義(東) 原田三三(東) 若林 宏(東) 藤方 洪平(京) 加藤 太郎(京) 中島 定次(九) 森 慶(九) 田中 俊男(九) 野村 東雄(九) 寺尾 俊平(慶) 野村 東雄(九) 土橋 静佳(慶) 松崎 陽(慶) 牧 有義(慶) 古賀 賢一(九) 西尾 一三(九) 池野 喜一(九) 五十嵐 雄二(慶) 富塚 八十一(千) 櫻澤 繁(千) 浦野 英彦(千) 齋藤 義直(金) 渡邊 四郎(金) 空閑 重秋(滿) 箭頭 正男(滿) 鈴木 順彬(京) 志水 新次(京) 高井 順造(京) 江波 哲也(慶) 戸田 夕二(慶) 白戸 彌七郎(東北) 鈴木 喜世(東北) 藤原 若助(東北) 吉田 松一(東北) 藤原 若助(東北) 山田 時彦(京) 鈴木 英雄(京) 丸尾 正敬(京) 室 勇三(京) 岡重 正敬(京) 宮地 伸一(慶) 分高 武(京) 加藤 辰三(名) 安藤 正年(京) 鈴木 辰三(名) 關 時行(名) 鈴木 辰三(名) 中西 應徳(名) 鈴木 辰三(名) 吉田 清順(大) 江里口 春志(大)

植田 三郎(京) 三河 篤二(京) 伊吹 敏三(東北) 淡谷 武夫(東北) 今 四方一(東北) 伊藤 嘉夫(九) 山田 克己(九) 松田 忠國(九) 宮崎 守作(九) 今永 一(九) 諸方 潔(九) 福原 方雄(九) 藤本 貢(京) 竹内 道真(京) 浦城 二郎(京) 藤木 新次(京) 山澤 三郎(京) 櫻井 與藏(京) 阪井 有隣(京府) 櫻井 與藏(京) 乙部 元治(慶) 北原 榮惠(慶) 兒玉 威(慶) 山口 清(慶) 西原 圓次(慶) 關根 豐之助(東) 橋本 安太郎(東) 關根 豐之助(東) 林 篤七(東) 鈴木 重一(東) 日野 誠(東) 關口 六郎(東) 正木 信夫(金) 高柳 博明(千) 磯田 五雄(京) 朝比奈 德一(名) 淺井 貞胤(名) 長谷川 吉國(名) 神野 正清(名) 伊藤 泰一(新) 森高 録雄(名) 日野 信(東北) 千葉 俊郎(東北) 瀨尾 道真(東北) 關川 志郎(東北) 瀨尾 道真(東北) 宇津 徹彦(東北) 母里 太一郎(東) 上原 慶(東) 大和田 信道(東) 吉田 恒太郎(東) 岩瀬 元治郎(京府) 廣 孝雄(京府) 吉原 啓市(北) 久保 茂雄(北) 北條 氏憲(名) 大石 碩也(京) 前田 一郎(京) 志多 半三郎(京府) 藤原 規休(千) 河野 秀夫(千) 立花 俊三(九) 山崎 一雄(九)

藤林 道三(九) 仁科 泰九(九) 吉田 定男(九) 藤田 喜壽九(九) 門松 利三(九) 早瀬 正香(名) 中島 仙七(名) 長谷部 偉三(名) 加野 太郎(名) 土井 順也(名) 及川 亮輔(名) 櫻浦 源一(京) 保科 一孝(京) 山田 豊(京) 松浦 三郎(京) 寺迫 新次(京) 杉本 繁(東北) 小川 鼎三(東北) 津川 一彦(東北) 花輪 盛(東北) 北川 龍藏(東北) 井上 剛(東北) 藤森 誠一(滿) 矢野 彌十(京) 松田 坦(京府) 大井 久夫(京府) 須野 憲二(京) 二宮 惠一(名) 河野 純三(京) 佐々木 盛(京) 小川 芳樹(東北) 伊丹 榮一郎(京) 堀岡 正家(京) 中島 正(京) 堀岡 慶一(京) 藤田 鍊(京) 堀岡 寛(東北) 和邇 榮爾(京) 岩崎 一郎(京) 高松 勇治郎(京) 後藤 以紀(東) 高橋 正一(東) 足立 康(東) 千藤 三千造(東) 佐藤 芳夫(東) 野本 清一(東北) 堀尾 正雄(京) 大日方 一司(東) 八代 準(東) 富田 久三郎(東) 堀越 一三(東) 中村 廣一(京) 小坂 文伍(京) 小柳 勝藏(東工) 佐藤 知雄(東北) 藤井 芳郎(東北) 佐藤 忠雄(東) 菅沼 市藏(東)

鈴木 清太郎(東) 坪井 忠二(東) 遠藤 美善(東北) 瀧木 政枝(東) 前田 文友(京) 高根 勝利(東北) 久保田 桐造(東北) 朝戸 順(東北) 今井 貞省(東北) 森 新次郎(京) 淺田 常三郎(京) 田中 憲三(京) 吉木 文平(東北) 渡邊 元雄(東北) 竹内 亮(東) 小島 俊文(東) 伊藤 平右衛門(北) 河合 義安(東) 遠藤 安太郎(東) 樋浦 誠(北) 渡邊 全(東) 山内 爲壽(東) 櫻井 莊三(東) 高橋 獎(東) 金井 眞澄(東) 安田 貞雄(九) 福士 貞吉(北) 小坂 博(九)

鈴木 貞太郎(谷) 藤原 静也(東) 山川 傳之助(東) 遠見 梅榮(東) 宇野 圓空(東) 橋本 進吉(東) 圓谷 弘(日) 八木 芳之助(京) 向井 隆松(慶) 高城 仙次郎(慶) 増井 幸雄(慶) 鹿島 守之助(東) 佐藤 百喜(東) 藥師 寺志光(東) 野津 務(東) 横田 嘉右衛門(東) 近藤 憲(東) 武田 鼎一(早)





研究所一覽・學校一覽

Table listing various research institutes and schools with columns for name, location, and details. Includes entries like '日本ローム字會', '東京帝國大學', and '私立大學'.

學校一覽

Table listing schools, categorized into '帝國大學' (Imperial Universities) and '私立大學' (Private Universities), with details on their names and locations.

Table listing schools, categorized into '帝國大學' (Imperial Universities) and '私立大學' (Private Universities), with details on their names and locations.

學校一覽

東條大學—東京市神田區神保町三  
(學長)坂谷芳郎、(經濟學部長)河津  
通、(法學部長)須賀嘉三郎、(商  
計部長)道家齊一郎、(豫科長)小泉  
嘉章

立教大學—東京市豐島區池袋三  
(總長)C.S.ライフスナイダー  
(學長)木村重治、(文學部長)小島茂  
雄、(經濟學部長)木村重治、(商學  
科長)須藤吉之祐、(經濟學科長)河  
西太一郎、(英文學科長)岡倉由三  
郎、(史學科長)小林秀雄、(哲學科  
長)菅田吉、(宗教學科長)落合吉之助  
關西大學—大阪府三島郡千里村  
(學長)仁保藤松、(法文學部長)岩崎  
卯一、(經濟學部長)水谷操一、(豫科  
長)村上喜貞

拓殖大學—東京市小石川區茗荷谷町  
(學長)永田秀次郎、(豫科長)齋藤和  
一

滿洲醫科大學—奉天富士町  
(學長)稻葉逸好、(豫科主事)眞山賢  
立命館大學—京都市寺町廣小路東入  
(名譽總長)藤田萬、(總長)中川小十  
郎、(學長)佐々木惣一、(經濟學部長)  
(法律學部長)佐々木惣一、(商學科  
部長)小島昌太郎、(文學科部長)吉  
澤義則、(豫科部長)小林照則  
立正大學—東京市品川區東大崎四  
(學長)關本龍門、(學部長)守屋眞  
教、(豫科部長)望月豐厚  
駒澤大學—東京市世田谷區深澤町

陸軍諸學校

成所(鈴木達治)廣濟市中區大町町  
陸軍大學校(杉山元)東京市赤坂區青山  
北町一、(所長)陸軍飛行學校(德川好敏)  
堀玉野澤町、(下志津)陸軍飛行學校  
(淺田禮三)千葉縣千葉郡都村、(明野)陸  
軍飛行學校(春田隆四郎)三重縣度會郡  
北濱村、(濱松)陸軍飛行學校(植原忠治)  
靜岡縣濱名郡神戶呂村、(陸軍工科學校  
(木本益雄)東京市小石川區小石川町、  
憲兵練習所(所長)曾野芳彦、(東京市)憲  
兵丸之内一、(陸軍經理學校)平手助次  
郎、(東京市)牛込區若松町、(陸軍軍醫學  
校)小泉親彦、(東京市)牛込區戸山町、(陸  
軍獸醫學校)新美信太、(東京市)世田谷區  
下代田町、(陸軍砲工學校)中岡彌高、(東  
京市)牛込區若松町、(陸軍步兵學校)香  
月清司、(千葉縣)千葉郡都賀村、(陸軍騎  
兵學校)飯田貞固、(千葉縣)千葉郡二宮町  
陸軍野戰砲兵學校(山室宗武)千葉縣  
印旛郡千代田村、(陸軍重砲兵學校)(河  
村恭輔)神奈川縣三浦郡浦賀町、(陸軍  
工兵學校)佐村(益雄)千葉縣東葛飾郡明  
村、(陸軍通信學校)星川久七、(東京市)杉  
並區馬橋四、(陸軍自動車學校)佐々木  
吉良、(東京市)世田谷區世田谷四、(陸軍  
戸山學校)藤谷伊之彦、(東京市)牛込區戸  
山町、(陸軍士官學校)稻垣孝照、(東京市)  
牛込區市ヶ谷本村町、(東京)陸軍幼年學  
校(阿南惟廉)東京市牛込區戸山町、(仙  
台)陸軍教導學校(中井武三)仙台市川内

學校一覽

(學長)大森禪戒、(豫科長)兒玉遠雄  
東京農業大學—東京市澁谷區常盤松町  
(學長)吉川祐爾、(豫科長)加藤茂苞  
日本醫科大學—東京市本郷區駒込千駄  
木町  
(學長)藤田廣重、(學部主任)西澤行  
藏、(豫科主任)米倉昌達  
高野山大學—和歌山縣伊都郡高野山  
(學長)高岡隆心、(學部長)天野觀  
明、(豫科部長)藤田貞道  
大正大學—東京市豐島區西巢鴨四  
(學長)加藤精一、(學部長)矢吹慶  
輝、(豫科長)宮崎榮雅  
東洋大學—東京市小石川區原町十七  
(學長)藤村作、(豫科長)廣井辰太郎  
上智大學—東京市麹町區紀尾井町  
(學長)ヘルマン・ホフマン、(文學  
部長)鳥居龍藏、(商學部長)中村進  
午、(豫科長)榮田猛猪  
關西學院大學—西宮市外甲東村  
(學院長)C.J.L.ヘーツ、(副  
院長)曾木銀次郎、(法文學部長)H  
・ウツウオルス、(文學部長)(神  
學部長)堀峰雄、(豫科長)菊池七郎

第一高等學校(森登吉)東京市本郷區向  
ヶ岡彌生町、(第二)高等學校(阿刀田合  
造)仙台市北六番丁、(第三)高等學校(溝  
淵進馬)京都市左京區吉田一本松町、  
第四高等學校(小松信一)金澤市仙石

【官立高等學校】  
第一高等學校(森登吉)東京市本郷區向  
ヶ岡彌生町、(第二)高等學校(阿刀田合  
造)仙台市北六番丁、(第三)高等學校(溝  
淵進馬)京都市左京區吉田一本松町、  
第四高等學校(小松信一)金澤市仙石

【官立高等學校】  
第一高等學校(森登吉)東京市本郷區向  
ヶ岡彌生町、(第二)高等學校(阿刀田合  
造)仙台市北六番丁、(第三)高等學校(溝  
淵進馬)京都市左京區吉田一本松町、  
第四高等學校(小松信一)金澤市仙石

海軍諸學校

海軍大學校(井上操)東京市品川區上  
大崎、(海軍兵學校)及川古志郎、(廣島縣  
安藝郡江田島村、(海軍軍醫學校)高杉  
新一郎、(東京市)京橋區築地、(海軍機關  
學校)上田宗重、(京都府)下中舞鶴町、(海  
軍經理學校)池邊安雄、(東京市)京橋區小  
田原町三、(海軍砲術學校)原敬太郎、(橫  
濱市)楠ヶ浦、(海軍水雷學校)日暮登  
年、(橫濱市)海軍通信學校(降幡敏)  
神奈川縣三浦郡田浦町、(海軍工機學校  
(小野德三郎)橫濱市白濱、(海軍潜水  
學校)野村直邦)吳市吉浦町

官立專門學校

富山藥學專門學校(高橋達造)富山市外  
奥田村、(熊本)藥學專門學校(村山義温)  
熊本市大江町五品寺七八、(東京)外國語  
學校(戶澤正保)東京市麹町區竹平町、  
大阪外國語學校(葉山萬次郎)大阪市天  
王寺區上本町八、(東京)高等齒科醫學校  
(島崎徹)東京市本郷區湯島三、(東京)美  
術學校(和田英作)東京市下谷區上野  
公園西四軒寺跡、(東京)音樂學校(乘杉  
嘉壽)東京市上野公園地元西四軒寺跡  
、(湖濱技術官養成所)一、(東京市)麹町區  
大手町中央氣象台內、(京)城醫學專門學  
校(佐藤剛藏)京城市府邊通洞二二八、(白

官立專門學校

北醫學專門學校(堀内次雄)台北市東  
門町、(京城)法學專門學校(廣松龍種)京  
城府光化門通  
【公立專門學校】  
京都市立繪畫專門學校(西山卯三郎)京  
都市東山區今熊野日吉町、(大阪)商科大  
學(高橋部)河内郡高槻市、(大阪)商科本  
町、(岐阜)藥學專門學校(比良野崎)岐阜  
市九重町三、(福岡)女子專門學校(鈴  
木暢幸)福岡市須崎町、(大阪)府女子  
專門學校(平林治徳)大阪市住吉區住吉  
町帝塚山、(宮城)縣女子專門學校(三矢  
英松)仙台市連坊小路、(京都)府立女子  
專門學校(櫻井賢三)京都市右京區桂市  
、(前町)廣島女子專門學校(榮山槐郎)  
廣島市中下町、(長野)縣女子專門學校  
(土屋幸正)長野市箱清水

官立專門學校

町三七、(第五)高等學校(十時彌)熊本  
市黒髮町、(第六)高等學校(岡野義三郎)  
岡山市國富、(第七)高等學校(造士館)(堀  
重里)鹿兒島市山下町、(第八)高等學校  
(小松原隆二)名古屋市南區瑞穂町、(新  
潟)高等學校(岡上梁)新潟市西大畑町五  
二一四、(熊本)高等學校(西川順三)熊本  
市縣町、(山口)高等學校(岩田博藏)山口  
市大字上野台、(松山)高等學校(金子  
幹太)松山市持田町、(水戸)高等學校(近  
澤道元)水戸市東原町、(山形)高等學校  
(久保良澄)山形市小白川町、(佐賀)高等  
學校(生駒萬造)佐賀縣佐賀郡本庄村、  
弘前高等學校(中山文雄)弘前市富田町  
、(松江)高等學校(藤田萬一郎)松江府外  
川津村、(東京)高等學校(塚原政次)東京  
市中野區榮町通一ノ二八、(大阪)高等學  
校(根本繁吉)大阪市住吉區王子町三、  
浦和高等學校(共木清次郎)浦和市一、  
福高等學校(秋吉音治)福岡市大坪町一  
、(靜岡)高等學校(金子健二)靜岡市大岩  
町二、(高知)高等學校(石倉小三郎)高知  
市江ノ口、(姫路)高等學校(山内雄太郎)  
兵庫縣飾磨郡安室村、(廣島)高等學校  
(石井忠純)廣島市皆實町、(台北)高等學  
校(谷本清心)台北市古亭町

【公立高等學校】  
富山高等學校(藤川龍夫)富山縣上新川  
郡大廣田村、(浪速)高等學校(三浦菊  
太郎)大阪府豐能郡櫻井谷村大字榮原  
、(東京)府立高等學校(川田正藏)東京市

【公立高等學校】  
富山高等學校(藤川龍夫)富山縣上新川  
郡大廣田村、(浪速)高等學校(三浦菊  
太郎)大阪府豐能郡櫻井谷村大字榮原  
、(東京)府立高等學校(川田正藏)東京市

【私立高等學校】  
武藏高等學校(取坂山本良吉)東京市板  
橋區中新井町、(甲南)高等學校(平生鈺  
三郎)兵庫縣武庫郡本山村、(成城)高等  
學校(銅直勇)東京府北多摩郡砦村、(成  
蹊)高等學校(淺野孝之)東京府多摩郡武  
藏野町吉祥寺九五一  
【高等師範學校】  
(括弧內は校長)東京高等師範學校(森  
岡常藏)東京市小石川區大塚窪町、(廣  
島)高等師範學校(吉田賢龍)廣島市東千  
田町  
東京女子高等師範學校(吉岡郷甫)東京  
市小石川區大塚町、(奈良)女子高等師範  
學校(稻葉彦六)奈良市北魚屋西町

私立高等學校

市上京區大將軍坂田町、(鳥取)高等農  
學校(山田玄太郎)鳥取市吉方村、(千葉  
高等)園藝學校(松井謙吉)千葉縣東葛飾  
郡松戸町、(長崎)高等商業學校(只見)  
長崎市片淵町、(山口)高等商業學校(岡  
本一郎)山口市、(小樽)高等商業學校(伴  
房次郎)小樽市綠町五、(名古屋)高等商  
業學校(渡邊龍聖)名古屋市南區瑞穂町  
川澄、(福島)高等商業學校(伊藤仁吉)福  
島縣信夫郡清水村、(大分)高等商業學  
校(添野信)大分市上野、(產根)高等商業學  
校(矢野貫城)滋賀縣犬上郡彦根町、(和  
歌山)高等商業學校(花田大五郎)和歌山  
市關戶高松、(廣濟)高等商業學校(田尻  
常雄)廣濟市中區南太田町、(高松)高等  
商業學校(澤田源一)高松市宮脇町、(高  
岡)高等商業學校(鈴木新)高岡市古定塚  
、(福岡)高等商業學校(一)福岡縣筑紫郡  
春日村、(京城)高等商業學校(若佐重一)  
京都市府邊二洞、(台北)高等商業學校(切  
田太郎)台北市幸町一一七  
京都高等工藝學校(村上宇一)京都市左  
京區松ヶ崎御所海道町、(熊本)高等工業  
學校(遠藤金市)熊本市黒髮町、(名古  
屋)高等工業學校(土屋純一)名古屋市中  
區御器所町、(米澤)高等工業學校(大場  
成實)米澤市馬口旁町、(桐生)高等工業  
學校(西田博太郎)桐生市天神町、(橫  
濱)高等工業學校(鈴木達治)廣濟市中區  
大岡町、(廣島)高等工業學校(川口虎雄)  
廣島市千田町、(金澤)高等工業學校(青  
戸信賢)石川縣石川郡崎浦村、(仙台)高

私立高等學校

【臨時教員養成所】  
第一臨時教員養成所(森岡常藏)東京高  
等師範學校內、(第二)臨時教員養成所  
(吉田賢龍)廣島高等師範學校內、(第六  
臨時教員養成所)吉岡郷甫)東京女子高  
等師範學校內、(第八)臨時教員養成所  
(松浦誠次郎)九州帝國大學內

【實業教員養成所】  
東京帝大農學部附屬農業教員養成所  
(高橋慎造)東京市目黒區駒場、(東京)商  
大附屬商業教員養成所(藤本幸太郎)東  
京府北多摩郡谷保村、(名古屋)高工附設  
工業教員養成所(土屋純一)名古屋市中  
區御器所町、(廣濟)高工附設工業教員養

【臨時教員養成所】  
第一臨時教員養成所(森岡常藏)東京高  
等師範學校內、(第二)臨時教員養成所  
(吉田賢龍)廣島高等師範學校內、(第六  
臨時教員養成所)吉岡郷甫)東京女子高  
等師範學校內、(第八)臨時教員養成所  
(松浦誠次郎)九州帝國大學內

【實業教員養成所】  
東京帝大農學部附屬農業教員養成所  
(高橋慎造)東京市目黒區駒場、(東京)商  
大附屬商業教員養成所(藤本幸太郎)東  
京府北多摩郡谷保村、(名古屋)高工附設  
工業教員養成所(土屋純一)名古屋市中  
區御器所町、(廣濟)高工附設工業教員養

學校一覽

等工業學校(新保德壽)仙台南六軒町... 東京高等工藝學校(安田誠造)東京市芝區新芝町...

公立實業專門學校

橫濱商業專門學校(前田幸太郎)橫濱市中區南太田町清水地... 神戶高等商業學校(伊藤真雄)兵庫縣明石郡垂水町...

官立官、雙咄學校

東京官立學校(片山昇)東京市小石川區雜司ヶ谷町二〇... 東京雙咄學校(樋口長市)東京市小石川區指ヶ谷町...

其他の官立學校

學習院(院長荒木寅三郎)東京市豊島區目白町一... 女子學習院(院長長尾順耳)東京市赤坂區青山北町三...

京市豊島區西區鴨二... 同志社高等商業學校(荒尾健治)京都市外岩倉村... 高等商業學校(德永四郎)大阪市外日本女子大學(井上秀)東京市小石川區高田豐川町...

(館長平田貫一)三重縣度會郡濱郷村大字神田... 水産講習所(所長杉浦保吉)東京市津川區越中島町八

私立專門學校

明治大學專門部(木下友三郎)東京市神田區駿河台... 法政大學專門部(水町製袋六)東京市麹町區富士見町三...

同志社專門學校(湯淺八郎)京都市上京區新小路町... 國學院大學高等師範附屬神道部(徳川國顯)東京市澁谷區若木町...

女子)東京市神田區一ツ橋通... 日本女子體育專門學校(二階堂トクヨ)東京市世田谷區松原町... 堀路加女子專門學校(トイストラ)東京市京橋區明石町...

修養教化團體

日本弘道會(會長徳川達孝)東京市神田區西神田二ノ一... 報徳會(理事長角谷源之助)京都市伏見區桃山町御料地...

二六二

(J・クラウス)東京市麹町區紀尾井町... 明治學院(田川大吉郎)東京市芝區白金今里町四二... 青山學院(阿部義宗)東京市澁谷區綠町二二...

調哈爾賓... 東京物理學校(大河内正敏)東京市牛込區神樂町二... 大日本武徳會武道專門學校(根岸和一郎)京都市左京區岡崎西天王町...

縣武庫郡御影町宇掛田... 東京醫學專門學校女子部(上野金太郎)東京市下谷區上野櫻木町... 東京女子醫學專門學校(西崎弘太郎)東京市澁谷區幡ヶ谷...

科醫學專門學校(河合峻策)東京市品川區大井水神町二〇九二... 東京女子齒科醫學專門學校(宇田尚)東京市本郷區元町二...

調會内... 楠公顯彰會(大阪府南河内郡千早村千早)忠勇顯彰會(會頭田田源三)東京市澁谷區櫻田一ノ四四...

都市東山區山科四宮柳山町八... 日本植物園(主幹下藏徳之丞)東京市澁谷區西四ツ原八〇... 櫻の會(會頭齋司信輔)東京市目黒區中目黒一ノ六六七...

修養教化團體



# ジャーナリズム

井上吉次郎

ジャーナリズムといふのは、イムペリアリズムなどいふのと同じく、心の態度の言葉であるが、特にアカデミツクと對立させられる。

アカデミツクの態度は没趣味である、ジャーナリズムは趣味を中心と置く、所謂興味中心とか本位とかいはれるやつである。或卑近な論者がジャーナリズムの方法を或種の書法、一部分を他部分と比例を失して大きく講くに似て、とみた。「人體生理圖」の描法ではそんな失當は許されない。科學は存在をそのあるがままの姿に於いて認識することを求める。現象界に流形する法則を求める態度は、これを捨て彼を採る、といふ場合に、その社會人心に訴へる好悪美醜等々の感情的打算で取捨選擇を施してはならない。微細なる一物も法が流れて居れば之を採り上げ

巨大なる無数も無法の存在は顧みない。及び、その採用は、それ等の各々が示す法則の限りに於いてである。大は其大限り、小は其小限り採用され、其限りに描寫される。それがアカデミツクの方法である。ここに一物に特に大きく拂はれた興味なく、一事に特別に顧着される興味を持たない。

このアカデミツクの態度と對照的に反對なるがジャーナリズムである。ここに物を見るは興味に基づく。無論、ジャーナリズムは虚偽を好まない。新聞は虚報を忌む。新聞記者が正確に事件を報道せんがために拂ふ苦心は異常なものである。記事を正確ならしめんがため、各新聞は相當大きな特別機關さへ備へる。讀者の新聞雜誌に求めるところは常に眞實であつて嘘でない。嘘が面白くはない。嘘みたくない話でも、眞實なればこそ耳を傾ける。事實は小説よりも奇なるが故に耽溺される。新聞の全面面白い嘘つばちで埋めたら何

人も顧みない。

しかし眞理は往々平凡である。平凡な眞實を科學的表現に於いて記載したんでは、それはアカデミツクの専門雜誌になつて一般人の新聞にならない。新聞は新奇を求める人心の要求に應じなければならぬ。面白い眞實を報じなければ一般の満足を買へない。ただ眞實だけでは物にならない。凡夫が佛になる、これは絶對的なる宗教眞理であるが、その事を今更報じても仕方がない。生佛が凡夫になつた、そんな事實を發見したら、新聞が大々的に報道し、讀者が喜んで、その報道を受取る。ニュースとは讀者の多數を喜ばせる記事である、とさへいへよう。新聞は、社會内の出來事で、一般人が、その報道を待望する如き事件を擇んで記載する。その擇び方をジャーナリズムといふんだと解される。即ち心の態度の言葉だとされる。アカデミツクの撰擇は、價值判斷の標準を法則性の如きものに置

く。ジャーナリズムは一般人の興味若くは利害關係といふやうなところに置かれる。アイシユタイの相對性原理が新聞種になつたことがあつた。その科學的理解若くは價値の重要性を認識した結果よりは、そんな新奇な學說と人と對する一般人の興味といふことが、それを大きな新聞種にしたのであつた。故に、そのジャーナリズムに於ける價値判斷は、市井の無名の女の奇異な殺人事件の手の如きものと、等價或は同等以下に位されるやうなこともあり得る。ジャーナリズムに於いては、特別に高價なる範疇を持たない。多數人の關心事たることが新聞價値の標準である。東京帝國大學に於いて博大な知識と明徹な頭腦で、或科學法則の眞理を講ずる教授の講義よりも、六大學リーグ野球戦で七割二分二厘の打率を示した梶原の健棒の方が、時にとつて、大きな價値ある記事になる。そんな風な撰擇の施されるが、

ジャーナリズムの特徴で、これは一般人關心事(インテレスト)を思考の中心に置くものである。

# 驚異の印刷界

島屋政一

一時間十五万枚印刷の輪轉機だいやそれに附随する紙粉器版機の活躍だ、電送寫眞だ、といった風に新聞印刷が如何に發達して、世人を驚かしてゐるかは、周知の事實だから此所には之を省くこととして、一般印刷工業界が如何に發達してゐるかを簡単に述べよう。十年前の印刷界と、現在のそれとを比較すると、實に驚くべき進歩である。それもこゝ一、二年の間に完成されたものが多く、昭和七年頃までは輸入品に仰いでゐたものが、今日では輸出に早替りしたものが甚だ多いのは全く意を強くする次第である。

印刷の方からいふと、天然色寫眞の製版印刷の完成である。従來の原色版といふものは、普通寫眞

驚異の印刷界

を色分けにして、之を三色又は四色で天然色の氣分を出したものであるが、昭和八年我國に於て眞の天然色印刷法が完成されて、世界の印刷界に氣を吐き、九年度に入りて、その印刷物は歐米に輸出されるの盛況にある。又八年九月完成されたポスターグラフィ法も我國に於ける獨特の版式で、スクリーン法によらざる半調版の製作方法によるものである。

天然色寫眞印刷法は風景なり、物體なりの色調そのままを版式に仕立て、印刷する極めて精巧のものであるが、ポスターグラフィに於ては、印刷せんとする模様又は文字等全體の版像を有する印刷版と別に各色部に相當する數個の無地版を作り、これに色インキを盛つて、之を印刷版色の所定位置に轉寫した後、この版面から紙に印刷する方法で、その出來榮えに至つては従來の版畫を緻密にしたもので、一層の深味があり且優雅である。

これらの技術に於ては、歐米人も甚しく日本印刷界の進歩に驚嘆し、印刷術に於て、頗る幼稚の國と輕蔑の念を有してゐた彼等が、俄かに崇拜の態度を持つに至つたのは我が印刷業者の努力の結果である。先年米國にて發明されたエチ・ビー製版法の如き、その權利の讓受だけにさへ六十万円といふ大金を出した日本が、今日では此の版式に於て世界の一等國となり、エチ・ビー版の處理法を我が學ぶの奇なる現象を呈して居る。

印刷術に寫眞を應用することに妙を得てゐる我國は、陶磁器に、木竹に之を利用し、海外輸出を圖りてこれに成功し、又ブリキ及びセルロイド印刷に獨特の技術を發揮して、これらの輸出品は枚舉に遑なきほどである。發明王エヂソンによりて發明されたミニオグラフィが、米國に於いて發達せず、我國に於いて孔版術として發達し、その版畫が米國人によりて愛玩せらるゝに至りしは

宋朝活字の印刷物が日本から支那へ輸出せられつゝあるのと好一對である。而してこれらは何れも昭和七年來のことで、殊に八年度より九年の初めに當つて顯著なる事實となつて認めらるゝに至つた。一方印刷術は發達したが、その材料は海外より輸入せねばならぬといふ憾みが近頃まであつた。然るに今日では材料一式國産品で事足るに至つたのは、誠に我印刷界の誇りと云はねばならぬ。

中にも平版原版用解墨の如き、コロムベーパー(轉寫紙)の如き、その大部分は舶來品を用ひつゝあつたが、近來は悉く國産品となり又着肉用のゴムローラー及び印刷に使用するゴムブランケットの如き、最近まで外國品を用ひたがゴム製品の發達と共に舶來品は我印刷界より完全に影を没するに至つた。材料品として、その製造法の最も後れしはグラビヤインキであつた。偶々國産品現はるゝも、舶來

出版圖書統計

品に比して、品質に遜色ありとの非難絶えなかつたが、之又今日にては立派に製造せらるゝのみならず、海外へ輸出せらるゝの盛況にある。

全國新聞紙數

(内務省警保局 調昭和八年度)

Table with columns for '種類' (Type), '有保證金の分' (With Guarantee), and '無保證金の分' (Without Guarantee). Rows include '日刊', '月一回以上', '月一回', 'その他'.

本邦製紙高、販賣量統計

(昭和八年度)

Table with columns for '製造高' (Production), '販賣高' (Sales), and '千封度' (Thousands of Bundles). Rows include '上等印刷用紙', '印刷用紙', '筆記及備用紙', etc.

合計製造高 販賣高

新聞掲載廣告の順位

- 【東京、大阪十五新聞一八年度】
(1) 藥品 (2) 圖書 (3) 化粧品 (4) 案内 (5) 食料品 (6) 雑品 (7) 雑品 (8) 服装品 (9) 機器 (10) 演藝 (11) 會社 (12) 記事面 (13) 登記 (14) 病院 (15) 出帆 (16) 決算 (17) 官公署 (18) 死亡 (19) 地方九十六新聞一八年度

新聞及出版關係團體

- ハンガリー 1,500,100,266
デンマーク 1,111,313,310
ポルトガル 2,750,311
スエーデン 2,600,000
スペイン 2,400,000
ブルガリヤ 2,400,000
スイス 2,400,000
日本新聞協會(會長清浦奎吾)
東京市銀座四ノ四 新聞研究所(所長永代靜雄)
東京市銀座西三ノ三 東京帝國大學文學部新聞研究室(主任小野秀雄)
東京市本郷區本富士町 日本大學新聞學會(部長補沼末太)
東京市神田區三崎町日本大學文科科 新聞學院(院長山根眞治郎)
東京市神田區三崎町三ノ一八 全國書務組合聯合會(會長代理目黒基七)
東京市神田區駿河台一ノ二 東京出版協會(會長目黒基七)
東京市神田區小川町三ノ八 東京書商組合(組長上原才一郎)
東京市神田區駿河台一ノ二 大阪書務雜誌組合(組長三木佐助)
大阪市西區南堀江通一ノ三八 中等教科書協會(會長坂本嘉治馬)
東京市神田區小川町五ノ八 中央雜誌會(會長都河龍)
東京市麹町區九段四丁目婦女界社內 東京編輯者協會(會長長谷川誠也)
東京市丸ビル五階中央公論社內 日本雜誌協會(會長實業之日本社)
東京市神田區一ツ橋通町教育會館內 東京雜誌販賣業組合(組長大野孫平)
東京市神田區駿河台四ノ二

文壇一年間の概観

千葉 龜 雄

内 篇

文壇一年間の概観

(昭和八年七月から九年七月まで)

昭和八年度の出版統計を見ると出版量の最高を占める第一位は教育書類で二、七二七。文學は第二位、二、六五二を占める。八年度においては、社會物、政治物の書籍出版が、いちじるしい退潮の傾向を辿つてゐるのに比べて、文學はむしろ前年七年度の二、二七一に比べて、三八一の増加を見てゐる。一般的に、讀書界の文學に對する熱情は決して減退したと思はれぬ。

純文學小説が、重に高級雑誌文學雑誌に現はれ、婦人雑誌、大衆小説雑誌、新聞紙が、一般に通俗小説と呼ばれる現代戀愛小説を引

文壇一年間の概観

激しない理由でもあつたらう。昭和八年七月から、昭和九年七月まで、多少でも問題になつた作品を、雑誌から拾ひ上げて見る。

受けて、二つの流れが平行線を作つてゐることは、前年も、此年も變りがない。しかし、通覽して、純文學、大衆文學いづれの方面を見ても、この一年間は平凡そのもののような一年であるといへる。純文學派には、これと云つた傑作が現はれないし、大衆文學の方面では、既成作家が行き詰つて、情勢によつて書いてゐるといふ外はない。それにかゝはらず、彼等の音場をうながす舞台であるところの、雑誌などの数は相對的に多くなつて来た。彼等はその需要を満たすためにも濫作するし、また、いづれの方面にも、とつて代る新人が少くとも市場にさう多く現はれない結果、別に精進しなくとも、陣地をさう直ぐ奪はれて了ふ危険もな

- 八月 「馬肉戦争」(林房雄)、「ハト」(室生犀星)、「飯場」(松田解子)、「大島逸平」(森田章平)【中央公論】
「農業」(岸田國士)【文藝春秋】
「人の繪本」(宇野浩二)、「ヒットラー」(前田河廣一郎)、「若狭記」(室生犀星)【改造】
九月 「假面の女」(大佛次郎)、「湯河原三界」(宇野浩二)、「櫻吹雪」(瀧井孝作)【文藝春秋】
「江南の燕」(藤森成吉)、「瀬世」(谷崎潤一郎)、「時機を待つ間」(横光利一)【改造】
「色ざんげ」(宇野浩二)、「母たちの示威」(鈴木清)【中央公論】
十月 「夏」(堀辰雄)【文藝春秋】
「進路」(窪川いね子)、「二人の樂天家」(正宗白鳥)、「春泉」(載平詩)、「浪

- 人時代」(岡本綺堂)【中央公論】
「今日様」(葉山嘉樹)、「死に親しむ」(徳田秋聲)、「美しくい村」(堀辰雄)【改造】
十一月 「人のまよひ」(宇野浩二)、「職人氣質」(徳永直)、「散りぬるを」(川端康成)【改造】
「緋の衣をつけた老婆」(食田百三)【文藝春秋】
「出郷」(貴司山治)、「U新聞年代記」(上司小劍)【中央公論】
「風俗」(石坂洋次郎)、「書翰」(横光利一)、「母の手紙」(峰專治)、「中秋明月」(貴司山治)【文藝】
十二月 「尾花」(久保田万太郎)、「苦海」(近松秋江)【中央公論】
「權といふ男」(張赫宙)、「湖畔にて」(阿部知二)、「哀しき老父」(瀧井孝作)、「ギヤング」(片岡鐵兵)【改造】
「源氏物語」(菅原谷英一)、「のどかな午後」(正宗白鳥)、「瀬山の話」(梶井基次郎)【文藝】
九年一月 「或るエンゼルの死」(廣津和郎)、「芥菜菊」(泉鏡花)、「蕨の花と馬」(伊藤漱治)、「深花」(小山いと子)【中央公論】
「紋章」(横光利一)、「河の上で」(荒木義)、「馬鹿」(里見義)、「日曜日」(志賀直哉)【改

二六九

造【わが青春】(杉山平助)、「小説の一家」(中條百合子)、「少年の果實」(竹森一男)【文藝】「博士」(横光利一)、「歳八と歳三など」(正宗白鳥)【文藝春秋】

二月 「少年の話」(佐藤春夫)、「世紀病」(藤澤恒夫)【中央公論】「鳥屋の一夜」(葉山嘉樹)、「三十歳」(中谷孝雄)【改造】

三月 「虹」(川端康成)、「青ヶ島大戦記」(井伏鱒二)、「犬吠崎心中」(細田民樹)【中央公論】「朝日屋酒店」(岩田豊雄)【改造】「勁究」(中河與一)【新潮】「陣中の整装」(佐藤春夫)、「ガルボウ」(宙藤強)、「白痴」(阿部や子)、「月と花と鳥」(藤森成吉)【文藝】「小さい花」(那須辰造)、「すがた」(林美英子)【行動】

四月 「春」(平林たい子)、「象形文字」(丹羽文雄)、「天付」(中河與一)、「小島籠」(久米正雄)、「お山」(石坂洋次郎)、「日記帖」(志賀直哉)【改造】「鏡餅」(中條百合子)、「ネクタイ」(徳田一徳)、「さんだいめといふ話」(柳原利次)【新潮】「砂の上」(荒木庄一)、「」の展開」(大谷藤子)【臨子】(川端康成)【文藝】

五月 「白夜」(村山知義)、「洞庭記」(室生犀星)【中央公論】「白い壁」(本庄勝男)、「通り魔」(川端康成)【改造】「ノックウシ」(野上彌生子)、「童兒」(平田小六)【文藝】「侯爵」(上林隆)、「芳兵衛」(尾崎一雄)、「笛師八十八の生涯」(森本忠)、「姦淫に寄す」(坂口安吾)【行動】

六月 「陋巷」(片岡鐵兵)、「牡丹ある家」(窪川いね子)、「歴問」(宇野浩二)【中央公論】「異聞」(宇野浩二)「敷」(岡田禎子)、「青猪」(深田久彌)【改造】「村道」(上泉秀信)【新潮】「劣情漢」(張赫宙)、「近所合壁」(武田麟太郎)【行動】「一町三反」(和田傳)【早稲田文學】「權太面」(三上秀吉)【新潮】「N男爵の平凡な半生」(林房雄)、「白田氏の事業」(保高德藏)、「大鏡」(松田解子)【文藝】「夏」(川端康成)、「追っかけられた男」(中河與一)【文藝春秋】「樽」(與儀正昌)、「血のつながり」(武田麟太郎)【文學界】

七月 「夜明け前」(島崎藤村)、「亡命ドイツ人」(藤本清一郎)、「秋果」(佐佐木茂利)【中央公論】「油麻藪の花」(酒井龍輔)、「誓王山」(室生

犀星)、「歸郷」(村山知義)【改造】「南方の火」(川端康成)、「事件」(深田久彌)、「病狀」(牧野信一)【文學界】「木枯のふくころ」(牧野信一)「旅川質店」(岡崎秀穂)【新潮】「M子への遺書」(龍騰寺雄)、「逃げる雄」(永井龍男)、「中央線沿線」(福田清人)【文藝】「あねいもと」(室生犀星)【文藝春秋】

昭和八年半ばから、昭和九年七月に至る、文壇の重なる現象を個條書きにして展望する。

(A) 文藝復興論 文藝復興の叫びが、八九月頃からどこからと無く起つた。果して文學は復興したか、どうか。その徴候を、どこで捉まへるかが、無風帯の文壇を賑はした。新しい文藝雑誌の擡頭、無産文學の淋れた現狀、文藝同人雑誌の類生、等、いろいろと復興條件は敷られたが、事實は今、この純文藝勃興の時期で「有るべき」といふ待望を、現實に「有る」と氣早やにきめて了つた錯覺である。現實の文壇には、際立つて「復興」を語るような、目に立つ機

運が一つも無かつたといふ結論に落着いた。

(B) 心境小説の氾濫 文壇は文藝復興どころか、むしろ社會の現實から逃避するに對する非難が一部の進歩主義的批評家から指摘された。「四十以上の人々が讀むべき作物が無い」といふような非難、また心境小説の氾濫、文學の超社會性等、どの一つも、どれほど非難されても仕方のないもので、民衆が純文學小説を見捨て、行く傾向の根も、そこにあると見られる。

(C) 既成作家の復活 無産文學の最盛期にあつて、明治期および大正期の既成作家は、いろんな理由で、一度、文壇から没落したように見えたが、いはゆる文藝復興の提唱前から、既成作家がまた純現役として出動し、谷崎潤一郎、正宗白鳥、泉鏡花、上司小劍、近松秋江、徳田秋聲、島崎藤村から里見弴、志賀直哉へ、それから宇野浩二、佐藤春夫、廣津和郎等ま

できりに活躍した。中でも、谷崎、徳田、正宗、里見、宇野達が批評の砲火を集める作品を提出した。

(D) 活動中樞としての作家層 新感覺派の横光利一が、一作ごとに野心的な作品で異常な活躍をつづけ、中河與一、豊島與志雄、川端康成、井伏鱒二、室生犀星、深田久彌、芹澤光治良、尾崎士郎、林美英子、舟橋聖一、槍崎勲、阿部知二等、それから多少とも左翼派からの轉向派である林房雄、片岡鐵兵、武田麟太郎等がまづ昭和八九年文壇の、中樞地帯の作家層といはるべきである。

(E) 新進作家の進出 現代文壇第三層の地帯にゐる新進作家は、決してその少ないことを憂へない。石坂洋次郎、張赫宙、福田清人、荒木謙、平田小六、本庄勝男、和田傳、那須辰造、その他、同人雑誌、殊に「行動」級の作家層には、極めて有望な新人が多い。この一年の文壇の要求は新人の待望

にあるが、その意味なら絶望するに及ばない。たゞ、技巧が素晴らしいと精練された割合に、内容の狭隘が物足りない。新人を試験するために、長編小説を作らして見ようといふ立案さへ、文藝談話會上るほどであり、それが實行されれば、有数の新人は一層早く發見され得よう。

(F) 大家文藝の新人 大家文藝の方面でも「サンデー毎日」を始め新人を發見すべき苦心は到る所であらざるはれて来た。少數ながら新人は現はれてゐるが、既成作家ほどの生長を豫約すべき新人がまだ現はれないように思へる。眞實の新人が無いのでなく、これは、自由な舞台を興へて活躍せしめ得ない事情によるのか、また大家文學の新人は、もう既成作家から學ぶ何物も無い、と云つて、どんな方面へ足を踏み出すかの方向も見出せない。その煩悶もある。

(G) 批評界の現狀 月評の盛んなことこの一年の如きはなく、こ

れといった問題がなく、争ふべき一定した指導理論を喪つたこの一年のようなことも無い。批評といへば月評に集まつたわけである。もう一つは匿名批評の流行である。文壇人はあまりに社交性があり過ぎ、懶巧になり過ぎた。正面をきつての批評には、當らず障らずで済して置いて、匿名で、正直な批評をするといふ傾向が、匿名批評の原因であつて、不愉快で陰鬱な辻斬りが、一層文壇を憂鬱にするといつた批評にも一面の理がある。

(H) 批評界の問題 問題としては、現實主義の解釋、諷刺文學の論、私小説論、不安文學論、作家健康論、その他。批評家として活躍した人々は、小林秀雄、杉山平助、豊島與志雄、正宗白鳥、川端康成、谷川徹三、青野季吉、唐木順三、瀧沼茂樹、保田與重郎、矢崎、辻野久憲、森山啓、龜井勝一郎、河上徹太郎、三木清その他。

(I) 明治文學の研究 明治文學の再検討は、ますます盛んになつた。「浪漫古典」の森森陽外號、「明治文學研究」の石川啄木號を初め明治、大正各作家の文獻的な分析を試みる批評界、創作界の新人が多くなつたことも注目される。

海外文藝紹介の強化 海外文藝に對するわが讀書界の興味は、ほとんど第二次性的になつてゐる。何を紹介してもらひたいといふ確定的なものはない。何でも紹介されれば満足してつて行く。無ければ淋しいといふ氣持である。昭和八年の前半期まではハツクスリ、ロオレンス、ジョイス等の、英國近代文學が盛んに紹介されてゐたが、八年末から九年に入つては、ジョイス熱が衰へ、九年五月に發行した第一書房の「ユリシイズ」下巻は、發賣禁止の憂目を見た。昭和八年初期から九年半ばにおいて、輸入された海

外文學の焦點となつてゐるのは、フランスで、ジイド、ルナル、アラン、ワレリ、マルロオ等であり、「ジイド全集」十二巻が、建設社と金星堂と、兩書店から出版されるといふ盛況である。またルナルは、小説、劇、映畫にして上場した「にんじん」によつて、断然、他の翻譯物を押へた。佛文學に對抗するものは露文學であり、こゝでは、時代の先後なしに歡迎されてゐる。今日のソウエイト文壇ものでは、シヨオロホエフの「静かなるドン」、「拓かれたる處女地」の邦譯が讀まれる程度であるが更に帝政時代に遡つて、ツルゲイニエフ、ドストエフスキイ、チェイホフ、ゴオリ、シエストフ等が異常な人氣を博しつゝある。こゝでも、「ドストエフスキイ全集」が、建設社と、三笠書房と兩書店から出版される。次に、「チェイホフ全集」十五巻が金星堂から出版され、第一書房から、中山省三郎のツルゲイニエフ物が續々と發刊され、

その他にも、「同じ全集」の豫約がある。更に四月に入つて、ナウカ社から「ゴオリ全集」の翻譯出版が發表された。その他、「バルザック全集」の刊行が、着々進行しつつあると傳へられる。いくらか型のちがつた全集翻譯事業としては博士坪内逍遙が、中央公論社から發行した「沙翁全集」の完譯及び改造社の鶴見祐輔譯「ブルタアタ全集」がある。雜誌の方面では、「文藝改造」が、ゴルキイ、ロオラ、プリポイ、フェルナンデス、ルビンスタイン等の評論をしきりに紹介した外、各文藝雜誌が、英露、佛、獨の文藝人達の評傳、創作價值を記述し、或はそれから考察された独自の意見を述べてゐる。正岸白鳥のシエストフ論、小林秀雄のドストエフスキイ考察が、文壇の問題となつて賛否の批評を集めた。「世界文學」なる新雜誌が、新居格の編輯で昭和九年二月に生れたが、わづか三月で發刊した。しかし、「浪漫古典」書物等の文

學雜誌が、各々、ドストエフスキイ、ゾラの特別號を出して、相當な人氣を呼んだのも、一般讀書界の趨勢を推知し得よう。

### 文藝懇話會起る

一月廿九日、警保局長松本學氏は、長谷川伸、吉川英治、白井喬二、三上於菟吉、菊池寛、山本有三等と日本橋橋樂園に、文藝懇話會第一回を開いた。「思想取締には、どうしても、文藝家の奮起が必要だ」、また、「皇道精神の發揚と、日本文化の把握を目指す」のがこの懇話會の主旨で、「行く行くは、文藝院の設立までに進行する豫定だ」とこの席上、松本局長は話したが、三月の例會には、島崎徳田、正宗、菊池、久米、山本、近松、廣津、中村、加藤、横光、川端、岸田、三上、白井、吉川、大佛、長谷川等を會員とし、毎月例會を開くことにした。六月の小委員會では、近松、佐藤、中村、白井、廣津、山本等の文壇側は、

松本局長、中里圖書課長等が會合し、物故した作家の遺墨品を中心とした文藝展覽會を開催することとして、明治以後の物故作家約四十名の遺品展を、九年秋華々しく開催することになった。またこの遺品展開催中に山田美妙、二葉亭四迷等に對する表彰、物故作家の慰靈祭を催すことを決定した。なほ、菊池寛は麻雀事件問題で、文士を冷遇した同じ政府下に始められたこの懇話會に出席するのは快くないと、出席を辭退した。

### 創刊された雜誌

文藝復興の叫びと前後して、昭和八年十月頃から目立つて來た現象は、相當な組織と準備の下に、幾多の文藝雜誌が新たに創刊されたのであつた。川端康成、宇野浩二、林房雄等を中心とした文化公論社の「文學界」、同じく文學全般に亘る綜合雜誌として、阿部知二等の「行動」が、紀伊國屋出版部から、いづれも十月に創刊された。

十一月には、改造社から「文藝」、新人社から「新人」等が創刊され、これまで唯一の文藝雜誌として残されてゐた新潮社の「新潮」と並んで、ジャアナリズム文學の上に、近年にない刺激を與へた。この中「新人」は、第一號を出しただけで廢刊したが、一番よく新人を集めた元氣の良い出發振りであつた。「文學界」は、「行動」と似た編輯であり、たゞ同人雜誌的な氣分が強いだけ違つてゐるが三號ばかりで休刊せねばならなくなり、六月になつて他の書店から復活號を出した。この月には文壇のゴシップ、匿名評論を集めた「文藝通信」が文藝春秋社から發行された。「文藝」は、純文學のみならず、もつと廣く、大衆性までを採り入れようとする企圖の下に成り、それだけ一定の方針がまだ決定しないようだが、問題になる創作や、論文を多く收めて、獨特の色彩を見せてゐる。一方、昭和九年の二月頃から、早稲田大學の文學科で「早稲

田文學」復活の聲が起り、五月に入つて、第一號が發行された。中心は、早稲田大學文學部の教授達執筆してゐるが、早大派以外の方面にも手をひろげる積りだといふ。次いで、法政大學でも、文學雜誌刊行の議があり、帝大文學科でも、十年一月から「帝國文學」を復活する。

### 豪華版出版

した娛樂雜誌であるが「衆文」「新興大衆文藝」その他、大衆文藝界の新人による、大衆文藝批判を主とした雜誌が三四種生れた。左翼の立場からは昭和八年六月の「文化集團」があり、九年に入つてからの「文學建設者」レフト社の「新文戦」ナウカ社の「文學評論」が、わづかに類勢を食ひとめてゐる。

昭和八年度の創刊雜誌数を月別にすれば、一月三十種、十月二十種の順になるが、昭和八年一年中の創刊雜誌は、文藝二十四種であつて、断然、兒童十九種、教育十種を押へてゐる。二十四種には同人雜誌をも含むのであらうが同人雜誌も、それぞれ貫目のついて來たものがあり、新發刊でありながら、どつしりした風格を持つものもあつたりして、文藝雜誌は、要するに好轉の傾向を指してゐる。

大衆文藝雜誌の創刊もまた目立つ一面の色彩である。十月創刊の「大衆俱樂部」は、大衆小説を主と

殊に文學の出版界で、限定版として、豪華な装幀の高價本が、特に盛んになつたのも八年から九年にかけての現象である。谷崎潤一郎の「蘆刈」、「春琴抄」、佐藤春夫の「陣中の琴聲」、本間久雄の「近世唯美主義の研究」、殊に書物展望社の出版物には、その傾向を帯びた著述が多い。その装幀の大半が純日本趣味が盛られ、乃至は和紙が部分的に使用されてゐるのに驚くといふ専門家の談には、興味のある示唆を含んでゐる。

### 隨筆文學の流行

昭和八年末から、九年に入つて注目される一つの現象は、隨筆文學の流行であり、隨筆に關する雜誌および著書が目まぐるしい出現である。一時、相續いて生れた十餘種は九年夏期には「セルバン」の外に新しい「進歩」だけを残して退却したが、隨筆雜誌は文體社の「文體」郷土研究社の「心境」戸川秋骨の「文鳥」徳田秋聲の「あらくれ」以下、數が多いし、隨筆の著述にいたつては月々級數的に多くなつて來た。單に昭和九年五月一ヶ月だけに市場に現はれた目ぼしいものだけでも、黒田亮の「櫻松園隨筆」、内田百閒の「續百鬼園隨筆」(運庄暉星の「文藝林泉」長野隆の「ドン」柳澤健の「異國風味」水上瀧太郎の「親馬鹿の記」井伏鱒二の「田園記」藤木清方の「銀砂子」倉田白羊の「雜草園」金田一京助の「北の人」三田村鳶魚の「捕物の話」等を數へる。殊に吉村冬彦、内田



百間、室生犀星、辰野隆等は、隨筆文學界の押しも押されぬ流行行兒である。おもふに隨筆文學の流行は、あまりに繁雑な今日の世相にあつて、しばしなりとも寛いだ心持になつて、靜寂な境地に逃避しようとする東洋人の寂びを樂しむ態度の現はれであらうか。ジャズ的な騒々しいナンセンス文學が、一方いぢりしく特色した状態とも對照される。

文壇人の往來

昭和九年始めに、ドイツに行つてゐた藤本清一郎が歸朝したが、二月に入つて武林無想庵が歸朝した。片岡鐵兵が、村山知義が、轉向作家としての作物を發表して、批評界の批判をわかつた。秦豊吉が、東寶劇場支配人となつて、ペンを探ることが少なくなり、里見焔が重病から回復し、痲雀事件が、文壇を震盪させたのも九年に入つてからである。

物故した人々

松居 松翁 七月十四日、淀橋落合町の自邸で、尿毒症で逝いた。行年

六十四。仙台の人、本名は眞玄、「萬朝報」の編輯記者として速筆で鳴らした前後から戯曲小説を作り、新聞社退社後は専ら演劇方面に入り、外遊二回最近松竹株式會社社員として、多数の戯曲を作つた。譯著脚本百四十餘種、脚光を浴びるもの九十餘種。

巖谷 小波 本名季雄、滋賀縣人。書家巖谷一六の子である。明治二十年尾崎紅葉の親友社に入り小説を發表、二十四年童話「黄金丸」の製作以來、末年までお伽草の製作講演に半生を捧げた。著作數十卷、九月五日、直腸癌のため、赤十字社病院で逝いた。行年六十四。俳句、俳論等も巧みであつた。

嘉村 磯多 十一月卅日、藤崎核で東京で逝いた。三十七歳。山口縣の生れ、山口中學を中途退學してから上京、雜誌「不同調」の記者であつた。三十二歳に小説「苦」を發表して文壇の注目を惹き、以來短篇數種を發表して一字も苟もしい刻苦と苦惱の作風が斯界の異彩となつた。小説集「途上」「塵の下」がある。

池谷信三郎 東京の人、十二月二十一日、三十四歳で肺のため逝いた。大正十一年東大法學部第一年の頃

渡邊、歸朝後長篇小説「望郷」が「時事新報」の懸賞に當選して、有望な作家として認められ、翻譯の外、長短篇數十種を、雜誌及び新聞に發表して、都會的作家として活躍した。

佐々木味津三 愛知縣の人、二月六日、宿病と共に急性肺炎で、卅九歳で、東京杉並區高田寺の自宅で逝いた。明治大學出身、「新小説」に純文學小説をか、けて注目されたが、大正以後、大衆小説界に轉身し、「右門捕物帳」「旗本退屈男」以下數十篇の作物を發表した。

横瀬 夜雨 本名虎壽、茨城縣眞壁郡大宮村の人、肺炎のため、二月十四日逝いた。享年五十七。雜誌「文庫」に發表した哀調を帯びた詩風が、當時の青年達に愛され、筑波嶺詩人と呼ばれた。後年は、明治初期頃の文庫から取材した隨筆もしくは記録的な読みものを多く發表してゐた。

直木三十五 大阪の人、本名植村宗一、二月廿四日、春體カリエス治療中、帝大内科で逝いた。享年四十四。早稲田大學の出身、「女性」に「心中きらら坂」を發表してから、専ら通俗小説に力を注ぎ、「南國太平記」におい

て、最高潮に達した現があり、その頃から、殊に史實上の人物を主題とし、「補正成」「大阪落城」「足利尊氏」「源九郎義經」その他、歴史小説としての傑作を残した外、現代小説、評論にも執筆し健筆驚くべきものがあつた。

宮島新三郎 二月廿七日、東京市杉並區松庵の自宅で逝いた。行年四十三。早く早稲田大學文學科を出て、同科の英文學教授であり、英國に遊學して、批評史を研究した。大正時代から文學批評家として活躍した外、明治、大正の文學を研究し、それに關する著書も多い。

三島 霜川 三月七日、五十九歳で、東京市中野區中野上町の自宅で逝いた。富山縣の人。徳田秋聲の庇護によつて明治の末期、青年作家として創作界に活躍した。中年以後は、演劇雜誌の編輯にあたり、劇方面に専門的な研究を積んだ。

遺稿集の出版 死去した作家の遺稿の出版されるものが多くなつた。嘉村磯多全集が、一千部限定版で白水社から、梶井基次郎全集二巻が、六蜂書房

から、池谷信三郎集一巻が、文藝春秋社から、佐々木味津三集十巻が平凡社から、直木三十五全集が改造社から出版された。生存者としては、高濱虚子全集十二巻が、改造社から出版された。

小説の作り方

菊池 寛

(一)準備 古今の文學書を読むこと、少くとも世界に在る小説の半分以上は、讀むべきである。少しも古今の小説を讀まないで、小説を書かうとする人は、チエホフが半世紀も前に、いとも巧みに描き出したことを、今更それよりはるかに下手くそに、書かうと努力してゐることになつてゐるかも知れない。日本の昔からの小説を、略々通讀して現代の作家を精讀すること、殊に自分が感心した作家を仔細に研究して、それを卒業すること、外國の小説及び作家に就いても、同じであらう。

小説の作り方

少くとも、小説修業の準備の大部分は、讀書である。

しかし、それと同時に、相當まとまつた社會觀、人生觀を養つて置くこと。これも、その方法は讀書以外にはない。

(二)作家としての心と眼

題材を撰むには、實生活よりする外はない。我々の周圍に横はる生活の大海より、題材を撰みとるのであるが、それには生活を觀る眼が必要である。畫家でない人間が、いくら自然を見ても、畫題を得られないように、小説家としての眼がない人間は、いくら周圍に事件があつても、それを小説的に撰み取るものが出来ない。單なる報道は小説ではない。小説的に觀する眼と、小説的に感ずる心が、必要なのである。さうした眼と心を養ふ方法も、古今の小説を讀むより外に方法はないのである。むろん、先天的に、小説的に感し得る少數の天才はゐるかも知れないが、しかしそれは例外の場合である。やは

り、作家としての心と眼も、讀書的修養に依る外はないと思ふ。そして、さうした心と眼とが、相當特異の發達しなければ、よい小説は書けないと思ふ。

(三)主題の扱ひ方

前述したような心と眼とで、實生活の中から、小説にかけさうな意義ある事件をつかむことが、大切である。何等かの意義ある事件でなければならぬ。單なる性格描寫とか、ある生活の描寫などは、よい小説とは云へない。さうした事件を發見した以上、これを出来る丈、性格と境遇とを通じて、表現しなければならぬ。主題が、どんなにハツキリしてゐても、それが人間を通じて、巧みなる性格描寫を通じて現はれてゐなければ、よい小説とは云へない。それと同時に、その境遇もハツキリ描く必要がある。つまり、いゝ小説としては、一、主題(夫婦生活の内面的淺ましき等々)が、ハツキリしてゐて、それが讀者にある程度の感

動を與へること

二、その主題が、いかにも本當らしく思はれる生きた人間生活(性格と境遇)を通じて現はされてゐること

この二つの條件が、必要である

主題が、凡庸では、いくら性格描寫がよくても、いゝ小説とは云へない。また主題が、どんなに新しくても、人間生活が描けてゐず、主題文が浮き上つてゐるようなものも亦、いゝ小説とはいへない。

(四)創作の課程

以上のような次第で、小説を作るには、作家的心と眼とが、必要で、それが十分でない人が徒らに原稿をかくのは、努力の浪費でしかない。その心眼が開けて後、人間生活を仔細に觀察して、主題の發見に努力すると同時に、性格研究、境遇研究などに、出精すべきである。小説を作るのは、たと原稿紙に向ふことではない。原稿紙に向ふことは、末のまた末である。

### ゴシップ的

## 文壇ごよみ

### 平野零兒

◇所謂藝術派の面々を沈黙させて全勢を誇つてゐたプロ派も、共產黨の外廓團體が殆んど潰滅したので、文壇でも山田清三郎、細田民樹、江口漢、佐々木孝丸等が轉向の音頭取りをやつた。

◇この頃から、いよ／＼純文藝畑には秋風が蕭々と吹いた。

◇また軍服が懐しくなつたわけでもなからうが、元陸軍大尉といふ文藝家協會の林田書記長が辭めた。常任幹事の佐佐木茂察は「新聞種を記者に洩らし過ぎるからだ」と辭める林田に「太刀浴びせだ。いづれも昭和八年九月中の出来事である。

◇大衆作家が獨り榮え顔なので、同人雜誌に據つて時機を待つてゐた若い作家や卵が、雜誌「行動」などを少しづつ雑誌ジャーナ

リズムの波に乗せて來た。林房雄が「中央公論」に力作「青年」を書いて一寸元氣になり、同時に論壇にも返り咲いて、「まだ高踏振りが足りない」と「行動」同人を叱つたりしたのは、もう一九三三年も暮近い頃だ。

◇ひとり純文壇のために、とぼとぼと長い歩みを續けてゐた「新潮」に少しばかり生色が出来る、改造社が「文藝」を創刊し、林房雄が音頭をとつて「文藝界」を、直木三十五と早大で同窓だつた保高徳蔵が「文藝首都」を、その他「三田文學」なども陣容を新たに

して、十一月といふ月には、ずらりと純文藝雜誌が勢揃ひしたので小遣錢にも困つてゐた若い作家達が、「文藝復興だぞ！」とそろそろ好い氣持になつた。

◇余り振はないどころか、殆んど文藝月評といふものがかけを溜めてゐた新聞の文藝欄に、月評がそろ／＼載り出した。「豆戦艦」で賣り出した匿名の寸鐵批評家が杉

山平助だと誰にも判るやうになつたのもこの頃からである。

◇「オール讀物」に、「十二階下の少年達」を書いて一躍新人になつた濱本浩が、「大衆文學」にも批評があつてもよかりさうなものだ」と力み出したのもこの頃。

◇十一月卅日に嘉村礪多が死んだ、眞摯と誠實を一まるめにして、文學に對する情熱の炎で燃したら嘉村の生涯が映し出されるんだらう。死んで見て、文壇がこの人に報いるとの薄かつたのを嘆いた。享年卅七。

◇間もなく打ち續いて池谷信三郎が十二月廿一日慶應病院で死去した。卅四歳の若さで、まだいゝ仕事をしたらうに。「どうも池谷君が病氣に對する考へ方が間違つてゐた、病氣を怖れ、専心これと戦つたならば、死ななくてもよかつたと思ふ」と菊池寛が氏らしい残念をもらした。葬儀は文藝春秋クラブで行はれた。

◇彌次氣分で純文藝畑に、いつ

も輕口で應戦してゐた直木三十五の獨壇場、大衆作家の大家連吉川英治や大佛次郎が、文藝時評の筆を執つて飛び出したのも異觀の一つ。

◇パリに嘗て遊んだことのある文士連で出來てゐた「パリ會」が、佛國の滿洲投資團長ドリヴィエを招いて盛んな會を開いた。投資團をよんだりしたところ、少々お門違ひとも見えたが、くたびれてゐる日本の出版業者を尻目に外國資本でも引いて出版する氣だつたかも知れない。

◇いたづら者大宅壯一が、ライカの木村卯兵衛の顧問になつて、文士の生きた表情を集めて、銀座で大展覽會をやつた。街頭漫畫子の材料になつて顔を曝してゐた久米正雄の外に、随分珍妙な顔がずらりと並んで人を驚かせた。

◇年が明けると、「日本の戦慄」以來日本精神を勇ましくも振りかざして立つた直木三十五が、脊髄カリエスその他數種の病氣を背負

ひながら松本警保局長と何時の間にかカンタン相照して「帝國文藝院」の設立計畫をすゝめ、二十九日の夜日本橋橋樂園に、大佛次郎、長谷川伸、吉川英治、白井喬二、三上於菟吉、菊池寛、山本有三等が集つた。三上於菟吉と山本有三が一番よくしゃべつた。「文士が勳章なんか貰つて何にするんだい」とかけ口をきくものが諸所にあつた。

◇佛蘭西の詩人ポールフォールが病氣で多人數の家族を抱へて、蒼に窮死せんとしてゐると聞いて堀口大學等が救済資金を募集して送つた。寔に文壇近來の美舉だつたが、ついそれより前に、行倒れ同様に憐れな死を遂げた藤澤清造のことを思ふと少し變なことのようでもあつた。

◇佐々木味津三、二月六日急逝、大衆作家にも死の神が顔を出した。「生命保險が三万円ある」と遺言したが、それがインチキ保險だつたので田中貢太郎が保險屋に掛

文壇ごよみ

合つたが、相手にされなかつたので「六つかしいことはわしにわからん」とあつさり投げ、その代りに佐々木のかたみの羽織を着て全集出版の交渉を平凡社に持込んで成功した。

◇續いて直木三十五は二月廿四日帝大病院で死んだ。その死は文壇人として未だかつてなく大々的に報じられ、その葬儀は盛儀を極めた。いまはどうすることも出来ない死の床で、彼はなほも起き上つて、原稿を書く眞似をした。死と取組んでまで負けない氣の彼であつた。

◇「早稻田文學」復活の協議會最中、宮島新三郎は腦溢血でたふれ二月廿七日死去した。直木におくること三日、木村毅は「僕達のクラスはトップ(宮島)とテイル(直木)を同時に失つた」と哭した。それでそろ／＼他の作家が健康を氣にし出して、吉川英治、加藤武雄、細田民樹などがゴルフを初め

出した。

◇酔客吉井勇夫人徳子のダンスホール事件から手繰られて麻雀賭博を共にしたといふので、佐佐木茂察、川口松太郎等が警視廳に召喚された。この警視廳の遣り口に憤慨して文壇清淨派といふのが起つて警視廳監にねち込みに行つた。村松梢風、吉川英治、沖野岩三郎、小島政二郎などであつた。

その會見で梢風は「賭博檢舉といへば天保年間に、名奉行遠山左衛門……あの金四郎ですね。あの人が江戸全體に手を入れると、諸所の大名屋敷、殊に老中水野の屋敷からも、ぞろ／＼と出ましたよ、羅付が……」などと得意の大衆小説のいくさりをやつて、總監を苦笑させた。

◇中央公論社が、セクスピア全集の計畫を發表した。木村毅、高田保等の文士が、久しぶりに本の宣傳に地方巡業を始めた、老坪内翁がわざわざ「フィルムに入つて、

老大家執筆の光景、庭園散歩の圖などが映畫になつて講演と一緒に持つて廻られた。

◇女流批評家であり作家である神近市子が、振はない女流のために母體を作らうといふので「新地社」を起して矢田津世子、松田解子、山川朱實、今井邦子、野上彌生等のおばアちゃん作家が先づ機關誌を起した。女だから何人でも生むのは易いが、さて誰が育てるやら——とゴシップが言つた。

◇内閣が代つて文藝院問題の生みの親松本警保局長が辭めたのでどうなるかとしきりに疝氣を病む者もあつたが、六月に入ると、文藝談話會となつて續けることになつたので、おせつかいもホツと一息、始めてその日の會で決まつたことは、明治時代からの物故文士の慰靈祭を行ふといふことになつて、なか／＼文士に勳章をやるといふやうなことには漕ぎつけなかつた。

海外文壇

千葉 龜雄

一九三三年秋アドルフ・ヒットラー治下のドイツ政府は、新國民運動の一政策として、ユデヤ系文學者の製作その他一百四十九部に黒表を附して出版及び頒布を禁止した外、マン兄弟、ワツサーマン、ロオト、ルマルク、ツワイグ、レン、グレイザーその他に、國外退去を命じた。英國文壇を始め、各國の自由主義者が抗議を送つたが、結局抗議によつて何等の改善も施されなかつた。

オーストリーの劇作家ヘルマン・バールが一九三四年一月十五日日ミュンヘンの自宅で逝いた。バールは長い間、世界的作家として詩人として、戯曲家として、評論家として花々しい活躍をつづけたが、最近は何れも熱心な復辟論者となつたために人氣を失ひ、その上、長く病床にあつたので世間から忘れられてゐた。享年七十。

有力新聞その他が發起者となつて詩王のために、義金を募集した。日本でも、堀口、柳澤、西條氏等がフランス祭を開き、収入全部を詩王に贈つた。

一九三三年のノーベル賞は、バールに移住した露國作家イヴン・プーニンに落ちた。プーニンは今年六十五歳、革命後パリに逃れ、養女と共に貧しい生活を送つて居た。今度のノーベル賞は、桑港から來た紳士「村」その他の過去の業績に對して贈られたもの。彼はパリで、これから彼の創作「ダルセニエフの一生」を完成した後、他の創作に移る豫定だと、新聞記者に語つた。プーニンの作物は、彼の詩人として出發した頃の主觀的抒情歌で一貫してゐる。

ソヴエト・ロシア文壇の詩人、理論家、作家として、一九〇三年象徴派詩壇の崩壊に進出して以來、大作「モスコウ」と「マスタズ」を一九三二年までに發表したアンドレ・ペイルイが五十五歳で

ゲオルグ集團の中心であつた露國詩人ステファン・ゲオルグが、一九三三年十二月四日に逝いた。彼はバールと共に新詩風の廓清運動に努力してから、その旗下に無數の有望な新人群を出し、今日までなほ若々しい最高詩人としての地位を保持してゐた。享年六十六。

ドイツを追はれたユデヤ系作家ヤコブ・ワツサーマンが、一九三四年一月に、淋しくシュタイエルマルクの寓居で死んだ。彼は世界大戦後「クリスチャン・ワーンシヤツフエ」を出して、ドイツ・ドストエフスキの聲名を博し、その他「モロツホ」「ガスパー・ハウゼー」「金」以下長篇大作を續々發表して、構想の雄大と、時代觀察の廣汎において、現代ドイツ作家界の異彩と見られて居たが、ドイツ國民運動の犠牲となつて國外に逐はれ、遂に淋しく六十一歳を以て逝いたことは悼ましい。

「アルト・ハイデルベルヒ」の作者、ウイールヘルム・マイエルス病死した。

「マルクス主義藝術論」によつて、マルクス主義藝術の指導理論を興へた外、數篇の戯曲を残した露國のルナチャルスキーが五十七歳で死去した。彼はソヴエト聯邦が出來ると同時に文部大臣として、新文化の開發に貢献する所多く、一九三三年スペイン政府が、ソヴエト聯邦を承認すると同時に、最初のスペイン大使として、マドリッドに赴任し、南佛マントンで十二月廿七日客死した。

「作者を探ねる六人の登場人物」の戯曲家ルイジ・ピランデルロは、一時不遇で米國移住まで公言したが、その後學士院の一員として、最近戯劇題本「取換へられた息子」を書下す外、一九三四年末に開催さるべきボルタ會議の議長として選任せられ、演劇の振興その他の事業に活躍することとなつた。

十九世紀の英國文豪チャールズ・ディッキンズの手紙及未發表

テルは、長く失明して不遇の地位に居たが、七十二歳で死んだ。

フランスの大衆作家モリス・デコブラが、一九三三年年末に日本に來た。一月十八日に退京、京都、大阪を觀覽してから、二十四日神戸から上海へ向つた。日本滞在中は座談會、講演、雜誌の寄稿、觀光等に忙しく、その手輕な行動と、円滑な社交振りに、各方面に話題を提供した。「大阪毎日」「東京日日」に掲載された日本女性の解剖は、殊に彼の機才を示して好評を呼んだ。

フランスの新進作家マルク・シヤドユルヌが一九三四年來朝した。彼は一九二九年に印度支那から日本へ來た事があり、今度は二度目の來訪である。パリ・ソワ紙の依頼で米、日、支、露等に涉るレポルジュを拾集するため、一九二九年フェミナ賞を獲た「狂人セシル」を以て文壇に進出した。

一九三三年度のフランスの定例ゴンタール賞は、アンドレ・マル

の原稿「わが主イエスの生涯」が、新たに發表された。「わが主イエスの生涯」は、彼が子供達のために書いたもので、生前に發表の意志が無かつたため、ディッキンズの子であるヘンリー・ディッキンズも、出版を承知しなかつたが、今度彌が死したので、出版の運びとなつた。最初の版權は、競争の末「デイリー・メール」社の手に落ち、すでに一部として發表された。

英國十九世紀の詩人であり、社會の藝術化を主張した美術家でもあり、社會主義的理論家でもあつたウキリアム・モリスが、一八三四年の三月廿四日に生れた誕生百年祭が、本國英國で華々しく取り行はれた。日本でも一月遅れの四月廿四日から十日間、書肆丸善（東京）に、記念文獻繪畫展覽會が開催され、モリスに關する、日本に在る文獻を集めつくした觀があつた。

エイゼンシュタインと、映畫「メキシコの嵐」の製作について論争

ローの「人間條件」に落ちた。マールローは、一九三二年に美術展覽會の仕事で日本へ來朝した事があり、近く再び來朝すると傳へられる。彼は廿七歳の小説「征服者」によつて、一躍して有望な新人作家として着目された人。「人間條件」は東洋を背景とし、日本人を主人公とした點で、殊に東洋人の興味を誘ふ。

世界的な經濟恐慌による文壇及び樂壇人の收入激減から、ドイツでは、外國からの音楽家その他の侵入を拒絶すべき建議を議決したが、一九三三年末には、フランスの作家もまた他國の商品に關稅障壁を設けると同様に、國內劇作家の窮乏を救ふ一策として、他外國の文藝作品輸入に制限を加ふる事が、止み得ない適時の政策であると、その制限實行を佛國政府に迫つてゐる。

フランスの詩王、ポール・フォールが、老病と貧窮に悩んで居る報道が文壇を驚かし、本國では、

を闘はしてゐた米國無産文藝作家であり、社會主義者としての評論家であつたアプトン・シンクレアが、一九三四年秋行はれる州知事改選に、民主黨として出陣し、加州知事の候補者として乗り出した。彼は先に、知事に當選した場合の政策を一部として出版し、左翼側の諸雜誌の批判を湧かして居たがその政策は貧乏退治の一點張りであり、知事當選が有望だとして傳へられた。米國文壇でも、左翼の勢力が次第に衰退してゐる今日、彼の轉向は、廣く全文壇の注意を集めてゐる。

エツチ・ジー・ウエルズは、「未來の様相」なる一九三四年の論文集に、現代國際關係の將來と最後戦争の豫言を試み、時節柄、世界の視聽を惹いた。

雜誌の一ケ年

木村 毅

雜誌界はこの一年、幾分活潑な

賑博を打った。それ迄の雑誌界が、ともすると円本初め、叢書や、單行本に押され勝ちであつたのに比して、前者が漸く不況となるに反撥した傾があり、一時は出版者の間に、雑誌でなくてはダメだとの呼聲さへ揚がつてゐた。

文藝復興と文學雑誌

殊にたまたま、文藝復興の潮流と相結んで、文學雑誌に見るべきものが生れた。

「文藝首都」や「文學界」はこの機運を指導し、殊に改造社から「短歌研究」「俳句研究」に相次いで「文藝」が現はれるに及び、機運の頂點を劃した観があつた。更に坪内逍遙、島村抱月の輝やかしき傳統を誇る「早稻田文學」が復活した事は、非常な好感を以て迎へられた。

なほ改造社からは、別に「經濟」が出たが、これは大して成功してゐないと聞く。

大衆文學雑誌

文藝復興の聲と共に盛んだったのは、大衆文學の理論的討究の要求である。

そして従来、大衆文學の同人雑誌と云ふものは絶無であつたのに、昭和八年新秋頃から「大衆文學」「新大衆文學」などが出たのは注目し得る。

「大衆俱樂部」は、同人意識とコンマアシアリズムとの結合したものだといつてよからう。

明治文化と文學

明治文化、乃至は文學研究の熱度は相變らず相當盛んである。

尤もその指導者であつた吉野作造博士の死と共に一頓挫の形であつたが、季刊「明治文化研究」月刊「明治文化」など相次いで現はれ、文學方面では「明治文學研究」が、謂ふところの町學者、巷の研究者を糾合して、アカデミズムの「國語及び國文學」一派と、鋭い對立を示して來た。

そして空前の反動時代と共に、左翼雑誌は相次いで倒れ、一時その檜舞台だつた「改造」「中央公論」にもその方面の論文は非常に少くなつたが、まだ明治物の研究の上のみ、その影が鮮やかに残つてゐると云ふ奇現象を呈してゐる。

値上げと附録撤廢

紙價の暴騰が雑誌ジャアナリズムの上に、勿論、様々な影響を與へたのは云ふまでもない。

數年前から五十銭に値下げしてゐた「改造」は、九年九月から十銭の値上げをした。當然のことであらう。

又、通俗雑誌は、紙價暴騰のため、例月の別冊附録を廢止した。雑誌が單行本まがひのものを見るに賣らうと云ふのが抑々錯誤であるのだから、少くともこの事だけは歓迎してよい。

婦人雑誌では「主婦之友」と「婦人俱樂部」の角逐戦が目まじしく殊に「主婦之友」の如きは、雑誌

そのものから利潤を生ずる必要なく、その廣告と代理部の収入が却つて膨大であると云はれてゐる。米國の一二の雑誌が、廣告で儲かるから、無代で配布してもいいのだが、それでは讀者が粗末にするから、定價が付けてあるのだと云ふ話を、お伽噺のやうに聞いてゐた日本にも、現在、その時代が到來した。

此れは特に記憶に留めておく必要があらう。

宗教雑誌

左翼主義の衰退、ファツショの不没と共に、今や漸く、宗教が大衆の關心に上り初めた。

今年に於ては未だ充分な形を取らなかつたが、併し「現代佛教」の如き、編輯に刷新を加へた。

一體、親鸞熱も、日蓮熱も、十年目毎に間歇的に復興してくると云はれてゐるが、來年あたり或は大いにその徴が現はれてくるかも知れない。宗教的大衆小説を専門として掲げる雑誌が既に企てられてゐるとも仄聞する。

文藝演劇映畫舞踊團體

文藝家協會【幹事阿部知二】東京京橋區木挽町五ノ四【西日本文藝協會】常任幹事高谷伸【京都丸通三條上ル】左翼藝術家聯盟【書記長青野季吉】東京澁谷區代々木上原町一三三【プロレタリア作家クラブ】幹事里村欣三【東京杉並區高四寺三ノ三五】農民作家同盟【代表大田卯】東京杉並區成宗一ノ一三【童話作家協會】幹事沖野岩三郎【東京杉並區上井草一三八〇】日本作歌者協會【常務理事小林愛雄】東京本郷區向陽生町三【日本歌謡協會】野口雨情他【東京神田表神保町二精文館】日本歌入協會【常務委員北原白秋】東京本郷區駒込西片町二二【都野方】日本詩人會【幹事月原禮一郎】東京澁谷區向山町三五【學藝自由同盟】代表徳田秋聲【東京本郷區菊阪富士ホテル】評議、讀家協會【常任幹事千葉義雄】東京世田谷區上北澤二ノ五一【明治文學談話會】幹事神田泉【東京本郷區追分町帝大基督教青年會】早稲田大學坪内博士記念演劇博物館【館長金子馬治】東京牛込區早稲田大學内【日本シエイクスピア協會】會長市河三喜【東京早稲田大學演劇博物館】日本グーテ協會【會長青木昌吉】京都帝大文學部事務室【演劇學會】幹事飯塚友一郎【東京澁谷代々木山谷町一一四】國劇向上會【會長市島壽吉】

文藝演劇映畫舞踊團體

東京早稲田大學演劇博物館【P・C會】同人豐田佐一郎他【大阪市外豊能郡豐中町新免一、二七一】東京俳優劇團【東京牛込區籠町牛込クラブ内】東京プロレタリア演劇研究所【委員千田是也他】東京市京橋區地小劇場【東京左翼劇場】執行委員長杉本良吉【東京京橋區築地小劇場内】新築地劇場【土方與志他】東京京橋區築地小劇場【日本俳優學校】校長尾上菊五郎【東京淺草橋場二ノ五ノ一〇】文藝協會【大阪市南區觀谷西之町一】文藝座内【狂言研究會】大阪市東區寺町土屋充方【日本音樂劇協會】指導者野村政夫【東京杉並區和田堀一〇一】關西演劇團體【書記長小谷良徳】大阪市東區川區十三木川西之町三【北村兒童歌劇協會】代表北村季俊【東京下目黒二ノ四二六】寶塚音樂歌劇學校【校長小林一三】兵庫縣川邊郡寶塚【松竹樂劇部】會長白井松次郎【大阪浪速區南區南松竹ビル内】松竹少女歌劇團【事務城戸四郎】東京京橋區新富町松竹興業株式會社【河合ダンズ】代表河合幸七郎【大阪市南區東清水町四九】日本舞踊協會【會長波多海藏】東京京橋區木挽町歌舞伎座【日本舞踊教師協會】會長植木三郎【東京銀座四八伊丹ビル】藤田舞踊藝術研究所【所長藤田繁】東京杉並區泉町一〇一【福井舞踊研究所】福井茂【東京本郷駒込千駄木町一七五】與世山彦十舞踊研

究所【主宰與世山彦士】東京四谷區北伊賀町二三【山田五郎舞踊研究所】山田五郎【東京京橋區西六海濱ビル】石井漢舞踊研究所【所長石井漢】東京目黒區自由ヶ丘六一【石井小浪舞踊練習所】石井小浪【東京目黒區自由ヶ丘一六九】高田せい子舞踊研究所【所長高田せい子】東京澁谷區柏木四ノ八六八【林舞踊研究所】主宰林きむ子【東京豊島區西馬場四ノ三一】パッロバア舞踊團【エリアナ・パッロバア】神奈川縣鎌倉市七里ヶ濱【日本リトミック協會】小林宗作【東京府村成幼種園】藤澤會【會主藤澤靜枝】東京麻布區霞町六【曙會】會主花柳善美【東京麹町區永田町二ノ七六】珠寶會【會主花柳珠寶】東京四谷區南伊賀町五【階紅會】栗島すみ子【東京大森區久ヶ原町六四一】春藤會【家元春藤春枝】東京京橋區銀座七ノ四【紫葛會】主宰藤間高枝【東京四谷區番町三七】櫻柳會【主宰花柳芳次郎】東京京橋區新富町二ノ九【日本アマチユア映畫協會】常任理事長河本正男【東京京橋區銀座三ノ四】無産者映畫協會【會長井上良二】大阪市此花區吉野町一ノ三七【中部映畫同人組合】執行委員長赤坂幸造【名古屋市中區裏門前町中春ビル】大日本俳優協會【會長寺島榮之助】東京下谷區上根岸町七九【大日本活動寫真協會】常任幹事堤友次郎【東京内務省映畫檢閲室】

日本に於ける 聖書の播布

わが國に、米國聖書協會が創立されて昭和七年末に至る五十六年間に總計千二百七十八万四千冊の聖書を播布した。神戸の英國聖書協會の分を加算すると、二千二百万冊に上るのである。わが國に於ける聖書事業の十年毎の統計を見ると

第一期 (一八七四—一八八三)	九年间	二一六,000冊
第二期 (一八八三—一八九二)	十年間	八四五,000冊
第三期 (一八九二—一九〇一)	十年間	一,三三三,000冊
第四期 (一九〇一—一九一〇)	十年間	三,九三六,000冊
第五期 (一九一〇—一九一九)	十年間	四,四九〇,000冊
第六期 (一九一九—一九二八)	十年間	一〇,九三八,000冊
總計	二、一九〇八、七五七冊	
第六期の十年間に於ける内訳は		
新約	一九一、八三三冊	
舊約	一、三六〇、一九四冊	
分冊	九、三八五、九三〇冊	
に上る		



美術展覽會

美術展覽會

帝國美術院第十四回展(八・一〇)
【第一部】出品數一、九七九、入選數一三三(特選)野光雅、吉岡堅一、谷角日榮春、常岡文龜、矢野銀山、山本蒼丘、小早川清、穴山勝堂、三谷十糸子、森白甫【第二部】出品數三、六九六、入選數二二七(特選)橋本玄二郎、堀田清治、田中繁吉、野口謙藏、山下繁雄、江藤純平、佐分利【第三部】出品數四六四、入選數一三三(特選)富永朝堂、小笠原貞弘、岡本金一郎、安達實一、森野園家【第四部】出品數九七六、入選數二二三(特選)伊藤信助、豐田勝秋、小川雄平、岡部達雄、大須賀喬、吉田源十郎、高野松山、根筒忠雄、長野雄志、橋本彌一、遠藤順治、佐藤彌雲、北原三佳、木村和一、森川紫山

松本弘二(彫塑)松村外次郎、廿年回顧展の一室を特設、代表作を陳列した
【東京】八月七月【四時會】一五、高島屋▽東北會彫刻展一四、三越▽林武洋畫展七十一、三越▽日本插畫家協會展三十七、三越▽古城江觀スケッチ展十四、三越▽久保田米備、益田香遠遺作展十四、三越▽樂只會十五、東京美術俱樂部▽岡田節郎氏設計住宅展十九、三越▽松坂屋▽七人社廿五、三越▽新漫遊派集團展廿六、新宿三越▽春台美術寫生展廿七、高島屋▽武藏夜舟個展廿九、八月廿、白木屋【八月】諸作家洋畫小品展三十三、美術新論▽高間惣七洋畫展廿六、美術新論▽青楓社展一廿、府美術館▽博遊社一十一、府美術館▽日本版畫協會三十一、美術協會▽笹鹿彪スケツ

【東京】八月七月【四時會】一五、高島屋▽東北會彫刻展一四、三越▽林武洋畫展七十一、三越▽日本插畫家協會展三十七、三越▽古城江觀スケッチ展十四、三越▽久保田米備、益田香遠遺作展十四、三越▽樂只會十五、東京美術俱樂部▽岡田節郎氏設計住宅展十九、三越▽松坂屋▽七人社廿五、三越▽新漫遊派集團展廿六、新宿三越▽春台美術寫生展廿七、高島屋▽武藏夜舟個展廿九、八月廿、白木屋【八月】諸作家洋畫小品展三十三、美術新論▽高間惣七洋畫展廿六、美術新論▽青楓社展一廿、府美術館▽博遊社一十一、府美術館▽日本版畫協會三十一、美術協會▽笹鹿彪スケツ

高島屋▽中國駐日留學生展十二、廿一、府美術館▽川端龍子個展十六、廿一、三越▽洋畫六月展十九、廿五、紀伊國屋▽小室翠雲個展廿四、廿七、高島屋【大阪】七月【淺見隆三作陶展】一五、美術新論▽青年美術洋畫展一七、森ビル別館▽阿藤秀一郎、清水直康小品展五、丸善▽諸作家小品展七、美術新論▽小磯良平個展三十一、美術新論▽金澤重治個展三十一、美術新論▽各派諸大家洋畫展一、美術新論▽各派諸大家洋畫展一、野田屋▽福田眉仙個展廿五、廿九、大阪畫廊【九月】大久保作次郎個展一七、美術新論▽深澤紅子個展九、三三、美術新論▽仲田菊代個展十五、十九、美術新論▽牧野虎雄個展廿五、廿九、美術新論▽獨立美術協會員素描展十九、三三、美術新論【十月】木下義謙夫妻展一五、美術新論▽石川秀太郎個展七、美術新論▽小島善太郎色紙展三十七、美術新論▽河合卯之助作陶器展十六、廿、三越▽齋藤與里個展廿五、廿九、朝日ビル【十一月】光澤會展一五、丹平商會▽衣卷寅四郎展十五、十九、大阪畫廊▽水谷瀧

美術展覽會

三越▽小出清重遺作デッサン展十一、十四、紀伊國屋▽萩生天泉個展十一、十三、鳩居堂▽文化學院繪畫展十一、十二、同學院▽現代名家新作繪畫展十二、十五、高島屋▽東西大家新作繪畫展十二、十六、三越▽ラダザお玉夫人繪畫展十三、十九、伊東屋▽小堀四郎個展十五、廿、松坂屋▽銀澤社廿九、十一月三、新宿三越▽郷土社十九、白木屋▽大乗美術會十一、十九、白木屋▽辻永小品展十九、廿二、高島屋▽濱田庄司陶展廿五、廿九、鳩居堂▽七枝會廿五、卅、三越▽江内豐寫生展廿六、卅、白木屋【十二月】三越繪畫展一、五、三越▽時代風俗浮世繪派展一、五、美術協會▽東洋古陶磁器展一、四、高島屋▽産業美術展三、廿、白木屋▽ノイチ氏展二、五、鳩居堂▽國風畫會大、十、高島屋▽津田青楓個展七、十、高島屋【一月】春台美術展十一、卅、府美術館▽正宗得三郎個展十一、十七、松坂屋▽等遊會十一、十七、松坂屋▽白日會十三、廿四、府美術館▽濠江終吉遺作展十三、十七、新宿三越▽NOVA展十三、廿二、府美術館▽岡田七禮救渡展廿、廿四、日動畫廊▽東西大家新作展廿、廿七、松坂屋▽太平祥壽

會廿七、二月八、府美術館▽宮本憲吉染物試作展十九、廿一、たくみ工藝店▽南紀美術會廿一、廿七、白木屋【二月】中澤弘光、鶴田吾郎展一、六、三越▽六湖會一、五、三越▽福島コレクシオン展二、十一、日本劇場五階▽東西畫伯新作色紙展六、十一、三越▽松方コレクシオン展六、廿、府美術館▽村井正誠個展十一、十二、紀伊國屋▽日本美術院同人作品展十一、十四、三越▽龍寶美術展十一、十四、三越▽光風會十一、十七、府美術館▽純粹繪畫研究所展十五、十七、紀伊國屋【三月】戊辰會一、六、三越▽東光會六、卅、府美術館▽倉田白羊個展七、十一、養生堂▽春の青楓社九、十三、三越▽太白洞日本畫展三、五、東美俱樂部▽匠形會瀬戸作陶會合同展四、九、白木屋▽日本美術院試作展一、十四、府美術館▽小茂田青樹遺作展一、七、日本美術院▽環響齋九、廿三、三越▽遠山陽子個展十九、廿三、松坂屋▽日本畫新展廿一、卅、府美術館▽東西大家密畫小品展廿四、卅、三越▽新油繪展廿四、廿八、養生堂▽東陶會廿五、卅一、三越▽日本水彩繪會廿五、卅、三越【四月】自由學園工藝研究所展一、七

三越▽番紫技藝一、五、東京堂▽向井潤吉個展一、五、紀伊國屋▽旺文社三、十三、府美術館▽日本畫會三、廿、府美術館▽中央沿線會三、十七、新宿三越▽清光會三、十八、養生堂▽藤岡昇個展六、十一、三越▽津田正周個展十一、十四、養生堂▽高木古泉個展十三、十四、松坂屋▽桃人社廿一、廿、府美術館▽行人社廿一、廿七、東京堂▽大赤觀鳳個展十七、廿三、白木屋▽第一美術協會廿三、廿五、三越▽劇團展廿三、廿七、三越▽革内會廿四、廿九、三越【五月】日本南畫院展十六、六月五日、府美術館▽新日本畫小品展一、八、白木屋▽青柳社一、七、松坂屋▽池田勇八個展一、六、三越▽橋本關雪個展一、六、三越▽能勢洋畫展五、九、紀伊國屋▽工人社七、十三、高島屋▽小川幸健個展七、十三、三越▽河合卯之助陶器展七、十三、三越▽柚木久太個展十三、十七、三越▽重要國寶美術展五、一六、松坂屋▽河野通勢個展一、五、三越▽淡交會二、六、三越▽朱葉會二、七、新宿三越▽太平洋畫會小品展六、十一、三越▽明瞭藝展九、十五、銀座松坂屋▽足立源一郎個展十三、十七、

子展一、五、三越▽梅貞雄個展一、七、三越▽劇團展一、七、銀座三越▽山元春舉遺作展十一、十五、三越▽ホクト社十一、廿八、府美術館▽朝食熱十五、卅、府美術館▽井上良齋陶磁器展十五、卅、三越▽婦人美術協會廿一、廿九、白木屋▽浮世繪珍畫大津繪展廿五、廿九、養生堂▽パスナル畫會展廿六、卅、伊東屋【十月】ハルベルン氏エツチング展一、九、白木屋▽日本自由畫壇一、五、三越▽巧藝畫展一、五、三越▽浮世繪展二、五、高島屋▽九知會五、九、東朝畫廊▽鍍金工藝展六、十二、三越▽日本美術院同人作品展十七、廿二、松坂屋▽獨立美術秋季展十六、廿二、松坂屋▽諸大家新作洋畫展十一、十四、青柳社▽眞野紀太郎個展廿一、廿四、三越▽古賀春江遺作展四、八、紀伊國屋▽淡如會四、十九、高島屋▽京都五條會陶展十九、廿三、三越【十一月】川島理一郎個展五、十、養生堂▽跡見泰、武内鶴之助、三宅克巳洋畫展十月廿九、一、高島屋▽山村耕花個展一、五、三越▽マタイセン女史作品展一、七、白木屋▽東洋けてもの展四、十二、松坂屋▽小杉放庵個展六、十一、三越▽工藝會々會十一、十四

個展十七、廿一、三、【十二月】新井完個展一五、美術新論▽吉村芳松個展七、十三、美術新論▽五洋會展五十一、大阪新論▽寺内万次郎個展十五、十九、美術新論▽松宮左京個展廿一、廿五、美術新論▽小島善太郎個展廿二、二十五、大阪新論【二月】鈴木信太郎個展十二、十六、美術新論▽油谷達郎個展十八、廿二、美術新論▽ミミツク會展十四、十九、ダイヤ齋▽牧野虎雄個展廿四、廿八、美術新論▽新興美術協會十六、廿三、阪急百貨店▽堀寅造スケッチ展九、十三、ダイヤ齋

三、美術新論▽六人會三一九、大阪新論▽清光會十五、十九、美術新論▽兒高善三郎個展廿一、廿五、美術新論▽諸作家作品展廿七、五月一日、美術新論▽開西洋畫展五、十四、朝日會館▽奧瀨英三個展三、七、美術新論▽園部晋個展九、十三、美術新論▽里見勝藏個展十五、廿一、美術新論▽大島風景小品展八、十四、大阪新論▽伊藤慶之助個展廿二、廿五、美術新論▽田邊至個展廿六、卅【六月】橋本八百二夫妻展一、七▽旺支社同人小品展九、十五▽上野山清個展十六、十九▽中村研一、卅以上美術新論▽神戸創作團案協會展十五、十七、大阪新論▽青桃會十五、十八、丹平ハウス▽獨立美術協會洋畫小品展一、七、阪急百貨店▽晨鳥社九、十二、三、

【京都】【七月】各人社美術展十一、十六、大丸【十月】白雲會洋畫小品展三、四、大丸【二月】堂本謙助東丘社如月展一、四、大丸▽河合卯之助作陶器展十一、市美術館【六月】山元春臺遺墨展九日、市美術館▽驛牛會展十六、十七、京都美術俱樂部

【七月】各人社美術展十一、十六、大丸【十月】白雲會洋畫小品展三、四、大丸【二月】堂本謙助東丘社如月展一、四、大丸▽河合卯之助作陶器展十一、市美術館【六月】山元春臺遺墨展九日、市美術館▽驛牛會展十六、十七、京都美術俱樂部

美術界往來

物故の人々 昭和八、九、十年の美術界でまづ特記されなければならぬのは、例年になく多くの美術家が逝去したことである。帝國美術院會員で共に日本畫界の巨匠とされた山元春臺(七月十二日)、平福百穂(十月廿三日)兩氏が他界したのを初めとし、院展の鬼才小茂田青樹氏(八月廿八日)、二科の超現實派作家古賀春江氏(九月十日)刺繍藝術家江野吉氏(九月廿八日)、帝展第四部審査員迎田秋俊氏(十月五日)、萬谷龍輝氏(十月七日)、酒本博示氏(九月廿六日)、植松包美氏(十一月十六日)、松下春雄氏(十二月廿一日)、山田敬中氏(二月廿一日)が病で世を去つてしまつた、これに加へて五月名古屋で片多徳郎氏が自殺するなど美術界には非常に寂しい便りが相つた。

帝國美術院會議 秋九月の會議では恒例の審査員決定を行つたほか、故山元春臺氏の補缺會員に西村五雲氏が推された。新に會員となるものは任命後一年乃至二年後にその代表作を提出すること、現會員も二年後には同じく代表作を提出し、將來建設される近

二科、春陽會、獨立その他

二科、春陽會、獨立その他 二科會では六月十七日中川紀元氏が京城から聲明書を受けて「心境の變化と仕事都合」から同會を脱退した。ついで八月、シバの嫌疑を受けた津田青楓氏は今後洋畫をすて、再び日本畫に歸ることとなつたので退會、同時に春陽會を出た小山敬三、哈伊之助兩氏を迎へた。昭和九年四月藤田嗣治氏が、有

島生馬、東郷青兒氏らの紹介でこれも二科新會員に推された。またこれと殆ど時を同じくして會宮一念氏が二科を去つた。三月春陽會から去つた小林和作氏は友人關係によつて獨立美術協會に迎へられ、京都帝大講師を辭した須田國太郎氏と共に新會員となつた。川端龍子氏の主宰する青龍社は、十月社人藤田豊四郎氏が帝展に出品せんとしたといふ理由で破門したが、その後落合朗風、川口春坡兩氏は共濟部設立について龍子氏と論争の末、青龍社を脱退、新たに明則美術聯盟を組織した

八年四月以來、美術館借館團體有志は府當局に對して料金を値下の猛運動を行つてゐたが、遂に昭和九年度から既往の半額を以て使用できることになつた

日本美術院の献上品 日本美術院では皇太子殿下御降誕奉賀のため、謹作旭光帖(壽帖)、春瑞額(彫刻)の二品を二月廿二日献上した

林氏春陽會脱退 春陽會々員林倭南氏は新會員陸衛問題から他會員と意見合はず、七月春陽會を脱會した

美術團體

帝國美術院(院長正木直彦)東京市麹町區三年町二丁目省內▽日本美術協會(會頭金子堅太郎)東京市上野公園樓ケ間▽日本美術院(代表横山大觀)東京市下谷區谷中上三崎南町五二▽新興美術協會 大阪府住吉區相生通三ノ三齋藤清二郎方▽國民美術協會(會頭中條清一)東京市本郷區湯島切通坂町五一▽大阪美術研究會 大阪府東區谷町二ノ五鶴丸方▽關西美術院(院長伊藤快彦)京都市西區廣道冷泉上▽關西美術會 京都市西區廣道冷泉上▽關西美術院內▽日佛藝術社(代表黒田鶴心)東京市麹町區內幸町幸ビル▽獨立美術協會 東京市本郷區動町三二七福澤一郎方▽大日本體育藝術協會 東京市丸ノ内八重

湖ビル大日本體育協會內▽學校美術協會(主事後藤龍太郎)東京市日暮里町三ノ一九六▽朝鮮美術展覽會 朝鮮總督府學務課內▽台灣美術展覽會 台灣總督府台灣教育會內▽日本協會(會頭)東京市麹町區中六番町五四▽東台邦協會(會長結城素明)東京市芝區金杉濱町六八野野探道方▽推古會 東京市品川區上大崎長者九二五三松田方▽早苗會(會長川村曼舟)京都市高倉通丸太町下丸山元方▽白光會(代表荒木月敏)東京市本郷區彌生町二荒木方▽日本南滿洲院(代表小室翠雲)京都市麹町區中六番町四〇▽後素協會 京都市二條通釜屋西人上田方▽二科會(會員有島生馬其他)東京市四谷區番町一七▽九科會(代表山本壽)長野縣小縣郡神川村大屋日本農林美術研究所▽大阪洋畫協會 大阪府心齋橋八幡筋西入河内洋畫材料店▽國畫會(會頭梅原龍三郎其他)東京市品川區北品川三ノ三一▽益田方▽構造社(代表齋藤素郎)東京市豊島區池袋三ノ一〇九一安永方▽春陽會(會員足立源一郎其他)東京市大森區田圃調布都市四二四足立方▽青龍社(主幸川端龍子)東京市大森區新井宿四ノ一〇五三川端方▽太平洋協會 東京市下谷區谷中眞島町一▽東京みつゝ會(代表佐藤平太郎)東京市小石川區原町一三八佐藤方▽ホクト社(代表五村方久手)東京市杉並區井荻町二ノ一▽无

型(代表高村豊周)東京市本郷區駒込林町一五五高村方▽獨立十八人會(代表北尾欽作)東京市中野區江古田一北尾方▽金鑛會(總務溝口安太郎)京都市富小路四條下九溝口方▽自由畫壇(同人林文雄其他)京都市押小路鉦屋町東入▽日本水彩協會(常務理事省三)東京市本郷區駒込町一六六望月方▽日本浮世繪協會(會長徳川頼貞)京都市麹町區富士見町五ノ一九▽日本版畫協會(會長岡田三郎助)京都市板橋區板橋町三ノ六〇五栗田雄方▽洋風版畫會 東京市澁野川區澁野川町六八九渡邊方▽白日會(會員池田鈞其他)東京市杉並區天沼三ノ八二〇代田方▽日本漫畫會(會員池田水一治其他)東京市中野區本町通四ノ一七牛島一乃方▽關西漫畫會 大阪府南區道頓堀中座東ダイヤ齋內▽日本挿畫家協會(代表海野精光)東京市世田谷區北澤三ノ九〇九海野方▽日本畫壇協會 東京市豊島區池袋二ノ一〇二一武井方▽關西畫壇會(會頭關一)大阪府東區瓦町五ノ二一▽泰東畫壇院(會頭清浦奎吾)東京市日本橋區江戶橋三ノ三三平安書道會(會長荒木實三郎)京都市左京區南禪寺福地町四五▽京都美工廠 京都市西區公團美術協會內▽朝倉塾(指導者朝倉文夫)東京市下谷區谷中天王寺町二〇〇金工會 東京市神田區末廣町一七半田方▽京都裝飾藝術協會 京都伏

型(代表高村豊周)東京市本郷區駒込林町一五五高村方▽獨立十八人會(代表北尾欽作)東京市中野區江古田一北尾方▽金鑛會(總務溝口安太郎)京都市富小路四條下九溝口方▽自由畫壇(同人林文雄其他)京都市押小路鉦屋町東入▽日本水彩協會(常務理事省三)東京市本郷區駒込町一六六望月方▽日本浮世繪協會(會長徳川頼貞)京都市麹町區富士見町五ノ一九▽日本版畫協會(會長岡田三郎助)京都市板橋區板橋町三ノ六〇五栗田雄方▽洋風版畫會 東京市澁野川區澁野川町六八九渡邊方▽白日會(會員池田鈞其他)東京市杉並區天沼三ノ八二〇代田方▽日本漫畫會(會員池田水一治其他)東京市中野區本町通四ノ一七牛島一乃方▽關西漫畫會 大阪府南區道頓堀中座東ダイヤ齋內▽日本挿畫家協會(代表海野精光)東京市世田谷區北澤三ノ九〇九海野方▽日本畫壇協會 東京市豊島區池袋二ノ一〇二一武井方▽關西畫壇會(會頭關一)大阪府東區瓦町五ノ二一▽泰東畫壇院(會頭清浦奎吾)東京市日本橋區江戶橋三ノ三三平安書道會(會長荒木實三郎)京都市左京區南禪寺福地町四五▽京都美工廠 京都市西區公團美術協會內▽朝倉塾(指導者朝倉文夫)東京市下谷區谷中天王寺町二〇〇金工會 東京市神田區末廣町一七半田方▽京都裝飾藝術協會 京都伏

全國主要圖書館

見桃山宗和園(商業美術協會(會長濱田増治)東京市淀橋區戸塚町四ノ八四二)東京鑄金會(代表香取秀真)東京市下谷區谷中眞島町一(日本金工協會(會頭金子堅太郎)東京市下谷區谷中三崎北町三一)東瀾會(幹事長大森光

全國主要圖書館

(學校附屬圖書館は之を省く)

Table listing various libraries across Japan with columns for name, location, and establishment year. Includes entries like 市立五等文庫, 市立五等文庫, 市立五等文庫, etc.

新興建築の動向

中尾 保

「日本で最も新しい式の建築は何れですか」といふ質問をよく受けるが、私はその度毎に「東京驛前に出来る中央郵便局を御覽なさい、あれが先づモダン建築に近いものです」と答へてゐる。あの建物が郵便局としての機能を充分發揮してゐるところにその美しさを見出せる、あれだけの建物で畫間は何の室も電燈を用ひずとも明るく、室の聯絡も巧妙に配されてゐる、而も外部には何の飾りもついてゐない、正面の時計と背面の露出階段が唯一の裝飾になつてゐる、不必要な何物も附け加へて居らぬが郵便局としての形、窓の大きさと位置が自然にコムボジションを作つてゐる、軍艦や精巧な機械を見た時と同じやうな感覺に觸れる、これ等のものは形態に何の偽りもなく、合目的性そのものであり而も色彩は實に快適である

新興建築の動向

る、私共は東京中央郵便局を無條件に讚美するものではないが、近代建築の動向に對する九〇%の解答を與へるものとして大に敬意を表するものである、近時この種の建築が随分出來てきたが何れも住宅やその他の小建築で、まだ大建築にこの種のものを見ない、しかし近き將來にはより優秀なものどしく生れることは信じられる

扱つて眞のモダン建築の精神を説明する前に日本の新興建築の経緯を述べねばならぬ、日本で「建築」が文化評論の俎上にのぼり、知識階級の間に見や角といはれるやうになつたのは一九二七年頃からといつてよい、それは建築に現代的な要素が多分に織込まれてゐるためである、しかしその中にただわけもなく「珍奇な變つたものへ」の關心から出來たものも少なくない、一體日本で所謂西洋建築と稱するものが過去様式のイミテイションである、舊態を脱し始めた

の十餘年前東京で開かれた平和博覽會における分離派の活躍からであるとせなければならぬ、勿論大正博のセセッション式ギアールヌーボー式はあるが何れも誤まれるの甚しきもので、社會は無論建築界にも大した影響がなかつた、たゞ當時の建築界に忘れてはならぬのは後藤慶二氏の指導的態度である、氏は偉大なる未成品として中道にして倒れたが、氏の藝術的な態度が漸次科學的な方向へと轉換しつゝあつたことはその作品を通じても容易にうかゞふことが出来る、氏は實に日本のオットー・ワグナーといふべきである、しかし建築界に廣く響いたのは前記分離派の活躍期即ち十二三年前からである、丁度その頃歐洲では表現派勃興時代で、當時のベルチツヒ氏やメンデルスゾーン氏の作風は如何ばかり日本の若き建築家達に感奮を與へたか知れない、分離派は當時大學を出たばかりの青年建築家石本嘉久治、森田慶三、堀口捨



定まりかけたものに氣づいた本野精吾、上野伊三郎、伊藤正文、石本喜久治、新名種夫及び本文の筆者の六名は一九二七年七月二日京都に會して、日本インターナショナル建築會設立の宣言と綱領を日本及び外國に發表し、インターナショナル建築の日本に於ける解決へと志した、當時認識不足から随分誤解もされ抗議もされ、壓迫も受け又ナンセンスもあつたが、歐洲の新興建築家として知られた前記ホフマン、メンデルゾーン及びタウト、ペーレンス、アウト、グロピウス諸氏の應援を受け世界的な建築技術への躍進の方向が明示された、一九三〇年は日本に於ける論争最も盛んな時であつたが、インターナショナル建築の精神が最近では次第に了解されて來た、これが即ち新興建築界の現状である

良い建築は美しい

何んな建築が良い建築か、それは第一にその建築の機能を發揮せしめるもの、即ちカフエはカフエ

として、病院は病院として、停車場は停車場の有する機能がある、學校、劇場、競技場、住宅、火葬場、レストラン、ホテル皆然りである、ホテルはホテルとしての出来るだけ多くの條件を満足せしめる間取りで、進歩した材料の持つ機能を生かして使用したもので氣持のよい色彩を施された建築が即ち良い建築で、それが最も美しい建築である、たゞむつかしい問題は土地或は國土特有の地方色に即したものでなければ意義をなさぬ例へば日本の本土は北緯五十度以南廿余度以北に位する島國で、冬は乾燥して温度以上に寒さを感じ夏は湿度が高まつてむし暑く、雨と地震の多い國であるといふやうなことはすべて日本の地方色である、建築の機能や材料や構造の科學的方面はすべて世界共通性のものでもこの地方色に適合するやうに取扱はねばならぬ、それ故スバニツシユミツシヨンとかイングリシユカテイジだとかいつたやうな

日本の建築

藤田元春

外國の上に出來た建築を日本へ移すことは間違つてゐることになる、又近代科學の進歩した今日の石や煉瓦の時代のクラシック建築やゴシック、ルネッサンスなどを真似することも間違ひである新しい建築家の苦心はインターナショナル建築の日本スタイルを案出することにあり、近時一部老人達の間にこの地方色即ちローカリテイを履きながへて近代式の構造材料の建築物に日本の舊様式の技工を加へて日本風だとか、東洋趣味だとか、甚しきは日本精神を發揮せしめた建築だなど、唱へるがこれも間違ひの甚しきものであるお城や葬儀自動車のやうな建築があちこちに出來るが誠に遺憾至極な話である、日本精神は昔の様式にのみ存するものではない

で、西洋に多い拱式でない、その基くところは支那の建築様式であつて、飛鳥朝に出來た佛寺建築の現存によつてこれを見ること出来る、けれども飛鳥時代よりも遙かに遠い時代にすでに支那大陸との交渉があつたから、飛鳥期以前の建築といへども支那系であるはずだ、普通これを南洋系に屬すといふが、南洋から渡來したといふ確證はない、しかも日本民屋の類似は今日揚子江附近の村落に甚だ多く發見されるのであるから、世人の南洋系といふものも、大陸建築の古代のものが南洋へ波及したものであつて、その根元は文化の古い支那にあつたであらう。勿論これらの原始的家屋は、實は世界共通の構造であつて、支那は勿論南洋でも、日本でも簡單な穴居または巢居から民屋が發達したのであるから、いはゆる天地根元宮造と呼ぶものをもつて、南洋に歸する理由は存在しない、まづわが國ではその原始形を少しく變

化して神社建築として踏襲し、織に細部手法の技巧を凝すに止めて大社造または唯一神明造といふものを作つたので、様式の類似から、直ちに南洋を想起せしめるのである、けれどもこの大社造や神明造の室の配置を見ると、爾雅に記されてゐる支那の古い屋宇殿舎に一致するのであるから、決して南洋傳來でない、大社造のごとき室、宦、屋漏、奥といふ四間取の制は、人倫文化のすでに高等に發展した家庭の現存と認するもので、支那古代の祭殿や宮殿に照應するところの遺構であつて、勿論南洋の民屋の間取と違ふのである、しかしわが國は多雨高温の地であるから、その自然的地理條件がいつの間にか開放的な茅屋を作らしめたから、古語に埴土舟といひ埴土宿といつたやうな泥塗の大壁風密閉民居の建築様式が傳來しても永續はしなかつた、自ら南洋風の民家に類似するに至つたから、彼土の人が來つてこれを見るや「倭地温

暖、冬夏生菜を食ひ、皆屋室あり、父母兄弟臥息處を異にす」(魏志)と述べたくらゐる屋室の制は彼とひとしくとも、臥息の棟は別になつてゐるのが大に目立つたのである、それでも海岸の漁師町にゆくと今日でも泥塗密閉民家はなほ現存してゐるのが多いのである。當初大陸との交通は三韓を經由したから日本海方面が最も早くその影響をうけ、ついで瀬戸内航路が出來、最後に百濟や吳國への直通路が出來た、そこで建築もまたこの三つの途に従つて三方面の影響をうけ、上代いち早く大社造が出来に出來たが、大和朝廷の統一が成立するや、瀬戸内が文化の中心となり、佛法傳來に際し飛鳥時代といふ一期をつくつた際には、全くこの航路の要會に、佛寺建築が發展するのであつた、大宰府の觀世音寺は少しく遅れるが、大阪の四天王寺、大和の法隆寺等は、その礎を明かに朝鮮慶州の皇龍寺または北魏の永寧寺に取つたもの

で、全くこの航路發達の後に従うたものといへる、従つて建築史でこれを百濟式七堂伽藍の出現といふのはやゝ當を得ないと思ふ、飛鳥時代ののち、白鳳、天平、弘仁、藤原、鎌倉、室町、桃山、江戸といふ各時代を経て明治以後の現代に下つてきたが、その各時代における大陸の影響は著しいものがある、それゝ違つた時代相を語るものである、けれども國體が悠久であるのと、島國であるために浦安の國であるから古く傳はつたものゝ永續性が強く、新しいものも來つてこれに大變革を興へることが出來なかつた、檜、櫻、檜、栗、杉、松等日本特有の建築材が多い結果、木造建築が多く、耐火的でないけれども弾力のある耐震的な建築となり、法隆寺のごとき千古の伽藍が今日にその雄姿を保つことが出來た、民家はかうした温潤の國柄であるから密閉することとは好まれず、瀟灑淡白輕快を愛したために、堅くるしい大陸風の

建築はいつの間にか日本化した、それは支那、朝鮮の石造塔婆を日本五重塔などに比較して直ちに諒解される點である、白鳳から天平時代は唐式の模倣であつたのが、弘仁期に入るといはゆる寢殿造といふ殿舎を營む時代になる、最初の寢殿は唐様の竊窟な殿舎の制に近似するが、構内における殿舎の配置を多雨の日本に適應せしむるために「つのや」が出來たと同様、七堂伽藍もいつの間にか山岳地における佛寺を見るに至り、やがて貴族の瀟灑な山莊が出來て、日本一般の民屋の構造を支配するやうになつた、高野山の根本中堂のごとき當初單層檜皮葺七間四面であり、大和の室生寺のごとき五間四面入母屋作であつて、奈良朝時代の重層瓦舎の重くるしさは無くなつてゐた、これを宇治風風堂に見ても寢殿造がいかに變化されたかを學ぶ材料となるであらう、やがて藤原末期の建築は疎弱に墮するに至つたが、鎌倉時代武

家が勢力を握るとともに支那との交通もまた復活し、禪宗が新しい宗教として鎌倉や京都に五山のごとき唐様建築の大寺を出現すれば、南宋から天竺様と稱する一型式が輸入されて俊承坊重源の大佛殿建立となり、従来の王朝式の規模狭少な建築界に一大刺激となり、和様としてこれに對抗するものが出来た、和様は遂に唐様を合せて天竺様へ融合し、鎌倉末期には折衷式が出来た、河内観心寺本堂は實にその代表的遺構である勿論唐様も天竺様も大陸風の直寫だから国民性を満足せしめず、天竺様は早く姿を没したが、唐様は禪宗の發展に伴つて後世まで持續された、民家では腰殿造から武家造といふものに變つて室町時代に入つて大成した、足利義滿の花御所のごとき腰殿造に近いが、しかし名の唱ふる通り、庭園式建築の魁であり、義詮の時代には茶道の影響により、ゆるゆる四疊半の茶室が出来、不規則な書院造が完成さ

れた、これは腰殿造、武家造の合作であつて現代のわれ等の住宅に直接の關係をもつものである。猶書院造の完成に先立つて我等の邸宅に影響したものに禪宗寺院の方丈の制がある、内部は間を任意に仕切り、奥の間を板敷とし、中央に佛壇を設け、之を室中と呼び、他は疊敷とした、その遺構は建仁寺方丈であるが桃山時代のものだから確ではない、東山の東求堂は茶室であるけれども余程方丈に近い建物である。

一方武士の手で大田道灌の江戸城のごとき城堡建築が出来、やがて應仁大亂を経て豪放にして絢爛な桃山時代がくる、こゝに至つて城堡建築の勃興と共に見事な書院造が完成する、桃山時代は四十二年の短時日ではあるが、織田信長に端を發し、豊太閤の偉大な人格により驚くべき大建築の多數が出来た、醍醐三寶院や本願寺の飛雲閣のごとき、その好例として現存してゐる、この時代にあつて初

めて雨戸が出来、従前の舞良戸は玄關や納戸に應用され、木割は細くなつてきて裝飾に力を用ひ、床の間、壁、襖、天井等は永徳や山樂の筆によつて飾られ、木鼻露股等が裝飾充填式に用ひられ、いはゆる左甚五郎の如き名工も出て、欄間の彫刻が發達の頂點に達した。

この際天主教が渡來して歐洲風の建築が四條坊門に出来たのは特記すべき事實であるが、これは秀吉に禁止された、秀頼の時代には社寺の復興されたものが多く、いはゆる八棟造といふ神社建築も完成した、北野神社の建築はその好例である。

城堡では信長の安土城を皮切とし、大阪城や江戸城、姫路城以下多くが出来、今日その雄姿を残すものは多い、ついで江戸時代には幕府が江戸にあつたために、建築も江戸を中心として發達し、その初期は前代に誘導された豪華なものも多く、元祿迄約八十年間のもの

のは立派である、大阪四天王寺東大門、長谷寺本堂の如きその例であり、神社では八棟造から一步を進めて欄現造となり又靈廟建築に異彩を残した、しかし元祿以後は木割法が制定され、一流の名工による必要がなく、誰でも木割一式でやる、さうして建物全體の比例に頓着せず、徒らに細部の經營に力を注ぐやうになつて、古代建築に及ばぬものが多くなつてきた、しかし一方支那から黄髮建築や儒教建築が招來されて二三の遺構をのこしてゐるが、それが全體に對する影響は微弱であつた、しかしたとへ木割法のために建築が墮落したとはいへ、塔の心柱を遊離せしめることや、銅板葺や棧瓦の發明があつたので、構造上の進歩がないわけではなかつた、やがて明治年代に入つて歐化主義に傾くこととなり、従来の宗教建築は根柢から覆へされ、權威全く地に落ち、興福寺の塔が賣物に出て食堂や細殿が破毀さるゝに至つた、かくて

明治十五、六年迄は外人の手で煉瓦石造の洋風建築が出来、日清戦争を経て日露戦後頃から石造鐵骨が行はれ、大正に入つて鐵骨鐵筋コンクリート造の時代となり、五階八階の高層建築が出現する現代となつたが、これが過去の建築の如く日本化される運命に置かれてゐるのは事實である、しかしそれは猶水、月日を要するであらう。

一方社寺建築では古來の様式の研究がすすんだので最新の材料による復古建築が所々に出来た、明治二十八年に出来た東本願寺の殿堂は猶舊式ではあるとしても、同年造營の平安神宮や、大正九年に出来た明治神宮などは、その復古式建築の標本として永久にのこるであらう。

國寶建造物

(昭和九年六月現在) 括弧内は府縣名

飛鳥時代 【奈良】法隆寺金堂、五重塔、中門、廻廊△法輪寺三重塔△

國寶建造物

法起寺三重塔【滋賀】石塔寺石塔  
奈良時代 【奈良】藥師寺三重塔  
△法隆寺夢殿、傳法堂、食堂及細殿、西院東大門、同經樓△東大寺法華堂、同經樓、轉害門、勸學院經庫△唐招提寺金堂、講堂△海龍王寺西金堂△當麻寺東塔、西塔△榮山寺八角堂、石塔△新藥師寺本堂  
延喜時代 【奈良】東大寺本坊經車△室生寺五重塔、金堂△於美阿志神社石塔婆【滋賀】延曆寺相輪櫓  
藤原時代 【京都】醍醐寺五重塔  
藥師堂△法界寺本堂△廣隆寺講堂△三千院本堂△平等院鳳凰堂△宇治上神社社殿△淨瑠璃寺本堂【奈良】法隆寺大講堂、鐘樓△春日神社樓門、同攝社若宮細殿、御廊、神樂殿△佛隆寺石室  
【滋賀】石山寺本堂内陣【兵庫】鶴林寺太子堂、常行堂【鳥取】三佛寺投入堂、納經堂【大分】富貴寺大堂【長野】福徳庵本堂【千葉】長樂寺本堂【福島】白水阿彌陀堂【宮城】高藏寺阿彌陀堂【岩手】中尊寺金色堂、經藏  
鎌倉時代 【京都】三十三間堂△六波羅密寺本堂△教王護國寺—東寺—蓮花門外四門△廣隆寺桂宮院△神護寺大師堂△高山寺五所堂△愛宕念佛寺本

堂△醍醐寺金堂、經藏△八咫神社樓門△宇治上神社社殿△海住山寺五重塔、文珠堂△淨瑠璃寺三重塔△金胎寺多寶塔△大福光寺本堂、多寶塔【奈良】般若寺樓門、十三重石塔婆△東大寺南大門開山堂、鐘樓△興福寺北円堂、三重塔△十輪院石佛龕△秋篠寺本堂△法隆寺聖靈院、三經院、上御堂、西円堂等△唐招提寺鼓樓△藥師寺東院堂△靈山寺三重塔△長岳寺眞面堂△石上神社社殿樓門△室生寺本堂△當麻寺金堂、講堂【滋賀】石山寺多寶塔△御上神社本殿拜殿△金剛輪寺本堂△西明寺本堂、三重塔【大阪】四天王寺石馬居△慈眼院多寶塔△孝恩寺觀音堂△櫻井神社社殿【和歌山】金剛三昧院多寶塔△高野山不動堂△淨妙寺本堂、多寶塔△長保寺本堂、多寶塔【兵庫】温泉寺本堂△同教寺大講堂△淨土寺本堂、淨土堂【廣島】嚴島神社攝社密神社殿△淨土寺本堂、多寶塔△四國寺金堂【山口】永福寺本堂△功山寺佛殿【香川】本山寺八脚門△國分寺本堂【愛媛】石手寺本堂、三重塔、樓門△大山寺本堂、八脚門【熊本】明導寺本堂、石塔【福井】明通寺本堂、三重塔△妙樂寺本堂【岐阜】永保寺觀音堂【愛知】其目寺南大

門△福山寺本堂、三門△金蓮寺彌陀堂△高田寺本堂【山梨】大善寺本堂△清白寺佛殿【神奈川】円覺寺舍利塔△建長寺大覺禪師塔【千葉】笠森寺本堂【栃木】饒阿寺本堂、鐘樓【茨城】西蓮寺相輪櫓【福島】立木觀音堂【山形】黃金堂  
室町時代 【京都】鹿苑寺金閣△慈照寺銀閣、東求堂△法觀寺五重塔△東福寺山門、東司、浴室、禪堂△知恩院勢至堂△大徳寺庫裡、待眞堂△大仙院方丈△靈雲院書院△玉鳳院開山堂△建仁寺勤使門△寶塔寺四脚門、多寶塔△松尾神社本殿△峰定寺本堂、供水所、仁王門△向神社本殿△松尾神社本殿及拜所△圓恩庵本堂△妙喜庵書院△普濟寺佛殿△出雲神社本殿△九品寺樓門【奈良】東大寺大湯屋△興福寺東金堂、五重塔△不退寺本堂△喜光寺金堂△法隆寺南大門、地藏堂等△同北室院本堂、表門△瑞花院本堂△壹岐寺三重塔△談山神社十三重塔、權殿△金峰山寺藏王堂、樓門△鳳閣寺瑞塔【滋賀】園城寺大門、食堂、三重塔△新羅善神堂△延曆寺瑞雲堂△不動寺本堂△安土淨嚴院本堂△總見寺樓門、三重塔△常樂寺本堂、三重塔△善水寺本堂△油日

神社境内及境内△地主神社本殿及幣殿  
【大阪】觀心寺本堂△建水神社本殿  
△錦織神社本殿【和歌山】道成寺本堂  
樓門△大傳法院多寶塔△護國院樓門、  
多寶塔△丹生福比賣神社樓門【三重】  
觀音寺本堂、樓門△開地院護摩堂  
【兵庫】一乘寺三重塔△鶴林寺本堂、  
鐘樓、護摩堂△中島神社本殿【岡山】  
中山神社本殿△吉備津神社殿及隨神  
門【鳥取】大山寺常行堂【廣島】不動  
院金堂△安國寺釋迦堂△淨土寺阿彌陀  
堂△西國寺三重塔△明王院本堂、五重  
塔△嚴島神社本殿、五重塔【島根】  
清水寺本堂△雲樹寺四脚門△萬福寺本  
堂△神魂神社本殿【山口】洞春寺觀音  
堂△瑞光寺五重塔△住吉神社本殿  
【愛媛】興隆寺本堂△大山神社本殿  
【高知】竹林寺本堂△國分寺觀音堂△  
土佐神社殿【福岡】宮崎宮社殿△風  
洞神社殿、石塔△太宰府神社末社  
志賀宮本殿【大分】神角寺本堂【熊本】  
六殿神社樓門【沖繩】首里城門【岐阜】  
永保寺開山堂△安國寺經藏△荒城神社  
本殿【愛知】長光寺地藏堂△大樹寺多  
寶塔△天恩寺佛殿、山門△知立神社塔  
婆【靜岡】富士淺間宮本殿【長野】國  
分寺三重塔△安樂寺八角四重塔△大法

寺三重塔【山梨】山梨神社本殿△長  
谷寺本堂△富士嶽神社東宮本殿【石川】  
氣多神社攝社若宮神社本殿【富山】雄  
山神社前立社壇【新潟】魚沼神社神輿  
庫△蓮華寺金堂、弘法堂【群馬】藥  
師堂【栃木】西明寺三重塔△彌生社本  
殿△木幡神社本殿、樓門【埼玉】金積  
神社多寶塔【東京】円融寺本堂【千葉】  
法華經寺法華堂、四脚門△神野寺表門  
△石堂寺本堂【茨城】佐竹寺本堂△櫻  
嚴寺山門△小山寺三重塔【福島】養食  
二階堂△會津中央藥師堂△田子藥師堂  
【山形】八幡神社殿  
桃山時代 【京都】本派本願寺書  
院、日暮門、飛雲閣、能舞台等△大德  
寺唐門、山門△龍光院本堂、兜門△孤  
蓬庵△醍醐三寶院殿舍、唐門△高  
台寺開山堂、靈屋、表門△南禪寺方丈  
△建仁寺方丈△教王護國寺金堂、南大  
門、大師堂△清水寺鐘樓、西門△妙法  
院庫裡△妙心寺山門、勅使門△大覺寺  
客殿△仁和寺本堂、御影堂△西芳寺湖  
南亭△常寂光寺多寶塔△吉田神社齋堂  
所大元宮△豐國神社唐門△稻荷神社本  
殿△御香宮表門△北野神社社殿△由岐  
神社社殿△妙喜庵敷敷屋【奈良】法華  
寺本堂△吉野水分神社社殿△吉水神社

書院【滋賀】園城寺金堂、勸學院客殿  
光淨院客殿、円滿院客殿△延曆寺戒壇  
院堂、横川中堂△日吉神社社殿、樓門  
攝社六社殿、日吉三橋△西教寺客殿△  
竹生高寶殿寺觀音堂△都久夫須麻神社  
日暮御殿【大阪】水無瀨宮社務所、茶室  
△金剛寺多寶塔、觀月亭、御影堂△勝  
覺院多寶塔【和歌山】青岸渡寺本堂  
【三重】觀音寺本堂△西來寺客殿【兵  
庫】本興寺開山堂、三光堂△姫路城  
【鳥取】三佛寺地藏堂、文珠堂【岡  
山】開山城【廣島】廣島城天守△嚴島  
神社千疊閣【福岡】太宰府神社本殿△  
宗像神社邊津宮本殿【熊本】熊本城  
【福井】氣比神宮本殿【岐阜】國分寺  
本堂【愛知】七ツ寺本堂△熱田神宮海  
上門△名古屋城【靜岡】淺間神社本殿  
【山梨】惠林寺四脚門【神奈川】原氏  
邸臨春閣【東京】本門寺五重塔、仁王  
門【茨城】鹿島神宮攝社本宮【山形】  
立石寺中堂△出羽神社五重塔【宮城】  
大崎八幡神社殿△國分寺藥師堂△五大  
堂△瑞嚴寺本堂、庫裡、御成門、中門  
△仙台城大手門  
江戸時代 【京都】本派本願寺本  
堂、大師堂△知恩院三門、本堂、大小  
方丈△南禪寺三門△教王護國寺五重塔

△妙法院大書院△清水寺本堂△大德寺  
御殿△眞珠庵方丈、通德院△孤蓬庵本  
堂、書院△妙心寺伽藍△仁和寺五重塔  
△平野神社本殿△八坂神社本殿、石鳥  
居△賀茂御祖下鴨神社社殿△同別  
雷上賀茂神社社殿△萬福寺伽藍  
【奈良】東大寺大佛殿及中門廻廊△長  
谷寺本堂△春日神社本殿及殿舍△攝津  
神宮本殿、拜殿【滋賀】延曆寺大講堂  
根本中堂、鐘台△來迎寺客殿【大阪】  
四天王寺東大門△住吉神社本殿【三重】  
大寶院本堂【島根】出雲大社本殿【愛  
媛】宇和島城天守、追手門【高知】高  
知城【福岡】香椎宮本殿【大分】宇佐  
神宮本殿【佐賀】多久聖廟【長崎】福  
濟寺伽藍△崇福寺伽藍△興福寺本堂△  
大浦天主堂【沖繩】沖繩神社拜殿【福  
井】氣比神宮大鳥居【石川】妙成寺本  
堂及講堂【富山】瑞龍寺本堂【長野】  
薄光寺本堂【群馬】貫前神社本殿【栃  
木】東照宮社殿△二荒山神社本殿、拜  
殿△輪王寺本堂、相輪樓△大猷院靈廟  
【神奈川】鶴ヶ岡八幡宮大鳥居△建長  
寺本堂【東京】寬永寺五重塔△増上寺  
三解脱門△淺草寺本堂、五重塔△上野  
東照宮△德川家光及御吉靈廟△德川秀  
忠以下六代靈廟及塔△日枝神社社殿

寶物の戸籍調

【千葉】法華經寺五重塔【茨城】東照  
宮社殿【山形】慈恩寺本堂【青森】岩  
木神社社殿、樓門△最勝院五重塔  
明治時代 【廣島】嚴島神社大鳥  
居  
（括弧内、上は府縣名）  
源賴朝その他御像（京都神護寺）▲李真  
筆真言七祖像（同救王護國寺）▲牧溪筆  
觀音猿鶴圖（同大德寺）▲陸信忠筆十六  
羅漢圖（同相國寺）▲宋畫羅漢圖（同高  
臺寺）▲宋畫淨土五祖像（同一尊院）▲  
法然上人繪傳（同知恩院）▲石恪筆二祖  
調心圖（同正法寺）▲友松筆屏風（同妙  
心寺）▲馬公顯筆樂山李嗣問答圖（同南  
禪寺）▲顏輝筆觀音變勢圖（同知恩寺）  
▲元信筆樓閣山水圖（同金地院）▲宋畫  
孔雀明王圖（同仁和寺）▲鳥獸戲卷（同  
高山寺）▲宋畫山水圖（同高桐院）▲  
過去現在因果經（同上品蓮臺寺）▲同  
上（同聖恩院）▲青不動尊（同青蓮院）▲  
北野天神緣起（同北野神社）▲一遍上人  
繪傳（同觀音光寺）▲雪舟筆夏冬山水圖  
（同曼殊院）▲文殊渡海圖（同光臺院）▲

山越院陀圖（金戒光明寺）▲同上（同禪  
林寺）▲矢田地藏緣起（同矢田寺）▲明  
兆筆五百羅漢圖（同東海寺）▲知拙筆狐  
魅圖（同退藏院）▲傳元信筆山水花鳥圖  
（同靈雲院）▲傳相阿彌筆山水圖（同大  
仙院）▲福富草紙（同春浦院）▲狩野內  
膳筆豐國祭圖屏風（同豐國神社）▲金棺  
出現圖（同長法寺）▲佛眼曼荼羅圖（同  
淨福寺）▲等伯筆猿鶴圖（同觀泉庵）▲  
宗達筆風雷神圖屏風（同建仁寺）▲蛇  
足筆山水花鳥圖（同眞珠庵）▲雲谷等筆  
筆竹林七賢圖（同黃梅院）▲藤繪繪詞  
（同本願寺）▲友松筆琴棋書畫屏風  
（靈洞院）▲櫻花圖繪繪（同智積院）▲後  
白河法皇御像（同妙法院）▲應舉筆竹石  
屏風（同圓光寺）▲傳山樂筆朝顏圖繪繪  
（同天球院）▲榮信筆花園天皇御像（同  
長福寺）▲梵芳筆蘭石圖（同鹿王院）▲  
夢窓國師像（同天龍寺）▲元信筆釋迦堂  
緣起（同清涼寺）▲牡丹圖繪繪（同大覺  
寺）▲四十九化佛彌陀來迎圖（同光明  
寺）▲板繪神像（同寶積寺）▲大雅堂筆  
西湖圖（同萬福寺）▲傳院間爲成筆壁畫  
（同平等院）▲調馬圖屏風（同慶應寺）▲  
密教圖像抄（同三寶院）▲愛染曼荼羅圖  
（同隨心院）▲寶樓閣曼荼羅圖（同寶善

提院）▲應舉渡瀨圖（同金剛寺）▲黃不  
動尊渡瀨圖（同金剛寺）▲應舉筆孔雀牡丹圖  
（同圓滿院）▲天臺大師像（同延曆寺）  
▲十六羅漢圖（同來迎寺）▲觀經曼荼羅  
圖（同西教寺）▲石山寺緣起（同石山寺）  
▲阿彌陀三尊來迎圖（石山心蓮社）▲後  
鳥羽院御筆歌仙像（三重專修寺）▲宋畫  
千手觀音像（岐阜永保寺）▲佛涅槃圖  
（愛知妙興寺）▲雪舟筆惠可斷臂圖（同  
齊年寺）▲觀音上人繪傳（同妙源寺）▲  
王宮曼荼羅圖（同大恩寺）▲普賢十羅刹  
女像（靜岡大福寺）▲宋畫夏景山水圖  
（山梨久遠寺）▲山王靈驗記（同日枝神  
社）▲日蓮上人像（同妙法華寺）▲後醍  
醐天皇御像（神奈川清淨光寺）▲當麻曼  
荼羅繪卷（同光明寺）▲元壽十六羅漢圖  
（同建長寺）▲元壽羅漢像（同圓覺寺）▲  
金澤實時其他御像（同稱名寺）▲提婆達  
多像（同總持寺）▲狩野興以筆觀音龍虎  
圖（長野建福寺）▲法然上人繪傳（東京  
増上寺）▲尊勝曼荼羅圖（同護國寺）▲  
諸集會圖（同靈雲寺）▲本多正信像  
（同德本寺）▲興正菩薩像（同泉泉寺）▲  
十六羅漢像屏風（千葉法華經寺）▲觀音  
上人繪傳（同照願寺）▲拾遺古德傳（共  
城常福寺）▲岩佐佐以筆卅六歌仙（埼玉  
東照宮）▲狩野吉信筆職人盡屏風（同喜

多院）▲探顯筆東照宮緣起（栃木東照  
宮）▲佛國、佛應師師像（同雲巖寺）▲最  
勝王經十界寶塔曼荼羅圖（岩手中尊寺）  
▲金堂壁畫（奈良法隆寺）▲吉祥天女像  
（同藥師寺）▲華嚴五十五箇所繪傳（同  
東大寺）▲慈恩大師立像（同興福寺）▲  
東征繪傳（同唐招提寺）▲十二天像（同  
西大寺）▲阿彌陀三尊及童子像（同法華  
寺）▲千手千眼像（同金峰山寺）▲聖德  
太子及天台高僧像（同一乘寺）▲彌勒菩  
薩像（同寶山寺）▲清海曼荼羅（同極樂  
寺）▲信實山緣起繪卷（同朝護孫子寺）  
▲阿彌陀來迎圖（同長谷寺）▲涅槃圖  
（同新藥師寺）▲智光曼荼羅（同極樂院）  
▲春日曼荼羅圖（同能滿院）▲金堂帝釋  
天曼荼羅壁畫（同室生寺）▲兩界曼荼羅  
圖（同子島寺）▲根本當麻曼荼羅圖（同  
當麻寺）▲佛涅槃圖（和歌山金剛峰寺）  
▲阿彌陀如來廿五菩薩來迎圖（同高野  
山有志八幡講）▲赤不動尊（同明王院）  
▲船中湧現觀音像（同龍光院）▲地藏菩  
薩像（同寶壽院）▲紅玻璃阿彌陀像（同  
正智院）▲大元帥明王像（同西南院）▲  
紅顏聖阿彌陀像（同櫻池院）▲曾我直庵  
筆羅漢圖屏風（同寶壽院）▲櫻繪梅花童子  
圖（同金剛三昧院）▲大雅堂筆樓閣山水  
人物圖（同遍照光院）▲高野大行狀

彌陀(同地藏院)▲九品曼荼羅(同清淨心院)▲河内寺緣起(同河内寺)▲扇面古寫經(大阪四天王寺)▲八幡宮緣起(同八幡宮)▲兜率天曼荼羅(同兜率命寺)▲金堂三尊圖(同金剛寺)▲釋迦二聖開像(同祥雲寺)▲大寺緣起(同開口神社)▲閻魔王圖(同長泉寺)▲行基菩薩行狀繪傳(同家原寺)▲板繪天部像(同孝思寺)▲熊野曼荼羅(兵庫湯泉神社)▲施戒鬼圖(同樂仙寺)▲法華經曼荼羅圖(同大山寺)▲聖德太子繪傳(同鶴林寺)▲元滿五佛繪像(同十輪寺)▲釋迦三尊十六羅漢像(同班鳩寺)▲應聖筆繪(同大乘寺)▲俄鬼變紙(同山曹源寺)▲地獄繪卷(同安住院)▲小早川露景像(廣島米山寺)▲平家納經(同嚴高神社)▲大通師像(同佛通寺)▲安鎮曼荼羅圖(山口國分寺)▲元滿楊柳觀音像(鳥取豐乘寺)▲大山寺緣起(同大山寺)▲一字金輪曼荼羅圖(同國寺)▲元滿十王像(香川法然寺)▲志度寺緣起(同志度寺)▲地藏曼荼羅圖(同興國寺)▲曼荼羅圖(同道隆寺)▲智證大師像(同金倉寺)▲一字一佛妙法蓮華經序品(同佛通寺)▲なす竹物語繪卷(同金刀比羅宮)▲空彌宮繪緣起(同觀音寺)▲般若菩薩像(徳島長壽寺)▲黒田長政

像(福岡光雲神社)▲釋迦三尊像(同梅林寺)▲玉垂宮緣起(同玉垂神社)▲觀興寺緣起(同觀興寺)▲朝鮮高僧涅槃像(長崎長教寺)▲傳菊池能雲像(熊本菊池神社)

彫刻

五大明王像(京都教王護國寺)▲五大虛空藏(同觀智院)▲地藏菩薩像(同六波羅密寺)▲毘沙門天立像(同鞍馬寺)▲厨子入十一面觀音像(同法金剛院)▲藥師如來立像(同神護寺)▲如意輪觀音半跏像(同廣隆寺)▲釋迦如來立像(同清涼寺)▲菩薩半跏像(同寶菩提院)▲達磨大師坐像(同圓福寺)▲阿彌陀如來坐像(同平等院)▲藥師如來坐像(同聖觀音寺)▲男神女神坐像(同松尾神社)▲新羅明神坐像(波賀園城寺)▲快慶作釋迦如來坐像(同圓福院)▲宇迦乃御魂命坐像(同小津神社)▲大日阿彌陀藥師如來坐像(新高乙寶寺)▲阿彌陀如來坐像(長野阿彌陀堂)▲阿彌陀如來及兩脇侍坐像(愛知七寺)▲藥師如來及兩脇侍像(神奈川寶城坊)▲傳圓仁作觀音立像(同杉本寺)▲釋迦如來立像(同極樂寺)▲上杉重虎坐像(同明月院)▲阿彌陀如來及內脇侍立像(同圓覺寺)▲石佛立像(東京大倉集古館)▲日蓮上人坐像(同

本門寺)▲釋迦如來坐像(同深大寺)▲如意輪觀音像(茨城小松寺)▲阿彌陀三尊像(福島阿彌陀堂)▲エラスムス立像(栃木龍江院)▲曼陀三尊像(同樂師堂)▲一字金輪坐像(岩手中尊寺)▲不空觀音立像(奈良東大寺)▲藥師如來立像(同新藥師寺)▲十二神將立像(同興福寺)▲千手觀音像(同大安寺)▲運慶作大日如來坐像(同圓成寺)▲十一面觀音像(同法華寺)▲大元帥明王像(同秋高寺)▲釋迦如來立像(同西大寺)▲盧舍那佛坐像(同唐招提寺)▲快慶作阿彌陀如來立像(同西方院)▲藥師如來坐像(同藥師寺)▲止利佛師作釋迦如來坐像(御師立像)▲同法隆寺)▲如意輪觀音半跏像(同中宮寺)▲藥師如來坐像(同法輪寺)▲釋迦如來立像(同室生寺)▲如意輪觀音坐像(同圓寺)▲日羅立像(同橘寺)▲達磨坐像(同達磨寺)▲阿

彌陀如來坐像(同當麻寺)▲金剛王菩薩坐像(和歌山金剛峰寺)▲不動明王坐像(同正智院)▲不動明王立像(同南院)▲阿彌陀如來坐像(同樂寺)▲十一面觀音像(大阪清明寺)▲彌勒菩薩半跏像(同野中寺)▲如意輪觀音坐像(同觀心寺)▲文殊菩薩立像(同孝思寺)▲十一面觀音立像(兵庫中山寺)▲十一面觀音坐像(同遠身寺)▲如意輪觀音坐像(同神呪寺)▲聖觀音立像(同鶴林寺)▲釋迦如來及兩脇侍(同圓教寺)▲十一面觀音像(廣島明王院)▲十一面觀音立像(山口長谷觀音堂)▲藏王權現立像(鳥取三佛寺)▲觀世音菩薩立像(鳥根勝淵寺)▲拍犬(香川水主神社)▲阿彌陀如來像(同妙音寺)▲御神像(愛媛大山祇神社)▲大威德明王像(高知竹林寺)石造拍犬(福岡宗像神社)▲十一面觀世音立像(同觀世音寺)▲石佛群(大分滿月寺址)

# 劇界の動向

三宅周太郎

この一年で特筆すべきは、八年十月に改築せられた築地小劇場である。

即ち、近年頗り峻烈を極めた彈壓は四五年前新劇壇に擡頭して旺んだつた左翼劇を、殆ど絶滅せし

めた形があつた。そこでその舞台の築地小劇場は、新制度により、左翼劇主演の劇場たるレッテルをはがす事に意を注いで、新に改築新装し、一般的な新劇公演場の公器として劇壇に再生したのである。

この新しいレッテルを明白ならしめるために、改築第一回興行は久米正雄氏を演出者に仰ぎ、新劇俳優總動員によつて「ハムレット」を上演した。薄田研二のハムレットは、寧ろ「役違ひ」ではあつたが、折からシェークスピア全集發刊の時流に恵まれて、豫想以上の興行的成功を得た。

これは勢ひを得て、小劇場は特新劇のために通俗的な方針を執つた。九年一月には日本新劇運動を回顧する意味で「新劇記念祭」の興行をした。が、これはボスターパリュに重きをおきすぎ、過去のよき新劇を記念するより、その反対なものでも、入りさへとればといった選擇方針が、識者のひんしゆくを買つた。一方新劇俳優

は種々に分裂し、群小劇團が互に輩出するのみで、折角の小劇場の新生あるに拘らず、多く「團栗の背腹」を見せるにすぎない。

唯、この九年初夏に舊左翼劇場が「中央劇場」と名を改め、僅にダルなその空気を一新せしめた機運を見るのみだ。しかも、六月上旬日本の創作戯曲上演で獨自な立場を保つた築地座が、不幸私的內亂によつて友田夫妻を別に、清河玉枝以下の俳優、演出者八住利雄氏等十余名が脱退した。かくこの方面は未だに混亂と群雄割拠との情勢を示すに止まる。

既成劇壇に至つては、七年秋の關十郎追遠興行が當つて以來、八半年期に至つても、いや九年以上半期に及んでも、なほその大一座の豪華版制度を再三再四繰り返した。その弊は一再ならず我々は語つたが、九年一二月に至つて、遂にその行詰りを如實に示した。即ち豪華版制によりすぎるため、徒に事大主義の習態を流し、折角

上方芝居

高 原 慶 三

上方芝居、宇ヅラだけでいふなら京阪神に發生した芝居だからといつて曾我道家も實家少女歌劇も上方芝居といつたら大笑ひだ

上方芝居、これは劇壇の慣用語にしかない、元祿の坂田藤十郎以來の寫實主義を基調とし傾城事を演ずる歌舞伎様式の舞台藝術をかくいひ、藤十郎以外には嵐三右衛門、芳澤あやめなどといふ名人がゐる江戸の市川團十郎の荒事に對立しながら連綿二百年を關した演劇的一分野だ

上方芝居、上方藝の内容とするもの何？江戸の魂爽に對して纏綿彼の形式美に對して寫實、彼の豪宕に對して細緻、彼の潤達に對して着實、彼の英雄崇拜の余り不死身の猛者を點出したに對して、これは義理人情に脆き心中事の弱者を點出した、土地の氣風は自づと藝に影響し分野を形造つた

明治期に入ると東西期せずして演劇復興機運に乗じて東の九世團十郎、五世菊五郎に對立して西に實川延若、中村宗十郎が現れると、

ハツキリと藝の東西割立が客觀的にも認められてきた。さうしてつとなく上方芝居が慣用語として通用された

だが、上方芝居といふ言葉が内容を嚴格にいひ現してゐるかといふと、それは一律にいふことはむつかしい。何故なれば明治文化は余りにも東京に偏り過ぎたため演劇も勢ひこの余波を喰つた、團十郎の中年から晩年へかけての創作であつた活劇、これが西にも影響した、上方芝居の双壁と目された宗十郎は延若よりも進歩的であつた、めか上方芝居に一脈の活歴史をとり入れた、やゝ遅れて市川右團次(晩年漸入と改む)はむやみに時勢に迎合して、猥雑な新聞物を舞台化し、宙釣、仕掛事等、舞台機構の上で所謂「文明開化」を飽くなく攝取しながら、本質的に自分の藝格の革命にまで及ばなかつた、め折角の仕事が皮相に止まつた

延若宗十郎以後に一時代を成したのは十一世片岡仁左衛門と中村鴈治郎であつた、仁左衛門は鬨氣があつて宗十郎右團次より一層時

勢の波に泳いだ、西の人の好尚に合はずむしろ敬遠され、且つ當人の性格が上方の水に合はず明治末年上方劇壇から消えて東京に移つた、これに引かへ鴈治郎は性格も婉轉、持前の美貌と愛嬌で、卅代から花形となり明治中期から大正昭和を通じて四十年の永きに亘つて上方劇壇のみならず歌舞伎劇壇に君臨した、この聲名はむろん天稟によるものではあるが、年功による練磨で、延若と宗十郎の一大集積を具現し、上方芝居の滋味を主張した點で元祿の坂田藤十郎以來の寫實主義と傾城事の上方藝の全き傳承者とさへ極めをつけられた、

ところで、長い年月の間にはこの不世出の藝術家にも容赦なく時勢は覆つた、經濟的理由と機械的變革に伴うて漸年劇場組織は舊來の中劇場から大劇場へたどる道程にあつて、鴈治郎によつて大成された上方藝は時代的なデレンマに逢着した

一鴈治郎に止らない、ひろく歌舞伎の細緻な寫實主義は大劇場に悲しくもダンピングされ、上方芝居の主義とする傾城事といふよ

劇場街往來

- 八月七月 十四日松居松翁氏死去
- 享年六十四 尾上菊子と杉山房枝藝名を返上、一時舞台を退くと聲明
- 八月 十一日中村鴈助(東京)死去 享年三十四
- 九月 廿七、八日日本舞踊協會第六回公演(東京歌舞伎座)
- 十月 築地小劇場改築記念公演、薄田研一、高津慶子らで「ハムレット」
- と演▽中央公論社の「セーキスピア全集」出版に關聯し、この月を中心に沙翁劇の上演多し、九月末の大隈會館における新春座(森英治郎、加藤精一)の「ハムレット」シーザー「十月東京劇場における左團次らの「ツエニス」の商人」築地小劇場の「ハムレット」等十二月は明治座で水谷八重子の「ハムレット」等
- 十一月 前進座、市川宗家の許可を得て「勳進帳」上演(新橋演舞場)▽故中村鴈助の名跡を弟の兒太郎襲名▽花柳喜章初舞台▽伊原青々團氏の「明治演劇史」成る▽「新劇場」劇團の「源氏物語」上演禁止される
- 十二月 廿七日歌舞伎狂言作者中の古老竹葉金伴氏死去▽尾治郎前見世の遺の部のみ珍らしく休演

劇場街往來

- 九月一月 東京寶塚劇場開場(日比谷)▽日本劇場開場(東京教習屋橋畔)▽大阪中座の古式復活興行初春の道頓堀を賑はす▽日本新劇(築地小劇場)行はる▽二日中村秋湖氏死去▽廿日往年新派の娘形として賣出した若水美登里死去▽卅一日大橋竹松翁(地方遊業屈指の劇團主で移動劇場の經營者)死去、享年七十六
- 二月 八日尾上幸藏(俳優中の最高齢者)死去、享年八十一 一日紀元節當日鴈治郎、津太夫大阪府より郷土藝術功勞者として表彰さる▽十八日片岡長太夫死去▽日活伏見信子東寶入り
- 三月 劇團三島露川氏死去、享年五十九 東寶劇場へ水谷八重子出演(男裝の麗人)▽先代延若追善興行(大阪歌舞伎座)行はる、延二郎、延之助初舞台披露▽夏川靜江東寶入り
- 四月 瀬戸英一氏死去、享年四十三 唯一の女名題尾上菊枝舞台を退く
- 五月 新劇座「春草抄」上演(帝國ホテル演舞場)

主なる興行と上演脚本

- 八月七月 【東京】歌舞伎座 羽左菊五郎、三津五郎ら「形見草四谷怪談」
- 「遊行旅路花婿」「心懸軒囃子」△明治

劇場街往來

- 座 井上、水谷、小堀、友三郎ら「人斬り以藏」「姉と妹」「お夏狂亂」「ラシャメンの父」△東京劇場 一日より十二日まで文樂引越興行、(十五日初日)我當、しうから「十二時會禮會我」「鞍馬獅子」「義經千本櫻」「戀夏夜話」△新歌舞伎座 曾我道家五郎劇△新橋演舞場 寶塚少女歌劇公演【大阪】歌舞伎座 猿之助、福助、魁車ら「俊寛」「鴈戸の夕霧」「三人片輪」「蒸談天保白浪」「幻浦島」「夕涼風大川」「浪花座 前進座」安中草三「女の選んだ道」「旗本退屈男」△中座 新劇座「斬る」「モロッコ」△國定忠治「△角座 大阪新派劇
- 八月 【東京】歌舞伎座 猿之助、友右衛門「明治太平記」「彩色間薙豆」「金毘羅道中腰栗毛」△東京劇場 喜多村、河合、花柳、梅島ら「與太者とお月様」「葵の上」「瀧の白糸」△明治座 新劇座「警察官」「國定忠治」【大阪】中座(短期興行)魁車、壽三郎ら「夏空浪花鑑」「さまよへる十字架」「笠森お仙」△歌舞伎座 曾我道家五郎劇△浪花座 新選座旗上△角座 梅澤昇一派
- 九月 【東京】歌舞伎座 延若、猿之助、秀調ら「石川五右衛門」「安宅關」
- 「東海道腰栗毛」△東京劇場 菊五郎、

劇場街往來

- 吉右衛門、松島ら「那智瀧新雪文覺」
- 「高塚」「上州土産百首」「流星」△明治座 喜多村、河合、花柳、梅島ら「極樂」「戀愛相談」「豊志賀の死」「掃帚」「新歌舞伎座 我當、しうから「博事件」「連獅子」「矢口渡」「お染久松ちよいのせ」△新橋演舞場 曾我道家五郎劇
- 【京郡】南座「神戸」松竹劇團 井上八重子「お夏清十郎」「港の日」「女優と詩人」「酒中日記」【大阪】中座 松竹家庭劇△浪花座 早川雪洲、伏見直江ら「三万兩五十三次」「八幡屋の娘」「楠公父子」「兄弟」△角座 劇團享樂列車△文樂座 若手連で「朝顔日記」「鎌倉三代記」「酒屋」引窓「弁慶上使」
- 十月 【東京】歌舞伎座 羽左、梅幸、延若、菊五郎ら「象引」「敵討天下茶屋聚」「素襖落」「與話情浮名橋」「紅葉狩」△東京劇場 吉右衛門、左團次、猿之助ら「ツエニス」の商人「二條城の清正」「村井長慶」「江戸花祭禮風俗」△明治座 我當、水谷、井上、嘉久子ら「八百屋お七」「たのむ」「美男三勝半七」「やどり木」△新歌舞伎座 曾我道家五郎劇△新橋演舞場 寶塚少女歌劇
- 【大阪】歌舞伎座 鴈治郎、福助、魁車、宗十郎、幸四郎ら「假名手本忠臣

【堂島繁昌記】名和長年「道行浮城」  
 【心中紙屋治兵衛】「釣女」△中座  
 喜多村、河合、花柳、梅島ら「與太者  
 とお月様」瀧り江「後篇生さぬ仲」城  
 山落城の日「女浦島」瀧の白糸「中旬  
 より新編劇」伊井大老の死「警察官」  
 「新編兄弟」△浪花座 前進座「次郎吉  
 流丸屋」馬「超人猿飛佐助」△文樂座  
 津、土佐、古柳ら「菅原傳授手習鑑」妹  
 背山女庭劇「河庄」三十三間堂棟木  
 由米「△角座 喜劇「喜樂會」【京都】  
 南座 壽三郎、扇雀ら「元祿忠臣蔵」

【大阪】歌舞伎座 井上、水谷、嘉久  
 子、藤藏ら「旅の者心中」梅娘「魚河  
 岸の朝」お夏清十郎「新編」酒中日  
 記「△浪花座 壽三郎、扇雀ら「元祿  
 忠臣蔵」△中座 松竹家庭劇△角座  
 劇團「享樂列車」と天勝の奇術△文樂  
 座 人形浄瑠璃若手興行「谷敬軍記」  
 「新口村」先代萩御殿「大晏寺堤」夕  
 霧廓文章【京都】南座 新編劇「井伊  
 大老の死」警察官「新編兄弟」

【東京】歌舞伎座 羽左、左  
 團次、幸四郎、吉右衛門、宗十郎ら「名  
 和長年」紙園祭禮信仰記「大石最後の  
 一日」双蝶々曲輪日記「弁天小僧」△  
 東京劇場 我輩、八重子、井上、猿之  
 助ら「鎌」松平長七郎「上陸第一歩」  
 「別れ難子」仇討心中断「頼母しき求  
 婚」燕「鐵の街」△明治座 喜多村、  
 河合、花柳、梅島ら「與太者セレナ  
 デ」仇吉と米八「復活」△新編演舞  
 場 前進座「番手鳥羽城落月」街の風  
 景「お染の七役」△新歌舞伎座 曾我  
 廻家五郎劇「大阪」浪花座 魁車、壽  
 三郎、扇雀ら「新編出世太閤記」かし  
 く格子」△中座 松竹家庭劇△角座  
 關西新派劇【京都】南座 菊五郎、福助  
 （大阪）三津五郎ら「先代萩」「保名」「蓋  
 奴」「式三番更」「筆屋幸兵衛」「娘道成  
 寺」

【東京】歌舞伎座 歌右衛門  
 菊五郎、宗十郎、吉右衛門ら「一谷敏  
 軍記」沙門空海「勸進帳」雪女郎「娘  
 道成寺」△明治座 左團次、我輩、猿  
 之助ら「南總里見八犬傳」東郷平八郎  
 「農安太平記」相馬の金さん「舞台結  
 古」△東京劇場 喜多村、河合、井上、  
 花柳ら「さくら音頭」「十二番の鬼歌」

【東京】歌舞伎座 歌右衛門  
 菊五郎、宗十郎、吉右衛門、菊五郎、  
 左團次、宗十郎、幸四郎ら「桐葉」  
 「輪本太功記」六歌仙「雪暮夜入谷註  
 道」乗合船」△東京劇場 左團次、延  
 若、猿之助、我輩ら「實説忠臣蔵」彦  
 山「慶喜命乞」國芳の出世「研辰の討  
 たれ」流女籠る」△明治座 喜多村、  
 河合、花柳、梅島、小堀ら「與太者ユ  
 ーモレスク」假名屋小梅「俠艶録」△  
 新歌舞伎座 我輩らの若手歌舞伎「女  
 鳴神」菊畑「茶室」時雨の炬燵「弁天  
 小僧」是評判東京音頭」△新編演舞場  
 前進座、お千代、勸進帳「生返つた  
 法界坊」(初旬は日本俳優學校試演會)

【大阪】歌舞伎座 井上、水谷、嘉久  
 子、藤藏ら「旅の者心中」梅娘「魚河  
 岸の朝」お夏清十郎「新編」酒中日  
 記「△浪花座 壽三郎、扇雀ら「元祿  
 忠臣蔵」△中座 松竹家庭劇△角座  
 劇團「享樂列車」と天勝の奇術△文樂  
 座 人形浄瑠璃若手興行「谷敬軍記」  
 「新口村」先代萩御殿「大晏寺堤」夕  
 霧廓文章【京都】南座 新編劇「井伊  
 大老の死」警察官「新編兄弟」

【東京】歌舞伎座 羽左、左  
 團次、幸四郎、吉右衛門、宗十郎ら「名  
 和長年」紙園祭禮信仰記「大石最後の  
 一日」双蝶々曲輪日記「弁天小僧」△  
 東京劇場 我輩、八重子、井上、猿之  
 助ら「鎌」松平長七郎「上陸第一歩」  
 「別れ難子」仇討心中断「頼母しき求  
 婚」燕「鐵の街」△明治座 喜多村、  
 河合、花柳、梅島ら「與太者セレナ  
 デ」仇吉と米八「復活」△新編演舞  
 場 前進座「番手鳥羽城落月」街の風  
 景「お染の七役」△新歌舞伎座 曾我  
 廻家五郎劇「大阪」浪花座 魁車、壽  
 三郎、扇雀ら「新編出世太閤記」かし  
 く格子」△中座 松竹家庭劇△角座  
 關西新派劇【京都】南座 菊五郎、福助  
 （大阪）三津五郎ら「先代萩」「保名」「蓋  
 奴」「式三番更」「筆屋幸兵衛」「娘道成  
 寺」

【東京】歌舞伎座 歌右衛門  
 菊五郎、宗十郎、吉右衛門ら「一谷敏  
 軍記」沙門空海「勸進帳」雪女郎「娘  
 道成寺」△明治座 左團次、我輩、猿  
 之助ら「南總里見八犬傳」東郷平八郎  
 「農安太平記」相馬の金さん「舞台結  
 古」△東京劇場 喜多村、河合、井上、  
 花柳ら「さくら音頭」「十二番の鬼歌」

劇場街往來

山定夫、東山千榮子、田村秋子、森英治郎、加藤清一、高橋豊子、細川ちか子、山本安英、島田敏一

喜劇俳優 曾我廼家五郎、曾我廼家六、曾我廼家十吾、曾我廼家大藏、曾我廼家小次郎、曾我廼家五九郎、曾我廼家五一郎、轟谷天外、田宮貞樂、志賀道家淡海、曾我廼家泉虎、曾我廼家十次郎

舞台女優 水谷八重子、森律子、

初瀬浪子、村田嘉久子、藤間房子、久松喜世子、中村歌扇、石河薫、東愛子、米津左喜子、市川紅梅、村田みね子、東日出子、村田竹子、村瀬幸子、森赫子、堀原華嬢、夏川静江、伏見直江、伏見信子、二葉早苗、長島九子、山岸しづ江

全國主要都市代表劇場

東京 歌舞伎座、東京劇場、明治座、東京寶塚劇場、新歌舞伎座、新橋演舞場、日本劇場、大阪 歌舞伎座、中座

浪花座、角座、文樂座、京都 南座、神戸 松竹劇場、八千代座、名古屋 御園座、名古屋劇場、歌舞伎座、横濱 喜樂座、岡山 岡山劇場、廣島 喜樂座、新潟 新天座、下関 弁天座、稻荷座、吳 春日座、門司 凱旋座、小倉 勝山座、別府 松海館、久留米 惠比須座、福岡 大博劇場、博多劇場、長崎 南座、八幡座、熊本 旭座、東雲座、大和座、鹿児島 南座、高松

大和座、高知 高知座、徳島 徳島座、新栄座、津 曙座、松本 松本座、岐阜 松竹座、錦華劇場、豊橋 東雲座、静岡 歌舞伎座、濱松 歌舞伎座、宇治山田市 新富座、甲府 櫻座、新潟 新潟劇場、金澤 尾山座、長野 長野劇場、秋田 秋田劇場、高田 戎座、札幌 錦座、小樽 錦座、台北 共榮座、大連 大連劇場、平壤 金千代座、青島 樂々座

封切映畫統計(昭和八年)

(文部省社會局調)

封切映畫とは常設館の一週間の番組中で相當呼物となり得るフイヤーと稱せられるものおよびこれに準ずべきもので實寫、線畫等の短篇物は除かれる、しかし本調査に取扱つた封切映畫は總計七百十九本、内日本物六五%である

日本物映畫の内容は現代劇四八%、時代劇五一%、實寫映畫、教化映畫一%

日本映畫の製作者を見ると本數で松竹一九・五%、日活一八・〇%、次いで新興、大都、寶塚等の順位

外國映畫は九一%迄米國物、これに次いで獨逸物は十六本であつた我國に輸入される外國映畫の殆ど全部が有聲映畫であるのに、邦畫では僅か一一・七%(五十五本)が有聲に過ぎない

製作所別封切映畫 (昭和八年)

日本物總計 四七二本三三八三三卷  
日活八五本七一卷、松竹九二本七四一卷、新興六五本六〇五卷、大都八二本五八一卷、寶塚六二本四八八卷、右太プロ一七本一四一卷、嵐プロ一〇一本一〇六卷、阪妻プロ一〇一本一〇四卷、其他四七本三四五卷

外國物計 二四七本二〇三七卷  
米國小計 二二一本一八二六卷  
ラムウント四七本三七八卷、メトロゴールドウィン三八本三三八卷、ユニヴァーサル三二本二六二卷、フォックス三二本二五三卷、ユナイテッド・アーティスト二四本二二五卷、其他四八本三八〇卷  
獨逸一六本一三六卷、佛國五本四二卷、ソ聯邦一本四卷、其他四本二九卷

昭和八年度の封切映畫 (東京における)

日本物總計 四七二本三三八三三卷  
現代劇二二五本一七九五卷、人情正劇一五三本一三〇七卷、活劇一三本九五卷、正喜劇二七本一九八卷、ナンセンス喜劇二〇本一〇七卷、文

藝映畫二本二四卷、戦争劇七本五〇卷、其他三本一四卷  
時代劇二二九本一九七八卷、人情正劇一三六本一一四二卷、劍劇九三本七七一卷、正喜劇七本五二卷、ナンセンス喜劇一本七卷、歴史劇二本一六卷  
劇の計四六四本三七八三卷、劇以外八本四〇卷

外國物總計 二四七本二〇三七卷  
劇計二四二本二〇〇四卷、人情正劇一五九本一三三二卷、活劇四〇本三一四卷、正喜劇九本六九卷、傳記劇一本八卷、戦争劇三本二七卷、レヴュー映畫三本二六卷、オペレッタ映畫三本二九卷  
劇以外五本三三卷

映畫界展望

柄澤 廣之

前年度不況のドンドンに叩き込まれた日本の映畫界は八年下半年期から九年上半年期へかけてかすかながらも上昇の機運に恵まれた。たとへば日活を取り上げて見ると、前年度卅万円の赤字を出したのが八年下半年に至つてつひに黒字で塗りつぶすことに成功した。景氣好轉の波に乗つて、邦畫トキーは技術的にも企業的にも飛躍を遂げ、各社の製作態度も漸く眞剣味を帯びて來たし、西に東洋劇場、東に日本劇場と大劇場の登場によつて外國映畫にもやゝ活氣が見えて來た。

日本映畫 つひに邦畫トキー時代が來た。松竹廿四本、日活十二本、P・O・L十二本、大衆發聲十本、新興キネマ十二本、千恵プロ五本、右太プロ三本などが九年度に約束された各社のスケジニールだが、このほかに入江プロ、大都映畫、寛プロなどの参加もあつて、まづ百本近い全發聲映畫が現れるはずである。かくて外國トキーはジリ／＼と後退を余儀なくされて行くのだが、それには撮影所設備の完成、監督、俳優、技術者のトキー的訓練、常設館の再生機の改善などで力強い拍車がかけられねばならぬ。日活が三年計畫で百の常設館に二台づゝのウエスタン機を裝備すると發表してゐるのは、この際邦畫トキー一躍進の門出を飾るすばらしいはなむけだつた。内務省の調査によれば八年度の日本映畫新機數は前年度に比して三分減となつてゐるが、これは邦畫トキーによるロングラン續出の結果と見ることが出来る。ともかくこの一年を本腰になつた邦畫トキーが企業的に自信を得た第一年と見てよからう。興行方面から見ても多くの大衆から支持を受けた作品をあげると次の如くである。

平太(以上松竹)小僧次郎吉、丹下左膳、忠臣蔵(以上日活)新しき天、神風連、月よりの使者、警察官(以上新興提供)海の生命線(横濱シネマ)

この中から没落過程にある無聲映畫は暫く置いて、トキーとして果して技術的に藝術的に外國トキーに匹敵することのできる物があつたかどうか、その點では甚だ懷疑的にならざるを得ないが、今はたゞトキーが單的に躍進の途上にあることのみを喜んでおかう。

外國映畫 外國トキーはコスト高と爲替高と國語の相違による観客數の減少で依然として悲觀すべき下降線を辿つてゐる。内務省の檢閲數に見ても前年より米國映畫は一割二分減となり、歐洲映畫のみについていへば四割九分増といふ不思議な現象となつてゐるが、外國映畫全體から見れば、やはり邦畫トキーに押し出されつつあるのである。各社はほとんど全部スーパードライヴによる日

本版を作り、R・K・Oの如きは「空飛ぶ悪魔」に日本語のダビングで新劇俳優を使つてセリフを吹き込ませてゐるが、これは最後の一线を死守する悲壯なあがきだ。外國トキー観客に觀客がある程度まで馴らされたことは事實だが、それにして一ヶ月約二百本場、日本映畫の半數にも足らぬ數だがこの一線から向上線への切替へはまづできさうにないことだ。しかし、余りに遅かりしチャップリンの「街の灯」途方もない見世物「キング・コング」など特殊のものは一ヶ月のロングランに耐へ、邦畫の強敵たるを失はなかつたのは事實だつた。いろんな意味で問題になつたもの、興行成績のよかつたものを挙げると次の如くである。

戦場よさらば、生活の設計、カザールケード、グランドホテル、四十二番街、透明人間、街の灯、キング・コング、會議は踊る、にんじん、ド・キホーテ

教育映畫と科學映畫 教育映畫と銘打つて市場へ出たものは社

會教化をねらつたものだが、製作者の態度が目的を十分に認識してゐない感みがあり、従つて作品に見るべきものなく、僅かに「海の生命線」が興行映畫として好成績だつたのに指を屈する位のものでつた。児童の教材映畫は文部省が力癩を入れて十數本を小學校へ提供し、九年四月までには廿本の教材映畫を製作した。また八年九月には東洋一を誇る内務省の映畫製作室の完成を見、本格的に教育映畫製作に乗り出したが、いづれも將來に希望をつなぐべきもので、映畫國策の統制委員會官制が議會を通過したからその重要項目たる「推奨の教化映畫を各映畫館で必ず一本は強制的にプログラムに加へること」の實行と共に廣い意味での教育映畫の向上發達はすべて明日へ期待をかけるより仕方がない。大毎・東日が教育映畫振興の目的から九月上旬期に「兒童トキー脚本」と「大日本帝國史發聲映畫脚本」を募集したことは

とかく不振の教育映畫界へ投じた大きな波紋だつた。科學映畫は各大學や學術研究團體などで専門的な研究資料として製作されてはゐるが、いづれも門外不出で一般の觀覽には供されてゐない。文部省の手で通俗科學映畫の名で不定期的に製作されてゐるものが僅かに擧げ得る程度のもので「セメント工業」「陶磁器の話」などがあり、醫學博士小倉清太郎氏が關頭ボルネオ奥地でダイヤ族の生活を實寫した「パンサ」が多分に科學的色彩を持つた興行映畫となり得たことを除いては廣く一般人の眼に觸れる科學映畫といふものは殆んどなかつたといつてよい。

漫畫とニュース映畫 外國漫畫映畫「シリ・シンフォニー」や「ミツキ・マウス」の影響を受けてわが國からもトキー漫畫が現れ「お猿の大漁」(横濱シネマ)「玩具箱シリーズ」(大森發聲)「お猿の三吉」(日本マンガ)など技術的にも音の取扱ひにも見るべきものはあつたが、いづれも手工業的であり不定期製作であるため、外國漫畫と肩を並べるところまでは行つてゐない。ニュース映畫では、毎月二本づゝの發聲及び無聲版を定期發表してゐる大毎・東日が滿洲帝國大典、函館大火、東郷元帥國葬などの大事件の實寫を直ちに公開してゐるのが最も活潑な活動で、他に松竹蒲田、電通、朝日新聞などが製作してゐる位のものだが、音が加はつたことによりニュース映畫の性能はいよゝゝ偉力を加へたこととなる。九年五月、外務省の肝煎りで内外映畫業者、新聞社のニュース班を打つて一丸とした「日本ニュース實寫映畫聯盟」が結成され、國産優良ニュース映畫に對する便宜と保護、日本を誤解させるような不良映畫の海外流出の防止、などニュース映畫の統制が行はれることになつたのは注目すべき出来事である。

映畫界往來  
【八年七月】日活、ウエスタンと向う  
【八月】新映畫社の發聲田原具隆、内田吐夢、小杉勇、瀧花久子等新興キネマ入社  
【六月】六月から入院中の片岡千恵藏退院  
【廿一日】大阪東洋劇場開館  
【市川百々之助】日活入社  
【九月】馬治郎の孫林敏夫松竹下加茂のスターとなる  
【マキノ】智子引退  
【田原】江渡佛子、高尾光子時代劇へ轉向、蒲田から下加茂へ  
【十月】立花良介氏映畫界引退  
【大谷日出夫】日活から寶塚キネマへ  
【十一月】月形浦之助新興キネマ入社  
【コロムビア】日本支社開設  
【十二月】警視廳で第一回映寫技師試験を行ふ  
【廿四日】東京日本劇場開館  
【ロナルド・コールマン】來朝  
【九年一月】日活と千恵アロ向う一ヶ年の再契約  
【十六日】岡田時彦死去  
【無制限入場】淺草の常設館十六館が警視廳から叱られる  
【二月】一日日比谷映畫劇場開館  
【エ

ノケン、P・C・L映畫と提携▽伏見信子、澤蘭子等東寶劇場へ轉ず  
【三月】日活廣田社長辭任、事務中谷貞頼氏社長となる  
【R・K・O】日本支社新設  
【夏川】日活退社、東寶劇場へ  
【四月】ワーナー社の監督マーズイン・ルロイ夫妻、同ロバート・フロレンイ夫妻、俳優ジョー・E・ブラウン等相ついで來朝  
【右太】松竹と二ヶ年契約延長  
【廿二日】松竹キネマ大船撮影所地鎮祭  
【溝口健二】阿部豊の兩監督日活へ復歸  
【日活現代劇部のみ】東京多摩川撮影所へ移轉  
【入江】プロ、新興キネマに對し事實上の獨立を要求、大體承認されて東京移轉と決定  
【五月】大河内傳次郎日活と三ヶ年の再契約  
【牛原】廣田監督日活退社  
【大谷日出夫】新興キネマへ入社  
【植村】P・C・L撮影所長渡歐  
【原】駒子、羅門光三郎日活入社  
【伊丹】万作監督新興キネマへ移る  
【六月】邦樂座改め丸の内松竹劇場となる  
【水久保】澄子日活へ轉ず

内外封切映畫一覽

(昭和八年七月より同九年六月末まで)

【一】日本映畫の中▲印は全發聲映畫  
映畫界展望

松竹キネマ映畫  
【蒲田作品】處女とさよなら、天福下れば▲嫁入り前、戀愛一刀流、或る母の姿▲類を寄すれば、與太者と海水浴さすらひの乙女、いぢははは、出來、こゝろ▲想ひ出の眼、僕の丸鬚、東京音頭、女人哀樂、理想の良人▲嬉しい頃、大學の若旦那、沈丁花、街の流れ鳥、女學生と與太者、双陣▲ラッパと娘、愛の出船、初戀の春▲女と生れながらにや▲東洋の母、歡樂の夜は更けて▲玄關番とお嬢さん、處女上臍く勿れ▲婦系圖、情炎の都市、凱歌の蔭に▲夢見る頃、武勇傳、さくら音頭、限りなき鋪道▲日本女性の歌、母を戀はずや、地上の星座(地上篇、星座篇)娘三人感傷時代、祇園雛子、鬘と女  
【京都作品】返り討崇禪寺馬場▲二つ燈籠、此村大吉、刺青判官(中、後篇)旅枕一本差▲編組の安さん、巷談八百藏吉、大村鐵太郎▲雙名の銀平、初陣鷲鷲街道、上州土産百兩首、天明旗本(前、後篇)、三日月次郎吉、虫のまに動く男▲彌次喜多▲雷掛時次郎、夜蘭本能寺▲淺太郎赤城の眼、高原の虹、石井常右衛門、春姿だんたら▲冬木心中、明彦金劍士、關原心中▲月

形半平太、街の鷗風、槍さび煙草、奴かみ山  
【右太】プロ作品▲兩軍行列、爆走する退屈男、足輕突撃隊、敵への道、放浪の名君、疾風正雪、秋葉の草三、颯風時代、仇討土人形、異國三とせ日記、井伊大老前、後篇)、武者繪くづれ、千石鶴  
日活映畫  
廣野の果(後篇)、若き日のなやみ、三万兩五十三次(中、後篇)▲戯れに戀はずまじ、峠三里、戀の踊子、娘十六、月形半平太、青春無情、白浪れんじ格子、大學の歌、子別れ笠、僕らの弟、鼠小僧次郎吉(前、中、後篇)僕の青春▲東京祭、武士道くづれ、月光人斬、群青有罪、戀愛非常時、戀知る頃▲丹下左膳(第一、二篇)蒼陣黒陣、岩見重太郎▲金色夜叉、赤垣と堀部、陣屋の正太郎▲彌次喜多(江戸の巻、箱根の巻、富士の巻)ふるさと唄れて、女人曼陀羅(一、二篇)濡れ鳥、炬火(前、後篇)女房征服、銃後に咲く、戀の長崎、淺太郎赤城蔵、心の太陽(前、後篇)血戰大和根嵐、晴れて二人で、子供パンザイ、ちりめん供養▲母の微笑、戀愛スキー衝、見染められた青年、俠

盜ふくろ組、心中水會街道▲さくら音頭、桃割れ日記、新月かつら川、バリカン若様、北滿の志士、接吻市場▲忠臣蔵、修羅道春秋(前、後篇)紋三郎の秀、夫を想へば、戀はバスに乗つて、愛乃小松五郎▲潮、三家庭  
【千恵】プロ作品▲三日月夜戀切り、風雲(前、後篇)渡り鳥木曾土産、風流活人剣、武道大鑑、珊瑚重太郎▲直八子供旅  
新興キネマ映畫  
十二階下の少年、くらやみ河岸、基盤の女、半次月夜の唄、我等若し戦はば、結婚快走記、祇園祭、左門戀日記、涙の世渡り、霧の夜の鋪道、燈籠地蔵晴れ、左門、勝太郎物語、母三人、彌太五郎懺悔、青春街、昭和人生案内、警察官、ひよどり草紙(前、後篇)僕と銀、やどり木、おさだの仇討、春告鳥、春の目醒め、藤三行狀記、愛のゴーストツブ、伊達事變、心の波止場、日の丸の子、猿飛佐助、夜光珠、鐵の街、大高源吾、愉快な溜息、次郎吉流れ星、さくら音頭、戀の輪日傘、天保水滸傳、パパの青春、妖嵐、おせん、霧笛、河の上の太陽、青空三羽鳥、若衆、牧馬の兄弟、水戸黄門、消防手



【入江プロ作品】新しき天(前、後篇) 神風連、月よりの使者

【阪妻プロ作品】桂小五郎、埋蔵金三万兩、燃える富士(中、後篇)、清水一角浪人祭、河内山宗儀、野狐三次、曉の日本、天狗の安、青年、雲霧閣魔帳(前、後篇)

大都映畫

日本晴、結婚五十三次、繁草、月形半平太、江戸剣飛脚、劍雲京落風景、警戒線、南地、關の佐太郎、小金井小次郎、槍賣百兩笠、仁義一本刀、想夫憐、秋風暮末陣、元和三勇士、日の出の御さん、關風の剣士、氣紛れ武士道、春秋やくざ音頭、陽気な春、街の爆弾、散り行く明、葉平文治、江戸染女難、名君道中記、摩天樓の辰、此の罪に泣け、生霊の燃ゆる夜、悲戀五月雨草紙、奇襲淺間山、音無劍法悲史、疾風の新一、街の灯、さくら音頭、肉弾の王者、罪はいづこに、爆走する

與太者、戀變二筋道、勇み肌一心太助、元祿女六法、榮冠は麗る、居候脱獄記、情艶鹿子崩れ、伊達赤井慶格、戦慄の爆音、弾のひびき、闇の顔役、新撰組悲歌、天人お玉、紅のバラ、おれの喧嘩日記▲大観合

その他の日本映畫

【すべて全愛映畫】

【大妻愛映畫】彼女のイット、血戦高田馬場、戀の市丸、キング万歳、爆撃飛行隊、天下の伊賀越

【P.C.L映畫】ほろよひ人生、純情の都、只野凡兒、踊り日記、さくら音頭、エノケンの青春酔虎傳、涙子の一生

【横濱シネマ】海の生命線

【パラマウント映畫】

戦場よらば、恐怖の甲板、坊やはお寝み、暴風の處女、ビル万歳、響け、應援歌、戀の凱歌、四一九號室の女、暗夜行路、ジエニの一生、國際喜劇ホテル、新世紀、マ、は、が、好き、驚と麗、三角の月、彼女の用心棒、或る日曜日の午後、戀の手ほどき、青春罪あり、我輩はカモである、眼へ踊れブルースを唄ふ女、ゆりかごの眼、妾

落の青空、世界大洪水、幸運の悪魔、レヴュー艦隊、スポーツパレード、トバース、デイキシアナ、世界の屋根を行く空飛ぶ悪魔、水兵さんはお人好し、頓途外交ゼネバ行、アンニー可愛や、空中レヴュー時代

【下イット映畫】會議は踊る、狂風のキンテカルロ、ロットラー青年、勝利者激情の嵐、少年探偵團、朝やけ、お洒落王國(以上ワーファ)銀嶺征服、モナリザの失踪、クワレムムベ、秋の女性黒衣の處女、戀の日曜日、ボートの8人娘、伯爵令嬢(以上トビス)夢見る唇、卒業試験、カンチエンジュンガの登高

【フランス映畫】浮かれ巴里、無名戦士、南の哀愁、にんじん、ドン・キホーテ

【ソヴェート映畫】狙撃兵、呼應計畫黒い砂、國境の町

【イタリ映畫】征空大艦隊、鐵線

【イギリス映畫】潜水艦艦隊をなし

快賊デイアボロ、舌戦速射砲、酔ひとれ船、春の火遊び、南風、真夜中の處女、エスキモー、曉の暴風、晩餐八時明日の太陽、世界拳闘王

ワーナー・ブラザー

ス社映畫

四十二番街、女囚の意氣地、駭々ツ子

キヤグニー、肉の職人形、男の二頁、

戦線の嵐、ゴールドデイガース、紅野

罪あり、凡そ的人生、地獄の市長、女

性二重奏、相寄る魂、フットライトパ

レード、ケンネル殺人事件、スター艦

生の創め、笑ふ巨人、ブラウンの本

打、餓ゆるアメリカ、ブラウン爆撃珍

艦隊、吾れは愛せり、フリスコジエニ

一、失業者三万人、家なき少年群、鋪

道の三人女、世界は還る、異人種の争闘

ユニヴァーサル社

映畫

ビッグケイジ、海上御難の巻、アルプ

スの血煙、ミイラ再生、月の宮殿、大

映畫俳優と監督

松竹キネマ

【蒲田撮影所】岩田祐吉、藤野秀夫、結城一郎、齋藤達雄、岡譲二、竹内良一、城多二郎、小林一、九二、阪本武、山内光、江川宇禮雄、大日方博、藤井貢(以上男優)栗島すみ子、田中絹代、飯田蝶子、八雲理恵子、岡田嘉子、川崎弘子、及川道子、坪内美子、大塚君代、逢初夢子、瀧田静枝、筑波雪子(以上女優)高峰秀子、小島照子、突貫小僧(以上子役)野村芳亭、池田義信、島津保次郎、清水宏、五所平之助、重宗務、齋藤寅次郎、佐々木恒次郎、小津安二郎、野村浩将、成瀬巳喜男(以上監督)【京都撮影所】林長二郎、阪東好太郎、高田浩吉、尾上翠五郎、阪東橘之助、林敏夫、志賀靖郎、新妻四郎、南光明、小笠原章二郎(以上男優)飯塚敏子、千早晶子、柳さく子、花園菊子、井上久栄、高尾光子、絹川京子(以上女優)衣笠貞之助、井上金太郎、二川文太郎、星哲六、秋山耕作、冬島泰三(以上監督)

日活

【京都太秦撮影所】大河内傳次郎、澤田清、澤村國太郎、杉山昌三九、阪東勝太郎、山本禮三郎、田中春男、鳥羽陽之助、芝田新、浅香新八郎、瀧門光三郎(以上男優)山田五十鈴、吉野朝子、花井蘭子、高津愛子、鈴木京子、大倉千代子、原陽子(以上女優)

新東キネマ

高田稔、中野英治、小杉男、根本泰輔、島耕二、月田一郎、由利健二、月形龍之助、河津清三郎、市川正二郎、小金井麟、大谷日出夫(以上男優)鈴木澄子、歌川八重子、森静子、瀧花久子、桂珠子、水原玲子、山縣直代、江川なほみ、志賀綾子、淡路千夜子、中野かほる、毛利峰子、泉清子、衣笠淳子、高津慶子(以上女優)村田實、曾根純三、内田吐夢、田阪具隆、廣瀬五郎、石田民三、清原卓明、押本七之助、壽々喜多呂九平、田中重雄、木村恵吾、渡邊新太郎、松田定次、伊丹万作、野淵昶(以上監督)

大都映畫

海江田謙二、阿部九州男、藤間林太郎、隼秀人、南都章三、桂章太郎(以上男優)琴糸路、佐久間純子、月宮乙女、橘喜久子、木下双葉、

映畫界展望

北見禮子(以上女優)石山稔、勝見正義、吉村操、根岸東一郎、中島芳三、益田晴夫、大江秀夫(以上監督)

各プロダクション

【P・C・L映畫製作所】丸山定夫、藤原釜足、岸井明、大川平八郎、千葉早智子、竹久千恵子、堤真佐子、彌生ひばり、堀越節子(以上俳優)木村莊十二、山本嘉次郎、矢倉茂雄(以上監督)
【太秦映畫映畫】櫻井京子、月美彌夫、三田照子(以上俳優)水島正雄、三枝源次郎、根津新(以上監督)
【千恵映畫プロ】片岡千恵藏、瀬川路三郎、林誠之助、香川良介(以上俳優)稻垣浩(監督)
【右太衛門プロ】市川右太衛門、高堂國典、武井龍三、歌川絹枝、大塚田鶴子(以上俳優)古野英治(監督)
【改妻プロ】改妻三郎、堀川浪之助、兒島三郎、櫻木梅子(以上俳優)山口晋平、長尾史郎(以上監督)
【入江プロ】入江たか子、菅井一郎、鶴立のぼる(以上俳優)
【寛壽郎プロ】寛壽郎(俳優)前木鏡太郎、山本松房(以上監督)
【松竹から臨時映畫出演】早川雪洲、夏川静江、伏見信子
【パリアメント社】ゲイリイ・クーパー、ジョージ・ラフト、マルクス兄弟、リチャード・アーレン、ビング

・タロスビー。ケイリイ・グラント。ジャック・オーキー(以上男優)クロードット・コルメル。マルレーネ・デイトリツヒ。シルヴァ・シドニー。メエウエスト。ドロテア・ウイーク。ミリアム・ホブキンス(以上女優)
【エム・ジー・エム社】ジョン・バリモア。ライオネル・バリモア。ウォレス・ピアリー。ジャック・クレーパー。ジミー・デュラン。クラーク・ゲイブル。ロバート・モンゴメリ。ラモン・ナツアロ。レイ・トレシイ。スタン・ローレル。オリヴァ・ハディー(以上男優)グレン・ガルボ。ノーマ・シアラ。ジョン・クロフォード。マリオン・デヴィス。マリイ・ドレスタラー。ジョン・ハロウ。ヘレン・ヘイス。ジャネット・マクドナルド(以上女優)
【フォックス社】ウォナー・バックスター。チャールス・フアレル。ウィル・ロジャース。スペンサー・トレイシー。リウ・エイヤース。ジョン・ポールス。ジェームス・ダン(以上男優)クララ・ボウ。サリイ・アイラー。ジャネット・ゲイナー。リリアン・ハーヴェイ(以上女優)
【ユナイテッド社】ジョー・アリス。ジョー・パンクロフト。エディ・キャンター。チャールス・チャブリス。ロナルド・コールマン。ダグラ

ス・フニアパンクス。フレドリック・マーチ(以上男優)コンスタン・メネツト。アン・ハーディング。メリイ・ビツクフォード。アンナ・ステン(以上女優)
【ワーナー・ナショナル社】リチャード・バーセルメス。ジョー・E・ブラウン。ジェームス・キャグニイ。リカルド・コルテツ。レスリー・ハワード。アル・ジョルソン。ポール・ムニウイリアム。ボウエル。エドワード・G・ロビンソン。ウォーレン・ウィリアム(以上男優)ルス・チャタートン。クイック・ルビー。キラー。ジョー・ブロンデル。ベティ・デヴィス(以上女優)
【ユニヴァーサル社】バツク・ジョーンズ。ケン・メイナード。スリム・サマーヴィル。ボリス・カロロフ(以上男優)デス・ビツツ。グロリア・スチュアート(以上女優)
【R・K・O社】リチャード・デイツクス。ニルス・アスター(以上男優)ドロレス・デル・リオ。アイリィン・ダン。キャスリン・ヘーパーン(以上女優)
【コロムビア社】ジャック・ホルト。リチャード・クロムウエル。ティム・マツコイ(以上男優)エリツサ・ラディイ。グレイス・ムーア(以上女優)

三〇八

撮影所一覽

◇松竹キネマ蒲田撮影所 東京市蒲田區新宿町二九(所長城戸四郎、電話蒲田二〇〇六、二七二二)
◇松竹キネマ京都撮影所 京都市左京區下鴨宮崎町二七(所長井上重正、電話上一一八七)
◇日活京都撮影所 京都市右京區太秦多敷町一四(所長中谷貞積、電話西陣一〇九五、三二五二、嵯峨二六三)
◇日活東京撮影所 東京府北多摩郡調布町布田小島分六〇二(所長中谷貞積、電話武蔵調布一七六、一三三三)
◇新興キネマ太秦撮影所 京都市右京區太秦蜂ヶ岡町九(所長白井信太郎、電話西陣四二二二、嵯峨二〇三三)
◇大都映畫鳥鴨撮影所 東京市豊島區西果鴨町四丁目四四五(所長河合龍齋、電話大塚二八八九)
◇P・C・L映畫製作所 東京府北多摩郡碓氷村多見一〇〇(所長植村泰一、電話碓氷二二八、三六七、青山七四三〇)
◇J・O・キー撮影所(太秦映畫映畫) 京都市右京區太秦露の社上刑部町九〇(社長池永浩久、電話西陣四九四四、嵯峨一七二二)
◇千恵映畫映畫野柳撮影所 京都市右京區野柳野柳町(所長片岡千恵藏、電話嵯峨五一七)
◇市川右太衛門プロあやめ池撮影所 奈良縣生駒郡西大寺村あやめ池(所長

山口天龍、電話富雄三六)

◇阪妻關東映畫所 千葉縣津田沼町谷津海岸(盟主阪妻三郎、電話船橋五一〇)
◇嵐寛壽郎プロ花園撮影所 京都市右京區花園土堂町十三(所主嵐寛壽郎、電話西陣五五一一)
◇政岡映畫美術研究所 京都市左京區下鴨高木町(所長政岡憲三、電話上四四九六)
◇寶塚映畫映畫京都撮影所 京都市右京區花園天授丘町一五(所長缺員、電話未設)

主要施設一覽

(括弧内は會社系統、トイキー再生機及定員を示す)

東京 【淺草】帝國館(松竹、ウエスタン、一三七六名)富士館(日活、トイビス、一三二〇名)電氣館(新興、野村式、一四二一名)大勝館(SY、ウエスタン、一一八名)常盤座(SY、ウエスタン、一〇七二名)日本館(SY、R・C・A、七〇〇名)【新宿】武蔵野館(SY、ウエスタン、一一四五名)帝都座(日活、ウエスタン、一一九九名)新宿松竹座(SY、ウエスタン、一四四名)新宿帝國館(新興、四六五名)昭和館(SY、ウエスタン、四二〇名)【丸の内】日本劇園(洋畫各社、R・C・A、二九五八名)日比谷映畫劇園

寫眞界の進歩

(東京、ウエスタン、一七〇〇名)帝國劇園(SY、ウエスタン、一四〇〇名)丸の内松竹劇園(SY、ウエスタン、八五二名)【その他の市内館】芝園館(洋畫、ウエスタン、五三六名)シネマ銀座(洋畫、ベイセント、三四二名)神田日活館(日活、トイビス、九九九名)南明座(洋畫、R・C・A、五〇〇名)本郷座(SY、R・C・A、二二〇〇名)
大阪 【道頓堀】松竹座(SY、ウエスタン、一八〇〇名)朝日座(松竹、ウエスタン、一一二〇名)辨天座(新興シネフオン、九四九名)【千日前】大阪劇園(松竹、東劇式、二七八〇名)常盤座(日活、トイビス、一〇八九名)數高俱樂部(大都、R・C・A、七八五名)【新世界】公樂座(日活、ウエスタン、一二四三名)大山館(日活、トイビス、一一九三名)いろは座(新興、七三六名)パーク劇園(洋畫各社、映音式、四五〇名)日本俱樂部(松竹、R・C・A、六六三名)
京都 松竹座(SY、ウエスタン、一七五〇名)京都座(松竹、R・C・A、一〇一七名)歌舞伎座(松竹、R・C・A、一五〇〇名)帝國館(日活、トイビス、一二〇〇名)夷谷座(新興、シネフオン、九一六名)キネマ俱樂部(洋畫、七六〇名)朝日俱樂部(日活、野村式、七五〇名)以上新京極

神戸 松竹座(SY、ウエスタン、八七〇名)松竹劇園(松竹、R・C・A、一四二〇名)聚樂館(松竹、R・C・A、改裝中)錦座(日活、トイビス、一一〇〇名)相生座(新興、ウエスタン、一三〇〇名)キネマ俱樂部(洋畫、R・C・A、四六〇名)菊水館(松竹、シネフオン、八七六名)朝日館(洋畫、ニツブトン、六四八名)松本座(新興、七〇八名)以上湊川新開地
名古屋 松竹座(SY、ウエスタン、七三二名)世界館(松竹、ローラー、七四〇名)港座(日活、P・C・L、九一六名)文明館(大都、ローラー、六五〇名)太陽館(洋畫、ニツブトン、四六〇名)常盤館(新興、ニツブトン、七五〇名)帝國館(洋畫、ローラー、六〇〇名)千歳劇園(洋畫、新田式、一〇八一名)中央館(松竹、ローラー、七五〇名)日本館(日活、ローラー、一〇〇〇名)豊富館(各社、ローラー、八〇〇名)八重垣劇園(洋畫、ウエスタン、四九二名)
福岡(博多) 友樂館(松竹、R・C・A、一〇五六名)壽座(日活、S・A・S、一六八八名)辨天座(新興、洋畫、ローラー、八七七名)世界館(日活、洋畫、S・A・S、八一八名)民衆俱樂部(新興、洋畫、博多式、九七五名)大衆座(各社、R・C・A、一五〇〇名)
【SY】とは……松竹洋畫興行部の略稱

府縣別映畫施設數

松竹の資本により經營、東京、大阪、京都、神戸、名古屋各市の松竹系一流常設館で洋畫封切を行ふプロダクションである

寫眞界の進歩

北尾 鏡之助

寫眞術の進歩は、いかに少ない光源の照射で、明快な印象を得るかといふにあるのだが、これがため乾板、フィルムの感光度が非常に

高まり、同時に使用レンズの口径が著しく大きくなった

數年前までは乾板といへば、通常用ひられるものは、感光度もH D二七・八〇度から四〇〇度くらいであつたものが、今日ではH D一・二〇〇度が普通であり、スーパー・パンクロマチックなどになると、二・五〇〇度以上にも感光度が昇つてゐる、勿論比率にはならぬが、數字では殆ど十倍以上も感光度が増したわけである

レンズの口径、明るさも、その當時にはF四・五が最も明るいものの常識となつてゐたのが、F三・五となり、F二・九となり、F一・五となり、現今ではF〇・九九とつたレンズが普通寫眞機にとりつけられてゐる

レンズの口径が大きく、焦點距離が短くなつた當然の結果として、これ等のレンズは重量などの關係上、小型の寫眞機に多く用ひられる、かういふ速度の早い感光材料と、大口徑のレンズを附した

精巧な小型寫眞機の市場進出は、やがて従来の被寫體取材の範圍を擴め、著しく活動的または刹那的たらしめ、同時に一方では従來困難であつた夜間撮影——フラッシュを使用せざる——に撮影の可能力を進ましむるに至つた

それから感光度が高まるに連れて、當然感光劑の特殊性質である色彩分量の矯正法が研究され、フィルムベースにおける色素の塗布と、色彩フィルターによつて、今日では最早明るい紫色より黄色が暗くうつり、赤色より緑色の方が白く感光するといつたような、在來の寫眞的な考へはある程度まで除去さるゝに至つた、國産のフィルム乾板でも、この整色性色素の塗布工程は、一ツの條件になつてゐるようである

かういふように感光膜が赤色、黄色に感じ、同時に微光にも感ずることになると、必然起つて來るものは、従來の暗室光の改善である、これには乾板、フィルムの現

像に際し、暗室光に曝す以前、まづ暗室内で一種の色素液に乾板フィルムを浸し、感光力を鈍らして後、暗室光を點じて、現像操作に移ることが行はれるとともに、この種感光劑の研究はますます進んで今日では普通乾板などは従來の赤色光でなくとも、相當明るい白色光線下で處理しても差支へないまでに至り、従つて、かつて暗室とは四邊の壁を黒色に塗らねばならぬものと考へられてゐたのが、現今では四邊の壁を白色または紅色に塗り、間接光をこれに照して、その反射光線によつて全部を明朗に、作業を容易ならしむる設計をとるようになり、最早黒塗りの暗室といふものは前期のものとなつてゐる傾向である、白色は赤色光線を照らす場合、その反射は「白」でなくて「赤」であるからである

それから感光度を高めるといふことは、感光膜面の乳劑粒子の粗いのを塗布することであるが、その結果、印畫引伸しの際、非常に

畫面の荒びが出て見ゆるしくなる殊に前述のような小型寫眞機の進出は、小さいサイズから引伸し作業に移す際、その倍數の比率上、従來よりも多くの荒びを豫想せねばならぬ、こゝにおいて當然起つてくる問題は、これ等の原板膜面の粒子を細かくするために發見された微粒子現像法の研究で、これがためには、従來の引伸機械装置を一變させて、特殊光源、特殊硝子特殊現像液の使用が研究されてゐる、それから今日の寫眞界の進歩に最も興味を投じたものは、不可視光線寫眞、赤外線乾板の研究でこの進歩は遠距離における氣層を透して映像を乾板に結ばしめるもおよび暗夜における撮影にまで進んでゐる

如上的ような寫眞界の發達は、やがてテレビジョンの完成とともに、想像もおよばぬ飛躍を遂げるであらう、そして最早寫眞と電氣とは、吾々の人生には不可分のものとなるであらう

資本金 壹千六百七拾八萬參千七百五拾圓

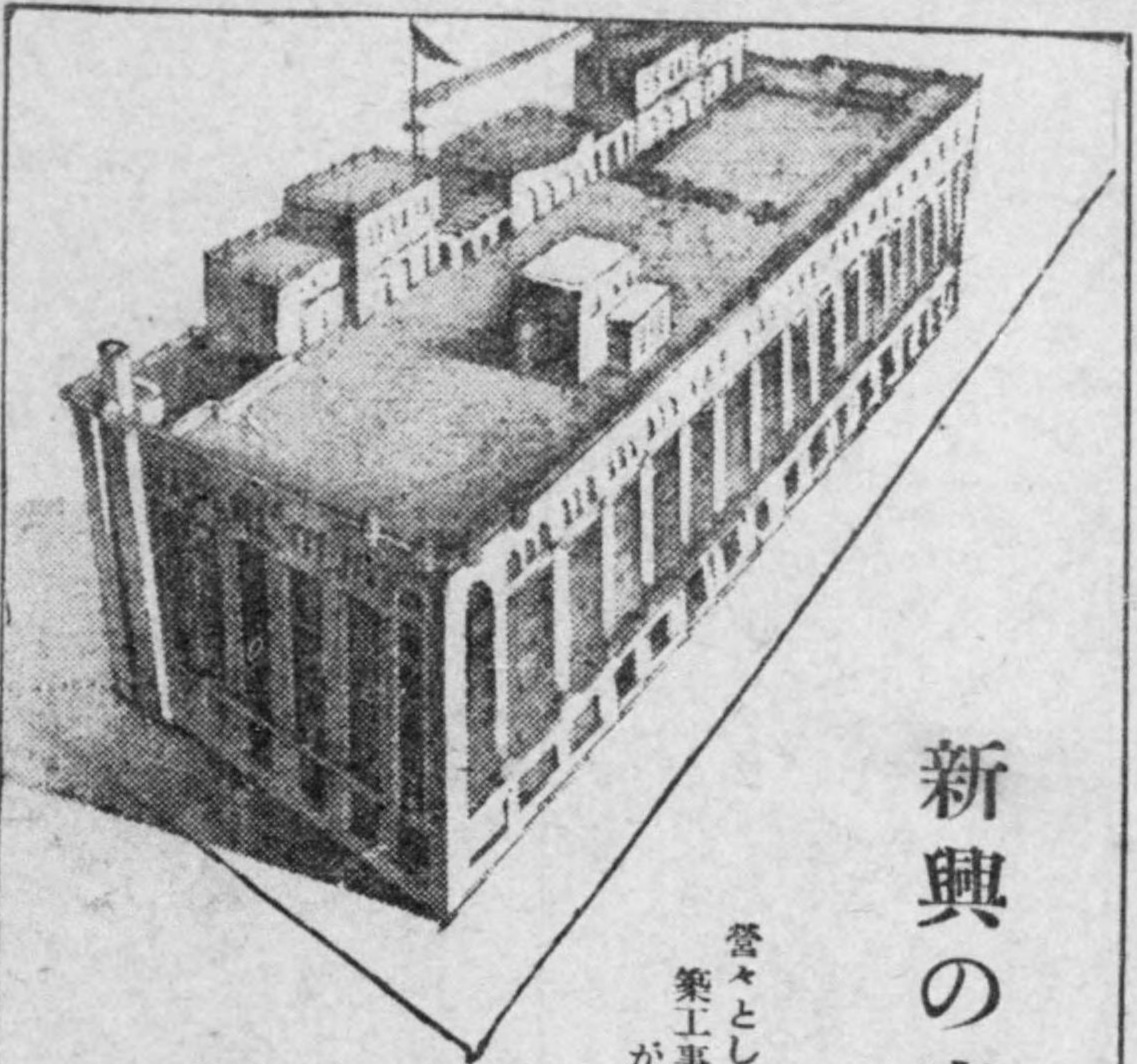
# 松竹キネマ株式會社

東京市京橋區新富町三ノ五  
電話 京橋 四一三一ヨリ  
四一三八迄

東京市日本橋區坂本町四七

# 富士瓦斯紡績株式會社

社長 日比谷平左衛門  
專務取締役 鹿村美久



# 新興の意氣



營々として目下南大阪に大建  
築工事を進めて居ります松坂屋新館はや  
がて堂々一万三千余坪、關西隨一の  
大百貨店として新装を凝らし、  
あらゆる清新の物資を網羅し、  
諸の施設を完備して、ますます  
皆様の御愛顧に副ひ奉らむこと  
を期して居ります……

大 阪  
日 本 橋  
**松坂屋**

## 音 曲

**義太夫節** 竹本義太夫が井上  
備前、宇治加賀二流の長所を採り  
さらに彼の獨創を加へて語り出し  
た淨瑠璃の一派、貞享元年初めて  
竹本義太夫の名で大阪道頓堀に操  
人形の櫓を上げた、これが竹本座  
で、義太夫節の起つた最初である  
近松門左衛門、紀海音その他多く  
の名作者が出て趣向上歌舞伎を凌  
駕しその發達を助けた、二世義太  
夫の時竹本、豊竹の二派に分立し  
愈々その全盛時代を作り、世人は  
淨瑠璃といへば義太夫節のやうに  
考へるに至つた、今日も本場はや  
はり大阪で文楽座が代表してゐる  
主として行はれる物は近松と義太  
夫の作ではなく享保以後の竹田出  
雲や近松半二等の改作物が多い、  
現代義太夫節の重なる人々

太夫 竹本一津太夫、土佐太夫、角  
太夫、叶太夫、源太夫、文字太夫、  
義太夫、大島太夫、大隅太夫、敷島  
太夫、錦太夫、相生太夫、南部太夫、  
貴風太夫、廣太夫、文太夫、小春太

音 曲

夫、豊竹一古親太夫、駒太夫、呂太  
夫、つばめ太夫、女太夫、竹本一旭  
嬢、妻女、東廣、鶴松、廣春、鶴榮、  
久國、舞駒、小仙、綾助、清系、豊  
竹！此助、團司、昇之助、呂之助▲  
三味線 豊澤一嘉之助、小住、仙平、  
新左衛門、仙系、廣助、新造、雷助、  
廣左衛門、野澤一喜左衛門、吉兵衛、  
勝平、鶴澤一友次郎、叶、綱造、清  
六、芳之助、友作

**一中節** 元祿、寶永の頃京都  
の都太夫一中が山本土佐操、岡本  
文彌等の諸流を合せて語り出した  
淨瑠璃の一派である、余り官能的  
な鋭さを避け、鷹揚に上品に聲の  
味を利用してゐる所に妙味がある  
初めは京都で行はれたが漸次江戸  
で盛んになり江戸淨瑠璃のやうに  
なつてしまつた。後菅野、宇治、  
都の三派が鼎立し今日に至つた、  
各派の代表者

都派 家元は十代で絶え今は大倉喜  
七郎男がその名を預つてゐる、都  
一梅、都太夫千中▲菅野派 菅野序  
遊(家元五代)▲宇治派 宇治繁文  
(家元四代)、宇治繁文

代表曲は助六心中、権久末の松山  
夕霞淺間嶽など

**河東節** 江戸淨瑠璃の一、享  
保年中江戸半太夫の門人十寸見河  
東が半太夫節に手品市左衛門と廣  
瀬式部太夫の節を加へたもの、語  
り物の内段物は殆んど全部半太夫  
節より受けつぎ河東獨特の曲は端  
淨瑠璃である。歌舞伎十八番中の  
助六等もあるがお座敷淨瑠璃とし  
て作られた曲も多い、河東の正系  
は八代目沙洲(東中)で絶えたが九  
世以下は山彦派より繼承して今日  
は小文治が家元を相續し河東の命  
脈を保つてゐる。代表者は

十寸見會派 山彦小文治、山彦やま  
子▲山彦榮子派 山彦徳子、山彦  
錦子

**常磐津節** 寶永年代都太夫半  
中の創始で一中節から出た淨瑠璃  
の一派である、彼が宮古路國太夫  
と改名して大阪の竹本座に出たと  
ころ非常な評判となつた、だがま  
だ國太夫節といつてゐた、後江戸  
に出で宮古路豊後縁と名乗り豊後

節と稱した、最近までも常磐津の  
事を豊後節といふ者さへあつた、  
豊後縁の門人宮古路文字太夫の時  
から常磐津の名を用ひた、大正十  
五年五月八代目小文字太夫が家元  
を襲いで七代目文字太夫となり今  
日に及ぶ、語り物は段物が多く、  
今日でも芝居に屢々上演される蜘蛛  
の糸、山姥、關屏、戻駕、將門  
等所作事の大物は殆んど常磐津で  
あるのは芝居音楽としての價値を  
多分に持つてゐるからである、常  
磐津にはお座敷淨瑠璃と芝居淨瑠  
璃との二つがある、現在の流派と  
其代表者

常磐津家 常磐津文字太夫(家元七  
代)常磐津松尾太夫、常磐津三藏、常  
磐津文字兵衛▲岸澤家(常磐津三絃  
の家として極めて古い歴史を持つて  
ゐる、延享の頃宮古路數馬太夫の三  
絃を勤めてゐた右和左古式部の門弟  
岸澤式佐に始まつた) 岸澤古式部  
(六代)岸澤古式▲正派 常磐津勲右  
衛門(家元創始)

**富本節** 江戸淨瑠璃の一分派  
延享の頃宮古路豊後縁の弟子宮古

三一三

將品大夫(後小文字大夫)が師匠と分離して豊前録を受領し一風を語り出したもの、二代目は各人と稱せられ大いに名譽をあげた、明治廿二年四代歿後は家元が中絶し、現今は富本豊前の實子富本都路が支持してゐるに過ぎない、現在純粹の富本の三味線弾きとして永續してゐるものは多見崎一派の外にない、その他は一代或は二代で廢れてゐる、大半劇場音楽として濫場、道行、所作事等に用ひられ又座敷にも語られたのでその種類は雑多であるが段物は極めて少い、代表曲には通稱長生、鞍馬獅子、淺間、高尾懺悔、身音お俊、夕霧、忠信その他がある。代表者 富本都路 多見崎たか(六代) 清元節 文化十一年、二代目富本都路大夫が富本節から分離して一派をなした淨瑠璃である、彼はのち清元延壽大夫と改名した、多くは歌舞伎の所作事、踊の地等に用ひられ、曲節が變化を極め、意氣と情艶いはゆる江戸情緒の生

粹である、現在の五代目延壽大夫は清元節を一般社會に普及させんがため、大正三年二月清元會を創立した、また花柳界方面でも若葉會、若枝會、若芽會等設けてその研究に努めてゐる、のち清元派は二分し、三味線の梅吉派は家元派の清元會に對して清元流研究會を起し清元流布に努めてゐる、このほか清元太兵衛の延派と清元竹壽太夫、清元吉太郎の清元研精派とがある、代表曲には梅の春、北州、保名、文屋、喜撰、清心、神田祭、松島、隅田川、三千歳等がある、重なる流派とその代表者 高輪派 清元延壽太夫(宗家五代)、清元榮壽太夫(明)、清元榮次郎(三味線)▲清元派 清元梅吉(家元三味線)、清元喜久太夫(明)▲延派 清元太兵衛(清水流家元)▲清元研精派 清元竹壽太夫、清元吉太郎 新内節 豊後節に育くまれて常警津より一足先に生れた淨瑠璃の一種、鶴賀新内が語り出したからその名がある、しかし新内が語つたのは流祖鶴賀若狭孫の一流で

あるから本来ならば鶴賀節とか若狭節とかいはれるべきだが、その美しい聲で哀々切々たる節廻しに「新内の節」との評判がしましく、遂に鶴賀一派は元よりその本家である富士松の流れまで總稱して新内節と呼ぶやうになつた、重なる流派と代表者 鶴賀派 鶴賀若狭孫(家元)▲富士松本派 富士松喜久翁(家元)▲富士松正派 富士松加賀太夫(家元)▲富士松元派 富士松加賀吉(家元)▲江戸派 富士松加賀吉(家元)、富士松魯遊(家元初代)▲富士松新派 富士松喜昇▲富士松扶桑派 富士松觀世太夫▲富士松東派 富士松富士太夫▲岡本派 岡本文彌 宮園節 享保年代宮古路園八によつて創始せられ、門人宮園鶴鷹軒によつて大成せられた淨瑠璃の一種で、又之を園八節ともいふ、創始當時は京都を中心として大に行はれてゐたが、二代目鶴鷹軒が明和年間江戸へ出て、又門弟の春太夫も江戸で宮園節を傳へたので本元の京都では下火となり、文

政頃には却つて江戸で行はれてゐた、現在の代表者 宮園千春、宮園千秀、宮園千代、宮園千廣 長唄 江戸歌舞伎の劇場音楽として發達したものであるが、創始期も創始者も詳かでない、併し貞享、元祿の頃上方から江戸に下つた三味線弾き屋一派の歌舞伎に用ひられた上方唄が、江戸長唄の基礎を成したものと見られてゐる 柗屋喜三郎は寶永元年に江戸長唄と名乗り、享保には單に長唄のみ稱するやうになつた、爾來三味線は主として柗屋を名乗り、唄手は芳村、吉住、富士田、松永、岡安、申村、松島、坂田等の諸派に分れて今日に至つた、主なる流派とその代表者 【眼方】芳村家 芳村伊十郎(宗家六代)▲芳村伊四郎、芳村小三郎▲吉住家 吉住小三郎(家元四代)、吉住小三藏、吉住小四郎、吉住小桃次、吉住小十郎▲松永家 松永和風(家元四代)、松永鐵之佑▲松島家 松島庄三郎、松島庄三九▲富士田家 富士

田吉次(家元)、富士田新藏、富士田豊藏 【三味線方】六左衛門家 柗屋六左衛門(家元十四代)、柗屋翠玉(家元十三代)▲六三郎家 柗屋六三郎(家元二代)▲六四郎家 柗屋六四郎(家元三代)▲榮藏家 柗屋榮藏(家元三代)▲勝派 柗屋勝太郎、柗屋和三郎、柗屋和吉、柗屋勝五郎▲佐吉家 柗屋佐吉(家元四代)▲岡安家 岡安喜三郎(家元六代)▲彌の字家 柗屋竹次郎(家元六代)▲正治郎家 柗屋正治郎(家元四代)▲今藤家 今藤長十郎(二代)▲柏家 柏伊三郎 【難方】田中家 田中傳左衛門(家元十代)▲望月家 望月太左衛門(家元九代)▲望月朴清、望月太左吉▲福原家 福原鶴三郎(三代)▲福原百之助▲梅屋家 梅屋勘兵衛(三代)▲住田家 住田伊與(家元)▲堅田家 堅田喜惣治(家元三代)

の人も他界し一時中絶してゐたのを現在の萩江久が師匠として立ちその命脈を保つてゐる、代表曲に八島、百万、金屋丹前その他がある 地唄 上方唄の事である、元來檢校とか勾當とかいふ官法師に依つて扱はれたもので、法師唄ともいつた、江戸長唄、常警津、清元等上方へ這入るようになつてからは、江戸から來るものを一般に江戸唄、上方唄を地唄と稱するやうになつた、其中には祭文、祭太夫節等を含む、筆に和し三味線に合せて歌ふもの(筆曲の部参照) 端唄 短い唄の總稱、だが時代によつて意味が異り一定した語ではない、上方では元祿年間に出た「松の葉」が初めてこれは長唄に對する端唄で、大體に短く即興的な唄を指したものであつた、それが安政年間江戸に歌澤といふ從來の端唄や流行唄又は新作唄を集めて一種技巧的なうたひ方をするものが出來て以來端唄は歌澤に對して、うたひ方の違つたものとい

ふようになつた 歌(哥)澤節 安政年間歌澤笹丸、同芝金、同虎(後寅)右衛門等が相謀つて創めた端唄の一派である、これは古い小曲の調を正したのみでなく、新曲も多く發表した、創始後間もなく寅右衛門派(歌澤)と芝金派(哥澤)とに分れて來たが、昭和二年五月芝派社申の大半が家元四代目芝金に對して不信任を表し、別に同人の實姉で三絃方を勤めてゐた芝勢以を立て、家元と仰ぐに至つた、現在の流派とその代表者 寅派 歌澤寅右衛門(家元五代)、歌澤相模▲芝派 哥澤芝勢以(家元)、哥澤芝金(家元) 小唄 小うたといふ名稱は遠く平安朝の頃に大歌と小歌といふのがあつた、ずつと下つて徳川時代初期に流行したのが隆達節、弄齋節、投節などの小うたで、それから江戸端唄、江戸小唄となつた現在の流派と代表者 田村派家元 田村てる▲堀派家元 堀小多満▲春日派家元 春日とよ▲

藝派家元 藝胡蝶▲久満派家元 久満廣代▲吉村派家元 吉村ゆづ▲岩井派家元 岩井まさ▲幸兵衛派家元 小唄幸兵衛 新民謡、新小唄 近年新民謡新小唄の運動が盛んになり、野口雨情、北原白秋、西條八十等その他作者、作曲者、振附師共に一流大家で、昭和に入つては豊音器、ラヂオの普及と共に埋れてゐる地方民謡が續々世に紹介され、又新作も出で新民謡も勢力を得るようになつた、殊に九年春は東京音頭、さくら音頭を始め何々音頭といつてさながら音頭時代を現出した、唄ひ手の主なる人々 勝太郎、市丸、二三吉、筆香、渋谷のり子、佐藤千夜子、羽衣歌子、四家文子、渡邊光子、二村定二、三島一登、藤山一郎、徳山隆 筆曲 三味線曲に對して筆曲がある、眞の意味の筆曲は筆ばかりで演じるのでなければならぬが、今日では大抵三味線、尺八等と共に演じる、筆は奈良朝時代に支那から渡來したもので當時の雅

洋楽界の活況

樂、備馬樂等に用ひられてゐた、今日の樂曲は徳川初期の樂筆の流を酌む八橋檢校を祖としてゐる、今日は上方以西を中心とする生田流と關東以西を中心とする山田流とが主なるものである。流派と代表者

山田流 萩岡松韻、今井慶松、高橋榮清、山本花子、山室千代子、佐藤美代勢、藤野榮松、町田杉勢、千布豊勢▲生田流 富崎春昇、川瀬里子、加藤孝子、米川親敬、木谷壽恵子、宮城道雄、天笠才助、中島雅樂之部、福田喜久子、徳永徳壽、古賀成武、伊東中光、菊原榮治、中平福之部、中川春調、菊平榮聲、菊武祥庭、岸岡祥光、菊田歌雄、中田清吟、橋城護、渡邊正之、津田正寛、山口巖、坂本龍雄齋、中石芳齋、江良千代子、佐藤正和、杉山田鶴子、菊仲米秋

と共に無僧の間に進行はれたもので管は太く長く指孔は表に四箇、裏に一箇である、徳川中期黒澤琴古が出て琴古流を開き、又明治の中期から大阪に都山流の中尾都山が出るに及んで益々一般民衆の樂器となつた、現今行はれてゐる主なる流派と代表者

琴古流 荒木古童(三代)川瀬順輔、三浦翠童、河本逸童(逸童派)、吉田晴風(琴古流出身新尺八派)▲東流 福田麗童▲都山流 中尾都山(二代)▲上田流 上田芳童(二代)上田竹童、上田直童▲錦生流 角野眞風▲竹保流 酒井竹保

流 吉村岳城 筑前琵琶一鶴聲派 井上鶴子▲川村流 川村光雲▲錦琵琶 水藤錦種▲高峰琵琶 高峰筑風▲橘流旭會派 橘旭翁(宗家二代)▲橘流橘會派 橘宗▲吉田流 吉田竹子

が出るに及んで上流社會の一部の人々にも喜ばれ非常に廣く行はれるやうになつた、近年奈良丸は門人に三代目を繼がせ彼は吉田大和丞と稱してゐる、雲右衛門、奈良丸時代の後を受けて三代目龍甲齋虎丸、東家樂遊、東家樂燕、木村重友、天中軒雲月等が輩出した、右の外現在在は

洋楽界の活況

昭和八年後半期および九年前半期は數において少いとはいへ、世界的洋楽界の巨匠フリードマン氏の二回續けての來朝あり、續いて

ナチスの暴政に虐げられたクロイツァ教授が再び來朝、ラヂオに、弟子養成に、演奏會に一般洋楽界はこの二巨匠の來朝で素晴らしい活氣を呈した、一方井上周子、二宮千春さんらはウインの國際音樂コンクールに進出、優等賞を獲て歸朝、またウインの珈琲王夫人となつた田中路子さんは歸朝後直ちに新響の伴奏を得てベートーヴェン作「第九シムフォニー」に獨唱するなど新歸朝者振りを示し、昭和九年にはミラノ、スカラ座で活躍した原信子女史が十年振りで歸朝母國の樂壇を賑はした、なほ歸國敏子嬢も四年振りで歸朝、注目の的となつた、また近衛秀麿氏はペルリンその他各地で指揮棒をふり日獨交歓放送などを行ひ絶讃を受けて歸朝した、一般樂界はレコード以外一般に不況で、ゾオカル・フオア團で「リゴレット」に次いで「椿姫」を上演したが成績に反し會計的には失敗、しかし歌劇要望の聲は強く、山田耕筈氏を中心

洋楽界の活況

とする金曜會も劇オペラの融合した新形式オペラの公演を志し「アールの女」、「カルメン」上演に今後を期待され、また歸朝後の藤原義江氏も「ボエム」公演に力闘した、九年度の特色としては一般洋楽界に総合的なコーラス團の活躍が目立ち、東京シムフォニック・コーラス、コロロ・フロラ團、ポリヒムニア團などの活躍多く、日獨交歓放送などにも出演、東京市主催で「合唱祭」の催しなどあり、PCLジャズ・シムフォニーの發展とともに合唱團の統率組織その樂壇地位など非常な進出である、その他日本劇場、東京寶塚劇場などの新築につれレヴュー團、舞踊團、ヴァリエテなどに對する一般ファンも増大し、平易な音樂が普及するに至り、一部樂人が恵まれたことは注目し得る(高洲基)

樂壇往來

【昭和八年六月】國際音樂コンクールに井上周子、二宮千春さん優等賞を獲

得▼カスベ氏來朝▼コロナ・オーケストラ、新響退者にて組織さる▼東京松竹レヴュー争議起る▼中央、東洋南音樂學校春季公演催さる▼笈田光吉氏第十回ピアノ獨奏會▼藤原義江氏渡米▼大阪松竹レヴュー争議起る▼田中路子さん歸朝、新響公演ベートーヴェン作「第九交響樂」に出演▼深崎秋子さん歸朝▼日獨交歓合唱の夕▼東京合唱團ポリヒムニア・コール公演

氏新響伴奏で弾く▼東京音樂學校秋季音樂會「ブルックナー第七」問題となる▼「タンホイザー」武蔵、奥田氏らで放送▼新響公演▼田中路子さんウインに歸る▼宮川美子嬢結婚

【昭和九年一月】十年振りで原信子さん歸朝△日獨交歌放送に荻野、宮城氏ら演奏△テナー中川牧三氏イタリより歸朝△日本シヨパン協會生る(會長徳川精貞侯)△山田耕深氏中心の金曜會「ビート」アルルの女を東京劇團、伊藤敦子、開種子さんなどを中心に公演△フリードマン氏再来朝、ボートランド公使主催で「シヨパンの夕」を催す△大日本婦人聯合會主催、指揮山田耕深、主演者佐藤、太田黒、徳山、丸山氏などにて「カルメン」を公演△藤原義江氏歸朝△東京寶塚開場△ゴドフスキー氏死去

【二月】東京高等音楽學院學友會春季演奏會△宮内省雅樂部に仕へるイタリ音楽家ガエタノ・コモリ氏日本婦人と結婚△前田理氏提奏獨奏會開催△多年パリ・コンセルヴァトアール勲學後歸朝の池内友次郎氏作曲発表會催さる△レオニド・クロイツァ教授來朝

【三月】日本劇團に「マールカス・シヨ」公演△近衛秀麿氏歸朝第一回新聲公演は「鼓樂五重奏曲」(シユーベルト原曲)△松平頼則氏作品発表會△鈴木麗氏第二回獨奏會△イタリより歸朝のソプラノ細谷壽子さん第一回獨唱會

【四月】アポリアン・トリオ演奏會

(片山信四郎、寺田豊次、橘常定氏)△黒川いさ子さんピアノ獨奏會にクロイツァ教授助演△クロイツァ教授新聲公演に参加、モツアルト作「コンツェルト」を演奏△四年振りにて開屋敦子さん歸朝、各地演奏會を開く△シロタ獨奏會△イエノ・タカチ氏來朝

【五月】東京音楽學校學友會演奏△オルケストラ・シンフォニア・タケキ第三十五回大演奏會を開く△井上周子さん獨奏會△柳兼子夫人獨唱會△新聲公演二回、一回はクロイツァ氏指揮、氏の弟子四人の連弾、一回は原智恵子さん獨奏近衛氏指揮△立松房子、高安哲夫氏それ、獨唱、獨奏會を開く

【五月】東京音楽學校一私立、財団法人一校長鈴木米次郎)本校、東京市豊高區難波六〇〇【内容】(一)學科一東京音楽學校に準ず、但し普通科四年あり、小學校修了者を入學せしめ、舞踊部あり、研究科二年、官立學校受験準備のため受験科、日土女クラスの特設あり(二)入學資格一豫科は中學、高女四年修了者、本科及び高等師範科は中學、高女、師範學校卒業者、他は資格制限なし(三)入學試験一口頭、技術試験あり、但し別科(選科に當る)、受験科、日土女クラスは無試験(四)授業料一豫科、本科年額百円、高等師範科年額百廿円、普通科年額八十円、

主なる音楽學校

術試験を課し選抜入學を許可する(三)授業料一豫科本科年額八十円、研究科及聴講生一科目につき年額五十円、選科一科目年額五十円、甲種師範科無料

【武蔵野音楽學校】専門學校令認可(一)校長福井直秋)本校、東京市板橋區練馬【内容】(一)學科一東京音楽學校に準ず、但し師範科(三年)の下に乙種豫科があり、研究科は二年とす(二)入學資格一東京音楽學校に準ず、但し豫科は中學、高女、師範科に限り第二種生あり、小學校本科正准教員及び専科正教員の資格ある者も許可、なほ本科、師範科は中學、師範、高女卒業生は直ちに入學資格あり(三)入學試験一東京音楽學校に準ず(四)授業料一各科目とも年額百十円

【東洋音楽學校】私立、財団法人一校長鈴木米次郎)本校、東京市豊高區難波六〇〇【内容】(一)學科一東京音楽學校に準ず、但し普通科四年あり、小學校修了者を入學せしめ、舞踊部あり、研究科二年、官立學校受験準備のため受験科、日土女クラスの特設あり(二)入學資格一豫科は中學、高女四年修了者、本科及び高等師範科は中學、高女、師範學校卒業者、他は資格制限なし(三)入學試験一口頭、技術試験あり、但し別科(選科に當る)、受験科、日土女クラスは無試験(四)授業料一豫科、本科年額百円、高等師範科年額百廿円、普通科年額八十円、

別科(一科目)月額六円、受験科月額七円、日土女クラスは普通部月額三円高等部月額五円

【東京高等音楽學院】私立一代表者北原三三)本校、東京市四谷區右京町一六△第一分教場、東京市外神保町深澤七〇【内容】ほ、前記學校に同じ

【帝國音楽學校】私立一代表者北原三三)本校、東京市世田谷区代田町【内容】同上

【日本音楽學校】私立一代表者山田三三)本校、東京市中野區打越町二〇

【中央音楽學校】私立一代表者室橋翠月)本校、東京市下谷區眞島町一【内容】同上

【東京女子音楽學校】私立一代表者永井幸次)本校、東京市豊谷區常盤松一【内容】同上

【大阪音楽學校】私立一代表者永井幸次)本校、大阪市東區味原町九【内容】同上

他に日本大學に専門部の一部に藝術科あり

【音楽關係一ひと・團體・研究所】

【聲樂】 安部正義、阿部秀子、淺野千

鷓子、天野喜久代、淡谷規子、井上倫子、伊藤敦子、伊藤祐司、石橋君子、内田繁一、内本實、内山惣十郎、太田黒、萩野綾子、奥田良三、加藤貞子、橋本敏子、川崎豊、川畑文子、川村つた子、河原喜久、金文輔、藤井孝、熊野節子、黒澤貞子、小林千代子、小宮山繁、小森謙、小唄勝太郎、左藤謙三、佐藤千夜子、佐藤美子、澤智子、ア・サルコリー、柴田知常、柴田秀子、清水静子、東海林太郎、東海林久子、煤孫ロイデン、開鏡子、開鏡子、開鏡子、田中伸枝、田中路子、田谷力三、竹内禎子、武岡鶴代、立松房子、ダン道子、千葉富子、月岡謙之助、次田勝、辻謙子、戸高優梨子(藝名彌生ひばり)、外山國彦、遠山龍子、徳山健、マリア・トル、カテリイナ・トドログキツチ、永井郁子、南部タカネ、原信子、平井美奈子、平間文海、藤山一郎、藤原義江、二村定一、ヘルトラフメリ・能子、アツテイリオ・ヘレツテイ、牧野人、藤田シナ子、丸山和歌子、三浦環、宮川美子、村井彌生、矢追婦美子、柳兼子、山口俊子、四家安子、渡邊光子

子、秋田敏子、明本京静、淺野富七、東清蔵、天野アイ、天野雅子、甘粕公子、井上武士、伊藤義雄、池田淑人、石川義一、磯江清、一條眞三郎、岩淵繁蔵、上眞行、上杉定、上原秋雄、ハインリヒ・ウエルクマイステル、遠藤信子、小倉末子、小川一郎、大井博四郎、大塚淳、大塚正則、大月投綱子、大西禎子、多忠紀、多忠朝、多基永、塚田光吉、岡野貞一、岡村雅雄、奥村艶子、音川仙三、許野眞一、上沼房子、桂平太、川上きよ、川上淳、川上良武、川口章吾、川村信義、金子眞佐子、神戸詢子、木下保、菊地遊彌、金須嘉之進、金永徳、黒澤良輝、日下部ヨランダ、高勇吉、幸田延子、佐藤秀郎、榎原直、篠野静江、澤崎秋子、澤田柳吉、芝蘭孟、芝蘭泰、レオ・シロタ、コンスタンチン・シヤビロ、マキム・シヤビロ、ニコライ・シフエルブラット、バウル・シホルツ、須藤五郎、諏訪根自子、杉山長谷夫、鈴木聰、陣十一郎、田中規矩士、田中平三郎、田村龍藏、田村虎藏、高折富次、高木和夫、高木東六、宅孝二、竹内平吉、伊達愛、伊達三郎、伊達静子、龍山幾、柳池慶助、ジエームス・ダン、陳

南山、津田あやめ、東儀俊輔、東儀哲三郎、富田鍾、鳥居輝、内藤清五、中野二郎、永井幸次、永井静子、永田晴、西川滿枝、眞名美名彦、萩原英一、袴田克己、早川彌左衛門、原智恵子、平井保三、平岡次郎、深川義隆、福井直俊、ハンカ・ベツォーロ、星野甲二、星野芳伸、堀内義重、堀田義正、ロヘルド・ボラツク、眞藤俊雄、眞野泰光、松島豊子、松本四郎、水口幸麿、三原稔、宮城道雄、宮田東峰、室岡清枝、室崎翠月、本居一浩、アレキサンダー・モゼレウスキー、梁田貞、山井基清、山口常光、山越八重子、山崎朝世、山崎照子、吉田晴風、李志博、コンラド・リブリヒト、バウル・ローレンシタント、ナデジダ・ロイテンベルヒ、エンリイコ・ロツシ

【作曲、指揮】 井口晴弘、井田一郎、伊藤昇、飯田信夫、内海雪一郎、ヘルマン・ダヘルブエンニヒ、江口夜詩、多忠重、岡田園一、紙恭輔、河合太郎、河村直則、清瀬保二、草川信、古賀政男、古關裕而、近衛秀麿、近藤信一、紺野毛利夫、ガエタノ・コモリ

【評論、研究家】 安藤弘、青柳善吾、伊藤孝、牛山充、梅津勝男、太田黒元、太田太郎、大脇三三、加藤長江、

音楽關係一ひと・團體・研究所

音楽関係一ひと・團體・研究所

浦沼太郎、片山眞太郎、筑常清佐、菊地盛太郎、小林愛雄、小松耕輔、小松平五郎、小松清、白井規矩郎、白井俊一、鈴木米次郎、須永克己、關山民平、田中正平、田邊尚雄、高野辰之、徳川頼貞、中根宏、永田龍雄、野村光一、乗杉嘉壽、眞壽一郎、福井直秋、藤田斗南、二見孝平、露井三郎、門馬直衛、山本壽、吉田永晴
【機關團體】東京音楽協會(理事長田中正平、常務理事堀内敬三、野村光一、會費特別會員年額五十円以上通常會員年額十円)京橋區銀座西六ノ五△大日本作曲家協會(會長水野鍊太郎、總務理事小松耕輔、會費年額三円)杉原區阿佐ヶ谷三ノ四八五小根方△日本教育音楽協會(會長乘杉嘉壽、會費年額一円八十錢)東京音楽學校内△國民音樂協會(理事長小松耕輔、前堀小根方△日本作曲家協會(常任理事小林愛雄、會費年額三円)本郷區生町三三ノ七△新興作曲家聯盟(幹事小松清、橋本國彦、山根銀二、清瀬保二、箕作良秋)平塚市水交社前箕作方△佛敎音樂協會(會長四條隆愛侯、常務理事伊藤清昭)文部省宗敎局内△神社音樂協會(代表者平戸大)東京女子音樂學校内
△兒童音樂協會(會長鈴木米次郎)東京音楽學校内△同聲會(會長乘杉嘉壽)東京音楽學校内△東コンサート・リーグ(主事村松靜光)京橋區銀座四八ノ五△全日本樂譜出版協會、牛込區赤城下町七七△全日本ハルモニカ聯盟(會長眞野泰光、主幹畑旋)荒川區日暮里町七ノ八五三△全日本學生ハルモニカ聯盟(代表者前坂重太郎)神田區神保町一ノ五〇ライオン・ハルカリー内△大日本ハルモニカ音楽協會(幹事長新見嘉代雄)牛込區赤城下町七七△全圖ピア技術者協會(代表者中谷孝男)芝區白金三光町二七三、大冨市西成區粉濱本町二ノ六△横濱音樂協會(會長大西一郎)市教育課内△豊橋音樂協會(會長丸茂藤平、理事長鈴木勇藏)市役所内△名古屋音樂協會(會長藤岡兵一、常任理事江畑龜壽)市役所内△京橋音樂協會(會長今村信吉)左京區南禪寺福地町四五△大阪音樂協會(會長關一、理事長山本爲三郎)北區中之島朝日ビル内△關西藝術音樂協會、(大阪市東淀川區三國町八二一淺木夢二方)△ピアノ同好會(代表者杉森妙子)大阪市東區博愛町一ノ二四△神戸音樂同好會(會長田中銀之助)神戸區

三二〇

中山手通四ノ一〇一△群馬縣音樂協會(縣教育課内)△上海音樂研究會(常任幹事長谷川元吉、岡本乙一、守田依隆、大井潤二、木村專一、高木寛)上海乍浦路九五號ピアリスアパルトメント會内【演奏及び研究團體】泉の會、麴町區富士見町一ノ一〇萩野方)ウオーカル・フォア(淀橋區十二社四三三内田方)上野樂聖會(豊島區西巢鴨町二ノ二五七〇松本方)大塚音樂會(東京文理大寄宿舍内)オルケストラ・シンフォニカ、タクキ(本郷區三組町五九)雅樂同志協會(淀橋區下落合一ノ四三七近衛方)學習院輔仁會音樂部(學習院内)關東男性合唱聯盟(葛飾區小菅町六一六山口方)如月社(目黒區下目黒四ノ四三八本居方)敎會音樂研究所(麻布區狸穴町五一)陸軍山學校軍樂隊(隊長岡田國一)東京市牛込區戸山町同學校内)海軍軍樂隊(橫濱、吳、佐世保各鎮守府及び橫須賀海兵隊、第一、第二、練習各艦隊司令部附)宮内省樂部(宮城四ノ丸、式部廳)慶應義塾リグネル・ソサイエテ、同マンドリン部(同義塾内)健兒音樂隊(文部省内少年團日本聯盟内)コーラ・チエリヲ(杉並區阿佐ヶ谷三ノ七九丸山崎方)國民交響音樂團(杉並

(二四)名古屋交響樂團(名古屋市中區南久屋町三)松坂屋管絃樂團(同上)京都音樂研究會(京都市上京區下總町二八)京都帝大交響樂團(同大學内)同志社大學グリー・クラブ(同大學内)大阪市音樂隊(天王寺公園音樂堂)JOBKオーケストラ(大阪中央放送局内)北市民音樂團(北區天神橋筋六ノ二九)三越音樂隊(東區高麗橋同店內)高島屋音樂隊(東區長堀橋同店內)大阪音樂學校合唱團(同校内)ゲミシテン・コール(天王寺區勝山通一ノ三三田村方)大阪帝大醫學部音樂部(大阪府豊能郡石橋)大阪商大音樂部(同大學内)大阪洋樂研究所(東區南久寶寺町三丁目久寶ビル)寶塚交響音樂團(寶塚少女歌劇團内)神戸交響音樂協會(下山手通六丁目青年會館内)關西學院音樂部(同學院内)神戸商大管絃樂團(同大學内)神戸市民管絃樂團(神戸市社會課内)神戸中華同聲會(中山手通一ノ九〇)ワコルド合唱團(廣島市新川場町中村方)群馬作曲研究會(前橋市曲輪町徳平寺内)仙台オラトリオ協會(仙台市光禪寺通六二)阪沼方)札幌交響樂團(北海道帝大内)旭川市民管絃協會(旭川市七條十五丁目赤倉方)JFAKオーケストラ(台北市文武能樂界小展望
町四ノ三二條方)金剛ハルモニカ研究所(釜山府大新町五七六二)
【學校】東京音樂學校(校長乘杉嘉壽)本校東京市下谷區上野公園西北、分教場神田區駿河台一ノ九△武藏野音樂學校(校長福井直秋)東京市板橋區練馬町△東洋音樂學校(校長鈴木米次郎)東京市豊島區雜司ヶ谷町六〇〇△東京高等音樂學院(校長子爵三屋戶敬光)本校東京市外國立大學町、第一分教場東京市四谷區右京町一六、第二分教場東京市外濠澤町深澤△帝國音樂學校(校長北玲吉)東京市世田谷區代田町△日本音樂學校(山田社三)東京市中野區打越町二〇二一△中央音樂學校(室崎翠月)東京市下谷區眞島町一△東京女子音樂學校(平戸大)東京市澁谷區常盤松町一△大阪音樂學校(校長永井幸次)大阪市東區味原町九九△日本大學藝術科(總長山岡萬之助、藝術科長松原寛)東京市本郷區金助町
昭和八年七月 十四日、大阪朝日會館での觀世宗家憲議會で宗家と大概氏が議つた「羽衣」のBK中繼問題から宗家の放送拒絶となつたが、八月廿五
日高安吸江氏の講停で円満解決▲五、六月に青年喜多會が東京各大學、專門學校で行つた能樂講演會の内容が、同流學生鑑賞能の宣傳云々といふ點で能樂論壇の問題となつた
九月 廿一日大阪能樂殿の生一會別會能に弓矢立合が出た、演者は生一綾雪、大江正雄、大西新三郎の諸氏
十月 觀世宗家先代清康氏廿三回忌追善別能が十五日京都觀世能樂堂で催された、弱法師(觀世喜之)、熊野(觀世之丞)、遊行柳(梅若万三郎)、道成寺(觀世左近)などで關西八年度隨一の大成
十二月 皇太子殿下御誕生奉祝能が廿一日東京日比谷公會堂で、東京市主催、能樂協會能樂會奉納で行はれた番組は翁(觀世左近)、高砂(金春光太郎、櫻間金太郎)、橋弁慶(寶生重英)、羽衣(喜多六平太)、亂(金剛右京)
九年一月 八日、大阪能樂界の長老大西新三郎氏死去、享年五十八▲觀世流準職分家小林賢次氏十七日死去、享年四十七▲社會敎育協會主催能が廿七日靖國神社能樂堂で新界の巨星を揃へ入場無料で行はれた▲十一日、寶生流シテ方瀧尾要氏死去、享年四十四
二月 觀世左近氏「竹生島」忠度「江口」長清「望月」の五番を東京觀世會能樂堂で一人で舞ふ▲大倉流小鼓の家元大倉喜太郎氏の名六藏を襲名
三月 十八日茨山千五郎古稀能が京都觀世能樂堂で催され千五郎氏「狸腹鼓」を舞ふ▲十一日、觀世流の一異彩生一綾雪氏死去▲幸清翁追善能十八日東京寶生舞台で行はる▲梅若宗家を除く一門全部が廿八、九兩日上海で能を催した▲兩陛下御成婚十周年お上り皇子御降誕奉祝の會が十七日上野音樂學校で催され、能樂「高砂」が上演された、出演者は左近、万三郎、觀世喜之寶生新の諸氏
四月 皇后陛下行啓の御前演奏が廿一日東京音樂學校で催され、第一部邦樂に「小鍛冶」が据ゑられ、前シテ梅若万三郎、後シテ觀世左近兩氏はじめ出演者全員無上の光榮に浴した
五月 五日、福王流家元代理、當代脇方の巨星野島信氏死去、享年六十三▲能樂會理事、元音樂學校教授池内信嘉氏は胃癌で十七日死去、享年七十七、氏は能樂の隆昌を今日あらしめた功勞者
三二一



昭和九年の

棋界と私

名人 本因坊秀哉

昭和九年の棋界において最も顕著なる現象はと言へば日本棋院の大手合を始めとしてその他新聞雑誌の打棋等ですべての棋人が熟知する如く所謂新布石法の擡頭、そして流行であります。正確に言ふと新布石法は八年秋頃から木谷五段(當時)及び吳五段の兩君に依つて創案せられ、同年秋の日本棋院大手合において既に兩君は固より他の棋士にもこれに倣ふ者が相当多かつたのである。但、當時はなほ新布石法としては試練時代に屬し、創始者たる木谷、吳兩君としても十分研究を盡してはゐなかつたらしい。

研究中に屬するものゝ如くであるが以下簡単にこれに就いての私見を述べる事とする。結論を先にすると、自分としては新布石法にはどうも首肯できない、費意を表し兼ねるといひたいのであります。少くとも木谷、吳兩君においては據り所もあり、また前述のごとくなほ研究の過渡時代にあるらしいから假りに一步を譲つて新布石法がよいとも悪いともいへないものとしても、天元だのあるひは三々だの、さういふ配石法では黒の先着の効果がどこに残つてゐるか、その價値をどこに維持し、かつ求めやうとするか、そこに大なる疑問が懷かれるのである。黒を持つた先着の効果は實に恐ろしくくらくらするものであるから、自分としては黒を持つたならばやはりその効果を失はぬやうに、局面もわかり易く打つて行く從來の手法に従ひたいと考へる。古語に『法に入つて法を出づ』と言ふのがあり、又『有法の極は無

第一表

回数	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	計
局数	五	九	九	九	九	九	九	九	七三
元	五	九	九	九	九	九	九	九	一〇〇
星	三	三	三	三	三	三	三	三	二四
妨害	三	三	三	三	三	三	三	三	二四
々	三	三	三	三	三	三	三	三	二四
法	三	三	三	三	三	三	三	三	二四
計	三	三	三	三	三	三	三	三	二四

第二表

回数	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	計
局数	五	九	九	九	九	九	九	九	七三
元	五	九	九	九	九	九	九	九	一〇〇
星	三	三	三	三	三	三	三	三	二四
妨害	三	三	三	三	三	三	三	三	二四
々	三	三	三	三	三	三	三	三	二四
法	三	三	三	三	三	三	三	三	二四
計	三	三	三	三	三	三	三	三	二四

法に通ず』と言ふのがありますが、木谷、吳兩君は申す迄もなく専門棋士が、即ち昔からの棋譜を調べ定石万端に通じてゐる者が、邪心なく、純然たる研究の爲に種々變つた打方を試るのは決して咎むべきではありません。舊法を必ずしも墨守せず、銘々の力で新しく開拓して行かうとするのは寧ろ推奨すべきである。然しまだ法に入つてゐないやうな者が案りに模倣するなどは嚴に戒めなければならぬ。自分はこの事を先づ力説し一

般棋人の注意を喚起したいと考へる者であります。次に新布石法出現以來今日に至る迄、どういふ経過をとり如何に變遷して来たか、その跡を具體的に示して見ませう。こゝに言ふ新布石法とは勿論その布石に、所謂三連星を始めとし五ノ五、天元、三々、若しくは三連星の妨害を試みたもの、等々が現れた棋を意味する。別表二つの統計の中、第一表は八年秋の大手合、第二表は九年春

の大手合に依つたものである。そして最下段、舊法、とあるのはそれらの三連星、三々、その他が打たれなかつた棋を指すものとして置きませう。

この二表について簡単に説明を加へ新布石法の將來を暗示したいと考へるのである。統計は二表とも甲組の手合だけによつたこと、また五ノ五、三々等は勿論第一着手に限らぬことであるが天元のみはこの術語の用例上、黒の第一着で天元を占めたことを指す、これもお断りしておく。

第一表では三連星は合計十局に達しますが、三連星を妨げた布石は僅に三局である。第二表との著しい差の一つであります。三々がまた第一表では非常に多いこと、これも第二表と對照せらるべきでせう。第二表に入ると、五ノ五といふものが新に出て来た。天元が五局もある。三連星が依然相當多く用ひられ

棋界の新傾向

毎一回、二局現れた。三連星の妨害を試みた布石が多い點に注意を要する。恐らくこれは妨害されなかつたら三連星そのものが一層多く出来た譯でありませう——三連星の流行には實に驚く外ない。三々が全體を通じて一局のみと第一表に比し餘りにも短い全盛であつた。三々の没落はその不利を自ら語つてゐるものと觀て宜しい。

右二表を離れて今少し突込んで究めると、表には現れてゐないが星、單なる隅の星打が九年春季には白黒共に毎局と言つていゝ位多く打たれた。九年春はまた高目が俄にふえて来たのであります。然も高目から目外しに廣く締まる傾向が著しい。これは星、或は三連星に抵抗して勢力を張る意味の現れに外ならないが、八年秋に比し、そこに進歩と言ふか發展と言ふか、兎に角、變遷の跡が明らかに窺はれる。

全體としては九年春は、從來の布石法に星打を加味した新舊併用の型とも稱すべきものが多く見られ、その基礎は依然所謂舊法の上で置かれてゐる如く考へられるのであります。九年春季大手合以後の趨勢を觀るに舊法に基き、それを主體とする傾きが漸く著明である。新布石法のみ依る不當が次第に知られて来たのであります。最後に自分は八年秋から九年春へかけて讀賣新聞社の主催に依り吳五段と對局し新布石法なるものを實際に體驗した。その棋は幸に自分の幸する所となつたが吳君は第一着を右ノ隅の三々に、第三着を左ノ隅の星に、第五着を中央の星、即ち天元に下すといふ變つた打方で頗然たる新布石法に來られたので初めてさういふ變つた配石に直面した自分としては對策に非常に苦心したものであります。自分は壯時より今日まで、故中川龜三郎(八段、二代目)雁金準一兩氏

棋界の新傾向

略史 關本が本邦に傳來したのは遠く天平時代古備置備によつてたらされたといはれ、平安朝時代に入つて伴勝雄父子、紀夏井などの棋士が出て延喜の朝に及んで高手感寛運現れて

棋界の新傾向

時の帝醍醐天皇に御指南申し上げた
と傳へられてゐる、この時代になつて
關基はやうやく大成され、建久五年日
蓮上人と法弟吉祥丸が鎌倉松葉ヶ谷に
おいて對局した棋譜がわが國に遺され
た最初のものとされてゐる、その他戰
國時代においても武田信玄と高阪彌
正、眞田父子などの棋譜が傳へられて
ゐるが、京都寂光寺の沙門日海世に現
れて藤田信長、豊臣秀吉、徳川家康な
どの諸英雄これに師事した、この日海
こそ第一世本因坊算砂である、徳川家
康天下を取るにおよび棋界は幕府の庇
護するところとなり關基はまず、隆
盛となつた、慶長八年四月には算砂、
利玄、仙角、道碩によつて後陽成天皇
の御前において天覽碁が行はれてを
る、道碩はのち井上因碩を名乗つて井
上派をたて、安井算哲、林門人なども
一家を興して宗家となつた、これが世
にいふ四家である、自來四家は累代幕
府の殊遇を受けながら幾多の盛衰と歳
月を経て世は明治の聖代となつたが、
その間關基は大名、武家、政治家、實
業家等各階級あらゆる方面に譽れられ
高津成彬公、西郷南洲、伊藤博文、山
縣有朋、安田善次郎など今日にその挿

所を遺してゐる

日本棋院設立
徳川幕府の大政
奉還により一度幕府の庇護をはなれた
棋界は、時代の推移とともに移り變つ
て四家をはなれて各自志を同じうする
者が相寄り相離れて各團體を作り勢力
を争つたが、大正十三年に至り本因坊
を中心の中央棋院、廣瀬、雁金、鈴木、
瀬越氏等の神皇會、湯淺八段を筆頭の
方山社が大倉喜七郎氏等の盡力によつ
て一九一〇年今日の日本棋院が設立さ
れるにいたつた

その他
日本棋院のほか現在關基
團體としては雁金準一、高部道平氏の
棋正社、井上因碩の井門派があるほか
他に記すべきほどのものはない

最近の情勢
日本棋院の設立に
よつて棋界が統一されるにおよび、各
棋士は己れの技量次第で易く名人をも
襲名することが出来ることとなつたた
め互ひに腕を磨くことに専念するの兆
を見るに至つた、時も時あたかも奇才
吳清源氏現れて天元、三連星、五ノ五
などの新手法を試み、木谷實、久保松
勝喜代、小野田千代太郎等の諸氏また
盛んに新手法による關基の完成を目指
して新傾向に拍車をかけるにいたり棋

界に一エポックを劃きうとしてゐる

棋界とジャーナリズム
かく新
傾向を呈するにおよんで關基は次第に
大衆化し、ラヂオにまで登場するにい
たつたので、専門雑誌は勿論、各種
誌、新聞は關基のため特別のスペース
を割き、思ひをめぐらしてファンの欲
求に應じようとする努力してゐるが、最も
興味ある計畫としてはまづ大阪毎日、
東京日日によつてなされた鈴木、瀬越
加藤、宮坂、久保松、木村、林、小野
田の八大家争覇戦を初めとし、右兩紙
上に掲載の日本棋院所屬の甲組棋士お
よび乙組優勝者をもつて行はれた日本
圍棋選手権大會、日本棋院と提携主催
にかゝる東洋棋院設立の理想實現のた
め斯界の双壁木谷實六段、吳清源五段
を滿支に特派したとをもつて第一とせ
ねばなるまい、この特使はその途廣
濱、静岡、名古屋、大阪、廣島、福岡等
において棋會を催し、地方ファンの喝
采を博したこともまた特筆すべきであ
る、その他讀賣新聞が名人本因坊秀哉
と吳清源五段と對局せしめ、東京時事
新報が木谷六段と吳五段の三番碁を行
したのも、ともに特筆に値するもの
である

三二四

日本棋院

日本棋院はその設立とともに諸種の
規定を設け、東京に於て十、十一月、
三、四月の春秋二回専屬棋士を甲、乙
の二組に分つて大手合せを行はしめ、
その成績により嚴重なる審査によつて
昇段せしめるが、また地方棋士の便と
一層斯道發達に裨益するため大阪市東
區北濱一丁目日本棋院關西支部におい
ても東京棋院本部と同一の規定の下に
昭和九年から五、六月、十二、一月の
夏冬に大手合せを行ふことになり、五、
六の兩月にわたつて最初の關西支部大
手合せを行つた

日本棋院職員

總裁 伯耆野
伸顯 ▲副總裁 男爵大倉喜七郎 ▲理
事 男爵松岡均平、法博渡邊鐵藏、
土方久敏、各務謙吉、古島一雄、沼
間敏朗、林幾太郎、高杉晋、鑄谷正
輔 ▲監事 高橋謙進、岩田宙造、八
幡忠助 ▲幹事編輯長 安永一 ▲審査
役 本因坊秀哉、岩佐睦、鈴木爲次
郎、瀬越憲作、加藤信、宮坂家一、
岩本薫、小野千代太郎、林有太郎 ▲關
西支部役員 田村嘉平、久保松勝喜
代、木村廣造、光原伊太郎、山口實石

高 段 者

- 九段 名人本因坊秀哉
七段 廣瀬平次郎、岩佐睦、鈴木爲
次郎、瀬越憲作、加藤信、稻垣日吉
六段 田村嘉平、久保松勝喜代、小
野田千代太郎、宮坂家一、岩本薫、
木村廣造、光原伊太郎、林有太郎、
木谷實
五段 喜多文子、福田正義、村島直
紀、前田陳齋、齋原正美、吳清源、
長谷川章、橋本宇太郎、井上孝平、
和久井太三郎、山口實石、關山利一、
細川千伎

日本棋院級授與規定

關基の品位に相當する段、級免許を希
望せらるゝ方は本院に來られて試験手
合せをなされた事、但し本院棋士又
は本院の免狀を有する者の紹介を要し
ます ▲遠隔の地若くは業務都合で前
項の手續を履むことが出来ない場合に
は有段者と手合せをなされた棋譜に自ら
相當と信ぜらるゝ段、級の申込をなさ
れても差支ありません ▲試験手合せは
棋譜審査の必要なしと認めたる場合は
前項に依らず本院有段者の推薦に依り
授與することがあります ▲段は各段階
を越えて八段又は昇段することは出来

棋界の新傾向

ません、例へば無段者が直に二段以上
に、又初段者が三段以上に昇る事は出
来ません、但し試験手合せの結果實力あ
り認めました時は此の限りではあり
ません 試験は本院五段以上の棋士が致
します ▲前各項の手續に依りて免許の
申込がありました時は本院審査會に於
て相當と認むる品位を定め許否を決し
ます ▲段級の差は左の通りであります
一級上り九級迄は其の品差一子であり
ます、例へば九級は八級に先七級は二
子で一級は初段に先五級は一級に四子
であるが如きであります ▲免許は無料
であります ▲級を申請するとして金五円
(送料を含む)を申請します ▲本院より
段級の免許を受けたる者は本院の會員
に加入する義務を有す ▲本院より段級
の免許を受けたる者は免許料前に三ヶ
年分の會費を前納するものとす ▲受験
料、棋譜審査料は左の通りであります
(受験料初段以上一局金廿円、一級以
下一局金十円、棋譜審査料初段以上一
局金十円、一級以下一局金五円)

日本棋院有段者數(昭和八年末)

- 九段一人 ▲七段六人 ▲六段八人 ▲五段
一三人 ▲四段五七人 ▲三段一六二人 ▲
二段二三人 ▲初段一、一四五人

Table with columns for rank (初段 to 九段) and number of players (e.g., 初段 一人, 二段 六人, etc.).

手合制限時間

Table showing time limits for different ranks and match types (e.g., 初段、二段 十二時間, 三、四段 十六時間, etc.).

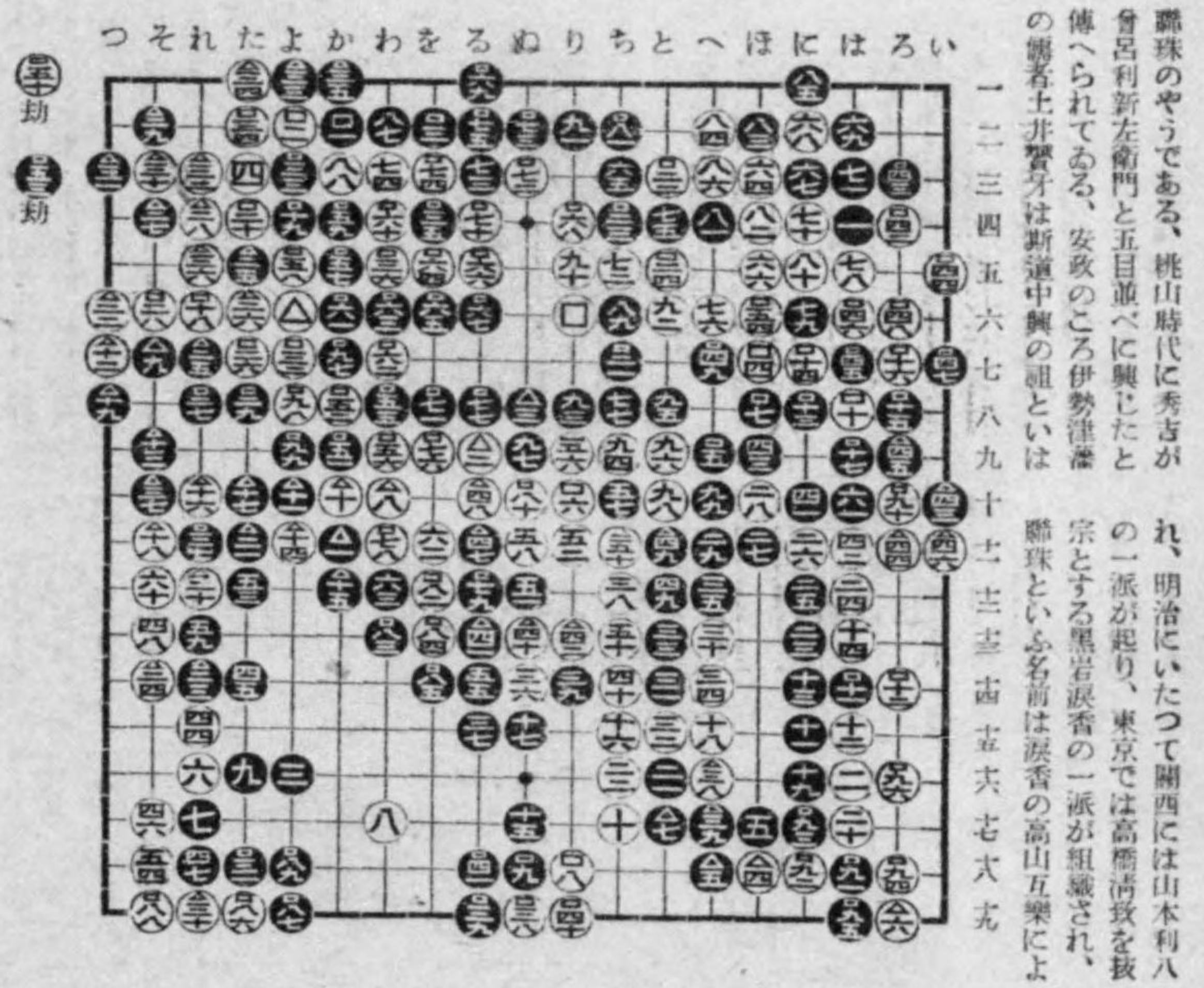
五先 白番 黒番 白番 黒番 白番 黒番 白番 黒番 白番 黒番  
 先相先 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下  
 先二先 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下  
 二子 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下  
 二二三 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下 手上下

表 點 採

棋正社(東京)  
 八段 雁金準一、高部道平▲六段  
 都谷森逸郎  
 井門派(大阪市東淀川區十三東之町)  
 七段 井上因碩▲五段 池上清、秋山民五郎

聯珠

關基が盛んになるにつれて聯珠もまた日にファンを増してゐる、古書に「格五」といふ文字が見えるのが今日の



つて與へられたもので、その統率する聯珠社が斯道今日の隆盛に與つて力をつたといへる、その後大阪に中央聯珠社、東京に聯珠同盟社、名古屋に東海聯珠社等が創立された

聯珠團體

- 聯珠社(東京市牛込區市ヶ谷台町一)  
 顧問 高木樂山▲理事長 平岩米吉  
 中央聯珠社(大阪市港區東田中町二ノ一二二)  
 顧問 久保松機山▲理事長 富森信男
- 聯珠同盟社(東京市下谷區下棋岸町九五)  
 社長 山下部放嗣▲理事長 植沼源治
- 東海聯珠社(名古屋市中區千種九反田三二)  
 社長 淺野珠堂▲理事長 服部寅雄
- 名人 高段者  
 高木樂山

八段 久保松機山、高橋清致、高橋美山、星野素秋、山下部放嗣、木村弘石  
 七段 平岩米吉、浮島賢之助、吉江可雲、高須吾秀、富森信男、阪田嘉善、植沼源治、長瀬政吉、淺野珠堂、鈴木梅石、雲柴大康

六段 小日向梅軒、清水吾石、森附牛、田島樂水、小林榮博、矢野定三、深井一和、田中素月、今井樂堂、須田吾信、井澤半次郎、堀江靜山、和田華水、河合龍雄、興石友義、野口茂、永田富次郎、榎本玉光、五十嵐忠雄、高田春山、鈴木勝水、松丸徹

五段 淺井九石、柏原鐵珠、倉持秀峰、萩原吾師、中村吾秀、齋藤龍石、磯田楓葉、山口親石、堀愛石、加納健美、大井五祥、田島美石、森鷗亭、今井田珠實、小川信石、横田貞直、石、奥村隆次郎、山内花堂、三里小阿、新宮珠風、土橋仙之助

江澤實二郎、萬栢亭、田幡靜時、越智紫電、岡田梅芳、笹部池石、車川彰石、堀口勝治、村田淺次郎、加藤好石、足立一閃、服部寅雄、竹村有節、平井寅之助、高崎可眞、島田旭暉、三保谷南雲、坂東陽月、關口吾秋、寺田利山、田邊初太郎

賣立時代

去る昭和四年の好況を最後として翌五年から七年まで三年間の雌伏を余儀なくさせられた關西の書畫骨董賣立入札は八年に入つて俄然活氣を呈し大阪、京都兩美術クラブで行はれた入札賣立高は大阪の約五百万円、京都の約二百八十万円合計七百八十万円となり昭和五年の二百五十万円、六年の二百万円、七年の三百六十万円に比して約二倍弱乃至四倍の激増を見せた尤も近年での大好況といはれた昭和四年の大阪の五百六十万円、京都の二百四十万円合計八百万円には廿万円不足はあるが、八年の入札賣立高のほかに兩美術クラブ

賣立時代

が表面上干與せぬ古美術商組合の交換名義その他を加へれば關西八年の實際總賣立高は優に一千万円に上ると見られ、財界いまだ非常時時代にこの盛況を見せたことは一の驚異と見られてゐる  
 新年初頭伊丹の小西家の五十二万円をスタートに六月には例の双軒魔鬼集第一回二百七十万円の大入札が行はれ、下半期には十月行はれた福山藤井家の八十三万円、十一月山呂家の卅万円以下みなそれれ、相當な成績を示した、今日の財界からすればまさに驚異的好況で、これは金利安の採算上「金から物へ」の意識が強く働いた結果と見られてゐる

古美術品購買力の上から關東と關西とを比較すると關西側が一頭地を抜き、需要層の根本觀念にも方法にも違つたところが多い、關東側では小遣錢の余裕で買ふのに關西側は資産の内から購ひ、もとより美術愛好心から買はれるのだが關西の需要者には多く營利事業並みの投資物としての採算意識が盛みられる、關西側では多く永い將來を見透して値上りを豫想されるものが選擇され、従つて關西側の收藏品は高くならなければ賣らない、需要者も營業者も關東側に比して腰の強いも當然で、この點關東側は關西側に一籌を輪してゐる需要の種類から關東と關西とを對

照すると多少の例外はあるが専ら關東側に喜ばれるものは古書、古筆物、墨蹟で、關西側では円山、四條の寫生派と文人畫が賣られる、尤も關西といつて南畫系統のものは大阪で持てはやされるが京都では余り受けない、茶器は關の東西を問はず大流行で毎回高値のものが賣れる、しかし茶道の關係から千家裏表のものは關西一表流が大阪、裏流が京都一で賣行き、關東ではいはゆる大名手前他流のものも賣れる、名物ものは東西とも高い、煎茶器は全國第一の煎茶會昌隆社をもつだけ大阪が全國一だ南畫系のもので大阪で優位を占めるのめからした關係もあらう

將棋

歴代名人 (1)大橋宗桂(2)大橋宗古(3)伊藤宗看(4)大橋宗桂(5)伊藤宗印(6)大橋宗興(7)伊藤宗看(8)大橋宗桂(9)大橋宗英(10)伊藤宗看(11)伊藤宗印(12)小野五平(13)關根金次郎(贈名人)七世名人宗看弟伊藤宗看【棋聖】天野宗歩(幕末の人七段、九世名人大橋宗英とともに近代將棋の父母と稱せらる)

重なる現代棋客

【名人】關根金次郎【大阪名人】坂田三吉【八段】土居市太郎、大崎熊雄、金島一郎、花田長太郎、木見金治郎、木村義雄、金子五郎、早川隆敏【七段】溝呂木光治、山本権郎、宮松三郎、神田辰之助、小泉繁吉、萩原淳、齋藤銀次郎、渡邊東一【六段】石井秀吉、藤内金吾、飯塚勘一郎、寺田梅吉、平野信助、村上眞一、山北三郎【五段】高橋其木、高濱作藏、中井捨吉、小林慶之助、林田竹松、小笹吉次郎、終吉之助、澁川奈良吉、奥坂金次郎、加藤竹次郎、大野源一、宮田巳之助、坂口允彦、塚田

正夫、建部和歌夫

各新聞社大手合と優勝者

大毎 東日十四大家勝將棋(土居八段六勝、金子八段五勝) 東日杯争奪棋戦、東西對抗戦▲大朝第一回朝日大棋戦、東西臨時大棋戦(東京軍勝)春季東西大棋戦(東西引分)▲東朝高級棋戦(木村八段五勝)技研棋戦(木村八段勝)新進棋士トーナメント(塚田五段勝)▲時事八段リーグ戦(木村八段勝)高段勝権棋戦▲報知東西争奪戦(花田八段九勝、金子八段五勝、小泉七段七勝)▲讀賣平手三番戦▲國民六段選手権争奪戦、四五段敗退争奪戦(坂口五段五勝)▲都高段者争奪戦、青年リーグ戦(市川四段勝)

東西棋界の融合

坂田三吉氏名人自稱宣言以來十三年間結ばれて解けなかつた大阪朝日派と日本將棋聯盟派の確執は昭和八年夏坂田氏の引退を契機とし、東京、大阪兩放送局の勸説肝煎の下に遂に解消され、自今兩派の手合を復活することとなつた

ラフ才放逐將棋

八年七月高段手合平手先番勝木村八段負土居八段▲九年一月東西手合香落番勝木村八段負神田七段、平手番勝神田七段負木村八

段▲同四月三都對局新進勝技戰大野五段一勝一引分、坂口五段一勝一敗、加藤五段一引分一敗

棋界

現代棋界は新聞將棋の隆盛に伴ひ、名棋士雲のごとく輩出し未曾有の盛觀を呈してゐる、各高段棋士なかんづく八段級の實力は近時とみに充實精妙の域に達し、老練の天才土居八段、常勝軍木村八段、實戰研究の權威花田、金子兩八段らを中心とした決戦勝敗の跡は最高の興味と人氣を喚んでゐる

傾向

最近の平手將棋は、本來の先手の利益を疑問とし、先手方の一見後手方の如き守勢と見ゆる指方が盛に行はれる、これは棋士の實力充實のため、古來の定法たる「先手絕對攻勢」では成果を収め得ざるによるもので、この結果自然的傾向として、定跡墨守の指方や、廢れ、地力によつて勝つ所謂「力指し」が著しく盛頭し而してこの風潮は次第に香落將棋にもおよんで來た

手合割割の變更

近來定跡の研究が高度に發達し、専門棋士間では大駒落(飛、角落)は下手方必勝となつた結果、今回日本將棋聯盟では古來の規

定を變更し、角落を五段差(従來四段差)飛落を七段差(従來六段差)に改訂した

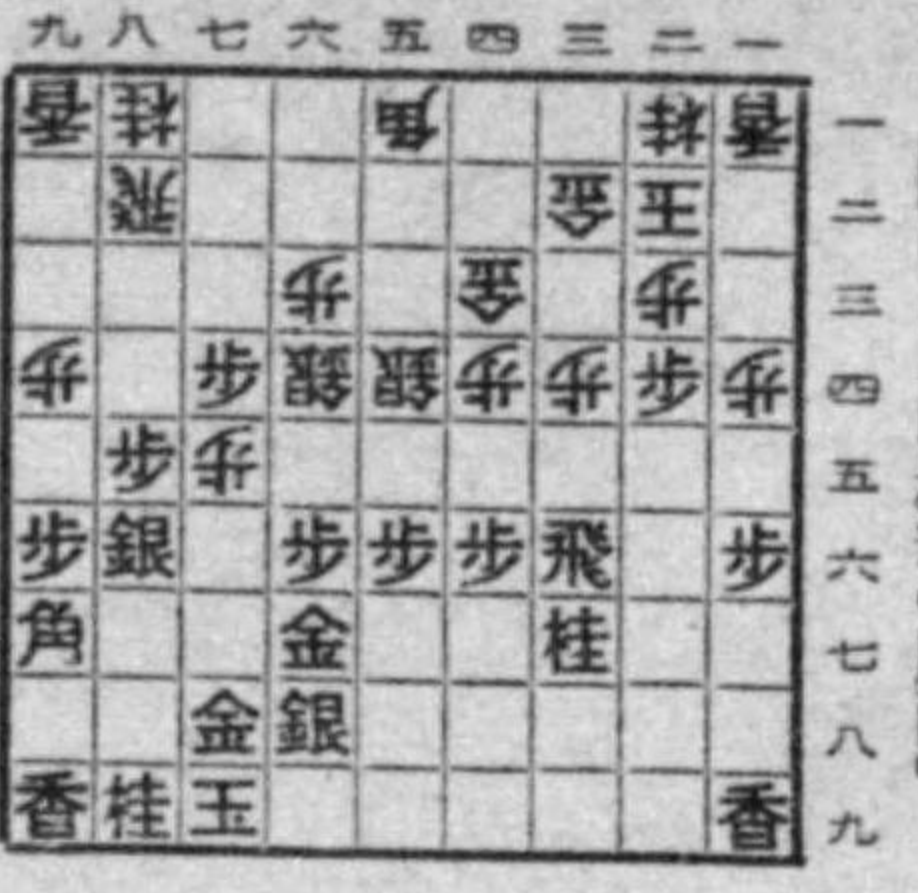
代表的棋譜

大毎・東日の主催した一年間の代表的棋譜左の如し

十四大家勝將棋

(平手) 勝○花田八段、先▲齋藤七段  
●二六歩○八四歩●二五歩○三二金▲  
七八金○八五歩●六九玉○四一玉●一  
六歩○六二銀▲四八銀○五四歩●五六  
歩○三四歩●七六歩○五三銀▲五八金  
○七四歩●二四歩○同歩●同飛○二三  
歩●二八飛○一四歩●五七銀○八六歩  
●同歩○同飛●八七歩○八二飛●三六  
歩○六四銀●六六歩○七五歩●六七金  
右○七六歩●同金○七五歩●七七金○  
四二銀●六七金寄○五三銀上●六八銀  
上○五二金●四六歩○四四歩●九六歩  
○四三金右●七七銀○三三金●八六銀  
○三一玉●七九玉○七二飛●二六飛○  
五五歩●同歩○同銀●五六歩○六四銀  
●三七桂○五四銀●三五歩○五八歩●  
六八銀○二四角●七四歩○三五角●三  
六飛○五九歩成●同銀○二四角●二五

歩○三三金●六八銀○八五歩●七七銀  
○七四飛●八六歩○八四飛●八五歩○  
同飛●九七角○八二飛●七四歩○五一  
角●八六銀○二二玉●八五歩○九四歩  
●二四歩



【圖は二四歩迄の局面】  
一 二 三 四 五 六 七 八 九  
九 八 七 六 五 四 三 二 一  
▲王 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲銀 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲金 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲馬 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲龍 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲飛 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲香 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲桂 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲角 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲兵 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲卒 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲小 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
▲大 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩

持駒(花田) 歩歩歩  
(齋藤) ナシ

成●八八玉○七七成銀●同銀引○三  
三金右●同桂成○同桂●四三金○一  
金●三九飛○七六桂●九七五○六一角  
引●一五歩○同歩●一四歩○同金●一  
五香○一三玉●一六銀○二四玉●一四  
香○一五歩●一二香成○一六歩●七六  
銀○一七歩成●六五銀○九五角●八六  
金打○七三銀●九五歩○二八角成●五  
九飛○七一飛●八三桂○七二飛●五  
飛成○四七角●五六銀○六九角成●七  
九金○九五香●八八玉○八七馬●同玉  
○七六金●同金○同歩●五七角○一五  
五●四八角○一六玉●八一龍○七七銀  
●同桂○同歩成●同銀○八六歩●同玉  
○九四桂●九五玉○七七飛成●二九桂  
○二七●一八歩○一二香●一龍○  
七三馬●八四銀○八六銀●九四玉○九  
三歩近●百九十八手也、花田8時間34  
分、齋藤10時間35分【評】精根を傾倒  
した大熱戦、先手一六銀は悪い、直に  
一四香、同玉、一六歩、二四角、四四  
銀、同角なら三四飛でよろしい、續い  
て一二香成は勝を逸す、二七銀で必勝  
であつた



持駒(花田) 金歩  
(木村) 歩歩

八銀○八四歩●七八金○八五歩●二四  
歩○同歩●同飛○二三歩●三四飛○四  
一玉●七七金○五三銀●三六飛○四二  
銀上●二六飛○七四歩●二八飛○六四  
銀●五七銀○五五歩●同歩○同銀●五  
六歩○六四銀●六六歩○五三銀上●五  
八金○四四銀●六七金上○三一角●六  
九玉○七五歩●七八銀○五二金●一六  
歩○九四歩●九六歩○七六歩●同金直  
○七五銀●七四歩○七六銀●同金○八  
四飛●七五銀○八三飛●五八玉○一四  
歩●四六歩○四二角●六五歩○五五歩

三二九

(平手) 勝○金子八段、先●花田八段  
七六歩○三四歩●二六歩○五四歩●  
五六歩○六一銀●二五歩○五三銀●四  
八銀○三二金●五七銀○八四歩●二四  
歩○同歩●同飛○八五歩●七八金○二  
三歩●二八飛○八六歩●同歩○同飛  
●八七歩○八一飛●六九五玉○四一玉  
●三六歩○九四歩●一六歩○一四歩●  
九六歩○五二金●四六銀○七四歩●  
五五歩○同歩●同銀○五四歩●四六銀  
○四四歩●三五歩○四五歩●同銀○  
八五飛●四六歩○七五歩



持駒(金子) 歩歩歩  
花田 歩歩歩

【圖は〇七五歩迄の局面】

同歩○八六歩●同歩○同飛●一六飛  
○八四飛●八七歩○五五歩●五八金○  
四三金右●三四歩○四四銀●同銀○同  
角●三六飛○五六歩●五五銀○五七歩  
成●同金○五五角●同角○五四飛●九  
一角成○五七飛成●五九香○五八歩●  
同香○四七銀●六八金○五八銀成●同  
金○二七龍●一八角○三六龍●同角○  
三九飛●六八玉○三六飛成●八一馬○  
五二香●七一飛○五一銀●五三歩○同  
金●六二銀○四二銀左●四四銀○三八  
龍●五三桂成○同香●六三馬○五二金  
●同馬○同玉●五三銀成○同銀●五五  
香○七六桂●七七玉○五八龍●六三金  
○同玉●六一飛成○七三玉●七四金○  
八二玉●五三香成○五九角迄百十四手  
也、金子10時間18分、花田8時間28分  
【評】實戦の新機軸をなす名局、後手  
五二香恋し、五二金と打ち七一飛、五  
一と凌げば防戦効果あり、先手五三銀  
成は勝を逸する誤算、六一飛成、四三  
玉、四四金、同玉、四五金、四三玉、五三  
銀成、同銀、五一龍で必勝疑ひない

東日杯争奪棋戦  
(平手) 先勝●塚田五段、○建部五段

●二五歩○二金●七五歩○八四歩●  
七八金○八五歩●二四歩○同歩●同飛  
○二三歩●二六飛○六二銀●七六歩○  
八六歩●同歩○同飛●八七歩○八二飛  
●四八銀○五四歩●六九五玉○五三銀●  
五六歩○四一玉●五八金○七四歩●三  
六歩○三四歩●五七銀○四四銀●四六  
歩○五五歩●四七金○五六歩●同銀○  
五二飛●六八銀○四二銀●六六歩○五  
三銀上●六七銀引○五五歩●三七桂○  
五四銀●七九玉○三三角



持駒(建部) 歩歩歩  
塚田 歩歩歩

【圖は〇三三角迄の局面】

一六歩○五一角●一五歩○七三角●  
九六歩○八二飛●九七角○六二角●二  
八飛○九四歩●八六角○八五歩●七七  
角○六四歩●四五歩○三三銀●四六金  
○八三飛●五八飛○五三飛●八六歩○  
八三飛●八五歩○同飛●八七歩○八三  
飛●八六角○二六角●四七金○六三飛  
●五六歩○同歩●同銀○八五歩●九七  
角○九五歩●五五歩○九六歩●八八角  
○九七歩成●同香○九六歩●同香○同  
香●九七歩○四六香●同金○三七角成  
●四七金○一九馬●五四歩○九七香成  
●同桂○八六歩●二二歩○同銀●六五  
歩○同歩●六四歩○同馬●五五銀直○  
八七歩成●六四銀○八八と●同金○六  
四飛●五三歩成○五二歩●五五角○八  
七歩●同金○七八銀●同玉○六六桂●  
七七玉○五八桂成●四二香○同金●同  
と○同玉●六四角○五三香●五四銀○  
六六角●八六玉○六八成桂●四四銀○  
八三香●八五歩○四四歩●五三角成迄  
百卅七手也、塚田8時間54分、建部8  
時間55分【評】新人稀有の力作、後手  
三三角以下は運用を誤る、これにて自  
然の負となつた、三一角と引き次に八  
二飛と戻し八筋より事を謀る方が六一  
金の處理もよく方針に適す

### 新しい遊び

#### 卓上テツキゴルフ

デツキで楽しむものを机上への應用で  
ある。  
まづ同人数のチームを二つ作り、  
各チームの円盤を赤なり、青なりに定  
めてわかつ、そこで遊戯目標の總得點  
を協定して後、賽とかジャンケンによ  
つて順番を決める、そして競技盤上の  
出發點の手前任意の場所へそのチーム  
所屬の円盤を置き、敵味方の選手が交  
代しつゝ、シヨールによつて競技盤上の  
數字表の方へその円盤を押しやる(こ  
の際各円盤は一回だけ押し)全部の円  
盤が済むまで手を離れてはならない、  
數字表の手前の線に達しない円盤はな  
ほ一度出發點に繰返し持歸ることがで  
きる、得點は全部の円盤が済んだ後に  
円盤の置かれた數字表の點數の合計に  
よつて計算される、即ち最初に百點(協  
定した點數を百點とすれば)に達した  
チームが優勝となるのである、しかし  
協定した得點に恰度ピッタリ合はなく  
てはためである、玉突の場合と同様、  
得點が協定した點數を超過したらその  
選手得點は無効といふわけである、

#### 新しい遊び

プラスとマイナスがあつて總決算に得  
點を加へられたり、差引かれたりする  
ところにも興味が深い、なほ二つ以上  
の數字に跨つた場合は少い點數により  
計算されるけれど、申合せでは多くて  
もよい

#### テーブル・ラグビー・ゲーム

このゲームは大體競技場をそのまゝ、  
眞似して作つたものである、スクラム、  
ラインアウト、タックル、その活動は  
金色の球で示される、遊び方はA Bの  
二種で、Aは時間で競技するわけだ、  
使用玉は一方の側から決めて、それよ  
り時間を定める(前半三分、後半三分  
ハーフタイム一分位)、レフエリーは競  
技に参加しない見物人がこれに當る  
ラグビー競技のごとく作つたものだ  
からフオワード(前衛)、ハーフバック  
(前後衛連絡係)、スリクオーター・パ  
ック(後衛)、フルバック(最後防衛)な  
どがちゃん出てゐる  
タックル、ラインアウト、スクラム  
の相手方の穴へ落ちたら球を奪はれた  
ことになり交代する、どこへも入らず  
に下の方へ落ちた球は何回でも續いて

競技が行へる(また自分の穴へ落ちた  
のも同様)途中に止まり、また元の所  
へ返つた球はタックル同様相手方に球  
を奪はれたことになる、得點はトイ  
三點、ゴール五點、ドロップゴール四  
點、ペナルティゴール三點

#### ニイナア・ゲーム

ロンドンで流行つた極めて単純なゲ  
ーム、ルールは大體次の通り  
(一)ゲームテーブルは平らに置く  
(二)赤玉を中央の円内におき、ニツケ  
ル玉は糸のそばに置く  
(三)ニツケル玉を人差指と中指との先  
きで弓をひくように手前に引いて離  
すと玉は弾かれて前進する  
(四)ゲームは必ずニツケル玉を赤玉に  
一度當て、から初める、赤玉に當つ  
た後でなければ穴に入つても得點を  
得られない  
(五)ホールに入つた赤玉の得點は倍に  
數へ、再びサークル内に戻してゲー  
ムをつゞける  
(六)同じホールに一個以上の玉が入つ  
ても一個分の得點しか數へられない  
また玉はホールへ完全に入らなけれ  
ば得點にならない

#### サーキット・ゲーム

このゲームは大人、子供の別なく、  
熱練と否にか、はらずみんなが愉快  
に遊ばれ、その競技がどれだけやつて  
も面白いものである、また普通撞球に  
もこの技術を應用することができると  
で大人にとつては興味が一層深い  
競技の方法は二人が円盤に相對し、  
各自の持球を一個づつ、撞出點に置き、  
撞球棒で撞き出し、盤面に散在した球  
室へ轉けこませ、その點數を争ふとい  
ふのが大體で、競技は四人以上數人が  
紅白に別れてやることも出来る  
競技規定——金色球室 盤面中心の金  
色球室を「プラス」五十點▲水色球室  
金色球室の周圍にある水色球室四個

### 新しい遊び

を各ブラス十點▲赤色球室 金色球室の周圍にある赤色球室四個を各マインス五點▲緑色球室 盤面の兩端にある一群八個づつ計十六個の緑色球室を各ブラス五點づつ▲エート・グリーン 緑色室全部を占據したら一百點▲ワン・スリー 右側の盤の第一列三個を占據したら三十點、二列も同様三十點▲オールマイナス 赤色室全部を占據したらマイナス雙じてブラス五十點▲エート 赤四個水色四個全部占據は百點

### チエツカー

チエツカーは一名ドロートといふ、歐米では室内競技品としては随一のものとせられてゐる、その競技法は極めて簡單で用具としては赤と黒の市松模様のチエツカー盤と赤黒の円形駒各十二個を用ひる

競技法はまづ二人の競技者が盤を中に對坐する、赤黒決定の方法として一人が赤黒の駒を隠し、他方に選ばせる、競技者は各自の左側に黒の駒が出来るように盤を置き、自分の側から三列目まで黒の駒にだけ駒を並べ、黒駒は常に先攻となつて駒をすゝめる、駒は必ず斜右左に、すなはち黒の駒劃

だけに進める、競技の初めには駒は一團に一團劃づつ、前方の空いた區劃(二方)へ進める、相手の駒の一つ向う側に空いた區劃があつた場合、相手の駒を飛び越えたと同時に取除く、けれども二個續いて並んでゐたら飛越すことはできない、以上の如く駒を進めて行き、相手の駒を全然動けないように封じるか、または相手の駒を全部取除いてしまつた場合に勝となる、チエツカーにはキチンと定石があることも忘れ

### グレイハウンド・レー

### ス・ゲーム

普通ドッグ・レース(犬の競技)といふもの、まづドッグ・ハウスをラーパーとか戸板をかへした上に、或は張板など、そのほか何處へでもい、針金製クリップで留める(臺の上ならばピンとか釘で止める)糸の端にとりつけた輪を窓口の針金に連鎖して十分水平に間隔的に引くのである

競技上の規定——(一)競技中系に手を觸れぬこと(二)犬は各犬スタート・ラインに沿つて真直に置くこと(三)競技者はそれ／＼希望の犬を選

### 三三三

んで持犬にすること(四)スナーキン・グ・シート(番檯台)はドッグ・ハウスの前部に置くこと(五)競技中犬が倒れたら、その犬に賭けてゐる人は負け

といふような簡單なゲームである、なほ單勝式は最初にゴールインした犬が勝犬で、四頭で四人が競技した場合には負犬の三人分を勝犬が全部取得する、複勝式の場合は競技者は互に同等のものを出して景品とする、各自が犬を選んで持犬を決定する、そこで第一着が三分の二を收得し、二着犬が残りをとるといふわけだ、もし見物人があつたら希望によりどの犬にでも賭けられるから何人あつても面白い

### 交通遊戯

例のゴーストツブを利用した遊び、遊戯者は二人乃至四人であるが、四人の場合が一等愉快だ、まづ遊戯者は三個の同色の駒を探り同色出發點、つまり人道、車道、軌道と書かれたところに置いて順番を決定

### フォア・エース・パズル

外出の折など、ポケットに四つの賽を忍ばせ、乗物の中でやつて見るのもいい、素晴らしく簡單で一人でも出来る遊び、四個の賽にはスピード、ハート、ダイヤ、クラブのランプが彫まれ、それを四つの面とも同じものを重ねないようにつなぐといふのである、使用法第一は順序はどうでもいい、四個の面に變つたものが現はれるよう

駒を進めるわけにはゆかない

停止線を過ぎた各駒は桃色の丸のところに止つた場合は、その示された矢の方向に従つて左または右へコースを取らなければならない

駒は進行の途上他の駒を追い越すことは決して許されない、必ず一つ手前に止ること、もし他の駒のあるところに止るとなれば衝突の際の罰によつて停止線にまで戻らねばならぬ、交叉點で衝突した場合は出發點まで逆戻り、衝突されたものは停止線まで戻る、そして双方共一回休みとなる、第一に各自の駒全部を家、ガレージ、車庫などに入れたものが優勝者となるといふ、子供らしい家庭の遊戯である

に並べて見る、それをどの面から見ても同じものがないようにするのは容易でない、さうかうするうちに眠氣を催す、それまでには四十八時間はかかるといふ厄介な代物である

### ラミー牌

輸入品であるが日本人にも愉快なゲームである、このゲームは二人でも遊べるが普通は三人以上で競技することになつてゐる(大體に白牌とジョーカー牌は使はないで百四個で遊ぶ)、まづ百四個の牌を全部裏向けにしてよく混ぜ合せ、それを二段に積み重ねる、ジャンケンで親を決める、親は自分の前に積んだ右端の一重ね即ち二個の牌をとり、その右隣の人が親の取つた左側の二個をとり、順次に廻る、各自八個

づゝとり残りはそのまゝにして置く、最後の重ねの上の牌一個を表向きに裏にさらし、その下の一個を隣の末尾の上にのせる(以上戦術準備)

戦ひは親から始める、場に表向きに置いた牌が自分に都合のよい牌ならばそれを取つて自分の牌と交換して場にさらす、もし思はしくない場合はメクリ牌(裏向きに並べてある牌)一個と自分のとを交換する、それが好ましくなければ交換せなくてもよい、そのまゝ、場にさらした牌の隣りに矢張り表向けに並べておく、次は右隣の人が同じ方法でやる、このゲームは自分の牌の點數を出来る限り少くすることが肝腎である、ところが同種の連續牌三個以上なるべく多く、同種の牌三個以上なるべく多数なれば、その點數の如何にかかはらず計算より除外し零となる、百點以上は失格、最後に残る者が優勝

### リバーン(源平棋)

二人の競技者が盤を中心に対局し、各自三十二個の駒を持つ、盤は六十四の目を有し、駒は片面赤、片面白となつてゐる、最初競技者は各自の色を定め、まづ赤白二個づつを中央の目に置く、それから先攻を定め、交互に駒を

置いて勝負を進行する、競技の目的は出来る限り多くの敵の駒を殺し味方の駒としてゆくのである、その殺し方は敵の駒を味方の駒ではさんでゆくのである、はさまれたら裏返して味方の駒にする、殺すには縦でも横でも斜でもよろしい、殺す敵の駒は一個に限らず何個でも多い方が得策だ、この興味は日本に古くからあるハサミ將棋といつしよである、敵を殺せぬ場合は敵に願を譲らねばならぬ、一個でも敵を殺せる場合はどんなに不得策でも駒を置かねばならぬ、とにかく敵を殺す場合以外は駒を置かない、全部が殺されたら負けといふことになる、全部の駒を置き終つてから駒の數の多い方が勝となり、少い方が先方に對し何程負けかといふところで腕は決められる、極めて簡單なようではな／＼頭を使ふので面白いとされてゐる

### チャブロタン

これは四角の小さな箱の中に1から15までの駒を入れ、一つの駒の場所だけ空けたもので、その駒を上下左右に動かして一定の順序に並べて遊ぶものである、駒の並べ方は種々變つた方法があるけれども大體に自分で思ひのま

まに苦心する方がよろしい、一人でやる時は時計を見てレコードを取り「最初は十分か、つたが二度目には五分足らずで成功した」などと罪のない遊びである、數人でやる場合はめい／＼「チャブロタン一個づつ」を持ち、競技開始前に十五の駒の位置を一致させ、隨意の組合せを協定して「サアはじめた」といふことから、早く協定の組合せを作るのが勝となるわけである、もし一個ならば數人が各自のレコードを記して、レコード・ホルダーなることを自慢にする

### ダンスの常識

#### ダンスの種類

現在一般に行はれてゐる社交ダンスの種類は  
(一)フォックス・トロット(二)ブルース(三)ウォルツ(四)タンゴ

の四種類に大別される、そして右の他に例へば「フォックス・トロット」にスロー・フォックス・トロットとクイック・ステツプ、ルムバ・トロット、ミドウェイ・リズム

### ダンスの常識

ム「ウォルツ」にヘヂテーシヨン。ウォルツ、モダン・ウォルツ、スゲータス・ウォルツ「タンゴ」にアルゼンチン・タンゴとフレンチ・タンゴ(モダン・タンゴ)があるように時代の要求によつて次々と新しいステップが考案されてゐるが、大體に前記のスロー・トロツト、ツイツク・ステツプ、モダン・ウォルツ、モダン・タンゴ、ブルースの五種を心得て居れば何處へ出ても決して恥をかくようなことはない、今右の區別を判り易く表示せば別表のようになる

ダンスの基本知識

【ホールド】男女全く自然に向ひ合つて直立し、男子は左手の肘を

Table with 2 columns: Dance Name (e.g., スロー・トロツト, ツイツク・ステツプ) and Beat/Tempo (e.g., 1/4, 3/4, 2/4).

樂に上品に曲げて、左肩より少し高い位置で婦人の右掌を男子の指と他の四指との間に軽く握る、そして右手は婦人の腰の上方、背の申程に當て、上體が密着する位にして抱く、婦人は男子の右肩越に前方を眺められる位置で右手の肘を軽く上方に曲げて男子に手と與へる、左手は五指を揃へて男子の右肩に置く

前進の時は重心は常に前足のの上に置き、決して前足は上體よりも前に突き出してはいけない、そして前進の時は踵で床をすつて進みそれから爪先に力を移す、後退の時は爪先で這つて退き、それから踵に力を移すこと、又脚は股より真直ぐに動かし膝を曲げてはいけない

基本ステップ

【歩行】(ウォーク)前進は普通左足からする、兩足は何時も兩膝に擦れ合ふ位に、又膝を曲げぬように注意し、股から真直ぐに踵で床を這つて進む、後退は爪先を床にすつて後方に脚を伸し、上體が動くに連れて踵を床につけ之に身體の重心を移す、以上タイムは各歩共に二拍子を用ふ

【ツイツク・ステツプ】「シヤツセ」ともいふ、開閉開の三步を速速級のリズムによつて行ふもの、即ち一小節四拍子を費してやるので、仕方は所謂「踏み違ひ」であつて、方向によつて前進、後進、側行の區別がある

【右廻り】左足で終るステップに續けられるもので、十拍子、二小節半で緩速緩級のリズムで、一、二で右足を右向に直角に出し三で左足を再び直角即ち最初と逆の方向に向けて踏み出し、四で右足を一步後退、五、六で左足を少し左寄りに後退、七、八で右足を

全國ダンスホールとダンスの數

(昭和九年五月末現在各警察署調査)

Table listing dance halls and the number of dancers across various prefectures like 東京府, 京都府, 神奈川縣, etc.

り易いといはれてゐる、基本的フイギユアは「歩行」「シヤツセ」「廻轉」である

(四)ウォルツ

この踊りは社交ダンス中最も古い歴史のもので、現在のモダン・ウォルツまで幾多の變遷を経てテンポも六十小節位から三十六節までに緩くなつて來た、そして余程

ブヤ廻轉には緩速緩級と緩歩は二拍子、速歩は一拍子を用ひる、基本的フイギユアは「歩行」「スリー・ステツプ」「フエザー・ステツプ」「右廻り」「左廻り」「逆ウエーブ」の六種である

(二)ツイツク・ステツプ

この踊りは幾分テンポが速く一分間五十二小節位奏せられる、その輕快で愉快なリズムは踊るものをして華やかな情緒にひたらしめる、基本的フイギユアは「歩行」「ツイツク・ステツプ」「右廻り」「左廻り」「四分の一廻り」「ジグザグ」「クロス・シヤツセ」等であるが何れも以上全部を覚えなければ踊れぬ譯ではない、一二は缺けても構はない

(三)ブルース

トロツトと同様四分の四拍子であるが、スロー・トロツトよりもさらに緩かで、アクセントも一、三よりも二、四の方についてみてテンポが緩慢なため初心者にも踊

左足の側に引寄せ直ちに重心を右踵に移しそのまゝ右廻り、左足は浮いたまゝに廻り九、十でその左足を前進する

(一)スロー・トロツト

踊りの基調は歩行とスリー・ステツプで、他のステツプはこの二つの組合せか、變型であり、音楽は四分の四拍子の緩いもので、リズムは強弱長短があつても伴奏は強弱強弱と正しく反復して聞かれる、ステツプの踏出しはこの第一と第三でやるので、歩行には各歩共に二拍子を費し、スリー・ステツ

て第三拍子で必ず兩足を揃へる、但しスリー・ステップの時は揃へない、又この踊に必要なものは「浮揚」で即ち第一歩の終りから爪先で立つて身體を浮上げ、第二歩は浮いたまま、足を運び、第三歩で足を揃へて身體を落すのである

(五) タンゴ

最近のタンゴは所謂モダン・タンゴでアルゼンチン・タンゴは殆ど顧みられない、タンゴの曲は哀調咽ぶが如く情緒纏綿たるもので組方も他のダンスのように兩人正しく向ひ合ふのでなく、互の身體がいつも少し左寄りに位置し、寧ろ男子の右腰が婦人の右腰に近く向ひ合ふ、そして歩行も他のダンスは足を床から離さないが、タンゴは必ず足を床から少し離して歩く、そのフイギユアの主なものは「歩行」プログレッシヴ・サイド・ステップ「左廻り」「サイド・プロムナード」「バック・コルテ」で音楽は四分の二拍子、一拍

子一步を原則とし、歩行以外は一拍子に二歩行く場合がある、即ち速速緩で速歩は一拍子二歩、緩歩は一拍子一步となる、テンポはブルースと同じ位で歩幅が幾分ブルースよりも狭くなる

舞踏團體(括弧内は會長)

- 全日本社交舞踏教師聯盟 (細川 子爵)
- 東京社交舞踏教師會(山田 健二)
- 横濱社交舞踏教師會(高橋 利併)
- 京都社交舞踏教師會(山本 威雄)
- 西日本舞踏教師協會(加藤兵次郎)
- 京都婦人舞踏教師協會 (中川うた子)
- 關西オールド・ボーイ俱樂部 (尼崎ダンスホール内)

カフェと女給

モーラル・レヴオリユ  
ーシオン

内務省ではいはゆる非常時の波に乗つて、これにふさはしい「風紀國策」樹立のために、カフェ、

バー、ダンス・ホール、レヴオリユ等の近代的享樂機關をはじめ、娼妓の自由外出を許可した後の遊廓について、八年度末から全國的に極めて大規模な調査を進めてをり、これによつて従來區々であつた各府縣の取締規則を統一し、また新しい法令を制定しようとしてゐる。これは法規によるモーラル・レヴオリユシヨンの企てで、調査の目標は(一)娼妓の全廢(二)レヴオリユの淨化(三)カフェ、バーの清算にあるといはれてゐる。しかして發生日なほ淺いカフェといふ文化的所産が早くもかうした對象の一つとされたことそれ自體が、その成長の驚くべき躍進ぶりを物語つてをり、社會史的には極めて興味深いことである。

カフェ

わが國のカフェは——これは諸外國の類型的なもの、ニツボン化されたものである——昭和六、七、八年にかけてその黄金時代を現出した。當時カフェ文化といつたや

うな言葉はまことにふさはしく、そのまゝに使用されたものである。映画が、ラヂオが、ヂャーナリズムが、カフェを、女給を、とりあげていつた。黄金時代につくもの、それは爛熟爛廢時代である。自己清算を必然する第二期である。現在がそれであるといへよう、少くともその時代にかゝつたといへよう。

カフェ躍進の跡を統計に見よう。内務省警務課の統計によると昭和四年末から七年末迄の全國におけるカフェ、バーの數と女給の數は次の通りである。

年 度	カフェ	女給數
四年末	不明	三、五九九
五年末	二七、五三三	六、八四〇
六年末	二七、〇四二	七、三二二
七年末	三〇、五六六	八、九四九

フェの中心は東京と大阪である。經營の點、店の特異性を示す點ではむしろ本場は大阪であらう。同じ内務省警務課の統計によると昭和七年末大阪におけるカフェの數は五、四三二軒、女給一六、六六八人で、東京は七、一六六軒に女給二二、六一六人であつた、それが八年末には大阪は六、七一六軒に女給一七、一八二人(大阪府調べ)で東京は一、三九二軒に女給三二、七一九人を擁してゐた(警視廳調べ)但し東京の分はカフェ、バー喫茶店等洋風建物を使用する特別飲食店を一括計上したものであるから、廣い意味にカフェを解釋しても厳密には正しい數字とはいへない。

女 給

若き女性の「女給」としての職業的確立がつひに二三年前から社會學者の眼にも「めざましい事實」として映るやうになつたが、現在では實に九万を超える若き女性が女給といふ名の下に職業婦人とし

カフェと女給

て立つてゐるのが事實なのである。まことにめざましい事實ではある。恐らくは享樂の對象として直接消費機構を構成してゐる女群中最大の量を占めてゐるだらう。女給は、若さと美貌をもちさへすれば未婚、既婚、學歷、前身の何であるを問はず、直に立派な完成品になり得る。之は女給といふ職業のもつ特異性の最大なるもの、一つである。従つて女給は開放的大衆的な職業であり、職場を轉々する流動性をもつてゐる。女給は本質的には雇傭人ではなくカフェ經營の共働者である。カフェといふ營業の本體である。「女給」を少し解剖して見る。昭和九年一月大阪府の統計によると大阪の女給數は一七、一八二人であつた。これについて詳細な調査を行ったものから各項目を拾つてゆく。まづ月収であるが固定給のあるところでは最高四十円最低三元、平均十五円で、チップ制度の所は最高百五十円最低五円、平均卅五円であつた

昭和六年に大原社會問題研究所が實地について調査した當時の統計によると、大阪の女給一人の衣類消費費は一ヶ月廿円から卅五円まで、食費が十円から廿円、住宅費が同じく十円から廿円まで結局彼女ら一ヶ月の生活費は五十五円くらゐの見當であつた。この數字でも前記の月収とは少し開きがある。さらに大阪では昭和八年から各地に運れてやはり女給税を徴収することになつてゐるからこれまたその開きを大きくするだけである。この開きをどうして埋めてゐるか? 「女給商賣を何年しても結局古着が幾つか残るだけです」といふ女給の言葉がこれを説明して呉れる。女給業の資本の一つである衣服の運轉だからうじて補つてゐるといふのである。次に年齢を見ると、十五歳未満一四九、廿歳未満五、六一〇、廿歳から廿五歳まで六、七二二で卅歳以上は僅かに三三八人である。女給の資本はやはり若さである。教育程度では尋小

卒六、三二九、高小卒三、六九九、小學中退一、〇六九、女學校卒六三四、專門學校卒四二二人で女給には教養よりも「女」であることが第一條件である。その前身は家庭から直接飛込んだもの一〇、三三二、女中二、二〇三、デパートガール等店員八三三、女工四三三六、酌婦三五八、藝妓一七六、ダンサー四四、娼妓一八、教師二、その他パス・ガール、結髮生花師匠、交換手、レヴオリユガール、マネキン、家政婦、看護婦等と凡そ女性の職業分野の一切が登場する。配偶者關係では未婚一一、〇五二、有夫一、八二六、離婚者一、五四八、死別者三九六で未婚者が壓倒的に多い。何が彼女を女給に導いた? その動機を聞くと家庭のためが七、八九二、自己の希望四、九六七、雇榮心から八九一、子供を育てるため七二八、愛人のため二二七、誘惑されたもの一一二で學費を得るための三人などは自らこの職業を立派な正業と見てゐるのだ



らう。前記一七、一八二人のうちエロ處分の前科者は二三名に過ぎずリスト級の危険分子も一、〇五〇名に止まる。道学者流の案するほどには性的に大つびらでないことが判る。

以上の解剖所見はカフェの本場ともいふべき大阪での厳密な調査によるものである。各地のそれはかうしたヴァラエティーはもたないまでも、いづれはこれが縮圖であり、凡そ概略を同じうするものと見ていゝだらう。

カフェの新興第二期は、まづ建築その他カフェを構成する静的要素の改善に出発する。次いで要求されるものは動的要素たる女給のこれにふさはしい質的改變である。それは、従来この職業圏に押し寄せてゐた女性群を必然的にある程度までロツク・アウトするだらう。しかしそのために女給といふ職業はより確固たる地位を社会的に獲得することが出来よう(高橋公彦)

ラヂオ聴取十訓

J3DE 宮井宗一郎

一、アンテナ 屋外アンテナは平常主として受信する相手放送局所在地の方向に向つて逆L型に張るのが望ましい、例へば相手放送局が自宅の北方にある所では南北に水平に張り、その北の端から引込みをして受信機に接続するのがよい、しかしこの方向性は受信の場合さう大して影響はないが、高さ長さはなるべく高く長く張る方がよい、家屋内への引込には是非とも避雷針スイッチの取付を忘れてはならぬ、なほアンテナの柱は電燈電力の高電圧線の近くに立てるのは危険だから注意せねばならぬ

二、接地 は銅板に太い線(アンテナ線の二本線位)をハンダづけして近くの井戸の底に沈めるのが最もよい水道管、ガス管も悪くはないが落雷の場合には危険だから止めた方がよい、地下三、四尺程掘下げて木炭等を入れ充分湿氣をふくませ前記銅板を埋めて置く方が安全だ、アンテナでもアースでも引込線をあまりグルグル長く引廻すのはよくない、なるだけ短く且つア

ンテナ、アース線相互間を離して取り付ける

三、受信機の置場所 は出来ることなら振動の少ない所で乾燥した場所を選ぶべきである、とりわけ濕氣の多い所では故障が起り易いから注意せねばならぬ

四、受信機の構成 は普通は三つの部分より成り立つてゐる、Aは(高周波増大部) 到来電波を擴大する部分 Bは(検波部) 高周波電波を低周波電流つまり耳で聴き得る音電流に直す部分、Cは(低周波増大部) 音電流を擴大してスピーカを動かす部分となつてゐる、で近距離用受信機にはAの部分を使つてゐないセットもあるが、遠距離受信には是非ともAの部分の能率のよいものが必要である、多人数に聴かす場合とか廣い場所ですピーカを鳴らす場合にはCの部分に出力の多い球を使はねばならぬ、こんなわけで普通通世間で稱へる何球式といふのを標準にせず、右の三つの部分に分けて自分の適當な受信機を選ぶべきである

五、各局の放送波長といふのは 発射せられる電波の波の長さをいふので、波の波に響へると波長の長いのは

七、雑音の起つた場合

は先づその雑音が外部から入つて来るものか受信機内のかを調べる、アンテナアースを取はずして雑音が止ればセットには故障無く外部からの雑音例へばジヤテルミ電氣、バリカン送電線の故障等である、このやうな時は近所の受信機も同じやうに雑音妨害を受けてゐる筈だから放送局に申告すればよいアンテナ、アースを取去つても未だ雑音が同じ大きさのやうな時は自己のセット内の故障だから最初の真空管(アンテナ引込に接してゐるコイルの次の真空管) から順次取はずしてゆく、そして雑音が止ればその取はずした球の直前に故障があるわけである

八、受信機の故障

の起つた場合で一番多いのは低周波トランスの断線、コンデンサーのパンク、抵抗の不良、真空管のボケ等で、代用部分品が家庭にあれば取換へて見てもよい、しかし故障は非常に多種多様であるから前記のやうに自己のセット内である事さへわかれば全くの素人の方は専門家に見せる方がよい

九、雷の時

は空電のためにガリガリと大きな雑音が入るから、この

やうな時はスイッチを切る方が受信機の爲によい、雷が近づけば早速避雷スイッチを切替へ、また交流受信機なれば電力供給用のセットから出てゐるコード線ぐるみ電線から取はずさなければならぬ、落雷は危険だから充分の注意を要する

十、綺麗な音に受信すること

は放送聴取上最も大切なことで、どれだけ立派な受信機を持つてあてもその操縦を誤ると音がきたなくなり歪んでしまふ、綺麗な音にする方法は(イ)前記(八)再生用コンデンサーをなるべく入れず(音の小さくなるや)に調節すると、この再生といふのは到来電波に今一つ自己の受信機内で小電波を発生させて重複するのだから感度はよくないが非常に音質を善し、なほ又附近の聴取者へビーといふ音の妨害を與へるから充分注意しなければならぬ(ロ)總てのセットの出力音量は使つてゐる真空管の種類によつて限定されてゐるから、その限度を越さない程度の音の大きさにせねばならぬ、限度を越した大音は必ず音質に歪みを生じたりスピーカーがビビつたりするから、聴取し得る程度でなるべく音を小さくして真空

管にもスピーカーにも余響をもたして鳴らすのが望ましい、原音をそのまま、スピーカーから出さしめて耳を傾ける時に、始めてラヂオ聴取の眞價が味は(るものである)

本邦放送局一覽表

Table with columns for station name, call letters, frequency, and power. Includes stations like 東京第一 (JOAK), 東京第二 (JODK), 大阪第一 (JOSK), etc.

大波のうねり、短いのはさなみといつたやうなもので、受信機の方でこの波の長さにピッタリ合せればその局が受信できるのである、本邦の各放送局の電波長は別表の通り

六、他局または遠距離受信をするには 先づ別表の放送局波長表を見る、大體普通の受信機では前面のダイヤル(目盛板)の数字の多い方に廻せば波長の長い局が入り数の少ない方に廻せば波長の短い局が入る筈である、だから大體その目安をつけてごく靜かにダイヤルを廻してゆけば目的の局が受信できる、この時再生用コンデンサーのツマミ(大抵のセットにはついてゐる、セットの前面ダイヤルの下の方にある小さなツマミ)を廻せば感度がよくなる、但しこれを廻し過ぎるとスピーク音になつてしまふからその一寸手前に止めて受信する、遠距離受信は夜間の方がよい、その際は晝間は放送局で発射せられた電波が地表のみを傳つて来るのだが、夜間はその地表波と今一つ空間に飛び出した電波が上空のヘビサイドといふ層に反射屈折して到来し、その二つが重なるから遠距離感度が増大するのである

生花・茶湯

生花 技術的に發達したのは足利時代以後で、池坊専慶僧都その他の大家が輩出し、茶湯の流行と共に法式が益々完備し、廣く行はれるやうになつた、現在流派は非常に多い、主なるものは左の通り

- 池坊流 聖徳太子を始祖と仰ぎ、小野妹子刺髪して六角堂に入り佛に仕へ、専務と號したのを第一世とする 現家元四十三世専啓
松月堂古流 弘仁年間に南都元興寺の護明僧正が試み、明恵上人が補つた、下つて享保年間に足心軒一露を中興の祖としてゐる

▽古流 元祿の初期一志軒今井宗普師が相阿彌の形式を好み之を研究してこの流を開いた、そして安藤涼子を中興の祖としてゐる、現在家元九世松盛齋山本理齋

▽遠州流 始祖を小堀遠江守政一とする、現在家元十三世本松齋岡本一甫、宗家十四世本松齋福井一甫、遠州流にも諸流があるが何れも小堀の分派である

▽相阿彌流 足利義政の侍臣相阿彌眞相がこの流を創始した、現在家元十八世春秋庵廣地宗庭

▽宏道流 常葉井御所古流十九世雲雲齋義想が、明寛宏道史に據り一流を開いたとされる、家元十世青雲齋渡邊漢詮

▽末生流 末生齋一甫を始祖とし、文化文政頃最も發達した、大阪に出来た流派である、家元八世末生齋肥原康甫

▽石州流 片桐石見守貞昌を祖とする、家元十世一瓢庵中澤開里

▽青山流 關基氏を祖とし、基秀を中興の祖とする、家元二十七世伯壽園基久

▽美笑流 足利末期美笑齋遠覺が創め

甲州から出發したが、二世美笑軒道霜以下五世まで京都、六世美笑軒道昔から江戸中心となつた、家元十三世美笑齋和田一水

▽雪洲流 宗家廿六世雪洲軒中村如遊

▽遠山流 家元十一世九峰堂安井玉泉

▽美正流 家元美正齋五百旗頭精甫

▽眞容古流 家元季樂庵永橋眞春

▽眞生流 家元眞生庵伊藤一操

▽千本古流 宗家二世殿松齋土屋嘉河

▽光月古流 家元廿世光月軒古量

▽快月古流 家元快月庵富塚如庄

▽草月流 家元勅使河原齋風

▽矢野流 家元廣齋齋矢野良芳

▽小原流 國風盛花家元六合軒小原光雲

▽芳雅流 家元杏花園笠原豊洲

▽清風流 家元花笑庵小林一瓢

▽古竹園 宗家古竹園高森栢堂

以上利休門下 ▲石州流(片桐貞昌) ▲桑山貞晴(道安門下) ▲遠州流(小堀政一) ▲織部正門下 ▲道開流(清水道開) ▲石州門下 ▲藤軒流(藤村廣軒) ▲宗偏流(山田宗偏) ▲普齋流(杉木普齋) ▲以上宗且門下 ▲鎮信流(松浦鎮信) ▲石州門下、後代においてはこれ他雲州流(松平不昧)、不白流(川上不自等)に分れた

右のうち今ではすでに消滅したのもある、千家は利休の孫永且の時その三子が各々千家表流(宗左)裏流(宗室)、武者小路流(宗守)等を創めた

主なる茶室(現存のもの)

東求堂(京都東山慈照寺内、足利義政の茶室、茶室の濫觴とされる) ▲眞珠庵通仙院茶室(京都紫野大徳寺) ▲龍光院密庵茶室(大徳寺) ▲時雨亭(東山高台寺) ▲遼廓亭(仁和寺) ▲紹翁茶室、吉野茶室(高台寺) ▲枕流亭(醍醐三寶院廣前林泉中) ▲妙喜庵(京都山崎) ▲孤蓬庵(大徳寺塔頭最西) ▲慈照院茶室(京都相國寺塔頭) ▲無色亭、寒雲亭、今日庵、又隱、利休堂(京都市小川裏千家邸内) ▲明々庵(松江市外菅田村有澤邸内)

賣立目録

【昭和八年六月以降主要賣立中、總額及高値表】

【松本及軒庵、第一回】 八年六月

廿六日、大阪美術クラブ△國寶仁清色繪巻花文様壹十八万九千九百四十四円△竹田亦復一樂圖冊十一万四千元△東山御物牧溪拾得二万一千九百四十四円△乾山ハッ橋繪六万九千三百四十四円△吳春旭機馴松三万三千九百四十四円△竹田松溪聽泉一万三千九百九十九円△山陽日本樂府第一一首一万八千九百四十四円△山陽山水五万一千九百八十四円△秋風圖冊一万七千三百四十四円△山陽月夕瀨眞景扇子一万二千九百六十四円△碓青磁香爐二万三千九百四十四円△飛青磁瓶子花入五万三千九百四十四円△飛青磁二万三千九百四十四円△御本刷毛目録一萬二千九百六十四円△吳洲赤繪見込花鳥鉢一万一千九百四十四円△青齋琴式器芝耳花入一万九千四十四円△祥瑞在銘蜜柑香台三万八千八百四十四円△時代清虫時繪茶籠皆其三万一千八百四十四円△古染附調紙茗碗六客一万一千二百九十四円△竹田遺印卅額四万三千四十四円△唐物青貝樓閣人物平卓一萬二千九百九十四円△吳洲水鳥繪火入一萬一千六百四十四円△色繪祥瑞梅竹製模標中風十八人一万一千四百四十四円△梅逸老松双鶴二万一千四百六十四円△竹溪中旭日群鶴左楊柳香魚、右菊花雙鶴三幅對一万九千二百四十四円△木米、兎道朝徹七万三千四

△梅邊景景密竹一万六千四百四十四円△半江春山閣居四万三千九百九十四円△藝剛蟹籠山水十六万九千八百四十四円△竹田松樹古寺九万三千四十四円△景文中芙蓉三幅對四万三千九百四十四円△雪舟晴雪齋三万三千九百四十四円△傳周丹子雲中舞遊三万九千八百四十四円△一鳳佛法鳥二万三千七百四十四円△應舉鶏一万九千四百四十四円△景文紅蓮白蓮一万六千四十四円△大雅堂風橋夜泊一万一千六百四十四円△竹田風標公子一万三千四百四十四円△岸駒柳鷄翠一万八千九百九十四円△鮫足漁舟山水一万一千九百四十四円(總額二百六十七万八千四百五十一円)

【松本雙軒庵、第二回】 八年十月十一日、東京美術クラブ△一休眞蹟船居一万四千六百八十八円△雅樂之助南陽三願五千二百四十四円△元信中琴高仙人、左松尾長鳥、右蘆鷺三幅對八千六百九十八円△松花堂四睡二万五千九百三十三円△雪舟扇風山水三千三百九十八円△光起中文王、左牡丹獅子、右桐風扇三幅對六千七百九十四円△乾山老松三千五百九十四円△乾山紅梅六千九百六十四円△探幽石座觀音四千三百四十四円△光琳大黒天四千九百九十三円△若冲園家全慶圖四千九百四十四円△爲恭雪月花三幅對五万四千三百九十四円△應舉陶淵明七千三百九十四円

△吳草草屋洗馬一万三千四百四十四円△吳春福祿壽櫻鶴月鹿雨中山水雪中飛泉五幅對三万一千四百四十四円△應舉中禮左右龍虎三幅對七千三百九十八円△素絢清風拂紫二万六千四百四十四円△芳園嵐山夏雨八千四百九十八円△應舉富士七千三百九十八円△爲恭難遊七千三百五十四円△蘆雪木蓮圖一萬一千三百四十四円△應舉稻雀五千三百九十四円△竹田春隱夜月七万九千九百三十四円△竹田裏月蘆雁四万四千四十四円△竹田清溪訪友八千九百九十四円△竹田湖上聽秋一万八千九百八十四円△竹田水亭閑話四千九百九十四円△竹田秋夕歸牧讀論二則双幅七千六百四十四円△竹田蕉陰喫茶七千三百九十八円△山陽樂府第一一首一万八千九百三十三円△山陽杏坪植武發芳野懷古詠史双幅三万六千九百九十四円△山陽修史七絶八千六百九十四円△山陽寒林訪友一万八千九百四十四円△木米溪山圖居一万五千九百四十四円△草坪溪上探梅二万三千九百五十五円△秋暉富貴榮華一万九百九十四円△玉堂對山撫琴一万五千三百四十四円△木米雲出山一萬三千九百九十八円△華山田園雜興三幅對一万一千四十四円△半江漁村春雨七千六百九十四円△雅邦春景富岳一万三千九百四十四円△直入碧溪觀蓮六千五百九十四円

△古筆大手鑑十七万九千三百四十四円△大雅蕪村十便十宜圖冊九万三千八百九十四円△竹田船窓小戲圖冊六万三千九百四十四円△王建章山水畫冊五千九百四十四円△龜齡帖二十冊二万二千三百四十四円△山陽天保辛卯詩畫卷八千八百九十八円△山陽上樂翁公書稿本卷四千六百四十四円△山陽青天白日四字額一萬一千四百四十四円△山陽一字額六千四十四円△山陽樂府六首八枚折屏風半双二万二千九百四十四円△東山御物名物高之細道再繪觀箱五万三千九百五十四円△龍青磁笥花入一万四千五百二十四円△碓青磁燃燭小香爐一萬一千四十四円△古伊賀唐大耳花入三万三千九百六十四円△万曆赤繪中蕪算式花瓶五万三千九百四十四円△萬曆赤繪芝耳花瓶一萬一千四百四十四円△祥瑞在銘三段模標調茶盤一萬五千九百八十四円△吳洲赤繪見込玉取獅子鉢一萬八千九百九十四円△吳洲赤繪見込福字鉢八千九百四十四円(總額百八十六万二千六百六十一円)

【蜂須賀侯爵家】 八年十月廿三日、東京美術クラブ△國寶榮花物語卷物二十三万九千九百四十四円△國寶古土佐西行記卷物十三万九千五百四十四円△後鳥羽院歌仙切五万四千九百四十四円△信實歌仙切一萬六千三百四十四円△賞之高野切四万九千五百四十四円△西行白河切四千八百九十九円△宗祇大食色紙四

千百円△行成公任御法華經歌入切一万二千百円△國寶周文山水二萬三千九百八十円△雪舟破墨山水双幅五千八百八十円△晴川院中西玉母左右瀧三幅對五千九百九十円△爲恭吉野春秋双幅四千八百九十円△選擧中福祿壽左右松鶴三幅對三萬四千九百三十円△抱一中東下り左白菊右白牡丹三幅對二萬六千三百九十円△其一守一月二雲秋草並繪表具六千九百九十円△梅邊樓三幅對三萬五百円△古筆手鑑漢千鳥二冊三萬一千九百円△古筆手鑑文彩帖八千九百円△古土佐兒觀音繪卷物三萬九千円△長春風俗美人繪卷五千五百三十円△藥村興細道繪卷二卷四千三百九十円△傳又兵衛豐國祭繪六枚折屏風三萬六千九百円△光琳楓紅葉繪六枚折屏風三萬三千九百八十円△宗及井戸茶壺二萬一千八百円△影三島茶壺六千九百九十円△利林一重切花入四千四百九十円△染付水牛香合五千五百五十八円△祥瑞立瓜香合四千九百九十円△東山時代梨子地青貝入採桑老時繪箱一萬一千九百八十円△梨子地和歌浦繪文台視箱六千九百九十円△東山時代扇面時繪錦文庫一萬六千九百九十円△光琳紫彩視箱四千九百八十円△觀松齋製模銀金具藥籠箱七千三百

百円△後藤家作小柄筭目貫取合四千三百九十八円△子の日棚五万八千八百円△備前友成白鞘刀五千八百円△備前長光白鞘刀一萬五千八百五十円△國寶備前正恒白鞘刀一萬円(總額百十五万九千四百八十七円七十錢)  
【本山松陰】八年十一月十四日、大阪美術クラブ△無準墨蹟日本繪使宛二千三百九十円△瑞圖老松統本二千円△王建中書幅二千二百三十円△傳又兵衛高尾薄雪太夫双幅五千六百円△光起極彩色菅公二千九百円△一風中雪笹熊左藤花香魚右下秋草三幅對一萬五千九百円△北齋頰射鶴二千六百九十円△芳園着色櫻花青楓瀑布山水双幅六千九百三十九円△蕪村淡彩山水屏風一双二千円△肥後林又七作外格種六十枚桑段箱入二千六十円(總額十六万一千八百九十六円二十錢)  
【稻束家】九年一月十八日、大阪美術クラブ△爲恭雪月花三幅對一萬三千三百円△蕪村三日月露七千七百九十円△吳春旭光岩鶴四千八百九十三円(總額十二万七千三百八十円五十錢)  
【田中末木】九年一月廿二日、大阪美術クラブ△雅邦林和靖絹本淡彩秀那箱八千四百四十円△古薩摩藤茶碗六千

六百九十八円△一雙中葉平左右伊勢小町三幅對五千四百四十円△天龍寺青磁遊鉢花入五千三百九十三円(總額十三万一千六百六十九円五十錢)  
【松本雙軒庵、第三回】九年一月廿二日、東京美術クラブ△竹田蓬窓幽興畫冊三萬四千九百九十円△竹田秋山夕霽三千八百円△竹田月泉歸牧八千八百一円△竹田高客幽栖一萬一千三百九十一円△竹田秋江閑居七千五百九十三円△竹田秋溪閑泛七千五百三十七円△竹田林齋閑居六千五百九十八円△木末秋山鳴鹿二万一千八百九十九円△草坪富貴春晴五千二百三十円△芳園松竹梅三幅對七千五百九十八円(總額四十三万四千六百六十四円)  
【西松不休庵】九年一月廿七日、大阪美術クラブ△晴青磁鬼面足香爐三万八千円△吳春田家夕顏一萬二千五百円△染附金繪鉢一萬五百円△万曆赤繪八角水指八千五百円△雅邦秋山遊獵七千四百三十九円△光琳破墨山水五千五百円△伊賀耳付花生五千二百円△山樂歸去來丈山讀幅五千円(總額十萬九千四百四十四円十錢)  
【九鬼子爵家】九年二月十日、大阪美術クラブ△時代金銀累船人物屏風一

六百九十九円△梨子地須磨浦時繪文台視五千九百九十円(總額十萬一千四百三十九円十錢)  
【佐々木壽庵】九年二月十八日、大阪美術クラブ△天平時代佛圖羅羅唐物一萬円△金襴手鏡水注、祥瑞振出万曆赤繪龍煎茶碗六千六百九十円△又平櫻花男女遊樂二枚折六千四百円△桃山時代白地繡華舞衣裳左右一揃五千三百六十円(總額十四万八千四百九十八円九十錢)  
【藤田香雪齋】九年四月五日、大阪美術クラブ△熊野懷紙飛鳥井雅經二萬九千九百円△瑠璃石墨蹟一萬四千九百円△無準禪師墨蹟一萬九千四百円△玉室一行五千九百九十円△貫之卿家集切五千二百九十八円△後京極良經歌仙七千三百九十八円△同歌仙一萬五千六百円△定家卿小倉色紙二万六千円△西行法師時鳥八首歌切一萬七千九百円△徳川家光公噴鳥一萬八千四百円△織田道八指月布袋繪八千八百円△山陽天草洋七總詩八万九千六百九十八円△竹田山陽江邊連合作詩一萬五千九百九十九円△半江青絲春麗起鶴九万四千四百九十三円△直入前後赤壁双幅一萬一千六百九十三円△半江旭日櫻花八千九百

六十四円△爲恭勿來關足柄山双幅一萬八千円△爲恭春秋双幅一萬三千七百円△詩言源義家亂雅和伏兵三幅對九千三百円△吳春松竹梅三幅對六万九千五百円△墨峯春景山水三万四千三百九十円△吳春溪閣雨意池邊雪景山水双幅四万五千五百円△蘆雪紫水蓮露微群鳥七千三百九十八円△景文水上落花七千五百九十八円△一風白狐一萬三千九百九十円△素駒月下打碁一萬三千二百円△組仙秋草鹿双幅九千七百九十三円△秋輝櫻花雉子一萬六千八百円△抱一雪松小禽瓶梅双幅九千八百五十円△芳園美峰孔雀飛舞六千七百九十八円△抱一中乙御前左櫻花右紅葉三幅對一萬三百円△光琳金地極彩色繪髮兩面團扇六本一萬七千五百円△抱一極彩色六歌仙扇六本一萬三千九百円△竹田詩畫卷一萬八千三百九十円△竹田一樂帖七万七千三百九十八円△大雅堂瀟湘八景扇面帖一萬六千三百円△傳山樂櫻花孔雀八枚折屏風一双一萬二千二百円△山陽十枚折中屏風一双一萬二千九百九十円△二級蘇史六枚折屏風一双九千三百九十円△名物相坂丸壺茶入四万一千円△大名物唐物補茶入二万五千五百円△交趾台牛香合五万一千九百九十円△交趾燧燧香

合四万三千九百九十円△吳洲木瓜香合三万七千三百円△唐津一葉香合八千九百三十円△唐物青貝内朱双鏡香合一万一千四百三十九円△名物長次郎早舟茶盤一十円△柴田井戸茶壺十二万円△花燵茶盤二万五千三百円△紅葉五疊茶盤三万九千九百円△竹田茶盤一萬四千九百九十九円△仁清色繪履茶盤一萬三千九百九十九円△不昧公手造赤茶盤六千九百三十九円△堅手茶盤九千四百四十円△三作三島茶盤六千九百九十円△志野橋繪茶盤一萬六千八百円△如心齋手造黑茶盤六千九百九十円△原隻手造茶盤八千六百円△古伊賀花入七万六千九百九十円△染附高砂花入一萬九千三百円△飛青磁花入十三万五千円△古赤繪金襴手花入十萬九千四百九十三円△古備前緋薄小判形水指二万六千円△古九谷色繪四方七寶共蓋水指八千三百九十三円△古赤繪金襴手唐犬蓋香爐九千九百円△青磁鴉腰小香爐一萬三千九百円△東山名物寶篋蓋五千九百九十円△空中灰器五千八百八十円△唐物青貝雙春日卓六千八百九十八円△五十嵐道甫作僧正通照女郎花故事視箱一萬五千五百円△梨子地芦手書初晉時繪長視箱八千四百四十円△古備前半月手鉢七千円△光琳下繪乾山額鉢七千

三百円△古伊萬里錦五双船鉢同錦唐子繪鉢二枚一萬七千七百円△時代梨子地富士山水松橋時繪書欄一萬百九十九円△交趾共蓋五彩蓮鷺色繪花壺花入二万一千九百九十円(總額二百五十二万六千六百六十九円)  
【武川家】九年四月十八日、大阪美術クラブ△堅手茶碗七千八百円△吳春松屏風六千円△時代金地柳橋屏風五千

四(總額十七万八千五百八十七円)  
【澤久太夫氏及某家】九年五月十四日、京都美術クラブ△又兵衛男女双幅二千円△佛畫不動明王三幅對三千円△竹葉蓬萊山水六千三百九十八円△時代梨子地吉野時繪料紙文庫五千八百九十円△青磁台布袋八角香爐五千三百円△堆朱蓮葉觀音香合三千三百九十円△古備前觀香合三千八百九十円

世界最古の聖書

レニングラードの露國國立博物館に保存されてゐた世界最古の聖書寫本(Codex Sinaiticus)は勞農政府から大英博物館へ價格十萬鎊(約百七十萬円)で賣られ、九年一月警官、私服探偵の物々しい警戒裡に手渡された。西曆三四〇年即ち今から千五百九十五年前シナイ山における僧院の修道士がギリシヤ語で書いた福音書でインキの文字が消えて肉眼では讀めない部分があるが赤外光線を使へば讀み得られるもので、専門家の鑑定によると右寫本は今まで全く知られなかつた秘密を藏してゐると考へられ研究の曉は從來の聖書或は世界の歴史さへも一次改訂を要するかも知れないとのことで學界にとつても大きな興味を投じた研究素材である、約四百ページよりなり大きさは英國の家庭に古くから使はれてゐるものと大差なく、黒インキで書かれところ々赤インキで修補されてゐる、シナイ山上僧院の紙屑籠に放棄されてゐたのをドイツの學者チシエンドルフ氏が發見し、それが轉々して露國帝室博物館の手に渡つたといはれてゐる

# 競馬

小林 縁

最近一年間の競馬界  
 現行競馬法が實施されてから昭和九年は滿十二年に當るわけであるが、競馬は逐年盛行の結果全國の公認競馬に出走する各種競走馬の進歩は著しく、競馬法の目的の一である馬匹の改良が現實に行はれつつあることは出走馬匹の示した競走時間即ちタイムが雄弁に語つてゐる、今最近一ケ年間の競馬界を展望すると、競馬の隆盛發達を經濟的に確立せしめる馬券の賣上年額は將に八千万円を突破せんとするの有望である、出走馬匹は駿豪精銳の萃を集め馬場不良であらざる限り各種競走馬の示す一着時のタイムは新記録に次ぐに新記録

## 八年度競馬統計

### 投票券發賣成績

八年度十一俱樂部の開催日数は春秋を合し百六十日で競走日数千七百五十六回で勝馬投票券を發賣した金額が七千

を以てするの勢である上更に昭和九年度に於て新界注目焦點となつたものは速歩馬界に米國系トロツターとして北海道寒川村所在社台牧場から送られた速歩馬の出現であつて、この米トロ系速歩馬が一度競走場裡に立つや、殆んど天馬行空的の快速度を以て隨所に在來の優秀速歩馬を打破り、かつその示したタイムは實に異常な差異を設けて斬新の新記録を作るを常としてしまつたことは九年度に於ける競馬界の最も著しくかつ最も優れた産物であつたと言ふも過言ではない

は競馬法の下に設立され、主務省即ち農林省の認可した社團法人競馬俱樂部主催下に開催される競馬の謂で、地方競馬とは地方競馬規則の下に道府縣畜産組合の開催する競馬、俗に「草競馬」と稱せられるもので、前者は券面額金廿円

十円若しくは五円の馬券(勝馬投票券)を發行し、後者は金一円と限定されてゐる、公認競馬の数は全國を通じ現行法で十一ヶ所と定められ、この數を増加し又開催場所の変更は法律の改正されざる限り絕對に許されぬ、十一競馬俱樂部の名稱及位置左の如し

場所	天候	馬場	距離	タイム	分秒	一着	重賞	騎手	二着	着差	三着	着差
京 都	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
阪 神	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
中 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
東 京	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
新 潟	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
福 島	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 梨	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
石 川	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
富 山	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
山 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
宮 崎	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス
神 戶	晴	良	二	二、二〇	〇	大 藤	大 藤	ア	ミ	ウ	マ	ス



競馬

Table of horse racing results including names like 東京, 中山, 日本, and various race details.

競走馬匹數 (昭和八年秋季)

Table showing the number of horses in various categories across different locations like 札幌, 函館, 新潟, etc.

日本最高レコード

Table of Japanese record times for various distances and horse names.

Table of rider achievements (騎手とその成績) for the autumn season of 1933.

Table listing names and numbers, possibly related to the racing or administrative data.

渡來外人

Text describing the influx of foreigners (渡來外人) and its impact on the local economy and demographics.

Table comparing foreign arrivals (渡來外人) by port (港別) for the years 1932 and 1933.

Text discussing the impact of foreign arrivals on the local economy and the role of the government.

馬

旅の案内

旅は人生を楽しくする、日本は旅の國、春は花、夏は海、山、秋は紅葉、冬は雪、四季とりとくに旅情をそめる。近來體育健康上の旅の提唱も行はれ、鐵道省では九年度からハイキングなどに對する個人保健割引を始めた

東京市内遊覽

(一日の日程)

(東京乗合自動車の遊覽自動車による) 東京駅前發一帝國劇場一帝國ホテル一貴賓兩儀院一櫻田御門、二重橋前一九段靖國神社一赤坂離宮一秩父宮路一青山御所一明治神宮外苑一明治神宮一乃木神社一泉岳寺一芝公園一愛宕山一日比谷公園一勸業銀行一日本銀行一三越一國技館一回向院一被服廠跡一淺草公園一上野公園一廣瀬中佐銅像一日本橋と銀座通一歌舞伎座一新橋演舞場一新橋驛、料金三円卅錢

東京を中心の日歸りの旅

△鎌倉、江の島遊覽 東京驛一北鎌倉驛下車一円覺寺一建長寺一鶴ヶ岡八幡

旅の案内

宮一源賴朝墓一鎌倉宮一犬塔宮御堂一鎌倉驛前(電車)一長谷一長谷觀音一犬佛一權五郎祠一星月夜一長谷(電車)一極樂寺一稻村ヶ崎一七里ヶ濱一片瀬(徒歩)一龍口寺一江の島一片瀬(電車)一藤澤(電車)一東京驛、旅費概算三等一円九十二錢

東京市内遊覽

(一日の日程)

△三浦半島めぐり 品川驛(電車)一黄金町一金澤八景一横須賀一浦賀(自動車)一久里濱一三崎町(自動車)一引橋一秋谷一葉山一湘南逗子驛(電車)一品川驛、旅費概算三等三円八十錢

東京を中心の日歸りの旅

△多摩御陵参拜と高尾山遊覽 新宿驛(省電)一淺川驛(徒歩)一多摩御陵一淺川驛(自動車)一清瀧驛(ケーブルカー)一高尾山驛(徒歩)一薬王院一犬見晴一

旅の案内

蛇瀧一延壽瀧一高尾橋畔(自動車又は電車)一淺川驛一新宿驛、旅費概算三等一円八十六錢

東京市内遊覽

(一日の日程)

△秩父長瀧遊覽 上野驛(汽車水上行)一熊谷驛(秩父鐵道三行急行電車)一長瀧驛(遊覽船)一波久瀧(電車)一寄居一熊谷驛一上野驛、旅費概算三等往復三円七十四錢

東京を中心の日歸りの旅

△成田不動参拜 上野驛(汽車成田行)一成田驛(電車)一不動尊一成田驛一上野驛、旅費概算三等往復二円

旅の案内

△筑波山めぐり 上野驛(汽車青森行)一上浦驛(筑波鐵道)一筑波驛(自動車)一筑波町一上ノ筑波神社(ケーブル)一筑波山頂驛(徒歩)一男體山一女神山一山の浮橋一荒雲嶽一犬黒石一出船入船一胎内瀨一高天原一犬の岩戸、并慶七戻り一立身石一男女の川一筑波町一筑波驛一土浦驛一上野驛、旅費概算三等往復四円廿二錢

東京市内遊覽

(一日の日程)

△日光見物 上野驛(汽車日光行急行)一日光驛(自動車又は電車)一馬返(自動車又はケーブル)一中宮祠一馬返(自動車又は電車)一西参道一東照宮参拜一日光驛一赤羽驛一上野驛、旅費概算三等往復七円四十六錢(雷門驛から東武鐵道によるコースも同額)

東京を中心の日歸りの旅

△大阪乗合遊覽自動車による) 大阪驛一市廳一中之島公園一豊國神社一中央公會堂一北濱一府廳一犬阪城一高津神社一牛國魂神社一四天王寺一住吉神社一犬王寺公園一新世界一今宮戎神社一四つ橋一摩羅神社一南御堂一北御堂一雑

市立運動場一犬阪築港一犬保山棧橋一心齋橋筋一道頓堀一犬日前一堺筋一府立商品陳列場一難波橋一犬満市場一犬滿宮一犬阪驛(周遊時間七時間半、料金二円八十錢)

京都市内遊覽

(一日の日程)

(京都遊覽自動車による) 京都驛前一伏見一桃山御陵一乃木神社一泉涌寺一十三間堂一博物館一智積院一妙法院一方廣寺(大佛)一清水寺一円山公園一知恩院一動物園一平安神宮一犬賀茂神社一京都御所一金閣寺一北野神社一犬條離宮一東寺一西本願寺一東本願寺(巡遊八時間、料金三円五十錢)

大阪を中心の日歸りの旅

△近江八景めぐり 大阪驛(汽車)一犬津驛(バス)一犬津(遊覽船)一打出の濱一粟津夕原一瀬田川一瀬田唐橋一南郷遊園(上陸約卅分)一石山寺(上陸約四十分、矢走の浦、三上山、比叡山、比良山を左右に眺め)一堅田(上陸約卅分)一坂本一唐崎一三井寺一犬津一犬津驛一犬阪驛、船車賃概算三等二円五十錢

旅の案内

電車によれば船車賃往復二円) △保津川下り 大阪驛(汽車)一龜岡驛(徒歩)一乗船場(遊覽船)一越前(汽車)一京都驛一犬阪驛、船車賃概算三円廿七錢

京都市内遊覽

(一日の日程)

△吉野山 湊町驛(汽車)一吉野口驛(電車)一吉野(バス)一吉野山上、往復賃金三等三円三十四錢

大阪を中心の日歸りの旅

△高野山 湊町驛(汽車)一橋本驛(電車)一極樂橋(ケーブル)高野山、往復賃金三等四円五十錢

△白濱、湯崎温泉 阪和天王寺驛(特急黒潮)一東和歌山驛一白濱口驛(バス)一白濱、湯崎、往復三等五円六十錢

京都市内遊覽

(一日の日程)

△伊勢参宮 大阪驛(汽車)一山田驛(徒歩)一外宮(電車又は自動車)一内宮(電車又は自動車)一南宮(電車)一平岩(ケーブル)一朝熊山一平岩(電車)一橋部(電車又は自動車)一二見浦(自動車又は徒歩)一三見浦驛一犬阪驛、旅費三等往復概算五円九十五錢

大阪を中心の日歸りの旅

△奈良名所めぐり 湊町驛(汽車)一奈良驛或は大軌上六驛(電車)一奈良驛一興福寺一春日神社一敏草山一犬大寺一正倉院一奈良帝室博物館一春日奥山めぐりなど自動車の便よし、湊町一奈良

間汽車三等往復一円卅二錢、上六一奈良間電車往復九十六錢

京都市内遊覽

(一日の日程)

△伊豆大島、三原山 東京臨海島から一七キロ、東京灣汽船大島一犬下田航路船で六時間半、賃金往復三等三円六十錢、伊豆下田から二時間一円

大阪を中心の日歸りの旅

△富士五湖めぐり(日本廿五勝の一) 御殿場驛から龍阪峠を経て山中湖一河口湖一西湖一精進湖一本栖湖の順一歸途は吉田から中央線犬月驛に出るのが普通

旅の案内

の景勝地、海水浴に適す、遠浅の海に竹島、大島、小島など点在し、亜熱帯樹茂る

△名古屋城 名古屋驛の東北約三キロ、天守閣は加藤清正の遺蹟、五層櫓、屋上の金鯱で有名、本丸は離宮、第三師團司令部置かる

△木曾川(日本八景の一) 日本ラインとして知られる名勝、日本アルプスの白雪をとかして清冽無比、日本三急流の一、延長二三三キロ、日本ラインはその大山附近から上流土田附近までの奇勝をいふ

△長良川の鶴飼(日本廿五勝の一) 毎年五月中旬から十月中旬まで古風ゆかしい鶴飼が行はる

△伊吹山 近江長岡驛から山麓上野まで四キロ、自動車あり、日本武尊の故事と伊吹艾で有名、海拔一、三七七メートル、關西屈指のスキー場

山陽線沿線

△後樂園 日本三公園の一、岡山驛から約一キロ八、旭川の清流を隔て、岡山城と相對し林泉の美を誇つてゐる、園内に延喜亭、望湖閣、茂松庵、藤地軒、流石など昔のまゝに残る

とする下津井輕便鐵道の終點にあたるところ、風光絶佳、日本百景の一たるのみならず、國立公園地帯にも選ばれた名勝で、ことに鷺羽山からする瀬戸内海の眺望すばらしく、夏は海水浴にも好適の地

山陰線沿線

△三朝温泉 上井驛または食吉線食吉驛から各約八キロ、ラヂウム含有量日本一の温泉、日本百景の一

△永平寺 福井から東北十六キロ、自動車、永平寺電鐵の便あり、堂塔伽藍莊嚴整然、曹洞宗大本山

北陸線沿線

關西線沿線、紀州路

△瀨映 熊野川支流、宮井から一六キロを測つた天置、多度間の線で奇勝に富む、日本廿五勝の一

△那智瀧 新宮鐵道那智驛から五キロ六、自動車の便あり、瀧は直下一五七メートル、幅二二メートル、日本廿五勝の一

△月ヶ瀬梅林 伊賀上野驛又は鳥ヶ原驛から自動車の便あり、老樹多く、風趣秀絶

△鬼ヶ城 南紀木ノ本町にある奇勝、日本百景の一

△南部大梅林 紀勢西線南部驛から二キロ半、梅樹廿万本、日本一の大梅林、早咲で有名

△大峰山、大台ヶ原 吉野熊野國立公園に指定の勝地で大和、伊勢、紀伊の三國にまたがり、大峰山は今も女人禁制、大軌、大鐵の吉野鐵道下市口からバスが山麓の洞川まで通じてゐる

△欽傍御陵 欽傍驛西南約一キロ、電車、自動車の便あり、神武天皇の御陵

常磐線沿線

△震ヶ浦 我國第四位の湖、日本百景の一、附近に香取、鹿島兩神宮がある

總武線沿線

△成田不動尊 成田驛から一キロ、御本尊は弘法大師作の不動明王

信越線沿線

△輕井澤 間近かに浅間の噴煙をのぞみ海拔九四〇メートル、大氣新鮮、高原の別荘地帯、ゴルフリンクスもある

△浅間山 香掛から山頂(十三キロ、海拔二、五四二メートル)

△川中島古戦場 川中島一帯で、謙信信玄の古戦場

△善光寺 長野驛から二キロ、天台、淨土二宗の僧尼奉仕の大勸進と大本願とに分れてゐる、本尊は一光三尊佛といはれる圓浮檀金の阿彌陀如来

△赤倉温泉 田口驛から七キロ、妙高山腹にあり、有名なスキー地

△妙高山 赤倉温泉から山頂まで二二

鹿兒島線沿線

△宮崎八幡宮 箱崎驛から二〇〇メートル、祭神は應神天皇、櫻門の「敵國降伏」の扁額は後醍醐天皇の宸筆

△太宰府神社 二日市驛から三キロ、菅公の廟所、境内に遺愛の飛梅あり

△日田盆地 久大線筑後吉井驛から二キロ、日本廿五勝の一

△雲仙遊覽 日本八景の一、温泉あり

△長崎線沿線

△雲仙遊覽 日本八景の一、温泉あり

△長崎線沿線

△豊肥線沿線

△阿蘇山 坊中驛から山頂へ一五キロ

△魚住の瀧 竹田驛から一キロ四、日本百景の一

△久住山 竹田驛から二キロ、日本百景の一、九州輕井澤の稱あり

△日豊線沿線

△英彦山 添田驛から頂上まで一六キロ

△耶馬溪 中津驛から耶馬溪鐵道によ

四國

△栗林公園 豫讃線高松驛から二キロ

△屋島、五剣山 高松から八キロ、電車、ケーブルの便あり、日本廿五勝の一、源平合戦の古戦場

△小豆島 高松から三二キロ、宇野から四五キロ余、怪岩、溪流にのみ紅葉よし、日本百景の一

△道後温泉 豫讃線松山驛から四キロ

△面河溪 松山市から久万町、仕七川村經由五二キロ、バスの便あり、日本百景の一

△大歩危、小歩危 徳島線阿波池田驛から一六キロ乃至二六キロ、自動車の便あり、山の奇、水の妙極りなし、日本百景の一

△祖谷溪 阿波池田驛から一六キロ、絶壁にかゝる奇樹、奇岩、激流の妙趣比類なし、日本百景の一

△室戸岬 高知縣高知驛から八八キロ

△日本八景の一、自動車の便あり、太平洋の怒濤、奇岩、絶壁にだけて風光壯絶

旅の案内



旅の案内

キロ、海拔二、四四六メートル、山麓一帯は絶好のスキー地

東北線沿線

△中禪寺湖 中禪寺口から八キロ半、秋は紅葉がすばらしい、湖畔に中宮祠がある

△白河湖址 白河駅から一〇キロ、昔の湖所址

△松島めぐり 鹽釜から定期船と遊覧船が出る、日本三景の一

△花巻温泉 花巻駅から花巻温泉電線による、日本百景の一

△十和田湖 古間木駅から五六キロ、焼山から湖畔まで奥入瀬附近がもつとも風景美に富む、日本八景の一

磐越線沿線

△猪苗代湖 上戸駅から八〇〇メートル、周囲六八キロ、日本百景の一、探勝避暑に絶好

△磐梯登山 海拔一、八一九メートル頂上の展望極めて開豁

陸羽線沿線

△出羽三山 羽黒山、月山、湯殿山の總稱で、清川駅から羽黒へ二二キロ、群川駅から一〇キロ

高崎、両毛線沿線

△伊香保温泉 澁川駅から東武鐵道に上る

△榛名湖 伊香保から八キロ、温泉からケーブルもある

羽越線沿線

△鳥海山 出羽富士といはれ山容秀麗海拔二、一三〇メートル

奥羽線沿線

△駒ヶ嶽 生保内駅から山頂まで一四キロ、海拔一、六三七メートル、高山植物に富み、ことに駒草が多い

北海道

△大沼公園 函館本線大沼駅から、日本廿五勝の一、絶好の避暑地

△狩勝峠 海拔三、五〇〇メートル、石狩、十勝の國境に位し眺望雄大な第三紀層の大高原、日本八景の一

△登別温泉 室蘭本線登別駅から、噴湯豊富、設備完全、風光絶佳

△阿寒湖 釧路線美幌乃至弟子屈駅から自動車、湖畔原始林に囲まれ、阿寒岳の噴煙を倒映して神韻飄渺

台 灣

△日月潭 集々線水裡坑駅から一九キロ七、湖周約一五キロ、台灣唯一の湖

三五四

△東萊温泉 朝鮮一の温泉郷、釜山から一二キロ

△金剛山 京城から汽車および電車て山麓長安寺は内金剛探勝根據地、温井里は外金剛探勝準備地、温泉もあり閑静な避暑地

△京城市内 京城駅から遊覧バスを利用すれば市内の名勝舊蹟一巡半キロ行程、料金二四二十錢

朝鮮

山の物價

立山方面

劍ヶ御前小屋——宿料(三食付)二、三〇錢、白米一升〇、七五錢、味噌百匁

〇、一八錢、木炭一貫〇、七五錢、草鞋〇、〇八錢、酒一升一、八〇錢、貸布圍一枚〇、四〇錢、貸毛布一枚〇、二〇錢、自炊一、二〇錢

弘法茶屋——宿料一、六〇錢、白米〇、五五錢、味噌〇、一五錢、木炭一貫〇、五〇錢、草鞋〇、〇六錢、酒一升一、六〇錢、貸布圍〇、三〇錢、貸毛布〇、一五錢

黒部五郎小屋——宿料二、〇〇錢、白米一、〇五錢、味噌〇、三〇錢、草鞋〇、一〇錢、酒一升二、三〇錢、貸布圍〇、四五錢、貸毛布〇、二三錢、自炊〇、

上高地、橋、燕方面

中房一ノ瀬茶屋——宿料一、二〇錢、白米時價、木炭〇、二〇錢、酒一合〇、一二錢、草鞋〇、〇八錢

槍見温泉——宿料一、四〇錢乃至一、七〇錢、白米〇、五〇錢、味噌〇、〇七錢、木炭〇、一四錢、薪〇、二〇錢

草鞋〇、二〇錢、酒一合〇、二錢、自炊〇、六〇錢

燕山荘——宿料二、〇〇錢、白米味噌時價

乗鞍方面

肩ノ小屋——宿料一、八〇錢、白米〇、五〇錢、味噌〇、一五錢、木炭〇、五〇錢、薪〇、二〇錢、草鞋〇、二三錢、酒一合〇、二〇錢、自炊〇、九〇錢

レヴュー界

松竹楽劇部争議

レヴュー界の人物を認め、待遇を改善せよとの要求を掲げて八年六月中旬から巻き起された争議は、一時は大坂楽劇部も合流して会社側と対抗したが、七月上旬に至り裏切りが續出して争議團體に憂色が濃くなった、水ノ江瀧子のみは敢然として争議團を去らず、コーラス・ガールを守つて飽く迄松竹に對立した、会社側も強硬な態度をとつてゐたが遂に折れて、二日間徹夜で交渉の結果、彼女等の要求は殆ど貫徹した、この争議を機会に松竹は従来の楽劇部を解散、「歌劇學校」を新組織して、その制度は寶塚少女歌劇にならぶたが、ターキーなき松竹レヴューは人氣あがり、十月に至つて水ノ江の謹慎を解き復歸を許し、こゝに漸くレヴュー争議の余波もさまつた

寶塚の東京進出

小林一三氏の興行界進出は東寶劇場と日比谷映畫劇場の設立となつたが、九年一月興行は例の寶塚少女歌劇で蓋をあけ東京人の人氣を博した、これに對し松竹少女歌劇も負けず劣らず策を練り、果然レ

レヴュー界・舞踊界の一年

舞踊界の一年

舞踊が近代的解釋にしたがつて、發

展して行くさまは、すさまじいものがある、昭和八年の夏から暮にかけて、春の川畑女子嬢の歸朝、スペインの名花グラナダ嬢の來朝で賑つたに比しては内容的にはやゝ乏しい憾はあつたが、いろ／＼の舞踊會が開演された回数、まさに未曾有のことといつてよい、七年の夏、わづか部分的存在であつた「丸之内音頭」が姿を變へ、「東京音頭」となつて現はれて、遂に音頭時代を作つたのは特筆すべきである、また藤蔭靜枝女史門下の逸材で、上品な藝風の芳枝さんや、石井漢氏の實妹榮子嬢が、第一回の作品發表會を行つて氣を吐き、漢氏が「人力車」「没法子」の滿洲土産の新作發表、吾妻春枝嬢の「切支丹繪巻」、花柳壽美女史の「花火」、女流飛行家正田アリエ嬢が訪歐飛行資金募集の方法として舞踊會を開き、藤蔭靜枝女史が「トウランドット燈」を花柳實女史が「ポストマン」を各々發表したことが記憶に残つてゐる

あつた、新しい八年下半期の舞踊界は引續き九年上半年期に入つても、内容外観ともに著しい活躍を見せた、すなはち押しつまつた十二月廿七日にはドイツ、ドレスデンの舞踊學校で専心修業

してゐた宮操子、江口隆哉兩氏が歸朝する、「さくら音頭」をめぐつて、レコード會社の戦ひに松竹と日劇、東寶がまさ込まれて旋風を巻き起したり、桃色遊戯としてにらまれたツシヤル・ダンス界へ、本場英國から本格的な教師としてプレストン嬢とアンドリュース氏が來朝して上品なステップを注入する、などあるところへ、アメリカで有名なR・K・Oのジグザグフリード・レヴュー團がSY系各館に現はれ、マールカス・シヨウが來て舞踊公演の記録を作つたかと思ふと、ウインナ舞踊團が帝劇に出演したが、マールカス・シヨウに押され氣味だつた、ドイツの近代舞踊の大家ルース・ペーゾ嬢、クロイツヘルグ氏が相ともに來朝して破格の舞踊を紹介、友人筋を三嘆したが、悲しい哉大衆に向かず、不入りつゝきであつたのは氣の毒であつた、クロイツヘルグの「宮廷の道化師」やペーゾの「回廊線」など、新興舞踊の進む道を暗示するものであつた、陽春四月には東日後援の、年中行事、全國郷土舞踊氏諸大會が日本青年館で開かれて全篇の人氣を凌つて行つたことは、大書さるべきである、何にしてもマールカス・シ

最近の流行と美粧

ヨウが示した本場アメリカのレズエーは、遠くわが國のレズエーの及ばないことを知らせられ、クロイツベルグ、ページの新舞踊は、かくのごとき舞踊も存在することを示されて、わが新舞踊界に強い刺激を與へたことは疑ひないところである

その他舞臺會、囃會、騰諷會といった定期的ものは例によつて例のごとく開かれてはゐるが、あまりにも大きい光のもとにそれは遠ざかれてしまつた、なほ三月の末に歌舞伎座で日本舞踊協會の手によつて、純粹の日本舞踊各派の競演があつて、國粹舞踊のために万々の氣をいいた、また青山圭男氏が、ウインで開催の第二回國際舞踊コンクールの日本代表審査員として招かれ、國立交べらで、ウイン・フィルハーモニーの伴奏で「怪踊」その他の日本舞踊を紹介した、かくして夏の夜はまたレコード會社の宣傳に乗つて東京甚句の盆踊りが大衆の間に波うつたが、これは東京音頭のようにうまく行かなかつた

最近の流行と美粧

まづ衣裳から流行を考へる

これまでの衣裳は狭い部屋を中心にしたものが多かつた、といふのは日本の婦人は外出せぬものゝ相場が決つてゐたし、外出したところで用件はお買物とか友人の訪問といふやうな狭い部屋の中が對象になつてゐた、だから着物は濃い色とこまかな柄でなくては光らないことになつてゐた

ところが最近の傾向は婦人の外出が多い、しかもそれは音楽會だのキネマだのと、どこを見ても大きなホールの中に催されるものばかりである、そんな場合こまかな柄とか模様では少しも引きた、なために婦人達はなるべくすつきりとした大きな柄を選ぶことになつた、そして色彩も多種類のものは人氣がなく單純化されてゆくのは當然である

さらに色彩とか柄の上に大きな變化を與へたのは、郊外に出る機會が多いので濃厚な色はだめだといふことを考へてゐる  
ピクニック、ハイキング——そ

のほかいろく朗かな郊外に出てみることは若い女性のみなならず一般の婦人がみんな好んでゐる、なにしろ都會の煤煙の中にある者にとつて、清澄な空と清浄な空氣は一等必要なものであるからだ、郊外で生活することになつたらなるべく自然に近いものがピッタリと調和する、あまり技巧をこらしたものはどうかと思はれる、従つて單色で、うす色系統のものなら郊外に出て美しく、どんなに離れてゐてもその綺麗さを失はないといふわけである

昔の着物は遊女が尖端にゐたやうだ——大正ごろまで藝妓は流行のトップに立つてゐた、遊女は狭い部屋すなはち四疊半趣味のものであるからどことなく重苦しい好みの衣裳である、そんな沈痛な氣持は現代人の好みにならない——藝妓の着物は一顧もされない時代である

江戸時代よりもつと古いものなら流行の模倣として模倣される

三五六

——たとへば天平だの、平安朝だのといふところが……

とにかく今ほど健全な流行をもつてゐる時代は稀である

變つたところでは——  
模倣に病的なところは排斥するが、新奇な味は求めようとつとめてゐる、たとへば近ごろ山の探検よりも溪谷を探るといふことが新しい登山家たちの問題になつてゐる、従つて着物にまで溪谷の美しさ、幽邃さといふやうなところを模倣に取り入れてゐる、また高山植物採集が流行する、すると着物の柄に高山植物の鬼百合などが現はれる、これは流行の求新性と流動性をよく現はした一例である  
また婦人達の氣持が流行の上には現はれてゐるのは人絹全盛なことだ「生糸は何年も着られるといふが、爲めになるもの一枚買ふよりは、その金で何枚も新しい人絹の着物を買つた方がいい」と近頃の娘はいふ、つまり古い丈夫なものより新しくて安いものが好きである

人絹の魅力といふのは、安いだけに大膽に、率直に、色とか柄の新しいものを採用する點である、さらに安いために手軽に好みのものを買へるからでもある、本絹が強いといふことや上品であるといふことは、流行を追ふ若い婦人にとつては少しも關係のない話となつてゐるやうだ

そんなわけで本絹の着物も人氣を失つた、重くて、お爲にはよいが、どことなく明朗でない本絹の生地が近代女性にアツピールしないんださうである、それにこのごろの婦人は外出して坐ることが少いから人絹でも皺が寄らないといふ點からであらう

とにかく近代女性の流行の狙ひは大いに變つて来た

次ぎは最近のお化粧である  
「色の白いは七難かくす」といふ言葉は死んでしまつた「血巴のいい」といふのが美人の形容に必ずつく、二三年前には映畫に出て來る撥測とした若姑のやうな感じの

婦人と子供の團體

するアメリカ女性のメキアアップが若い娘さんを動かした——眉毛を細くするやら目をくまどるやらあまりに不自然な化粧法が流行した、けれども外國に長いスカートが流行するやうになつて來るとともに、日本人もアメリカ好みのお化粧とは「左様なら」した、血色一つまり肌色を強調し健康美を高く調するものが化粧の本當の精神だといふとになつた、今日、ルーヂユを使用する婦人が五十を越えてゐるが、それも昔ながらの京紅はノック・アウトされ動物性のものが多く(地中海あたりの海岸から採集した昆虫を材料とした紅が多く使用される)、しかし日本人にはそんな高價なものは向かないらしい

化粧の傾向は個性を尊ぶといふことが第一になつて白粉でも一種類を使用しないで、五六種のものミックスし、夜の化粧と日中の化粧とをハッキリ區別してゐる、さらに自分の體格とか、生活を考

慮に入れて職業婦人のごときは(事務員とか店員を指す)素晴らしい化粧を自分でととのへる、美容師に依頼するのは流行しない時代となつた、これは自分の缺點を知るのは自分であるといふ習的な近代女性の化粧哲學である  
つまり化粧品は、たゞ紅おしろいを賣るといふよりも、ホルモン製劑などの如き本質から立派にただしてゆかうとするものが多くなつた、といふのは、どんなに立派なお化粧も自然の美しさにはおよばないと悟つて、ひたすら健康美を見せるといふのがお化粧の趣意とされる結果であらう

婦人と子供の團體

【婦人團體】愛國婦人會(東京市麹町區九段一ノ五)會長本野久子▼佛教婦人會聯合會(京都市堀川通七條本願寺)總長大谷莊子▼佛教女子青年會(東京府吉祥寺區武蔵野女子學院)會長高橋順太郎▼中央婦人會(京都市豊島區長崎南二ノ一九一九)理事増子懷永▼大日本婦人共愛會(京都市彌生區廣尾町七九)會長清浦鍊子▼大日本國防婦

人會(東京市神田區東松下町三三)會長武藤能子▼大日本聯合婦人會(東京市麹町區裏塚ケ關四)理事長高津治子▼婦人團體聯絡委員會(東京市神田區通町YWCJA日本同盟)委員長辻まつ子▼婦人同志會(東京市銀座西五對鶴ビル)常任幹事山脇房子他▼婦人平和協會(東京市赤坂區新坂町五二)理事長ガンドレット恒子▼婦人共立育兒會(東京市麻布區廣尾町七九)會頭鍋島榮子▼婦人參政同盟(東京市麹町區内幸町一島ビル)理事長河口愛子▼婦人市政研究會(東京市小石川區小日向台町三ノ八七)代表河口愛子▼婦人選獲得同盟(東京市麹町區通町三ノ一三)總務理事市川房枝▼花の日會(東京市麹町區土手三番町)代表嘉悦孝子▼基督教女子青年會日本同盟(東京市神田區通町一ノ一三)委員長辻まつ子▼國際婦人平和會(大崎市住吉區阪南町中一ノ一六)會長古屋登代子▼無產婦人同盟(大崎市東區南玉造町三二)執行委員長名村文子▼日本婦人文化協會(神戸市湊區馬場町三六一)主幹坂部公一▼日本婦人海外協會(東京市麹町區内幸町一ノ三)會長松平俊子▼日本女醫會(東京市本郷區本郷一ノ三ノ六)會長吉岡彌生▼日本基督教婦人矯風會(東京市淀橋區百人町三ノ三六〇)會頭小橋千代▼日本キリスト教婦人參政協協會(東京市淀橋區百人町三ノ三六〇)

最近行はれた童話・女博士

理事長小崎千代▼日本國際協會婦人部 (東京市丸の内二ノ二) 部長本野久子▼日本産兒調節婦人同盟(東京市品川區大井金子町六二八五) 幹事長石本...

寺公園諏訪の森) 所長健健次▼少年少女動物友の會(東京市小石川區小日向台町一ノ七五) 委員長新渡戸萬里子

コン〜〜〜コン
コンチキチ コンチキチ
コンチキチ〜コンチキチ
コンチキチノコン〜

女性明朗線

平田外喜二郎

町生れ、東京帝大提出論文(植物遺傳研究及び日本産石炭の特別なる研究) 昭和二年四月二十日授與、東京女子高等師範學校教授▲黒田チカ 佐賀市生れ、東北帝大提出論文(紅色素の研究) 昭和四年十一月四日授與、東京女子師範學校教授▲加藤セチ 山形縣東田川郡押切村生れ、京都帝大提出論文(アセチリンの重合に就て) 昭和六年六月九日授與、理化學研究所助手▲陶慰孫 中華民國人、京都帝大提出論文(米澱粉の生化學的研究) 昭和七年七月七日授與、上海大同大學教授

おとづれ、警備の大任に當つてゐる兵隊さんを慰め、カーキ色に交つてタコ遊びなんかをやつて、母のやうに兵隊さんに慕はれた、この元氣な軍國的老婦人は奉天「兵士ホーム」の主で滿洲醫大教授、橋本滿次醫博の母堂橋本榮子刀自(ヌ)といふ、何よりも無邪氣で勇敢な兵隊さんが大好きだといふ愉快なおばアさん...

女性明朗線

さへ知らぬ實業が勤王家従三位玉松操氏の嗣子眞幸男爵に嫁した紀子(七)であることがわかり、京都第一工業學校に教鞭をとつてゐる次男季治氏(八)と、お互ひに厭くちやな顔を寄せて涙ぼろ／＼、數十年ぶりにラヂオを通じた近代的な對面をした

かつての本莊子爵夫人で小笠原長生子の令嬢信子さん(七)は、女性の經濟的獨立をめざして本莊家を飛び出し大阪で新聞記者などをやつてゐるうち病を得て京都で養生をしてゐたが、病氣全快とともに、やつぱり「いゝお母アさん」になるのが本當だと、心境一轉、元京都市長大野盛郁氏夫妻の媒酌で、京都市東洞院綾小路に住む醫學博士今井泰藏氏と結婚、名も孝子さんと改めて、十八になる今井博士の令嬢の「おとなしい、いゝママとして……」轉向、街頭から家庭へ朗らかに返り咲いた

× × × × ×

天下の住友王國の若き當主、巨財と才能にめぐまれた吉左衛門さん(三)と日本一の花嫁御寮、元老西園寺公の令孫春子さん(三)が千歳の契を結ぶ、時は八年十一月十九日、京都鹿ヶ谷の住友別邸で盛大な結婚式が擧げられた、お仲人は近衛文麿公夫妻、花嫁はおすべらかに白輪子の襲、白地のうちかけ姿、嚴父八郎氏、令兄公一氏母堂代りの三井守之助氏夫妻らに附添はれて式場へ、平安神宮宮司の司式だ、しとやかな國粹嫁御の御輿入れもめでたく済んで、明る初夏五月中旬、をしどりのやうな若い夫妻は、青年子女の奏望の眸を浴びつゝ、新婚の旅、世界漫遊に鹿島立つた、お二人ともスキーがお好き、出發に際して、若い富豪夫人は「たゞ主人に連れられました……」と明朗な御挨拶……

「結婚解消」といふ新しい流行熟語まで作つたその女主人公、島瀉醫博令嬢静子さん(三)は、解消を

更に解消のダブルプレイで、結婚生活へホームインした、八年十一月廿五日である、新郎は京都府立醫大の出身で京都大學病院外科に勤務する島瀉氏門下の秀才、京都市駄屋町六角下る外科病院革島彦一博士の長男貞吉氏(三)、媒酌は京大醫學部伊藤弘、福島外科院長福島昌兩博士、とはおめでたい

著述家木村毅氏が大毎紙上に「彩管を友に異郷に老いた日本女性」の物語「ラグジーお玉」を書くに至つて、姪に當る東京多摩區新堀町三三筆耕社清原繁次郎氏の長女はつえさん(七)がはる／＼と見知らぬ伯母さんを迎へるためイタリに旅立つたのだつた、半世紀ぶりで見えた故國へのお玉さんの感激は、はたの見る目にも涙を誘ふほどだつた、皺の深い兩手をあげて「おニッポン」と呼びかけた老女性の前に、花やかに展開した近代日本文化はいかに誇らしいものだつたか

× × × × ×

新潟の名もない藝妓から一躍、小唄界のナンバーワンになつた例の元霞町藝妓勝太郎姐さんが、藝妓を引退して名も小唄勝太郎と改めて小唄の家元になつた、藝妓から家元への轉向、そこには次のやうな噂がある

の寵兒に祭り上げた、霞町兼松姐さんの屋形に來て幾星霜それでもやつぱり「田舎出の癖に……」と土地の古顔は二た言目にはかういつた、も一つにはうしろに糸をひくパトロンがあるんだとかないんだとか、いやもうとにかくえらい噂でしたつけ……

× × × × ×

だらりの帯の京都四條、ネオンの花咲く木屋町の交潤社バーにシトクな洋装姿でサーヴィスに憂身をやつす夜の女性が、晝は聴診器片手に白い診察服で患者を見舞ふ、美しく美しい女醫學者であつたとは——ほんの偶然の機會からこの明暗二相を纏うて暮らす女性の身元が判つたのだ、この婦人は昭和八年、大阪女子醫學專門學校を第一回卒業生として巣立つた田口經子さん(三)といふ明眸の處女で、卒業と同時に平川公行教授の推薦で京大松尾内科に見習として働き、その將來を矚目されつゝ近代女性の自覺と矜持を失はずに弟妹の學

女性明瞭線

資を求めてゐた美しく勇敢な女優だつた

× × × × ×

日活近代映畫の大スター、夏川靜江が多年の念願がかなつて、八年間のスタヂオ生活から舞台の脚光にをどり出た、彼の女自身ユニークな藝境にもすでに行詰りを感じてゐた時だし、といふので日活でも奇麗に彼の女を東寶劇場の舞台へ送り出すことになつたのである

東本願寺がもめぬいてゐる最中、紛争の主、大谷句佛氏の令嬢演子さん(七)が新しい話題とともに縁づいた、といふのは、婚家先が東本願寺末寺中、北海道では第一といはれる小樽量徳寺で法嗣岡崎現肇師(三)が新郎、その上演子さんは、句佛氏が法政にしてゐる宗務總長阿部惠水師の養女としての結婚で、大谷肇誠師が仲人役の戒師、もと／＼演子さんは句佛氏を父に兵庫縣水上郡竹田村山下き

く女を母に生れたが阿部師の養女になつてゐる、東本願寺宗政上、阿部師と實父の句佛氏は正面衝突し、句佛氏の卒倒事件まで惹起したさなか、公私を別に親子の情をそのまゝ「阿部が丹誠こめて育ててくれた」と感謝の言葉をもらす句佛氏の心境、あくまで句佛氏を斥けつゝも「お父さんを喜ばせたい」といふ養父惠水師の心遣ひは美しい花嫁をとりまいて床しいエピソードを残した、また西本願寺前管長大谷尊由師令嬢高子さん(三)も神戸商工會議所會頭岡崎忠雄氏令息眞一氏(三)と華燭の典をおげた

世俗を離れた雲水生活は肉食を一切遠ざけた勤行の禪域にあつて健康と高僧智識を生んでゐる、これの生理的研究を始めた女性がある、大阪府女子專門學校教授山崎金女史で由來禪の研究家だが、臨濟宗本山天龍寺、相國寺、建仁寺、南禪寺、妙心寺、東福寺、大徳寺、



野 球

甲子園【九年度】關西三大俱春秋リ
一タ(五月廿七日甲子園)稻門11-5 駿
台、稻門19-6 三田、駿台21-14 三田
▲東京大學OB野球(六月九日)三三
日神宮(A班早慶東、B班明立法に分
れリーグ戦によりA班は一勝一敗B班
駿台一勝して優勝)A班、三田8-6
稻門、稻門11-4 東大、東大15-14 三
田、B班、駿台3-0 法友、法友9-
5 堀本、駿台9-7 堀本
◇明治神宮體育大會野球 (十月卅一
日)十一月三日神宮、戸塚兩球場)大
學新入明大優勝、慶應8-1 早大、明
大11-4 専修、法政4-1 日大、(準決
勝)慶應8-7 立教、明大7-1 法政
(優勝戦)明大10-9 慶應▲中等學校、
中京商業優勝、大正中1-0 松山中、
松本商3-0 平安中、明石中3-1 北
海中、中京商4-0 浪高(準決勝)明石
3-0 大正、中京3-1 松本(優勝戦)
中京3-2 明石

Table with 2 columns: Team names and scores. Includes entries like 立教2-0 立命, 立命9-0 同大, etc.

Table with 2 columns: Team names and scores. Includes entries like 慶應3-1 關大, 慶應6-0 關學, etc.

Table with 2 columns: Team names and scores. Includes entries like 大2-0 關大, 明大4-1 3 關學, etc.

三六四

庭 球

【九年度】立教台灣遠征(一月中)立教
4-0 台北CB、台北鐵園14-8 立教
立教3-1 台北CB、立教15-0 全台
中、立教7-3 全台南、全高雄4-2
立教、立教13-1 台北鐵園、立教5-1
1 台北鐵園▲東京大學西下野球、慶應
6-0 關大(一月三日甲子園)慶應6-1
2 關大、慶應14-1 關學(一月五日甲
子園)早大8-2 稻門(一月五日藤井
寺)慶應11-8 立命、慶應14-8 同大
(六月九日京都)慶應10-5 神高商、慶
應14-5 關大(六月十日甲子園)關大4
-2 法政、法政5-0 神高商(六月十
七日甲子園)法政10-5 立命、法政9
-5 同大(六月十八日京都)立教4-2
立命、立教5-2 同大(六月廿三日京
都)立教8-1 關大(六月廿四日甲子
園)關大5-4 立教(六月廿七日甲子
園)關大14-12 明大二軍(七月一日野屋
川)▲早大滿鮮遠征(六月-七月)早大
6-1 1 滿俱、大連實業6-5 早大、早
大2-0 大連實業、早大5-4 京城府
廳、早大7-4 京城通信、早大8-0
朝鮮鐵道、早大15-8 釜山鐵道、▲明
大ハワイ遠征(六月-七月)米海軍4-1
3 明大、明大3-2 布哇人、ブレイブ
ス13-9 明大、明大9-4 支那人、明

大4-0 ワンダラリス、朝日3-1 明
大、明大2-1 布哇人、明大5-4 米
飛行隊、明大5-0 ブレイブス、明大
4-2 支那人、明大3-1 朝日、ワン
ダラリス8-7 明大▲立教滿鮮遠征
(七月)立教2-0 滿俱、立教6-2 滿
俱、立教4-3 安東ク、立教9-2 朝
鮮植銀
◇第十一回高専大會 九年より第一部
(高校)第二部(専門)に分る▲第一部
(七月廿二、廿三日甲子園)準決勝、松山
高商9-8 桐生高工、横濱高商3-0
高松高商、優勝戦、横濱高商2-0 松
山高商▲第一部(七月廿三日-廿八日
甲子園)準決勝、松山高校10-5 一高、
水戸高校3-1 佐賀高校、優勝戦、松
山4-2 水戸
ウオールド・シリーズ
一九三三年度世界野球選手権試合
(八年十月三日-十月七日、ニューヨ
ーク・ボログラウンドおよびワシント
ン・グリフィス・スタジアム、ジャイ
アンツ優勝)第一回戦(十月三日)軍球
場)ジャイアンツ(ナ・リーグ)4-2
セネタース(ア・リーグ)▲第二回戦
(四日)軍球場)ジャイアンツ6-1 1 セ
ネタース▲第三回戦(五日)軍球場)セ

ネタース4-0 ジャイアンツ▲第四回
戦(六日)軍球場)ジャイアンツ2-1
セネタース▲第五回戦(七日)軍球場)
ジャイアンツ4-3 セネタース
【庭 球】
◇第十三回關西學生庭球(八年八月五
日-十二日、甲子園コート)シングル
ス決勝、木下(關學)6-3 6-4 6-1
1(京大)増山▲ダブルス決勝、木下、
川崎(關學)6-1 6-1 6-1 3(關
學)村木、尾崎
◇第五回全日本學生庭球(八年八月廿
二日-卅日、早帝南コート)シングル
ス決勝、山岸(慶應)12-10 6-3 6-1
1(慶應)西村▲ダブルス決勝、山岸、
西村(慶應)5-7 6-8 6-1 3 6-1
6-2(明大)藤倉兄弟
◇第十二回關西庭球選手権(八年九月
十日-十七日)シングルス決勝、戎カ
ジマヤ)1-6 6-1 3 6-1 1(京
大)林▲ダブルス決勝、村上、上原(昭
錦大澤)4-6 6-1 3 6-1 4 6-1 1(大
澤カジマヤ)堀越、戎
◇第一回東西女子對抗(九月二十三、
四日)大森コート)關東6-3 關西
◇第二十回早慶對抗庭球(九月十六、

七日早大コート)慶應9-0 早大
◇第十四回東日庭球トーナメント(九
月廿三日-卅日)早帝南コート)シング
ルス決勝、慶應(明大)6-1 2 6-1 2 4
1 6-1 2(東ク)佐藤▲ダブルス決勝
西村、山岸(慶應)6-1 2 6-1 1 6-1 2
(早大)山岡、吉川▲ジュニア決勝、
健富(慶應)6-1 2 6-1 2 6-1 2(慶應)
橋本▲同複決勝、健富、橋本(慶應)6
-1 1 6-1 2 6-1 1(成城)莊田、大津▲
ベテラン単決勝、山崎(ボブラ)6-1 2
6-1 3(東京)松平▲同複決勝、山崎、
針重(ボブラ)6-1 0 6-1 2(東京)御木
本、松平▲女子單決勝、林(小石川)6
-1 4 6-1 4(ボブラ)瀧口▲同複決勝、
瀧口、岡田(ボブラ)7-1 5 6-1 0(東
京)林、立花
◇明治神宮體育大會庭球(十月廿七日
-十一月三日、早帝明文理大森お茶水
各コート)一般男子單決勝、宮城(東
大)7-1 5 6-1 2 6-1 0(早大)三浦▲
同ダブルス決勝、齋藤、宮城(東大)6
-1 0 6-1 0 3-1 6 6-1 0(一ツ橋ク)
牧野、村上▲男子中等單決勝、鶴田(佐
賀師)1-6 6-1 1 7-1 5 6-1 3(京都
師)松本▲同複決勝、久野、三浦(愛知
一中)6-1 4 7-1 5 6-1 3(廣島市商)

三六五

庭球

水津、坪井▲一般女子軍決勝、林(小石川)6-4、6-2(ボブラ)岡田▲同

◇第十二回全日本庭球選手権(十一月五日-十七日、甲子園コート)シングルス決勝、西村(慶應)6-1、6-4、3-1、6-6-1-2(明大)藤倉▲ダブルス決勝

◇昭和八年度日本庭球選手権(九年一月九日)日本庭球協会発表)シングルス、1西村(慶應)2山岸(慶應)3藤倉(明大)4佐藤(東大)5波(カジマヤ)▲ダブルス、1西村、山岸(慶應)2藤倉、兄弟(明大)3山岡、吉川(早大)4宮城、齋藤(東大)5保田、渡邊(早大)(五位以下略)

◇昭和八年度全日本学生庭球選手権(九年一月九日)全日本学生庭球協会発表)シングルス、1西村(慶應)2山岸(慶應)3藤倉(明大)4佐藤(東大)5波(カジマヤ)▲ダブルス、1西村、山岸(慶應)2藤倉、兄弟(明大)3山岡、吉川(早大)4宮城、齋藤(東大)5保田、渡邊(早大)(五位以下略)

シングルス、1西村(慶應)2山岸(慶應)3藤倉(明大)4山岡(早大)5宮城(東大)▲ダブルス、1西村、山岸(慶應)2山岡、吉川(早大)3宮城、齋藤(東大)4鹿島、楠本(東大)5高橋、村上(慶大)(以下略)

◇デヴィス・カップ代表選手 一九三四年度杯戦歐洲ゾーン出場のため九月十九日日本庭球協会より左の六選手を決定発表した(布井選手は辞退し佐藤選手は病弱を押して遠征には加わつたが四月五日マラッカ海峡を航行中身投自殺を遂げた)

三木龍喜(在ロンドン)布井良助(神大)伊藤次郎(早大)西村秀雄(慶應)山岸(慶應)藤倉(明大)◇一九三三年度英國庭球選手権 シングルス、1ベリ2オースチン3リ4ヒューズ5グレゴリ(以下略)▲女子シングルス、1ラウンド2スクリグン3ナトル4スタム5キング夫人(以下略)

◇一九三三年度英國庭球選手権 シングルス、1ベリ2オースチン3リ4ヒューズ5グレゴリ(以下略)▲女子シングルス、1ラウンド2スクリグン3ナトル4スタム5キング夫人(以下略)

1デイ夫人3マープス4ボールフレイ5バブコック(以下略)

◇第廿一回早慶対抗庭球(九年四月廿二、三日日吉台コート)慶應9-0早大(これ慶十二勝早九勝となる)◇本社主催第十三回庭球選手権(九年五月一日-六日濱寺コート)シングルス決勝、秋元(神大)6-1、4-6、3-4、6-6-1-2(慶應)平井▲ダブルス決勝、秋元、堀越(神大)大澤、7-5、6-1、3-6、1-0(大毎)原田、伊藤▲混合ダブルス決勝、堀越、戸田、6-1、6-1、1-1大蔵、富川

◇第十回開東庭球選手権(九年五月十二日-廿日早慶両コート)シングルス決勝、楠本(東大)3-1、6-6、1-3、4-1、6-7-5-6-1-4(明大)塚田▲ダブルス決勝、桑澤、服部(早大)6-1、4-6、1-4、7-1-5(明大)中谷、塚田

◇一九三四年度英國庭球選手権大会(九年六月廿五日-七月七日ウインブルドン・コート)シングルス決勝、ベリ(英)6-1、3-6、1-0、7-1-5(兼)クロフォード▲ダブルス決勝、ロット、ステイフエン(米)6-1、2-6、1-3、6-1-4(佛)ポトラ、ブルニオン▲女子シングルス決勝、ラウンド嬢(英)6-1、2-5、1-7、6-1-3(米)ジエコブス▲女子ダブルス

三六六

決勝、マチウ夫人(佛)ライアンズ嬢(米)6-1、3-6、1-3(佛)アンドルー嬢(米)アンロタン夫人▲混合ダブルス決勝、三木(日)ラウンド嬢(英)3-1、6-6、1-4、6-1-0(英)オースチン、バロン夫人

本年は我々杯選手皆若く不成績であつたが三木選手はラウンド嬢と組んで始めてわが選手によつて本大会の選手権を獲得した

本社主催第十七回全国中等學校庭球大會

(九年七月廿七日-卅日濱寺コート)シングルス決勝、木村(青山學院)6-1、3-4、1-6、6-1-3(愛知一中)高橋▲ダブルス決勝、牛尾、高橋(御影師範)3-1、6-7-1-5、6-1-2(天王寺商)和田、秋重

本社主催第十一回女子中等學校庭球大會

(九年七月廿三、廿五日濱寺コート)シングルス決勝、飯田(扇町)6-1、0(大谷)太田▲ダブルス決勝、飯田、河合(扇町)7-1-5(生野)神田、星

テチヤレンヂ・ラウンド 英國4米國1(九年七月廿八日-卅一日ロンドン、ウインブルドン・コート)で舉行英國二年連覇)シングルス

1オースチン(英)6-1、4-6、1-4、6-1-1(米)シールズ▲ベリ(英)6-1、1-4、1-6、5-1、7-6、1-0、6-1-3(米)ウッド▲ベリ(英)6-1、4-4、1-6、6-1-2、1-5、1-13(米)シールズ▲オースチン(英)6-1、4-6、1-0、6-1-8、6-1-3(米)ウッド▲ダブルスシロツト、ステイフエン(米)7-1、5-6、1-0、4-1、6-9-1-7(英)リ、ヒューズ

ラグビー

東都七大學試合

東都に於ける大學試合は従来の早、慶、明、立、帝の五大學に昭和八年秋期から新に法政、商大の二校を加へて七大學とした

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for match results (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) with scores and symbols.

試合一覽表

早大 8-6 明大

ラグビー

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for player names and scores.

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for player names and scores.

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for player names and scores.

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for player names and scores.

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for player names and scores.

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for player names and scores.

關西に於ける試合

再興後第一年を迎へて異常なるチムワークを唱へられた同大はよく關西を風靡したのみならず余力を騰つて關東の諸豪と對抗一步も譲らず第一位たる早大と引分けて天晴れ關西の名譽の爲万丈の氣を吐いたが、惜しや對慶應の一戦に不覺の敗をとつた、しかし兎

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for player names and scores.

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for player names and scores.

Table with columns for university names (早大, 慶大, 明大, 立教, 法政, 帝大, 商大) and rows for player names and scores.







ホッケー、籠球、排球

【ホッケー】

東西對抗蹴球戦(十回極東大会、選抜試合を兼ね)一回戦(九年一月廿一日)

昭和八年度全日本ホッケー選手権大会(十一月廿三日)

【中等学校の部優勝戦】市立一中43-35

【勝敗表】リーグ 成蹊優勝

【籠球】

東京、京都兩帝大主催全日本籠球選手権大会(八年七月廿四日)

第十回全日本籠球選手権大会(九月廿二日)

【中等学校の部優勝戦】市立一中43-35

【勝敗表】リーグ 成蹊優勝

【排球】

關西排球選手権(八年七月十六日)

Table with 2 columns: Team, Score. Includes teams like 關西、早大、立大、慶大、明大、商大、早大、東大.

【陸上競技】

【昭和八年度下半年】

【一般男子】優勝戦興工殿21-19

【日本對ベルギー】八月五日、サンチャゴ

【卓球】

主なる試合成績(硬式)

全日本學生硬式卓球選手権大会(八年七月十四日)

【日本對アルゼンチン】八月廿六、廿七日

卓球、陸上競技

陸上競技

【3】點點大(2) 點點大(3) 38點點大(以下略) 第二部(1) 55點點大(2) 51點點大(3) 50點點大(以下略)

本社主催第四回全日本中等學校東西對抗陸上競技大會(十月一日、南甲子園) 西軍(5) 點點大(1) 點點大(2) 點點大(3) 點點大(4) 點點大(5) 點點大(6) 點點大(7) 點點大(8) 點點大(9) 點點大(10) 點點大(11) 點點大(12) 點點大(13) 點點大(14) 點點大(15) 點點大(16) 點點大(17) 點點大(18) 點點大(19) 點點大(20) 點點大(21) 點點大(22) 點點大(23) 點點大(24) 點點大(25) 點點大(26) 點點大(27) 點點大(28) 點點大(29) 點點大(30) 點點大(31) 點點大(32) 點點大(33) 點點大(34) 點點大(35) 點點大(36) 點點大(37) 點點大(38) 點點大(39) 點點大(40) 點點大(41) 點點大(42) 點點大(43) 點點大(44) 點點大(45) 點點大(46) 點點大(47) 點點大(48) 點點大(49) 點點大(50) 點點大(51) 點點大(52) 點點大(53) 點點大(54) 點點大(55) 點點大(56) 點點大(57) 點點大(58) 點點大(59) 點點大(60) 點點大(61) 點點大(62) 點點大(63) 點點大(64) 點點大(65) 點點大(66) 點點大(67) 點點大(68) 點點大(69) 點點大(70) 點點大(71) 點點大(72) 點點大(73) 點點大(74) 點點大(75) 點點大(76) 點點大(77) 點點大(78) 點點大(79) 點點大(80) 點點大(81) 點點大(82) 點點大(83) 點點大(84) 點點大(85) 點點大(86) 點點大(87) 點點大(88) 點點大(89) 點點大(90) 點點大(91) 點點大(92) 點點大(93) 點點大(94) 點點大(95) 點點大(96) 點點大(97) 點點大(98) 點點大(99) 點點大(100)

【4】點點大(1) 點點大(2) 點點大(3) 點點大(4) 點點大(5) 點點大(6) 點點大(7) 點點大(8) 點點大(9) 點點大(10) 點點大(11) 點點大(12) 點點大(13) 點點大(14) 點點大(15) 點點大(16) 點點大(17) 點點大(18) 點點大(19) 點點大(20) 點點大(21) 點點大(22) 點點大(23) 點點大(24) 點點大(25) 點點大(26) 點點大(27) 點點大(28) 點點大(29) 點點大(30) 點點大(31) 點點大(32) 點點大(33) 點點大(34) 點點大(35) 點點大(36) 點點大(37) 點點大(38) 點點大(39) 點點大(40) 點點大(41) 點點大(42) 點點大(43) 點點大(44) 點點大(45) 點點大(46) 點點大(47) 點點大(48) 點點大(49) 點點大(50) 點點大(51) 點點大(52) 點點大(53) 點點大(54) 點點大(55) 點點大(56) 點點大(57) 點點大(58) 點點大(59) 點點大(60) 點點大(61) 點點大(62) 點點大(63) 點點大(64) 點點大(65) 點點大(66) 點點大(67) 點點大(68) 點點大(69) 點點大(70) 點點大(71) 點點大(72) 點點大(73) 點點大(74) 點點大(75) 點點大(76) 點點大(77) 點點大(78) 點點大(79) 點點大(80) 點點大(81) 點點大(82) 點點大(83) 點點大(84) 點點大(85) 點點大(86) 點點大(87) 點點大(88) 點點大(89) 點點大(90) 點點大(91) 點點大(92) 點點大(93) 點點大(94) 點點大(95) 點點大(96) 點點大(97) 點點大(98) 點點大(99) 點點大(100)

三七四

三段跳10米 87林氏(關東) ▲砲丸投13米 37(青年團新記録) 高田(廣島) ▲第廿回全日本選手権(十一月一日、三日、神宮) 男子の部 一百米10秒8 南(近畿) ▲二百米22秒3 鈴木(關東) ▲四百米50秒5 西(滿洲) ▲八百米1分59秒 保阪(關東) ▲千五百米4分11秒2 濱田(滿洲) ▲五千米15分30秒 須佐(近畿) ▲一萬米32分6秒8 小柳(北九州) ▲マラソン2時間31分10秒 橋本(好) 世界・日本新記録 ▲高障り15秒1(参考) 清水(關東) ▲中障り55秒7(日本新記録) 陸口(關東) ▲三千米障り9分57秒 内田(關東) ▲五千米障り25分51秒6(日本新記録) 和田(關東) ▲五千米障り5時間22分30秒 和田(關東) ▲四百米障り43秒7 專修大 廣瀬、渡邊、近藤、矢澤 ▲千六百米障り3分28秒4 東文壇大(中島、塚本、長谷川、三柳) 女子の部 一百米12秒6 渡邊(東海) ▲二百米27秒3 柴田(南興羽) ▲八百米2分31秒4(日本新記録) 真木(南興羽) ▲八千米障り12秒7 森岡(關東) ▲二百米障り26秒3 名古屋高女(前田、近藤、木村、渡邊) ▲四百米障り52秒1 名古屋高女(前田、近藤、木村、渡邊) ▲走高跳1米43 廣橋(關東) ▲走高跳5米64 渡邊(東海) ▲

三段跳10米 87林氏(關東) ▲砲丸投10米 14山本(東海) ▲円盤投36米73(日本新記録) 石津(關東) 槍投39米36(日本新記録) 眞保(近畿) ▲第一回東海學生對校選手権(十一月四日、五日、名古屋鶴舞公園) (1) 二點點2名高商(2) 70點2三重高農(3) 50點2八高(以下略) ▲早大、滿鐵、滿洲國對抗(十一月四日、早大) (1) 85點早大(2) 62點5滿鐵(3) 44點5滿洲國 ▲近畿對滿洲國國際競技(十一月九日 神戸市民運動場) 近畿70點 40點滿洲國 ▲第二回京都對神戸都市對抗(十二月十一日、京都植物園) 京都47點 22點神戸 ▲故竹内氏記念近畿マラソン(十一月廿三日、阪神國道コース) 2時間37分55秒 中村(坂出青年) ▲第四回台灣學生對校選手権(十二月二、三日、台北大) (1) 二點點台北大(2) 二點點台北高商(3) 93點台北高商 ▲昭和九年度上半年期 ▲第十五回東京根柢間往復大學高專驛傳(一月六、七日) (1) 12時間58分24秒 早大(2) 13時間5分13秒 日大(3) 13時間13分 慶應(以下略)

六千米17分39秒6 日大 ▲瑞典權走2分2秒 女理大 ▲特殊種目 一千米團體17點 慶應 ▲低障り26秒8 兒島(慶應) ▲五種203點 59山岸(文理大) ▲十種208點 75山岸(文理大) ▲第十回極東大會代表陸上選手権(四月十六日、東京) において日本陸上競技聯盟により編成發表され、同十九日甲子園に集合合宿練習を行ひ、同廿九日神戸より平洋丸にてマニラに出発、六月一日神戸歸着解散。監督 小林彦次 庶務會計 小山勝太、ヘッド・コーチ 沖田芳夫、アシスタント・コーチ 加賀一郎、藤田尚門、福井行雄、大島鎌吉、首將 齋藤辰雄、選手吉岡隆徳、阿武巖夫、谷口隆生、鈴木開多、吉住猛、増田廣、相原豊次、青地球磨男、菅沼俊哉、田中秀雄、露木健造、内田講、柳長春、名島忠雄、清水孝太郎、淺川正一、村上正、市原正雄、大野嘉夫、陸口正一、張星賢、田島直人、安達清、矢田喜美雄、朝隈善郎、原田正夫、大江季雄、根本伊和夫、菊本耕作、藤田喜代次、劉約翰、阿部功、神代義郎、長尾三郎、鈴木源三郎、藤田秀治、鹿内漁吉、金木房雄、富江利直、赤羽正次、小林啓治 ▲佐々木吉藏、竹中正

一、南沼忠平、西田修平、高田靜雄 岡田和好、立中善助の七選手は代表選手團に推薦を受けたがマニラ大會には各種の事情より参加せず ▲第四回世界女子オリンピック大會代表選手権(五月十一日大阪) において日本女子スポーツ聯盟により編成發表され、同十七日より一週間甲子園に集合合宿練習を行ひ、五月廿一日神戸出帆の白山丸にて渡歐す。團長 木下東作 監督 南沼忠平、中澤米太郎、首將 眞保正子、選手 渡邊すみ子、山本定子、乾富美子、葛尾小秀、井戸田きよ子、中村勝子、牧野幸子、平島クリコ ▲第四回世界女子オリンピック(八月九、十、十一日、ロンドン) の決勝一等記録および日本選手成績左の通り 八十米障り11秒6(世界新記録) アングレハルト(獨) ▲六十米7秒6(大會タイ記録) ワラシエツ(波) ▲円盤投43米79(大會新記録) ワイツナ(波) ▲二百米11秒9(大會新記録) クラウス(獨) ▲二百米24秒9(大會新記録) クラウス(獨) ▲八百米1分2分12秒4(世界新記録) コウコバ(チエコ) (5) 井戸田きよ子(日) ▲四百米權走(1) 48秒6(大會新記録) ドイツ(4) 日本(乾、葛

點點佐々木(大阪市電氣局) ▲十種208點 山岸(文理大) ▲男子特殊種目 一千米團體17點 慶應 ▲低障り26秒8 兒島(慶應) ▲五種203點 59山岸(文理大) ▲十種208點 75山岸(文理大) ▲第十回極東大會全日本陸上選手権(四月十四、十五日、神宮) 一百米10秒7 吉岡(大塚ACC) ▲二百米22秒1 吉岡(大塚ACC) ▲四百米50秒9 吉住(明大出) ▲八百米1分58秒2 青地(立教) ▲千五百米4分4秒6 田中(中央) ▲一萬米31分20秒2 柳(朝鮮總督府) ▲高障り15秒3 清水(早大) ▲中障り56秒1 市原(立命) ▲砲丸投13米40 高田(廣島青) ▲円盤投40米83 菊本(文理大) ▲槍投62米14 長尾(開大) ▲走高跳7米16 田島(京大) ▲走高跳1米91 安達(早大) ▲棒高跳4米10 西田(早大) ▲三段跳14米86 原田(京大) ▲五種208點 59山岸(獨玉青) ▲十種208點 75山岸(文理大) ▲第一回近畿一級、學生對抗(四月廿二日、南甲子園) 學生(5) 點點大(1) 點點大(2) 點點大(3) 點點大(4) 點點大(5) 點點大(6) 點點大(7) 點點大(8) 點點大(9) 點點大(10) 點點大(11) 點點大(12) 點點大(13) 點點大(14) 點點大(15) 點點大(16) 點點大(17) 點點大(18) 點點大(19) 點點大(20) 點點大(21) 點點大(22) 點點大(23) 點點大(24) 點點大(25) 點點大(26) 點點大(27) 點點大(28) 點點大(29) 點點大(30) 點點大(31) 點點大(32) 點點大(33) 點點大(34) 點點大(35) 點點大(36) 點點大(37) 點點大(38) 點點大(39) 點點大(40) 點點大(41) 點點大(42) 點點大(43) 點點大(44) 點點大(45) 點點大(46) 點點大(47) 點點大(48) 點點大(49) 點點大(50) 點點大(51) 點點大(52) 點點大(53) 點點大(54) 點點大(55) 點點大(56) 點點大(57) 點點大(58) 點點大(59) 點點大(60) 點點大(61) 點點大(62) 點點大(63) 點點大(64) 點點大(65) 點點大(66) 點點大(67) 點點大(68) 點點大(69) 點點大(70) 點點大(71) 點點大(72) 點點大(73) 點點大(74) 點點大(75) 點點大(76) 點點大(77) 點點大(78) 點點大(79) 點點大(80) 點點大(81) 點點大(82) 點點大(83) 點點大(84) 點點大(85) 點點大(86) 點點大(87) 點點大(88) 點點大(89) 點點大(90) 點點大(91) 點點大(92) 點點大(93) 點點大(94) 點點大(95) 點點大(96) 點點大(97) 點點大(98) 點點大(99) 點點大(100)

第七回關西中等學校選手権(五月六日、神宮) 中等部(1) 26點 濱松工(2) 22點 植民貿易(3) 14點 跳子商、匠、中(以下略) ▼師範部(1) 70點 神奈川師(2) 42點 鳥取師(3) 33點 山口師 ▲關東學生權走(五月十九、廿日、上井草) 權走 一百米44秒9 文理大 ▲八百米1分35秒 慶應 ▲千六百米3分33秒 文理大 ▲三千二百米8分39秒 文理大 ▲

陸上競技 三七五



「ベルリン大会のポスター」

### 第十一回國際オリンピックの全貌

第十一回國際オリンピック大會はまづ冬季競技を一九三六年二月六日から十六日まで南獨ガルミツ

- 尾、牧野、渡邊) ▲走幅跳(1) 5米81
- グツヘル(獨)、(4) 5米46渡邊すみ
- 子(日) ▲槍投(1) 42米43グリウス(獨)
- (5) 37米74山本定子(日)、(6) 37米62
- 眞保正子(日)
- 各關順位および得點 (1) ドイツ95
- (2) 波蘭33 (3) 英國31 (4) カナダ22

シユ・バルテンキルヘンで、主要本大會を同年八月一日から十六日までベルリンで舉行される、會場のドイツとしては多年の宿望が達成されるので、ロサンゼルス大會後早くもオリンピック組織委員會を構成し、レワルド博士を委員長としベルリン市長の熱誠な支持の下に着々準備を進め、各國に發した大會參加申請狀に應じて出場を通告した國は二年前の一九三四年夏すでに卅二ヶ國に及んでゐる

ナチス政權の全ドイツ支配は一時ユダヤ人排撃から第十一回大會のベルリン開催を危惧されてゐたが、ヒトラー氏の諒解はかへつてオリンピック運動に支援を與へるこ

- (5) チェコ18 (6) 南阿14 (7) 瑞典11
- (8) 日本10 (9) 埃太利9 (10) 和蘭6
- (11) 佛國2
- 第五回台灣學生選手權(五月廿六、廿七日、台北大(1) 55點5台北高校
- (2) 台北高商(3) 台北帝大(以下略)
- 北陸學生選手權(五月廿六、廿七日

「ネワルドの舊競技場をヒトラ首相自ら檢分しロサンゼルスオリンピックスタジアムを凌ぐ理想的綜合競技場に改装することを命じ、着々工事を開始し出した、ドイツ當局の第十一回大會準備は、今日までのところ順調な進行振り

をみせてゐるがわが日本を初め米、英、佛、伊、芬、瑞典など世界スポーツ強國のベルリン大會に對する參加準備は漸く國家および國民を背景としてよく活動的となつてきた、少くともオリンピックが國際文化の上にもたらす多大の貢獻について一般の認識が深められた證左と信ぜられる

- 富山高(校) 福井高工優勝
- 第四回滿洲學生選手權(五月廿七日奉天)(1) 51點滿洲醫大(2) 47點旅順工大(3) 20點南滿工專
- 第一回朝鮮學生選手權(六月二、三日、京城)(1) 94點5水原高農(2) 80點%京城高商(3) 71點%京城大(以下略)

世界制覇を意圖する日本としてはベルリン大會を契機として競技團體の組織體系的の合理化に、競技技術の進歩に一大展開が示されるものと豫測されるが、アジアを代表するスポーツ日本のオリンピック運動に對する發言權はますます重

大性を加へよう  
第十一回國際オリンピック大會のベルリン開催が不安な歐洲政局の空氣を幾分でも緩和し世界平和運動に一役割を打てるならドイツのためにも、各國間の友好上にも祝福されなければならない、第十一回大會のバトロンとして臨場を約束したヒンデンブルグ大統領がベルリン大會に先きだつて長逝したことは惜しい(三四・八・五)

- 下略)
- 第四回東北學生選手權(六月三日、東北大)(1) 66點5山形高(2) 52點福島高商(3) 50點二高(以下略)
- 本社後援第七回九州學生選手權(六月十日、福岡春日原)(1) 69點%九大(2) 63點%長崎高商(3) 57點山口高商

#### (以下略)

- 第一回中國四國學生選手權(六月十七日、岡山醫大)(1) 55點5六高(2) 59點5松江高(3) 43點%岡山醫大
- 秩父宮賜杯第七回日本學生選手權(六月十六日、十七日、神宮)(1) 98點%東文理大(2) 53點%關大(3) 51點%京大(4) 40點中央(5) 35點慶應(6) 27點%日大(以下略)▽百米10秒8谷口(關大) ▲二百米22秒近藤(專修) ▲四百米50秒2三柳(東文理大) ▲八百米2分1秒2黒澤(中央) ▲千五百米4分17秒8青地(立教) ▲一萬米32分58秒4須佐(專修) ▲高障15秒5柳井(京大) ▲中障56秒5市原(立命大) ▲四百米走43秒4關大(川手、福田、小椋、谷口) ▲千六百米走3分28秒6東文理大(勝又、中島、長谷川、三柳) ▲走高跳1米86柳本(慶應) ▲棒高跳3米60A大江(慶應) ▲走巾跳6米77田島(京大) ▲三段跳14米49田島(京大) ▲砲丸投12米28加藤(東文理大) ▲円盤投37米26藤田(東文理大) ▲槍投66米19長尾(關大) ▲鐵槌投44米01吉澤(東文理大)
- 第三回京都對神戸都市對抗(六月十日、神戸市民運動場)京都51點51神戸5神戶

#### 陸上競技

- 日米競技豫選第三回一般對學生(七月廿一日、南甲子園)學生軍95點175點一般軍▽百米10秒5吉岡(一般) ▲二百米21秒4吉岡(一般) ▲四百米50秒鈴木(學生) ▲八百米1分58秒5青地(學生) ▲千五百米4分10秒4田中(學生) ▲五千米15分58秒2丸山(一般) ▲高障15秒3柳井(學生) ▲中障56秒市原(學生) ▲四百米走42秒2一般軍(佐々木、大島、西、吉岡) ▲千六百米走3分27秒4一般軍(増田、天近、今井、西) ▲砲丸投13米28西村(一般) ▲円盤投40米13藤田(學生) ▲槍投61米96長尾(學生) ▲鐵槌投44米70塚本(一般) ▲走巾跳7米51原田(學生) ▲走高跳1米90木村、竹内(一般) ▲木村(學生) ▲棒高跳4米10大江(學生) ▲三段跳15米16原田(學生)
- 第九回全國高校大會(七月廿八、廿九日、神宮)(1) 54點%學習院(2) 47點%六高(3) 42點%浪高(以下略)▽百米10秒9小池(學習院) ▲二百米21秒9木村(山形) ▲四百米50秒8木村(山形) ▲八百米2分4秒5鶴澤(八高) ▲千五百米4分25秒永安(六高) ▲五千米17分26秒遠山(二高) ▲高障16秒5西崎(六高) ▲低障25秒7高橋(三高) ▲四

百米走44秒8山形(東條、鈴木、竹花、木村) ▲千六百米走3分35秒2山形(駒田、大越、竹花、木村) ▲砲丸投(12ポンド)12米71松田(弘前) ▲円盤投36米25實吉(學習院) ▲槍投52米58宮崎(台北) ▲鐵槌投(12ポンド)38米56松山(松本) ▲走巾跳7米07小池(學習院) ▲走高跳1米88金上(弘前) ▲棒高跳3米60山本(浪速) ▲三段跳13米77小澤(甲南)

百米の選手權を連續掌握し、記録的には百米(10秒3)二百米(20秒4)ともに未公認ながら世界最高記録の保持者である  
パインソス 南加大學生、三四年度米國選手權大會百米に四着、二百米に三着、二百米は21秒2の好記録を持つてゐる  
ハワード・グリーン アビレン・クリスチアン大學生、三四年度米國選手權大會の四百米二着、その豫選記録は48秒6  
グレン・カニンガム カンサス大學出身で一行の首將、羅府オリンピックの千五百米には四着だったが、その後進境目覚しく一哩4分6秒7の世界記録を初め室内千五百米3分52秒3の世界新記録を持つてゐる、記録は八百米1分50秒6、千五百米3分51秒6(米國記録)  
チャールズ・ホーンポステル インデアナ大學生、羅府オリンピックには八百米六着、三三年の全米インタカレチ八百米には1分50秒9で優勝し三四年度同大會にも1分51秒9で優勝した  
フランク・クロロリー マンハッタン

陸上競技

大學生、三四年度AAU五千米には15分18秒で一等、同じく三四年度全米學生大會には三千米8分39秒3で一等、三三年の全米學生大會千五百米には3分55秒8で二等...

公認陸上競技記録

Table of records for various events like 100m, 200m, 400m, 800m, 1000m, 1500m, 2000m, 3000m, 4000m, 5000m, 10000m, 20000m, 30000m, 40000m, 50000m, 100000m, 200000m, 300000m, 400000m, 500000m, 1000000m, 2000000m, 3000000m, 4000000m, 5000000m.

八百米競走

八百米競走 1分28秒4 早大 中野田 高野田 中野田 高野田...

八百米競走

八百米競走 1分25秒8 南加 大加 南加 大加...

千六百米競走

千六百米競走 3分16秒8 日本 中野田 高野田...

千六百米競走

千六百米競走 3分8秒2 米國 南加 大加...

マラソン

マラソン 2時間31分10秒 楠 (坂出青年)...

マラソン

マラソン 2時間31分36秒 サバ (アルゼンチン)...

走市跳

走市跳 7米98 南部 (一) 般...

走市跳

走市跳 7米98 南部 (日本)...

立高跳

立高跳 1米98 矢野 (早大)...

立高跳

立高跳 1米98 矢野 (早大)...

陸上競技

女子の部 五十米 6秒4 人見 (大)...

女子の部 五十米 6秒4 メゼリコバ (チェコ)...

陸上競技

陸上競技 二百米 24秒7 人見 (大)...

陸上競技 二百米 24秒1 ワラシエツ (波)...

第十回極東選手権 競技大会 (マニラ)

満洲國の参加問題から端を発して第十回極東大会は昭和九年度上半期のスポーツ界に渦巻をまき、四月上海に開かれた日比支特別委員会(日本代表山本忠興博士出席)の結果、満洲國のマニラ大会出場不能となり漸く世論統一を缺いたが、大日本體協は一部選手の不参加と参加反対運動ありしに拘はらず日本代表選手團を五月十二日から八日間リサル競技場において舉行のマニラ大会に派遣し、曇氣陰雨つゞきの悪コンディションの下に比、支、蘭印を敵手として力戦に努め一方大会に際して開かれた極東體協臨時總會には憲法改正を期して惡戦苦闘、支那の總會選席から日比合同して極東體協(F・E・A・A・A)解消を宣し新たに東洋體協(A・A・A・A・O)を創立した、これによつて懸案の満洲國参加も期待され、日本は東洋スポーツ界の盟主としてリイゲーシツプをとることゝなつた、競技記録左の通り(陸上および水上は一等記録のみ)

- レオン(比)▲二百米21秒6(極東新)吉岡(日)▲四百米49秒8(比)▲八百米1分57秒2(極東新)青地(日)▲千五百米4分3秒5(極東新)田中(日)▲一萬米32分45秒5(日)▲高障14秒8(極東・日本新)村上(日)▲中障53秒(極東新)ホワイト(比)▲四百米走42秒3(日本)鈴木、谷口、阿武、吉岡)▲千六百米走3分20秒3(極東新)比島(エストラダ、ホワイト、カンダリ、アランプラ)▲砲丸投12米90(極東新)阿部(日)▲鉛投42米54(極東新)アマンテ(比)▲槍投59米83長尾(日)▲走巾跳7米30(比)▲三段跳15米7(大島)▲走高跳1米88トリビオ(比)▲棒高跳3米90(大江)▲五種37分6秒85(極東新)築田(日)▲十種71分06秒1(比)▲得點陸上競技(1)51點日本(2)19點比島(3)7點支那▲総合競技(1)18點日本(2)14點比島(3)5點支那(4)2點蘭印

この傑出した選手十人

吉岡隆徳(東京高師出)百米、二百米における超スピード一殊にスタート・ダッシュの威力は「世界最速の五十分米走者」の名に背かない、昭和八年度には百米10秒4、二百米21秒2の快記録を出し世界的スプリンターとして折紙がつけられた、アジア民族の生んだ一代の快走兒は學窓を出た昭和九年度上半期もなほ百米に10秒5、二百米に21秒4の好記録を示し依然第一人者の實績を堅持してゐる

寂しかつた

藤枝昭英(關大)昭和八年度に於る陸上日本の國際的試練として企てられた南米遠征に加へられブエノスアイレスにおいて八百米1分56秒8を出し多年不振に喘いでゐたわが中距離界に一道の光明を點じた、彼は日本人向きの中距離走法を會得しこれを合理化するに及んで中距離走の向上策だと説いてゐる

破した、この成功を機としてマラソナ

一楠は第一線から去るか、進んでヘルリン大会への疾驅を繼續するかは長距離界注目点である

水上競技

- 第一回全國高商大会(七月十九日)神宮プール 東西對抗西部25-56 東部75 優勝校高商56 全國高工大大会(七月廿日)寶塚プール 優勝校横濱高工75 第七回全日本中等學校水上競技大会(八月廿六、廿七日)大阪市立プール 東西優勝校新戦道中96-68 見付中▲東西對抗西部25-79 點▲全國高商水上大会(八月一日-三日)九大プール 四代表決勝競技優勝校八九大73 點

水上競技

水上競技

一九三三年度水上競技最高記録(男子の部)

Table of swimming records for men's events. Columns include distance (e.g., 五十米, 一百米), time, and swimmer name (e.g., 竹村(早大), 遊佐(日本)).

一九三三年度水上競技最高記録(女子の部)

Table of swimming records for women's events. Columns include distance (e.g., 三十米, 五十米), time, and swimmer name (e.g., 日本チーム, 河津(鶴田)).

四百米

5分6秒7

日本チーム

4分38秒

米國

三百米

4分16秒8

十回オリンピック

【九年度上半期】

Various news items and records from the 1933 season, including mentions of '大東大' and '立教'.

水上競技

この年選手十人

List of ten notable swimmers from the year, including names like 齋藤才三 and 齋藤才三.

水を抑へて身體を滑き氣味にし、滑り易い状態で泳ぐところなど短距離選手としての素質を十分もつてゐる

遊佐正憲 (日大在學) 四百、二百米日本記録保持者、當代隨一のクロール・スイマーとして世界的にどの選手にも劣らないわが水泳界の至寶である、

坂上安太郎 (早大在學) 水球から返り咲いて最近めき腕を上げ、全日本選手権大會等の活躍は目覚しく足の強い點において特長をもつてゐる短距離選手である

牧野正藏 (早大在學) 四百、五百八百米の各日本記録並に八百米世界記録保持者、短距離ながらリズムカルな調和のとれた泳法でぐんぐん出て行くところなど全日本選手権大會で根上に敗れたとはいへ依然長距離界において當代の至寶たるを失はぬ

北村久壽雄 (小松商業在學) 千五百米日本記録ならびに千米世界記録保持者、足のキツクの強さを得意とし、シヨート・カット・ストロークで

はなく堂々たる泳法である
清川正二 (東京商大在學)五十、
百、二百、四百米背泳日本記録ならび
に四百米世界記録保持者、モーション
が小さく腕の強い技巧の優れてゐる理
想的なスイマー、今後益々世界記録樹
立に可能性のある有望なる背泳界の第
一人者

小池禮三 (慶大在學)百、二百、
四百、八百米背泳日本記録保持者、わが
平泳界のピカ一で短編ながら腕の巧み
さ、呼吸の際のフォームは他人の真似
られぬ立派さである

根上博 (立教大學在學)昭和九年
全日本選手権大會で千五百米に驚異的
な記録19分16秒6を出し、八百米ラッ
プ・タイム10分4秒2、千メートルラッ
プ・タイム12分41秒8で共に世界記録であ
つた、體質的に見て他の優秀な選手ほ
ど先天的にめぐまれてはゐないが、規
則正しい生活と練習によつて疲労して
もピーニングの弱らない脚の練習を特
に行つたところにこの立派な記録を出
した原因があつた

前如秀子 (福山女專在學)五十、
百、二百、四百、五百米平泳日本記録並
に二百、四百、五百米平泳世界記録保

持者、名實ともにわが女子水上界の第
一人者として躍ける存在である、益々
世界的一流所を相手として技をみがき
つゝある彼女の今後こそ見ものである
小島一枝 (福山女專在學)百、二
百、三百、四百、五百米自由形日本記
録保持者、女子短距離界の巨星といふ
べきである

漕艇

全日本選手権漕艇大會(漕艇協會主
備、八月十一日隅田川向島コース(音
問橋一水神間二千米)

【エイト・シエル】A組(1)東大6分
4秒、艇差5艇身(2)京大▲B組(1)
東北帝大6分22秒獨漕【決勝】(1)東
京帝大6分23秒、艇差9艇身(2)東北
帝大

【フォア・シエル】A組(1)同志社6
分53秒獨漕▲B組(1)慶大6分38秒、
艇差1艇身(2)北海製鐵【決勝】(1)
慶應大學7分28秒、艇差5艇身(2)北
海製鐵

明治神宮大會(ボート) 【固定一般
決勝】(1)北海道製鐵(2)滿鐵クラブ
【エイトオープン決勝】(1)第二早高
(2)第一早高【固定シニア決勝】(1)

横濱高工(2)明治專門【固定ジュニア
決勝】(1)横濱商業(2)沼津中學【フ
ォア決勝】(1)高相葉會(2)日大【ス
カール一般決勝】(1)石井(東京)(2)
武井(關西)【スカールジュニア】(1)西
光(關西)(2)鍋島(關東)【スカールシ
ニア】(1)磯(關東)(2)金澤(關西)

【スカール女子】(1)西園寺(逗子)
(2)牧野(東京)(八月十一日)
第九回固定式選手権大會 (日本漕
艇協會主催、八月十九日、二十日、
隅田川向島喜多橋一高艇庫間、千
三百米) 【中等學校決勝】(1)本莊中
5分4秒(2)函館商【高専決勝】(1)
東商大豫科5分9秒(2)關東學院

第六回關西選手権大會 (日本漕艇
協會關西支部主催、八月十九日、十兩
日瀨田川コース競艇一壘谷) 【スカ
ールの部】(一般決勝)木村金澤の兩者共
に第二カテゴリーでコースアウト、後日再
競漕の判定を與へられたが木村業權
(ジュニア決勝)(1)西光4分46秒6(2)
村尾(三十歳以上)武井3分13秒8獨漕
(四十歳以上)佐々木タイム不明【フォ
アの部】(決勝)(1)同志社高商7分2
秒4、龍谷大失格(エイト決勝)(1)京
大6分9秒、艇差4艇身(2)關西大學

第十三回關東學生選手権大會 (八
年九月二十三、四日、向島洗場一水
神間二千米コース) 【エイト決勝】
(1)東京帝大4分6秒、艇差5艇身
(2)大倉高商【フォア決勝】(1)慶應
大學7分12秒、艇差5艇身(2)日本大
學

全國高専競漕大會 (本社後援、九
年七月廿八、九兩日、瀨田川コース競
艇一壘谷千三百米) 【專門學校の部】
(準決勝)A組(1)旅順工大豫科(2)明
治專門▲B組(1)横濱高工(2)長崎高
商(決勝)(1)横濱高工5分44秒、艇差
16秒4(2)旅順工大豫科【高校の部】
(準決勝)A組(1)六高(2)松山▲B組
(1)四高(2)大高決勝(1)六高5分
32秒、艇差一シート(2)四高

高校クリンカー・エイト (東京帝
大主催、九年八月五日隅田川)(1)一
高7分16秒6(2)二高
第三十二回全國中等學校競漕大會
(京橋帝大主催、九年八月四、五兩日
大津市柳ヶ崎コース) 【第一部】(準決
勝)A組(1)今治中學(2)洲本中學▲
B組(1)米子中學(2)長濱農林(決勝)
(1)今治中4分36秒2、艇差13秒(2)
米子中【第二部】(決勝)(1)御影師範

4分34秒1艇差1/4艇身(2)滋賀師範
第五回早慶對抗競漕 (九年四月廿
九日荒川放水路三千米新コース)(1)
慶應8分49秒、艇差1/2艇身(2)早大
關東學生小艇大會 (九年四月十四
五兩日、荒川放水路) 【スカールの部】
(1)鈴木(東大)7分37秒(2)磯(慶大)
【フォアの部】(1)商大6分46秒
(2)大倉

モーターボート

昭和八年度下半期

第三回全日本船外機競走大會(日
本モーターボート協會主催、東日後援
七月二日、荒川放水路千五百米獨航コ
ース) A級六千米8分10秒6飛島(東
京、J12、時速27哩3) B級六千米7
分11秒5原田(東京、J20、時速31哩
1) B級實用型六千米10分16秒2佐藤
(大塚、J16、時速21哩8) C級六千米
5分57秒5高梨(神奈川、J24、時速
37哩5) A級混合九千米13分7秒5和
田(大塚、J20、時速25哩5) C級混合
一万二千米15分38秒5高梨(神奈川、
J24、時速28哩6) E級六千米7分
13秒8石井(東京、J50、時速30哩9)
ランナバウト六千米10分37秒田村(東
京、E V35、時速20哩7) 備考、J
はジョンソン發動機、E Vはエヴィン

第十回日本固定式選手権大會 (日
本漕艇協會主催文部省後援、九年八月
十九日瀨田川コース競艇一壘谷千三百
米) 【中學の部】(準決勝)A組(1)青
森中學5分35秒、艇差13秒(2)小樽
中學▲B組(1)藤所中學5分36秒5、
艇差10秒(2)横濱商業(決勝)(1)藤所

モーターボート

一九三三年世界ハイドロプレーン一哩記録

Table with columns: 氏名, 艇名, 名時, 速級, 別時, 日場, 所. Lists names like H. スコツ, T. ベイン, G. ド・カッ, etc.

ルード發動機略稱

第二回船外機マラソン(日本モ
ーターボート協會主催、九月十七日、荒
川—新荒川放水路循環二回15哩) 1
辰野1時間36分52秒(B級實用型E V
14、時速18哩85) 2 原田55分22秒(C
級E V30、時速32哩94) 3 中村1時間
42分51秒(B級實用型E V14、時速17
哩73) 4 堤1時間34分58秒(E級實用
型E V36、時速19哩21) 5 本居1時間
57分37秒(B級實用型E V14、時速15
哩51) 6 石井1時間18分59秒(E級J
50、時速23哩9) 以下省略

伊豆大島、東京海岸島間(六十哩)船

外機競走(十二月廿五日午前十時卅
九分出發、午後三時十分到着) 所要時

Table with columns: 氏名, 機關馬力, 公認最高時速, 所用時間. Lists names like 原田 J, 阿部 國産, etc.



トロファイ・レース (ホームズ・スウォー  
ス杯) 70 哩時速 84 哩 (8 ミス・アメリ  
カ十世 (ガー・ウッド) 八月三日、五日米  
國マリンシチ・アメリカ・ゴールド・  
カップ・クラス (50 立方時) 30 哩時速  
60 哩 (エル・ラガー (ジョージ・レ  
ス) 八月一日、米國デトロイト・同上  
(50 立方時) 90 哩 (デルフィン四世  
(ウィリアム・ホーン) 八月一日、米國  
デトロイト・アメリカ (50 立方時) 級 5  
哩時速 44 哩 (フライング・イーグル  
(エドウィン・ヘッデス) 七月廿二日、米  
國ハーツ・ド・グレース・アメリカ  
艦外機ランナバウト 5 哩 F 級時速 52 哩  
80 哩 (匿名不明 (ジョー・パンシ) 八月四  
日、米國レックボート

【昭和九年度上半期】

第一回開東艦外機競走大会 (東京  
モーターボート・クラブ主催、四月廿  
九日、隅田川吉岡橋・白鬚橋間コース)  
B 級四千八百米 7 分 19 秒 6 飛鳥 (時速  
39 軒 5) C 級八千米 11 分 22 秒 石川 (時速  
49 軒) E 級八千米 10 分 4 秒 6 石井 (時速  
44 軒 9) コンバクト・レース 三千二百  
米 6 分 27 秒 2 吉田 (時速 28 軒 8)  
第三回船外機競走大会 (東京モーターボ  
ート・クラブ主催、七月一日、東京王子新田  
川放水路千住新橋間折返し二往復 30 哩

【ヨット】

第一回開東艦外機競走大会 (ア  
マチュア・ハイドロプレーン・クラブ主催  
本社後援、七月十五日、南海沿線濱寺  
海岸一辺五百米三角コース) A 級四  
千五百米 6 分 52 秒 水澤 (J、時速 39 軒  
24) A 級實用型三千米 10 分 8 秒 玉置  
(J、時速 17 軒 64) 特 A 級實用型三千米  
7 分 54 秒 萩野 (J、時速 11 軒 52) B 級四  
千五百米 3 分 53 秒 外海 (J) B 級實用型  
四千五百米 8 分 5 秒 6 南 (J、時速 33  
軒 48) 特 B 級實用型四千五百米 5 分 54  
秒 田村 (J、時速 30 軒 24) C 級實用型 10  
分 45 秒 石川 (J)

第二回開東艦外機競走大会 (七月廿  
九日、本牧一品川間) 特別 A 級ハンド  
ドート (横濱外人) 5 時間 1 分 37 秒 パ  
ン・デボ ▲ A 級森井 (三田 YC) 5 時  
間 24 分 31 秒 三田 ▲ B 級モッコク (横  
濱外人) 5 時間 18 分 55 秒 ウィンサム  
△ 本社後援第二回西部日本ヨット選手  
権 (七月廿七、廿八、廿九日博多博多  
道海岸沖コース) 國際 12 呎級四回戦各  
六名 (1) 29 點吉本善多 (琵琶湖) 最  
優勝時間 49 分 31 秒 (一回戦) (2) 26 點安盛  
(大阪) (3) 22 點木村 (琵琶湖) ▲ 國內 5  
米級二回戦各六名 (1) 8 點博多博多  
クラブ (松井、三井) ▲ 西部學生選手権  
(國際 12 呎級) (1) 18 點村瀬 (愛知一中)  
(2) 10 點吉本善 (同大) (3) 9 點堺  
(九大) 木村 (同大)

外人セーリング・クラブ (八月六日、  
琵琶湖柳ヶ崎沖三千米コース、國際 12  
呎級インギー) 1 吉本善多 (琵琶湖) 1 時間  
37 分「春風」得點 11 琵琶湖クラブ 38 11  
神戸外人セーリング・クラブ  
第一回東部日本ヨット選手権大会  
(東部日本ヨット協会主催、八月十九、  
廿日、品川埋立地目黒川口コース) 國  
際 12 呎級優勝——小林 (黒潮會)「さ  
なみ」20 點、三回戦各回所要時間 (42 分  
56 秒、35 分 39 秒、1 時間 52 分 29 秒) ▲  
國內 5 米級優勝——白石 (三田 YC)  
「初風」23 點、三回戦各回所要時間 (1  
時間 45 分 28 秒、52 分 33 秒、41 分 34 秒)  
第一回西部日本ヨット選手権大会  
(西部日本ヨット協会主催、八月十八、  
十九、廿日、琵琶湖柳ヶ崎沖コース) 國  
際 12 呎級優勝——吉本善 (同大) 23 點、  
最終戦所要時間 1 時間 56 分 1 秒  
第一回全日本ヨット選手権大会 (日  
本ヨット協会主催、九月廿三、廿四日  
品川埋立地目黒川口コース) 國際 12 呎級  
(1) 吉本善多 (同大) 13 點、三回戦各回  
所要時間 (2 時間 0 分 1 秒、1 時間 46  
分 15 秒、47 分 10 秒) (2) 平松栄一 (慶  
應) 12 點 (3) 吉本正雄 (琵琶湖 YC) 11  
點 ▲ 國內 5 米級 (1) 三田 YC (白石、

第二回開東艦外機競走大会 (七月廿  
九日、本牧一品川間) 特別 A 級ハンド  
ドート (横濱外人) 5 時間 1 分 37 秒 パ  
ン・デボ ▲ A 級森井 (三田 YC) 5 時  
間 24 分 31 秒 三田 ▲ B 級モッコク (横  
濱外人) 5 時間 18 分 55 秒 ウィンサム  
△ 本社後援第二回西部日本ヨット選手  
権 (七月廿七、廿八、廿九日博多博多  
道海岸沖コース) 國際 12 呎級四回戦各  
六名 (1) 29 點吉本善多 (琵琶湖) 最  
優勝時間 49 分 31 秒 (一回戦) (2) 26 點安盛  
(大阪) (3) 22 點木村 (琵琶湖) ▲ 國內 5  
米級二回戦各六名 (1) 8 點博多博多  
クラブ (松井、三井) ▲ 西部學生選手権  
(國際 12 呎級) (1) 18 點村瀬 (愛知一中)  
(2) 10 點吉本善 (同大) (3) 9 點堺  
(九大) 木村 (同大)

坂倉、阿藤)「初風」17 點、三回戦各回  
所要時間 (2 時間 29 分 13 秒、42 分 43 秒、  
1 時間 25 分 32 秒) (2) 東京灣 YC (本多  
淺井、關谷、木島)「しんぎ」16 點 (3)  
日本ヨット協会 (久保、竹下、伊  
東)「デルフィナス」▲ 大學専門學校招  
待レース (1) 同大 (吉本) 1 時間 31 分 30  
秒 (2) 東大 OB (高山) 1 時間 48 分 42 秒  
(3) 早大 (小澤) 1 時間 40 分 40 秒  
明治神宮體育大會ヨット (十一月三  
日、品川沖三千米二周コース) 全國學  
生對抗 (國際 12 呎級) (1) 慶應 (平松、  
伊藤) 45 分 49 秒 (2) 同大 (吉本、木村)  
47 分 48 秒 (3) 阪大 (上林、早川) 50 分 1  
秒 ▲ 東西對抗 (國際 12 呎級) (1) 小澤  
(博東) 42 分 30 秒 (2) 黒田 (關西) 45 分  
(3) 安盛 (關西) 47 分 3 秒 (以下省略) 得  
點 11 關東 18 18 關西 (同點なれども一  
等を關東が得たため關東の勝と判定さ  
る) ▲ 商船學校カッター帆船 (1) 12 號  
艇 (艇長 岡田) 1 時間 48 分 12 秒

【昭和九年度上半期】

第三回大毎杯ヨット・レース (國際  
12 呎級、十五回戦、四月一日より七月  
八日まで毎日曜日、琵琶湖柳ヶ崎沖、  
一辺三千米三角コース三周) (1) 吉本  
善 (やくも) 35 點 (2) 吉本正 (さなみ)

コース) 1 ラフィン 42 分 24 分 (F 級 12  
V、時速 42 哩 40) 2 高梨 50 分 42 秒 (C 級  
J、50 哩 42) 3 石井、大宮 1 時間 0 分  
58 秒 (E 級 J、時速 29 哩 52) 4 伊東 1 時  
間 0 分 22 秒 (C 級 E V、時速 29 哩 80) 5  
阿部 1 時間 16 分 7 秒 (B 級國産アマギ、  
23 哩 65) 6 林、若松 1 時間 14 分 59 秒 (E  
級實用型 E V、時速 34 哩 20) 7 御法川  
1 時間 18 分 59 秒 (A 級 J、時速 22 哩 81)  
以下省略  
第一回開東艦外機競走大会 (ア  
マチュア・ハイドロプレーン・クラブ主催  
本社後援、七月十五日、南海沿線濱寺  
海岸一辺五百米三角コース) A 級四  
千五百米 6 分 52 秒 水澤 (J、時速 39 軒  
24) A 級實用型三千米 10 分 8 秒 玉置  
(J、時速 17 軒 64) 特 A 級實用型三千米  
7 分 54 秒 萩野 (J、時速 11 軒 52) B 級四  
千五百米 3 分 53 秒 外海 (J) B 級實用型  
四千五百米 8 分 5 秒 6 南 (J、時速 33  
軒 48) 特 B 級實用型四千五百米 5 分 54  
秒 田村 (J、時速 30 軒 24) C 級實用型 10  
分 45 秒 石川 (J)

ザエンゲンの第十回万国學生大會に出  
場、各種目に大量得点をあげてドイツ  
に次ぎ第二位となつたことである、こ  
れは来るべき第四回冬季オリンピック  
において世界に君臨する北歐三ヶ國の  
堅陣にスキー日本が刻々迫りつゝある  
ことの證左ともなる、九年はまた神宮  
競技も行はれたので選手は短い期間に  
幾つもの会場を異にした大會に出場す  
るの苦しい状態であつた、神宮大會の  
ある時は全日本大會と一踏に催される  
と選手の負擔が少くなり、したがつて  
好記録も生れることであらう、スキー  
聯盟の御一考を乞ふ(竹節生)

ザエンゲンの第十回万国學生大會に出  
場、各種目に大量得点をあげてドイツ  
に次ぎ第二位となつたことである、こ  
れは来るべき第四回冬季オリンピック  
において世界に君臨する北歐三ヶ國の  
堅陣にスキー日本が刻々迫りつゝある  
ことの證左ともなる、九年はまた神宮  
競技も行はれたので選手は短い期間に  
幾つもの会場を異にした大會に出場す  
るの苦しい状態であつた、神宮大會の  
ある時は全日本大會と一踏に催される  
と選手の負擔が少くなり、したがつて  
好記録も生れることであらう、スキー  
聯盟の御一考を乞ふ(竹節生)

ザエンゲンの第十回万国學生大會に出  
場、各種目に大量得点をあげてドイツ  
に次ぎ第二位となつたことである、こ  
れは来るべき第四回冬季オリンピック  
において世界に君臨する北歐三ヶ國の  
堅陣にスキー日本が刻々迫りつゝある  
ことの證左ともなる、九年はまた神宮  
競技も行はれたので選手は短い期間に  
幾つもの会場を異にした大會に出場す  
るの苦しい状態であつた、神宮大會の  
ある時は全日本大會と一踏に催される  
と選手の負擔が少くなり、したがつて  
好記録も生れることであらう、スキー  
聯盟の御一考を乞ふ(竹節生)

形式で行はれた結果第一部は東京、第二部は秋田優勝▲第一部1(59分5) 東京2(32分5)新潟3(12分)長野▲第二部1(56分5)秋田2(18分)富山3(17分5)群馬4(8分)福島5(4分)朝鮮6(3分)山形7(2分)京都8(1分)大阪

第一部▲十八キロ1(1時48分55秒) 野崎(東京)2中村(長野)3大川(東京)▲十五キロ團體競走1(1時35分22秒)東京(岡崎野崎、坪川、齋藤、上島)2新潟3長野▲滑降1(8分51秒)小林寅次郎(新潟)2長崎(新潟)3大川(東京)▲ジャンプ1(一二九分八)龍田峻次(東京)2可兒(東京)3萩野(新潟)最長不倒距離59米50龍田(東京)▲複合競技(一八七點三)可兒久男(東京)2龍田(東京)3廣川(東京)

第二部▲十八キロ1(1時48分1秒) 石田榮一(秋田)2土田(秋田)3成田(秋田)▲十五キロ團體競走1(1時34分50秒)秋田(工藤、北木、成田、嶋海平山)2福島3群馬▲滑降1(9分37秒)林三郎(富山)2佐伯3山口(秋田)

▲ジャンプ1(一二七點七)田山武雄(秋田)2岡部(群馬)3山口(群馬)最長不倒距離48米田山(秋田)▲複合競技1

(一九四點一)田山武雄(秋田)2嶋海3大和田(朝鮮)

女子競技四キロリレー1(34分44秒)新潟縣小千谷小學校(平澤、木村、山岸、大塚)2秋田大館高女3長野飯山高女▲滑降1(4分48秒)齋藤とき(大館高女)2瀧澤(十日町高女)3大塚(小千谷高女)

軍隊レース(十キロ)1(1時37分38秒)大湊要港部2歩兵30聯隊3歩兵36聯隊

第七回全日本學生選手権大會(九年一月廿、廿一日札幌郊外宮の森)一部は早大二部は慶應優勝す

合計點	5428	9883	0	47
リレー	7534	1220		75
ジャンプ	5734	3000		514
複合	1723	0000		316
一八斤	810	00400		139
廿二斤	1740	0010		193

第一節 早大二部 慶應 日 部 早北小 明法 日 慶 日

第一部十八キロ1(1時29分37秒)三上保(北大)2野崎(早大)3金子(法政)4全語(北大)▲廿二キロ1(2時44分49秒)坪川武重(早大)2宇田(早大)3花田(北大)4上島(早大)▲ジャンプ1(一二三點九)伊黒正次(北大)2可兒

第三回全日本學生選手権大會(九年一月十三、四日兵庫縣神戶)立命館大學優勝す1(33點)立命大2(17

高野山(17點)關西大學4(12點)大谷大學5(11點)高野山6(8點)浪速高7(7點)神戸商大8(5點)鳥取高農▲十八キロ1時33分3秒羽室(立命大)▲廿二キロ2時56分12秒品川(高野山)▲廿二キロリレー12時15分9秒立命大▲スラローム34秒上宮(大谷大)▲ジャンプ一三八點四河原(浪速高)

第三回大會ジャンプエ建設記念ジャンプ大會(九年一月廿八日大會ジャンプエ)伊黒正次(北大)は67米の日本新記録を作つた、1、伊黒正次(北大)59米、65米50、67米、2開口勇(北大)65米、61米、63米、3福田峻次(早大)55米、64米50、65米50、4濱山印(60米50、61米、61米50)第二回關西ジャンプ大會(二月十八日京都郊外花春ジャンプエ)青年は濱田(23米)少年は加茂(住吉中)優勝す

國際スキー競技大會、第十回萬國學生選手権大會 一九三四年二月九、十一の三日間スイス、ダエンゲンで行はれ、我が國から七選手出場非常に活躍し世界で二位となり、ついでサンモリツのFIS大會、ドイツ、ガルミツシエの全獨學生大會に参加活躍した

十六キロ1(1時15分42秒)木根定彦(日本)2ギャンサ(スイス)3グツトルムセン(ノルウェ)4清水(日本)5スツチエル(獨)6逸見(日本)▲滑降は日本兼權▲廿キロリレー1(2時20分33秒)ミュン(ン)大學2チユリツヒ大學3日本清水、逸見、木越、栗山、四谷▲ジャンプ1(46米48米50、48米)グツトルムセン(ノルウェ)2メンヒル(獨)3竹内(日本)4デーメル(獨)5クラベネス(ノルウェ)6栗山(日本)▲複合競技1(八八〇點八)グツトルムセン(諾威)2デーメル(獨)3ボホルニー(チエツコ)4栗山(日本)

FIS大會 (一九三四年二月十五、六、八の三日間スイス、サンモリツツで行)十八キロ1(1時29分30秒)ハウスウイルト(スイス)2清水(日本)3ヘドメルグ(スエーデン)4栗山(日本)木越、逸見はコースを誤つて失格す▲ジャンプ1(63米、69米、68米)バツトラツト(スイス)2ルード(ノルウェ)3ゼーセン(ノルウェ)6竹内(61米、62米、60米)9栗山、12四谷

ドイツ學生大會 (一九三四年二月廿四、五、六の三日間ガルミツシエで舉行)▲十六キロ1(1時4分40秒)カウフマン2清水3ツアイトラー(獨)▲ジャンプ1(47米46米)ブランドンブルグ(獨)2デーメル(獨)3栗山▲廿キロリレー1(2時10分24秒)獨逸2(2時11分34秒)日本(清水、木越、逸見、四谷)3スイス

【氷上競技】

一九三二年米國レック・ブラシッドの冬季オリンピックの初出場に刺激されたわがスケート界は、相次ぐ屋内スケートリンクの出現によつて飛躍的發展をとり、特にフィギュア競技においては片山、若松の如き世界一流選手にも伍すべき選手を生んだ、ホッケイ、スピード兩競技はフィギュアに比して見劣りしないでもないが、九年に入つてスピード競技に多くの新記録が生れた

第五回全日本氷上選手権大會フィギュアスケート 九年一月十二日から三日間大阪朝日ビルと大阪歌舞伎座リンクで、ホッケイは一月十九日から三日間東京芝浦リンクで、スピードスケートは二月三、四日鴨綠江リンクでそれら舉行、フィギュアは開學片山

敏一、スピードは金正淵(明大)ホツケイは慶應チームが優勝した▲フィギュア1(一八六九點五)内スクリル九七八點、フリー八八二點五)片山敏一(關學)2渡邊(一六二三點一)3長谷川次男(慶應)4小林(勝)慶應)5長谷川章(日本スケート會)▲男子ジュニア1(六四七點三)星野(慶應)2東郷(日本スケート會)▲女子ジュニア1(六六三點八)稻田悦子(大阪スケート俱)2東郷(日本スケート會)▲ホツケイ 慶應大310、110、112 滿洲醫大、慶應大(藤野正、龜井、古屋(FW)塩田、新城(DF)阿部(GK))

▲スピード競技 1(一二五點六)金正淵(明大)2李聖徳(明大)3雀(明大)4河村(奉天)5木谷(安東)▲競技記録五百米(47秒)日本新)石原省三(安東)2木谷(安東)▲千五百米(2分36秒)4)李聖徳(開東)2河村(奉天)▲五千米(9分14秒)日本新)金正淵(明大)2小池(諏訪)▲一千米19分2秒)日本新)金正淵(明大)2李(開東)

▲女子の部 1(一二二點七六)瀧三七子(奉天)2壹岐(安東)3瀧瀬(奉天)▲競技記録五百米(1分0秒)瀧三七子(奉天)▲千五百米(3分6秒)日本新)瀧三七子(奉天)

◆第九回開西フイギユア・スケート選手権 (九年一月十七、八日大朝ビル) 片山敏一(開學)選手権を獲得、ジュニアAは國廣(同志社)勝つ

◆内、鮮、滿對抗水上大會 (九年一月十一日奉天國際リンク) 滿洲40點、内地33點、朝鮮20點の順となる

◆全滿洲水上競技選手権大會 (九年一月五、十三、十四の三日間奉天國際リンク) 重なる記録次の如し、五百米(47秒)日本及滿洲新(石原省三(安東)) ▲千五百米(2分38秒)滿洲新(河村泰男(奉天)) ▲一萬米(19分47秒)滿洲新(安達和男(大連)) ▲女子の部五百米(58秒)滿洲新(壹岐修子(安東)) ▲千五百米(3分8秒)日本新(木谷妙子(奉天))

◆第二回東西對抗フイギユア・スケート競技 (九年四月十四、五兩日山王リンク) 23-32(プレスナバー)で關東連勝す、1-1(一五五點)片山敏一(西)2長谷川次(東)3渡邊(東)4倉橋(西)5小松勝(東)6長谷川章(東)7小林(東)8佐藤(西)9倉橋弟(西)10北川(西)

◆神宮競技 (九年一月廿五日から四日間日光と芝浦のリンク) スピード競技は一般對學生で行ひ29-16で一般勝

ち、ホッケーは滿洲醫大優勝、フイギユアは片山敏一(開學)優勝す

▲スピード、五百米1(47秒)日本新) 李聖徳(一般)千五百米1(2分35秒) 李聖徳(一般)三千米(5分41秒) 日本新) 潤間正見(一般)五千米(9分29秒) 5) 金正淵(學生)二千米リレー(3分21秒) 學生チーム(矢崎、金、崔、濱) ▲フイギユアスケート1(八一一點)片山敏一(開學)2長谷川次(慶應)3長谷川章(日本スケート) ▲ホッケー決勝滿洲醫大0-1、2-1、3-1全日光(DF早間、堀) GK淺尾

◆全國高校水上大會(八年十二月廿八日から卅一日まで日光) スピードとホッケーは二高、フイギユアは學習院優勝した

◆全國中等校水上競技(八年十二月廿八日から卅一日まで日光) スピードとホッケーは若小牧工業、フイギユアは學習院中等部が優勝

【劍道】

◆第五回全國中等學校劍道大會 (本社後援、八年八月四、五兩日、明治神宮外苑) 廿校をA B C Dの四組に分ち各組各校五人づゝ總當り式で行ひ第一

日の結果、左の各校優勢

【A組】京城商業(三點) 【B組】鹿兒島師範(二點)、秋田中學(二點)

【C組】滿鐵育成(二點)、太田中學(二點) 【D組】台北商業(二點) 濟々(二點)

第二日は第一日の豫選を引つゞき行ひ各組の代表校左の如く決定

【A組】高松一中(四點)、次位京城商業 【B組】秋田中學(四點)、次位鹿兒島師範 【C組】滿鐵育成(四點)、次位太田中學 【D組】濟々(四點) 次位台北商業

かくて爭奪戰の結果左の如し

【準決勝】濟々(三人) 高松一中、秋田中(二人) 滿鐵育成 【決勝】秋田中(大將同士) 濟々

◆全國高專劍道大會 東北帝大主催 (九年七月十三、四兩日東北帝大道場) 【準々決勝】盛岡高農(大將同士) 水戸高校、福島高商(不戦六人) 専修大、二高(大將同士) 早大専、東京醫專(大將同士) 北大豫科 【準決勝】福島高商(不戦一人) 盛岡高農、二高(大將同士) 東京醫專 【決勝】二高(不戦三人) 福島高商

◆東京帝大主催 (同七月十九日から

三日間東大道場) 【準々決勝】早大専 8-2 浦和高、東醫専 7-3 福島高商 水戸高 7-3 盛岡高農、松山高商 6-1 4 東北學院 【準決勝】早大専 8-2 東京醫專、水戸高 6-4 松山高商 【決勝】早大専 8-2 水戸高

◆京都帝大主催 (同七月十八日から京大道場) 【準々決勝】六高(不戦一人) 名高商、大分高商(不戦一人) 山口高、佐賀高(不戦三人) 神高商、長崎高商(不戦六人) 五高 【準決勝】六高(不戦一人) 長崎高商、佐賀高(大將同士) 大分高商 【決勝】六高(不戦一人) 佐賀高

◆九州帝大主催 (同七月十四日から二日間九大道場) 【準決勝】佐高(不戦一人) 五高、大分高商(不戦一人) 山口高商 【決勝】大分高商(不戦三人) 佐賀高

◆天覽武道大會 皇太子殿下御生誕を壽ぎ奉る天覽武道大會は九年五月四、五兩日宮城内濟寧館で行はれた

【第一日】府縣代表選士第一回戰

【第一部】優勝夏道鹿兒島(四點)、細谷(群馬)二點、桑原(福井)二點、高橋(埼玉)一點、高木(鳥取)一點

【第二部】優勝、石田(佐賀)四點、濱田(新潟)三點、菊池(宮城)二點、

荒木(千葉)二點、並崎(岩手)〇點

【第三部】優勝野間(東京)四點、梶川(福岡)三點、石原(沖繩)二點、相原(廣島)一點、中條(三重)〇點

【第四部】優勝菅原(關東州)三點、小泉(岡山)二點、高井(樺太)二點、木村(高根)〇點

【第五部】優勝小川(秋田)三點、上浦(福島)二點、増田(朝鮮)一點、今井(山梨)一點

【第六部】優勝小笠原(青森)三點、一川(熊本)二點、入江(奈良)一點、市川(静岡)〇點

【第七部】優勝松本(兵庫)三點、菅喜多(北海道)二點、杉江(岐阜)一點、島村(宮崎)〇點

【第八部】優勝藤本(香川)三點、古賀(長崎)一點、町田(長野)一點、大友(台灣)一點

【第九部】優勝瀨下(神奈川)三點、佐藤(京都)二點、吉村(茨城)一點、鈴木(和歌山)〇點

【第十部】優勝萩(大阪)三點、津梁(愛媛)二點、竹村(高知)一點、長江(徳島)〇點

【第十一部】優勝志田(栃木)三點、西(滋賀)二點、弘原(山口)一點、御供(山形)〇點

【第十二部】優勝松浦(大分)三點、土屋(愛知)二點、南部(富山)一點、紙屋(石川)〇點

かくて選出された十二劍士の間に第一回戰は展開された

(勝) (負) (勝) (負)

○野間一志 田 ○瀨下一松 本

○小笠原一石 田 ○藤本一松 海

○瀨下一菅 原 ○小笠原一夏 迫

○小川一松 海 ○松本一菅 原

○野間一萩 田 ○藤本一小 川

○夏迫一石 田 ○志田一萩 田

【第二日】府縣代表選士第一日 第一日の結果勝つた野間(東京)、藤本(香川)、小笠原(青森)、瀨下(神奈川)の四劍士によつて最後の榮冠争ひは行はれその結果野間(東京)光榮ある選士権を握る

【準決勝】藤本(面、胴) 小笠原、野間(面、胴) 瀨下(小手) 【決勝】野間(面、胴) 藤本(胴)

指定劍士試合

【第一部】優勝白土(東京)三點、古賀(廣島)二點、土田(大阪)一點、中島(京都)〇點

【第二部】優勝山本(東京)三點、堀田(愛知)二點、津崎(京都)一點、市川(青森)〇點

【第三部】優勝江口(東京)三點、橋本(東京)二點、伊藤(鹿兒島)二點、鶴田(熊本)〇點

【第四部】優勝宮崎(京都)三點、千頭(岡山)

【柔道】

◆明治神宮大會 (八年十一月一日)

【中學學校】決勝 御影師範 2-1 鹿兒島商業 【大學高專】決勝 山口(早大) 1-山本(三段) 【一般府縣】決勝 (1) 田中(神奈川) (2) 山下(石川) (3) 後藤(長野) 【青年團決勝】 中島(神奈川) 1-辻本(熊本)

◆全國高專柔道大會 (九年七月十五日京都武徳殿) 【東北豫選決勝】北大豫(不戦三人) 弘前高校 【京大豫選決勝】松山高(大將同士) 關西學院 【九大豫選決

勝】大分高商(大將同士) 五高 【全國決勝】準決勝 北大豫科(大將同士) 大分高商、松山高校(不戦) ▲決勝 北大豫科(大將同士) 松山高

◆天覽柔道大會 (九年五月四、五日宮城内濟寧館にて) 光榮の出場者七十五名(中府縣代表五十一、指定選士十六、特選選士八) 試合はまづ府縣代表を各十二部に分ち各組總當り法を以て開始された、結果左の通り府縣代表の部

【第一部】優勝原田(長崎)四點、中野(長野)三點、平田(宮崎)一點、宮城(宮城)〇點

【第二部】優勝田代(愛知)四點、伊勢治(關東州)三點、秋月(愛媛)二點、森口(北海道)〇點

【第三部】優勝長野(鹿兒島)四點、諏訪(栃木)三點、宮川(大分)二點、仲(奈良)一點、中谷(石川)〇點

【第四部】優勝濱田(新潟)四點、落合(廣島)二點、田島(群馬)一點、中田(鳥根)〇點

【第五部】優勝平田(京都)三點、楠(神奈川)二點、定松(佐賀)一點、後出(和歌山)〇點

【第六部】優勝村田(東京)三點、成田(青森)二點、西村(山口)一點、小林(鳥取)〇點

【第七部】優勝太田

